

2026-2030 年度国立研究開発法人情報通信研究機構
本部建物設備維持管理等業務に係る
民間競争入札実施要項（案）

令和 7 年 月

国立研究開発法人情報通信研究機構

目次

1. 対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項（法第 14 条第 2 項第 1 号）	1
2. 実施期間に関する事項（法第 14 条第 2 項第 2 号）	7
3. 入札参加資格に関する事項（法第 14 条第 2 項第 3 号及び第 3 項）	7
4. 入札に参加する者の募集に関する事項等（法第 14 条第 2 項第 4 号）	9
5. 対象公共サービスを実施する者を決定するための評価の基準その他の対象公共サービスを実施する者の決定に関する事項（法第 14 条第 2 項第 5 号）	10
6. 対象公共サービスに関する従来の実施状況に関する情報の開示に関する事項（法第 14 条第 2 項第 6 号及び第 4 項）	12
7. 公共サービス実施民間事業者が使用させることができる国有財産に関する事項（法第 14 条第 2 項第 7 号）	13
8. 公共サービス実施民間事業者が、対象公共サービスを実施するに当たり、国の行政機関等の長等に対して報告すべき事項、秘密を適正に取り扱うために必要な措置その他の対象公共サービスの適正かつ確実な実施の確保のために契約により公共サービス実施民間事業者が講ずべき措置に関する事項（法第 14 条第 2 項第 9 号）	13
9. 公共サービス実施民間事業者が本業務を実施するに当たり、第三者に損害を加えた場合において、その損害の賠償に関し契約により当該公共サービス実施民間事業者が負うべき責任（国家賠償法の規定により国の行政機関等が当該損害の賠償の責めに任ずる場合における求償に応ずる責任を含む。）に関する事項（法第 14 条第 2 項第 10 号）	19
10. 対象公共サービスに係る第 7 条第 8 項に規定する評価に関する事項（法第 14 条第 2 項第 11 号）	19
11. その他対象公共サービスの実施に関し必要な事項	20

別紙 1 評価項目一覧表

別紙 2 従来の実施状況に関する情報の開示

別紙 3 業務提案書（例）

別紙 4 特記仕様書

国立研究開発法人情報通信研究機構本部
建物設備維持管理等業務に係る民間競争入札実施要項

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号。以下「法」という。）に基づく競争の導入による公共サービスの改革については、公共サービスによる利益を享受する国民の立場に立って、公共サービスの全般について不断の見直しを行い、その実施について、透明かつ公正な競争の下で受注者の創意と工夫を適切に反映させることにより、国民のため、より良質かつ低廉な公共サービスを実現することを目指すものである。

上記を踏まえ、国立研究開発法人情報通信研究機構（以下「当機構」という。）は、公共サービス改革基本方針（令和 5 年 7 月 4 日閣議決定）別表において民間競争入札の対象として選定された国立研究開発法人情報通信研究機構本部 建物設備維持管理等業務（以下「本業務」という。）について、公共サービス改革基本方針に従って、本実施要項を定めるものとする。

1. 対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項（法第 14 条第 2 項第 1 号）

1.1 対象公共サービスの詳細な内容

（1）対象施設の概要

当機構は、情報通信分野を専門とする我が国唯一の公的研究機関として、情報通信技術の研究開発を基礎から応用まで統合的な視点で推進し、同時に、大学、産業界、自治体、国内外の研究機関などと連携し、研究開発成果を広く社会へ還元し、イノベーションを創出することを目指している。

当機構本部は、国立研究開発法人情報通信機構法に基づく法定業務として、主に同法第十四条において定める以下の業務を実施している。

- 一 情報の電磁的流通及び電波の利用に関する技術の調査、研究及び開発を行うこと。
- 二 宇宙の開発に関する大規模な技術開発であって、情報の電磁的流通及び電波の利用に係るものを行うこと。
- 三 周波数標準値を設定し、標準電波を発射し、及び標準時を通報すること。
- 四 電波の伝わり方について、観測を行い、予報及び異常に関する警報を送信し、並びにその他の通報をすること。
- 五 無線設備（高周波利用設備を含む。）の機器の試験及び較正を行うこと。
- 六 三に掲げる業務に関連して必要な技術の調査、研究及び開発を行うこと。
- 七 一に掲げる業務に係る成果の普及としてサイバーセキュリティ（サイバーセキュリティ基本法（平成 26 年法律第 104 号）第 2 条に規定するサイバーセキュリティをいう。）に関する演習その他の訓練を行うこと。

- 八 前号に掲げるもののほか、一、二及び六に掲げる業務に係る成果の普及を行うこと。
- 九 高度通信・放送研究開発を行うために必要な相当の規模の施設及び設備を整備してこれを高度通信・放送研究開発を行う者の共用に供すること。
- 十 高度通信・放送研究開発の実施に必要な資金に充てるための助成金を交付すること。
- 十一 海外から高度通信・放送研究開発に関する研究者を招へいすること。
- 十二 情報の円滑な流通の促進に寄与する通信・放送事業分野に関し、情報の収集、調査及び研究を行い、その成果を提供し、並びに照会及び相談に応ずること。
- 十三 科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律（平成 20 年法律第 63 号）第 34 条の 6 第 1 項の規定による出資並びに人的及び技術的援助のうち政令で定めるものを行うこと。
- 十四 一から十三に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。
- 本部は、これらの研究開発部門及び研究支援部門の主な拠点となっている。

（２）業務の対象と業務内容

① 業務の対象

本業務の対象施設は、本部に所在する建築物及びその附帯施設（以下「建築物等」という。）のうち、別紙 4「特記仕様書」で指定するものである。

- ・所在地：東京都小金井市貫井北町 4－2－1
- ・名称：国立研究開発法人情報通信研究機構本部
- ・敷地面積：120,583.61 m²
- ・建物延床面積：64,474.07 m²
- ・施設配置：別紙 4「特記仕様書 別添 V 対象設備等一覧表」のとおり

② 業務の概要

本業務は当機構本部において、建築物等の定期点検、臨時点検、保守、運転・監視、警備及び受付を行うことを目的とする。

③ 業務の内容

- 1) 統括責任者業務
- 2) 定期点検及び保守業務
 - ア 建築
 - イ 電気設備
 - ウ 機械設備等
 - エ 監視制御設備
 - オ 防災設備
- 3) 運転・監視及び日常点検・保守業務
 - ア 建築
 - イ 電気設備

ウ 機械設備

エ 監視制御設備

4) 警備業務

詳細は別紙4「特記仕様書」のとおり。

1.1.1 管理業務全般に係る業務

業務の実施に当たっては、一企業とすることも、複数の企業で構成される共同企業体（以下「入札参加共同企業体」という。）とすることも可能とする。

（１）入札参加共同企業体の管理について

入札参加共同企業体の管理について本業務を実施するに当たり、入札参加共同企業体を構成する場合は、その代表となる企業（以下「代表企業」という。）を定め、代表企業は共同企業体に参加するその他の企業（以下「構成員」という。）と密に連携をとり、業務を包括的に管理すること。

（２）発注者との連携について

代表企業及び構成員は、定期的に当機構と連携を図り、円滑な管理業務を実施すること。

（３）代表者の権限

代表企業は、管理・運營業務の履行に関し、入札参加共同企業体を代表にして当機構と折衝する権限並びに自己の名義をもって契約代金の請求、受領及び入札参加共同企業体に属する財産を管理する権限を有するものとする。

（４）統括責任者

受注者は、当機構に対する報告及び調整、各業務従事者（入札参加共同企業体で参加する場合は、各企業）への指示及び関係者との調整等の管理業務を円滑に実施するための業務（以下「統括管理業務」という。）を実施する。

① 受注者は、統括管理業務を実施するに当たり、統括責任者を選任すること。

なお、統括責任者は、業務責任者を兼務することができる。また、統括責任者が欠けた場合の代行者をあらかじめ定めておくこと。

② 統括責任者は、各業務の履行状況を常に把握し、施設管理担当者へ報告すること。

③ 施設担当者からの指示については、統括責任者から速やかに各業務責任者を通じて実行すること。

④ 各業務責任者は、統括責任者を通じて施設管理担当者に、報告書その他の関係書類を提出し、業務の重要事項に関することを報告すること。

(2) 副統括責任者

- ① 統括責任者は、副統括責任者を置くことができる。
- ② 副統括責任者は、統括責任者を選出した受託者から選出し、業務責任者を兼務することができる。
- ③ 副統括責任者は、統括責任者を補助し、統括管任者が不在の際は、これに代わる。

1.1.2 統括責任者業務

項目	内容
一般事項	別紙4「特記仕様書 別添Ⅰ統括責任者業務」のとおり。
業務計画書・報告書等の提出及び保管	
教育研修等	
訓練・イベント等への対応	
共用室及び共用品等の管理	
課題整理及び改善提案等	
定期及び臨時の打合せ	

1.1.3 定期点検及び保守業務

項目	内容
業務内容	別紙4「特記仕様書 別添Ⅱ定期点検及び保守業務」のとおり。
実施項目	
対象設備	
点検項目・周期	

1.1.4 運転・監視及び日常点検・保守業務

項目	内容
業務内容	別紙4「特記仕様書 別添Ⅲ運転・監視及び日常点検・保守業務」のとおり。
実施項目	
対象設備	
点検項目・周期	

1.1.5 警備業務

項目	内容
業務内容	別紙4「特記仕様書 別添Ⅳ警備業務」のとおり。
実施項目	
対象設備	

点検項目・周期	
業務実施時間帯	

1.1.6 業務の引継ぎ

当機構は、本業務を開始するまでの間に業務内容を明らかにした書類等により、受注者に業務の引継ぎを行うものとする。

また、本業務の終了に伴い受注者が変更となる場合には、当機構は、下記 8. の報告等をもとに次回の事業者への引継ぎを行うものとする。ただし、必要に応じて当機構が、業務終了前に受注者に対し、引継ぎに必要な資料等を求めた場合は、受注者は応じるものとする。

(1) 現行の事業者からの引継ぎ

当機構は、当該引継ぎが円滑に実施されるよう、現行の事業者及び本業務を新たに実施することとなった受注者に対して必要な措置を講ずるとともに、引継ぎが完了したことを確認する。

本業務を新たに実施することとなった受注者は、本業務の開始日までに、業務内容を明らかにした書類等により、現行の事業者から業務の引継ぎを受けるものとする。

なお、その際の事務引継ぎに必要な経費は、現行の事業者の負担となる。

(2) 本業務終了の際の引継ぎ

当機構は、当該引継ぎが円滑に実施されるよう、本業務の受注者及び次回の事業者に対して必要な措置を講ずるとともに、引継ぎが完了したことを確認する。

本業務の終了に伴い受注者が変更となる場合には、本業務の受注者は、次回業務の開始日までに、業務内容を明らかにした書類等により、次回の事業者に対し、引継ぎを行うものとする。

なお、その際の業務引継ぎに必要な経費は、本業務の受注者の負担となる。

1.2 サービスの質の設定

本業務の実施に当たり達成すべき質及び最低限満たすべき水準は以下のとおりとする。

1.2.1 管理・運営業務の質

本業務を通じて包括的に達成すべき質は、設備等の維持管理を適切に行い、当機構の業務遂行の円滑な実施を可能とすることとし、具体的には下表のとおりとする。

状態	主要事項	指標
平常時	安全性の確保	本業務の不備に起因する施設利用者の怪我、疾病が発生しないこと。 件数【0件】

		本業務の不備に起因する施設内での物損事故が発生しないこと。 件数【0件】
	業務継続性の確保	本業務の不備に起因する業務の中断（停電、空調停止、断水）となる事態が発生しないこと。 件数【0件】
	環境への配慮	フロン漏洩等の適切な監視
緊急時	業務継続性の確保	落雷、その他の天災（地震・火災）又は事故等により特別高圧電力の受変電設備の故障・停止に起因する全館停電が発生した場合、電気主任技術者が2時間以内に駆け付けられないことによる調査・処置の遅れが発生しないこと。 件数【0件】

1.2.2 各業務において確保すべき水準

本業務において確保すべき水準は、従来の実施方法として下記6.で開示する情報に定める内容とする。ただし、従来の実施方法については、改善提案を行うことができる。

1.3 創意工夫の発揮可能性

本業務を実施するに当たっては、以下の観点から法令に反しない限り受注者の創意工夫を反映し、公共サービスの質の向上（包括的な質の向上、効率化の向上、経費の削減等）に努めるものとする。

（1）管理・運營業務の実施全般に対する質の確保に関する提案

受注者は、別途定める様式に従い、管理・運營業務の実施全般に係る質の向上の観点から取り組むべき事項等の提案を行うことができる。その際、具体的な方法等を示すとともに、別紙4「特記仕様書」で示す現行基準レベルの質が確保できる根拠等を明示すること。

（2）従来の実施方法に対する改善提案

受注者は、各業務の現行基準として示す従来の実施方法に対し、改善すべき提案（コスト削減に係る提案を含む。）がある場合は、別途定める様式に従い、具体的な方法等を示すとともに、現行基準レベルの質が確保できる根拠等を提案すること。

1.4 請負費の支払方法

当機構は受注者の検査・監督を行い、確保すべき水準（改善提案があった事項を含む。）

が満たされているか確認した上で、請負費を支払う。確保すべき水準が満たされていない場合は、再度業務を行うように指示を行うとともに、落札事業者は、速やかに業務改善計画書を当機構に提出することとし、遂行後の確認ができない限り対価の支払は行わないものとする。

請負費の支払に当たっては、受注者は当該月分の業務の完了後、当機構との間であらかじめ定める書面により当該月分の支払請求を行い、当機構は、これを受領した日から 30 日以内に質の達成状況に応じた金額を受注者に支払うものとする。

1.5 費用負担等に関するその他の留意事項

(1) 消耗品等

本業務を実施するに当たり、職員等が使用する消耗品や本業務を行う上で受注者が使用する消耗品や附属品については、別紙 4「特記仕様書」に受注者が負担する旨の記述のある場合を除き、原則として全額当機構の負担とし、受注者からの請求に応じ支給するものとする。

細部は、別紙 4「特記仕様書 別添Ⅱ定期点検及び保守業務、別添Ⅲ運転・監視及び日常点検・保守業務」に記載。

(2) 光熱水費

当機構は、受注者が本業務を実施するのに必要な電気・水の使用を無償とする。ただし、受注者は節電・節水に十分心がけるものとする。過去の実績と比べて、合理的な理由なく著しい使用量の増加が認められた場合には、受注者に負担を求める場合もある。

(3) 法令変更による増加費用及び損害の負担

法令の変更により受注者に生じた合理的な増加費用及び損害は、以下の①から③までのいずれかに該当する場合には当機構が負担し、それ以外の法令変更については受注者が負担する。

- ① 本業務に類型的又は特別に影響を及ぼす法令変更及び税制度の新設
- ② 消費税その他類似の税制度の新設・変更（税率の変更含む。）
- ③ 上記①、②のほか、法人税その他類似の税制度の新設・変更以外の税制度の新設・変更（税率の変更を含む。）

2. 実施期間に関する事項（法第 14 条第 2 項第 2 号）

本業務の実施期間は、令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日までとする。

3. 入札参加資格に関する事項（法第 14 条第 2 項第 3 号及び第 3 項）

- (1) 法第 10 条各号に該当するものでないこと。

- (2) 予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号。以下「予決令」という。）第 70 条の規定に該当しない者であること。（なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別な理由がある場合に該当する。）
- (3) 予決令第 71 条の規定に該当しないこと。
- (4) 法人税並びに消費税及び地方消費税の滞納がないこと。（納税証明書（直近のもの）を提出させること。）
- (5) 労働保険、厚生年金保険等の適用を受けている場合、保険料等の滞納がないこと。（社会保険料納入確認書等（直近のもの）を提出させること。）
- (6) 各業務の実施に当たり必要な入札参加資格
 上記 1.1 に示す業務の実施に当たり法令上必要な次の資格を有しているもの、又は資格等を有しているものを業務の実施に当たらせることができる者であること。
 ただし、警備業務については、入札企業あるいは入札参加共同企業体のうち当該業務を実施する者が警備業法（昭和 47 年法律第 117 号）第 4 条に基づく都道府県公安委員会の認定を受けていること。
 - ① 警備業務 都道府県公安委員会の認定
 - ② 防災設備機器保守点検業務 消防設備士又は消防設備点検資格
- (7) 情報通信研究機構契約事務細則（平成 16 年 4 月 1 日 04 細則第 22 号）第 3 条の規定に該当しない者であること。
- (8) 情報通信研究機構契約事務細則（平成 16 年 4 月 1 日 04 細則第 22 号）第 4 条の規定に該当しない者であること。
- (9) 当機構競争参加資格又は総務省競争参加資格（全省庁統一資格）のいずれかにおいて、令和 7 年度に「物品の製造」、「物品の販売」又は「役務の提供等」の A、B、C 又は D 等級に格付けされている者であること。
- (10) 競争参加に必要な書類の提出期限の日から開札までの期間に、当機構から「情報通信研究機構における契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 29 年 3 月 31 日 16 細則第 18 号）に基づく指名停止措置を受けている期間中でないこと。また、総務省又は他府省等における指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。ただし、総務省又は他府省等における処分期間については、当機構の処分期間を超過した期間は含めない。
- (11) 入札公告にて求められた書類を提出し、応札者としての条件を満たした者であること。
- (12) 入札参加共同企業体での入札について
 - ① 単独で本実施要項に定める業務の内容の全てが担えない場合は、適正に業務を遂行できる入札参加共同企業体で参加することができる。その場合、入札書類提出時

までに入札参加共同企業体を結成し、代表企業及び代表者を定め、他の者は構成員として参加するものとする。なお、代表企業及び構成員が、他の入札参加共同企業体に参加、若しくは単独で入札に参加することはできない。また、代表企業及び構成員は、入札参加共同企業体の結成に関する協定書（又はこれに類する書類）を作成すること。

② 中小企業等協同組合法（昭和 24 年法律第 181 号）に基づき設立された事業協同組合又は特別の法律によって設立された組合が入札に参加する場合においては、その組合員が他の入札参加共同企業体に参加し、又は単独で入札に参加することはできないものとする。

③ 上記（１）から（１１）の全ての要件を満たすこと。

4. 入札に参加する者の募集に関する事項等（法第 14 条第 2 項第 4 号）

（１） 入札の実施手続及びスケジュール

手続	スケジュール
入札公告	令和 7 年 10 月中旬頃
入札説明会（２回開催）	令和 7 年 11 月中旬頃
施設見学会	令和 7 年 11 月上旬頃
入札等に関する質疑応答	令和 7 年 12 月上旬頃
入札書類の受付期限	令和 7 年 12 月中旬頃
入札書類の評価	令和 7 年 12 月下旬頃
開札・落札者予定者等の決定	令和 8 年 1 月中旬頃
契約締結	令和 8 年 2 月中旬頃

（２） 入札実施手続

本件は、「電子入札システム」を利用した応札及び入開札手続を使用するものとし、電子入札以外の紙による入札は原則として認めないものとする。

① 入札公告後の質問受付

入札公告以降、当機構において入札説明書の交付を受けた者は、本実施要項の内容及や入札に係る事項について、当機構に対して質問を行うことができる。質問は原則として電子メールにより行い、質問内容及び当機構からの回答は原則として入札説明書の交付を受けた全ての者に公開することとする。

ただし、受注者の権利や競争上の地位等を害するおそれがあると判断される場合には、質問者の意向を聴取した上で公開しないよう配慮する。

② 提出書類

民間競争入札に参加する者（以下「入札参加者」という。）は、本業務の実施に係る入札金額を記載した書類（以下「入札書」という。）及び総合評価のための業務実施の

具体的な方法、その質の確保方法等に関する書類（以下「業務提案書」という。）を提出すること。なお、上記の入札金額には、入札参加者が消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、本業務に要する一切の諸経費の 110 分の 100 に相当する金額を記載することとする。また、法第 10 条各号に規定する欠格事由の審査に必要な書類を併せて提出すること。

③ 業務提案書の内容

入札参加者が提出する業務提案書には、下記 5. で示す総合評価を受けるために、次の事項を記載する。

- 1) 実施体制図（案）【別紙 3－1（様式 1）】
- 2) 業務従事者名簿（案）【別紙 3－2（様式 2）】
※ 資格等を証明する書類の写しを添付すること。
- 3) 警備業務月間シフト表（案）【別紙 3－3（様式 3）】
- 4) 業務の質の確保等に関する事項（案）【別紙 3－4（様式 4）】
※ 認証等を証明する書類の写しを添付すること。
- 5) 業務工程表（令和●年度分）（案）【別紙 3－5（様式 5）】
- 6) 同種業務の履行実績一覧【別紙 3－6（様式 6）】
- 7) 業務開始までのスケジュール（案）【別紙 3－7（様式 7）】
- 8) 緊急時の体制及び対応方法（案）【別紙 3－8（様式 8）】
- 9) 現行基準及び実施方法に関する業務提案書【別紙 3－9（様式 9）】

④ 開札に当たっての留意事項

- 1) 開札は、入札者又はその代理人を立ち合わせて行う。ただし、入札者又はその代理人が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。
- 2) 入札者又はその代理人は、開札時刻後においては、開札場に入場することはできない。
- 3) 入札者又はその代理人は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ、競争参加資格を証明する書類、身分証明書又は入札権限に関する委任状（所定のものがあれば別紙添付）を提示又は提出しなければならない。
- 4) 入札者又はその代理人は、入札中は、契約担当官が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、開札場を退場することができない。

5. 対象公共サービスを実施する者を決定するための評価の基準その他の対象公共サービスを実施する者の決定に関する事項（法第 14 条第 2 項第 5 号）

本業務を実施する者（以下「落札者」という。）の決定は、総合評価落札方式によるものとする。

詳細は別紙 1 「評価項目一覧表」のとおり。

（1）落札者決定に当たっての質の評価項目の設定

落札者を決定するための評価は、提出された業務提案書の内容が、本業務の目的・趣旨に沿って実行可能なものであるか（必須条件項目審査）、また、効果的なものであるか（加点条件項目審査）について行うものとする。

① 必須条件項目審査

必須条件項目審査においては、入札参加者が業務提案書に記載した内容が、必須条件項目を満たしていることを確認する。全て満たした場合は基礎点（50 点）を付与し、一つでも満たしていない場合は失格とする。

② 加点条件項目審査

必須条件項目審査で合格した入札参加者に対して、加点条件項目について審査を行う。

具体的には、評価者は、加点条件項目ごとに入札参加者の業務提案書の内容が適合するかにより評価し、適合する場合、各入札参加者に対して、加点条件項目ごとに定める加算点（合計最大 50 点）を付与する。

（２） 落札者決定に当たっての評価方法

① 落札者の決定方法

以下の方式（加算方式）による。

価格点と評価点（技術点）を加算した合計点を総合評価点とし、総合評価点が最も高い値の者を落札予定者として決定する。

<式>

総合評価点 = 価格点＋評価点（技術点）

価格点 = （１－入札価格／予定価格）×（入札価格に係る得点配分）

評価点（技術点）= 必須条件項目の得点（50 点）＋必須条件以外の項目の得点（最大 50 点）

② 留意事項

- 1) 当該落札予定者の入札価格が予定価格の一定割合に満たない場合は、その価格によって契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるか否か、次の事項について改めて調査し、該当するおそれがあると認められた場合、又は契約の相手方となるべき者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すおそれがある著しく不適当であると認められた場合には、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、総合評価点が最も高い 1 者を落札予定者として決定することがある。

- ア. 当該価格で入札した理由及びその積算の妥当性（当該単価で適切な人材が確保されるか否か、就任予定の者に支払われる賃金額が適正か否か、就任予定の者が当該金額で了解しているか否かなど）
- イ. 当該契約の履行体制（常駐者の有無、人数、経歴、勤務時間、専任兼任の別、業務分担等が適切か否かなど）
- ウ. 当該契約期間中における他の契約請負状況
- エ. 手持機械その他固定資産の状況
- オ. 国の行政機関等及び地方公共団体等に対する契約の履行状況
- カ. 経営状況
- キ. 信用状況

2) 落札予定者となるべき者が2人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札予定者を決定するものとする。また、入札者又はその代理人が直接くじを引くことができないときは、入札事務に関係ない職員がこれに代わってくじを引き落札予定者を決定するものとする。

3) 落札者が決定したときは、遅滞なく、落札者の氏名又は名称、落札金額、落札者の決定の理由並びに提案された内容のうち具体的な実施体制及び実施方法の概要について公表するものとする。

（3）初回の入札で落札者が決定しなかった場合の取扱いについて

入札者又はその代理人の入札のうち予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、原則として、直ちに再度の入札を行うこととし、なお落札者となるべき者が決定しない場合には、直ちに再々度、再々々度の入札を行う。これによってもなお落札者となるべき者が決定しない場合には、入札条件を見直し、再度入札公告に付することにする。

再度の入札公告によっても落札者となるべき者が決定しない場合又は再度の入札公告によると本業務の実施の準備に必要な期間を確保することができないなどのやむを得ない事情がある場合には、入札対象事業を自ら実施することなどができる。この場合において当機構はその理由を公表するとともに、監理委員会に報告する。

6. 対象公共サービスに関する従来の実施状況に関する情報の開示に関する事項(法第14条第2項第6号及び第4項)

（1）開示情報

対象業務に関して、以下の情報は別紙2「従来の実施状況に関する情報の開示」のとおり開示する。

① 従来の実施に要した経費

- ② 従来の実施に要した人員
- ③ 従来の実施に要した施設及び設備
- ④ 従来の実施における目的の達成の程度
- ⑤ 従来の実施方法等

(2) 資料の閲覧

前項⑤「従来の実施方法等」に関する情報は、民間競争入札に参加する予定の者から要望があった場合について、入札説明会での交付又はメール送付により閲覧可能とする。

また、民間競争入札に参加する予定の者から追加の資料の開示について要望があった場合は、当機構は法令及び機密性等に問題のない範囲で適切に対応するよう努めるものとする。

7. 公共サービス実施民間事業者に使用させることができる国有財産に関する事項（法第14条第2項第7号）

本業務の実施に必要な「別紙4 特記仕様書別添VI共用室及び共用物リスト」に定める居室及び備品等を貸与する。引渡及び返却にかかる費用は、本業務の契約代金に含まれる。

8. 公共サービス実施民間事業者が、対象公共サービスを実施するに当たり、国の行政機関等の長等に対して報告すべき事項、秘密を適正に取り扱うために必要な措置その他の対象公共サービスの適正かつ確実な実施の確保のために契約により公共サービス実施民間事業者が講ずべき措置に関する事項（法第14条第2項第9号）

(1) 報告等について

① 業務計画書の作成と提出

受注者は、点検、保守及び警備等の各業務を行うに当たり各年度の業務開始日まで年度ごとの業務計画書を作成し、当機構に提出すること。

② 業務報告書の作成と提出

受注者は、点検、保守及び警備等の各業務の履行結果を正確に記載した月次報告書、日次報告書を業務報告書として作成する。

- 1) 受注者は、当機構による検査完了後の月次報告書及び日次報告書を、業務期間中、当機構及び受注者側が速やかに閲覧できるように保管すること。
- 2) 受注者は、業務期間中、月次報告書（月報）を、業務対象月の翌月10日までに当機構に提出する。（契約期間の最終月は、その月の末日までにて支出する。）
- 3) 受注者は、業務期間中、日次報告書（日報）を、他に指示のある場合を除き、週1回、直近1週間分をまとめて提出すること。（契約期間の最終月はその月の末日までに提出する。）

③ 検査・監督体制

受注者からの報告を受けるに当たり、当機構の検査・監督体制は以下のとおりとする。

検査は、当機構の財務部施設室長が行う。

監督は、当機構の財務部施設室施設管理グループの本業務担当職員が行う。

（２）当機構による調査への協力

当機構は、受注者による業務の適正かつ確実な実施を確保する必要があると認めるときは、受注者に対し、当該管理・運營業務の状況に関し必要な報告を求め、又は受注者の事務所（又は業務実施場所）に立ち入り、業務の実施状況又は帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

立入検査をする当機構の職員は、検査等を行う際には、当該検査等が法第 26 条 1 項に基づくものであることを受注者受注者に明示するとともに、その身分を示す証明書を携帯し、関係者に提示するものとする。

（３）指示について

業務実施期間中の当機構から受注者への連絡や指示については、監督員として指名された職員等より、メール又は口頭により実施する。

また、当機構は、上記に加え業務の検査・監督において業務の質の低下につながる問題点（仕様書に基づく業務の履行ができない恐れを含む。）を確認した場合は、その場で指示を行うことができる。

（４）秘密の保持

受注者は、本業務に関して当機構が開示した情報等（公知の事実等を除く。）及び業務遂行過程で作成した提出物等に関する情報を漏洩してはならないものとし、そのための必要な措置を講ずること。受注者（その者が法人である場合にあっては、その役員）若しくはその職員その他の本業務に従事している者又は従事していた者は業務上知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、又は盗用した場合には、法第 54 条により罰則の適用がある。

（５）契約に基づき受注者が講ずべき措置

① 業務の開始及び中止

- 1) 受注者は、締結された本契約に定められた業務開始日に、確実に本業務を開始しなければならない。
- 2) 受注者は、やむを得ない事由により、本業務を中止しようとするときは、あらかじめ、当機構の承認を受けなければならない。

② 金品等の授受の禁止

受注者は、本業務において、金品等を受け取る事又は与えることをしてはならない。

③ 宣伝行為の禁止

受注者及び本業務に従事する者は、本業務の実施に当たって、自らが行う事業の宣伝を行ってはならない。

受注者及び本業務を実施する者は、本業務の実施の事実をもって、第三者に対し誤解を与えるような行為をしてはならない。

④ 法令の遵守

受注者は、本業務を実施するに当たり適用を受ける関係法令等を遵守しなければならない。

⑤ 安全衛生

受注者は、本業務に従事する者の労働安全衛生に関する労務管理については、責任者を定め、関係法令に従って行わなければならない。

⑥ 記録・帳簿書類等

受注者は、実施年度ごとに本業務に関して作成した記録や帳簿書類を、本業務を終了した日又は中止した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管しなければならない。

⑦ 権利の譲渡

受注者は、原則として本契約に基づいて生じた権利の全部又は一部を第三者に譲渡してはならない。

⑧ 権利義務の帰属等

1) 本業務の実施が第三者の特許権、著作権その他の権利と抵触するときは、受注者は、その責任において、必要な措置を講じなくてはならない。

2) 受注者は、本業務の実施状況を公表しようとするときは、あらかじめ、当機構の承認を受けなければならない。

⑨ 契約によらない自らの事業の禁止

受注者は、本業務の対象施設において、当機構の許可を得ることなく自ら行う事業又は当機構以外の者との契約（当機構との契約に基づく事業を除く。）に基づき実施する事業を行ってはならない。

⑩ 取得した個人情報の利用の禁止

受注者は、本業務によって取得した個人情報を、自ら行う事業又は当機構以外の者との契約（本業務を実施するために締結した他の者との契約を除く。）に基づき実施する事業に用いてはならない。

⑪ 再委託の取り扱い

1) 受注者は、本契約の全部を一括して、又は主たる部分を第三者（以下本条において「再委託先」という。）に再委託することはできないものとする。ただし、受注者が、あらかじめ再委託先の住所、氏名、再委託する業務の範囲、その必要性及び契約金額、再委託の業務に従事する者の適格性及び情報保全のための履行体制（情報に意図せ

ざる変更が加えられないための管理体制を含む。)について記載した書面を当機構又は当機構の指定する者に提出し、当機構の承認を受けたときは、本契約の適正な履行を確保するために必要な範囲において、本契約の一部（主たる部分を除く）を再委託することができる。

- 2) 「主たる部分」とは、業務における統括管理業務をいう。
- 3) 1)のただし書の場合において、受注者は、当機構から承認を受けた内容を変更しようとするとき、又は再委託先が第三者（以下「再々委託先」という。）に再々委託する場合以降も同様に当機構の承認を受けなければならない。
- 4) 受注者は、本契約の一部（主たる部分を除く。）を再委託するときは、受注者が本契約を遵守するために必要な事項を再委託先との間でも約定しなければならない。
- 5) 本契約の一部について、再委託先が再々委託を行う場合においては、受注者は、本契約を遵守するために必要な事項を再々委託先にも約定させるものとし、再々委託先以降の委託先がさらに委託をする場合にも、全て同様とする。
- 6) 受注者は、本契約の一部を再委託した場合は、本件業務に関する再委託先（再委託先の再々委託以降の委託が行われているときは、再委託先及び再々委託先以降の委託先）の行為について、当機構に対して全ての責任を負うものとする。

⑫ 契約内容の変更

受注者及び当機構は、本業務の更なる質の向上の推進その他やむを得ない事由により本契約の内容を変更しようとする場合は、あらかじめ変更の理由を提出し、それぞれの相手方の承認を受けるとともに、法第 21 条の規定に基づく手続を適切に行わなければならない。

⑬ 設備更新等の際における受注者への措置

当機構は、次のいずれかに該当するときは、受注者にその旨を通知するとともに、受注者と協議の上、契約を変更することができる。

- 1) 設備を更新、撤去又は新設するとき
- 2) 法令改正、施設の管理水準の見直しなどにより業務内容に変更が生じるとき
- 3) 入居部署の変動等により業務量に変動が生じるとき

⑭ 契約解除

- 1) 当機構は、受注者が次のいずれかに該当する場合は、契約を解除することができる。

ア 受注者が期限までに、履行を完了しなかったとき又は完了できないことが客観的に明らかなとき。

イ 検査に合格しなかったとき。

ウ 以下に定める方法では、契約の目的を達することができない場合は、契約の全部又は一部を解除することができる。ただし、その期間を経過したときにおける債務の不履行が軽微であるときは、この限りでない。

- i 履行の追完が不能であるとき。

- ii 受注者が履行の追完を拒絶する意思を明確に表示したとき。
 - iii 契約の性質又は当事者の意思表示により、特定の日時又は一定の期間内に履行をしなければ契約をした目的を達することができない場合において、受注者が履行の追完をしないでその時期を経過したとき。
 - iv 前3号に掲げる場合のほか、発注者が前項の催告をしても履行の追完を受ける見込みがないことが明らかであるとき。
 - エ 契約の履行に関し、受注者又はその代理人若しくは使用人に不正又は不誠実な行為があったとき。
 - オ 受注者が、破産の宣告を受け又は受注者に破産の申立て、民事再生法（平成11年法律第225号）の申立て、会社更生手続開始の申立てがあるなど、経営状態が著しく不健全と認められるとき。
 - カ 受注者が、制限行為能力者となり又は居所不明になったとき。
 - キ 本条項各号に定めるもののほか、受注者がこの契約のいずれかの条項に違反したとき。
- 2) 当機構は、受注者が次のいずれかに該当すると認められるときは、何らの催告を要せず、本契約を解除することができる。また、当機構は、これらの規定により本契約を解除した場合は、これにより受注者に生じた損害について、何ら賠償ないし補償することを要しない。
- ア 役員等（受注者が個人である場合はその者、法人である場合はその役員（業務を執行する社員、取締役、執行役及びこれらに準じる者）又はその支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。以下、同じ。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下、同じ）、暴力団関係企業、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下、同じ。）若しくはそれに準じる者であるとき。
 - イ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団、暴力団関係企業、暴力団員若しくはそれに準じる者を利用するなどしているとき。
 - ウ 役員等が、暴力団、暴力団関係企業、暴力団員若しくはそれに準じる者に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。
 - エ 役員等が、暴力団、暴力団関係企業、暴力団員若しくはそれに準じる者であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき。
 - オ 役員等が、暴力団、暴力団関係企業、暴力団員若しくはそれに準じる者と社会的に非難されるべき関係を有しているとき。

カ 受注者が下請契約又は再委託その他の契約に当たり、その相手方が上記アからオまでのいずれかに該当すると知りながら、当該者と契約を締結したとき。

⑮ 契約解除時の取り扱い

- 1) 受注者が、次のいずれかに該当したときは、受注者は、当機構の請求に基づき、代金（この契約締結後、請負代金額の変更があった場合には、変更後の代金）の10分の1に相当する額を違約金として契約書に定める違約金とは別に、発注者の指定する期間内に支払わなければならない。

ア この契約に関し、受注者が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。）第3条若しくは第6条の規定に違反し、又は受注者が構成事業者である事業者団体が独占禁止法第8条第1号、同条第2号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が乙に対し、独占禁止法第7条第1項の規定若しくは独占禁止法第8条の2第1項の規定に基づく排除措置命令、又は独占禁止法第7条の2第1項の規定若しくは独占禁止法第8条の3の規定に基づく課徴金の納付命令を行い、当該排除措置命令又は納付命令が確定したとき（確定した当該納付命令が独占禁止法第63条第2項の規定により取り消された場合を含む。以下、同じ。）。

イ 公正取引委員会が、受注者又は受注者の代理人に対して独占禁止法第7条の4第7項又は第7条の7第3項の規定による課徴金の納付を命じない旨の通知を行ったとき。

ウ この契約に関し、受注者（法人にあっては、その役員又は使用人を含む。）に対し、刑法（明治40年法律第45号）第96条の6又は独占禁止法第89条第1項、第90条第1号、第95条第1項第1号、同項第3号に規定する刑が確定したとき。

- 2) 受注者が、前項の違約金を当機構の指定する期間内に支払わないときは、受注者は、当該期間を経過した日から支払をする日までの日数に応じ、未支払金額に対し、政府契約の支払遅延に対する遅延利息の率を定める告示で定める率を乗じて計算した金額を遅延利息として当機構に支払わなければならない。

- 3) 1)の規定は、当機構に生じた実際の損害の額が違約金の額を超過する場合において、当機構がその超過分の損害につき賠償を請求することを妨げない。

- 4) 当機構が、上記⑭の規定により、この契約の全部又は一部を解除した場合は、受注者は、代金（一部解除の場合は、解除部分に相当する代金）の100分の20に相当する金額を乙から違約金として当機構に対して支払わなければならない。

ただし、その額が100円未満であるとき又は上記⑭に定める場合において、受注者の責に帰しがたい事由があるときは、これを取得しない。

- 5) 4)の規定は、発注者に生じた実際の損害の額が違約金の額を超過する場合において、当機構がその超過分の損害につき賠償を請求することを妨げない。

6) 当機構又は受注者は上記⑭に基づき、本契約を解除し、又は相手方が本契約に違反したときは、これにより被った損害の賠償を相手方に請求することができる。損害賠償の範囲及び額について、当機構及び受注者は誠実に協議する。

⑯ 不可抗力免責

受注者は、上記事項にかかわらず、不可抗力により本業務の全部若しくは一部の履行が遅延又は不能となった場合は当該責任を負わないものとする。

⑰ 契約の解釈

本契約に関して疑義が生じた事項については、その都度、受注者と当機構が協議するものとする。

9. 公共サービス実施民間事業者が本業務を実施するに当たり、第三者に損害を加えた場合において、その損害の賠償に関し契約により当該公共サービス実施民間事業者が負うべき責任（国家賠償法の規定により国の行政機関等が当該損害の賠償の責めに任ずる場合における求償に応ずる責任を含む。）に関する事項（法第14条第2項第10号）

本契約を履行するに当たり、受注者又はその職員その他の当該公共サービスに従事する者が、故意又は過失により、当該公共サービスの受益者等の第三者に損害を加えた場合には、次に定めるところによるものとする。

（1）当機構が国家賠償法（昭和22年法律第125号）第1条第1項等に基づき当該第三者に対する賠償を行ったときは、当機構は当該受注者に対し、当該第三者に支払った損害賠償額（当該損害の発生について当機構の責めに帰すべき理由が存する場合は、当機構が自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分に限る。）について求償することができる。

（2）当該受注者が民法（明治29年法律第89号）第709条等に基づき当該第三者に対する賠償を行った場合であって、当該損害の発生について当機構の責めに帰すべき理由が存するときは、当該受注者は当機構に対し、当該第三者に支払った損害賠償額のうち自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分について求償することができる。

10. 対象公共サービスに係る第7条第8項に規定する評価に関する事項（法第14条第2項第11号）

（1）実施状況に関する調査の時期

総務大臣が行う評価の時期（令和12年6月を予定）を踏まえ、当該業務の実施状況については、令和12年3月末日時点における状況を調査するものとする。

（2）調査の方法

当機構は、受注者が実施した業務の内容について、その評価が的確に実施されるよう

に、実施状況等の調査を行うものとする。

調査方法は、仕様書に定める各業務の履行状況の詳細点検による。

(3) 調査項目

① 仕様書の以下各業務に定める各項目の遵守状況

- I 統括責任者業務
- II 定期点検及び保守業務
- III 日常点検及び運転・監視業務
- IV 警備業務

② 仕様書に定める各成果品（業務計画書及び業務報告書等）の提出・整備状況

(4) 実施状況等の提出

当機構は、上記調査項目に関する内容を取りまとめた本事業の実施状況等について、(1)の評価を行うために令和12年6月を目途に総務大臣及び監理委員会へ提出するものとする。なお、当機構は、本業務の実施状況等の提出に当たり当機構における契約室長及び施設室長に報告を行い、承認を得るものとする。

11. その他対象公共サービスの実施に関し必要な事項

(1) 対象公共サービスの監督上の措置等の監理委員会への報告

当機構は、法第26条及び第27条に基づく報告徴収、立入検査、指示等を行った場合には、その都度、措置の内容及び理由並びに結果の概要を監理委員会へ報告することとする。

(2) 当機構の監督体制

本契約に係る監督は、契約担当官等が、自ら又は補助者に命じて、立会い、指示その他の適切な方法によって行うものとする。

本業務の実施状況に係る監督は、上記8(1)③により行うこととする。

(3) 主な受注者の責務等

① 受注者の責務等

本業務に従事する者は、刑法（明治40年法律第45号）その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなされる。

② 法第54条の規定により、本業務の実施に関し知り得た秘密を漏らし、又は盗用した者は、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処される。

③ 法第55条の規定により、報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して答弁をせず、若しくは虚偽の答弁をし

た者、あるいは指示に違反した者は、30 万円以下の罰金に処される。

- ④ 法第 56 条の規定により、法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関し、法第 55 条の違反行為をしたときは、行為者が罰せられるほか、その法人又は人に対して同条の刑が科される。

- ⑤ 会計検査について

受注者は、公共サービスの内容が会計検査院法（昭和 22 年法律第 73 号）第 23 条第 1 項第 7 号に規定する「事務若しくは業務の受託者」に該当し、会計検査院が必要と認めるときには、同法第 25 条及び第 26 条により、会計検査院の実地の検査を受けたり、同院から直接又は当機構（発注者）を通じて、資料・報告等の提出を求められたり質問を受けたりすることがある。

（４）評価等の実施

当機構は、当機構に設置されている契約監視委員会により、落札者決定のための評価、本業務の実施状況の評価等を受けることとする。

評価項目一覧表

別紙1

件名 国立研究開発法人情報通信研究機構 本部建物設備維持管理等業務
 提案者 評点者

業務提案書審査における評価項目			①必須項目 条件 (○:必須)	②加点条件 項目 (満たす場合、 記載の点数を 加点)
分類	評価項目	評価対象となる 提出書類		
実施体制	1 契約に係る代表責任者及び統括責任者が決まっているか。	様式1 実施体制図(案)	○	—
	2 各業務責任者及び業務作業員について、仕様書で求める体制及び人数が確保されているか。	様式1 実施体制図(案)	○	—
	3 統括責任者、電気設備責任者、機械設備責任者及び入退室管理システム運用作業員については、対象者が休暇等により不在となった場合に代理で業務を行う者を、それぞれ副統括責任者、電気設備副責任者、機械設備副責任者及び入退室管理システム作業員代理として事前に各1名以上指定されているか。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	4 業務の一部の再委託を予定する場合において、予定する再委託先が示されているか。	様式5 業務工程表(令和●年度)(案)	○	—
	5 緊急時の体制及び対応方法が計画されているか。	様式8 緊急時の体制及び対応方法(案)	○	—
	6 警備業務に関して公安委員会から警備業の認定を受けている。	様式4 業務の質の確保等に関する事項(案)	○	—
	7 警備シフト(最初の1か月分)が仕様書に準拠して作成されている。	様式3 警備業務月間シフト表(案)	○	—
業務の質の確保	8 ISO9001(品質)の認証を取得しているか。	様式4 業務の質の確保等に関する事項(案)	—	3
	9 ISO14001(環境マネジメントシステム)認証、エコアクション21の認証・登録のいずれかもしくは両方を取得しているか。	様式4 業務の質の確保等に関する事項(案)	—	3
	10 情報セキュリティ又は個人情報体制を構築しているか。(ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)の認証又はプライバシーマーク(個人情報保護)の認証を取得しているか。)	様式4 業務の質の確保等に関する事項(案)	—	1
	11 従業員の資格取得について支援制度があるか	様式4 業務の質の確保に関する事項(案)	—	2
	12 仕様書に基づく業務遂行能力の維持・向上のための社内研修の実施計画について、少なくとも年度内に1回計画されているか。(各業務責任者及び担当者の全員を対象に、業務に係る研修)	様式4 業務の質の確保に関する事項(案)	○	—
	13 仕様書に基づく業務遂行能力の維持・向上のための社内研修の実施計画について、毎年度の研修に、防災(火災及び地震)に関する内容が組み込まれているか。	様式4 業務の質の確保に関する事項(案)	—	2
	14 当機構が必要とする役務について、特記仕様書「6 業務体制」の人員・規模および特記仕様書別添Ⅰ～Ⅳの業務内容に相当するサービス提供の実績を有する者であるか。	様式6 同種業務の履行実績一覧	○	—
ワーク・ライフ・バランス等の推進状況※1	15 女性活躍推進法に基づく認定(えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)等	プラチナえるぼし※2	—	5
		えるぼし3段階目※3	—	4
		えるぼし2段階目※3	—	3
		えるぼし1段階目※3	—	2
		行動計画※4	—	1

業務提案書審査における評価項目						
分類		評価項目		評価対象となる 提出書類	①必須項目 条件 (○:必須)	②加点条件 項目 (満たす場合、 記載の点数を 加点)
	16	次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業)	プラチナくるみん※5	様式4 業務の質の確保に関する事項(案)	—	5
			くるみん(令和7年4月1日以降の基準)※6		—	4
			くるみん(令和4年4月1日～令和7年3月31日までの基準)※7		—	3
			トライくるみん(令和7年4月1日以降の基準)※8		—	3
			くるみん(平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準)※9		—	3
			トライくるみん(令和4年4月1日～令和7年3月31日までの基準)※10		—	3
			くるみん(平成29年3月31日までの基準)※11		—	2
			行動計画(令和7年4月1日以降の基準)※4、12		—	1
	17	若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業)		—	4	
業務工程	18	業務開始までの業務計画書作成及び従業員の教育・研修等のスケジュールが示されている。	様式7 業務開始までのスケジュール(案)	○	—	
	19	契約期間内の各年度(令和8～12年度)の業務工程表(各業務について、何月に実施かを示したもの)が仕様書に準拠して作成されている。	様式5 業務工程表(令和●年度)(案)	○	—	
配置人員の資格・能力	統括責任者	20	建築物環境衛生管理技術者の資格を有していること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
		21	防火管理者技能講習修了証を受けていること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
		22	専任の統括責任者として同等規模(延べ床面積50,000㎡)以上の施設における業務の実務経験が3年以上あること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
		23	Microsoft社のWord、Excel及びOutlookを業務に支障なく使用できる。 なお、求める水準は以下のとおりとする。 Word: 報告書等の文書作成 Excel: 四則演算及び表作成 Outlook: メール作成並びにこれによる報告、連絡、相談及び進行管理等	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
		24	常駐可能であること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
		25	エネルギー管理士の資格を有するか	様式2 業務従事者名簿(案)	—	3
	電気設備責任者	26	第二種電気主任技術者の資格を有しており、当機構本部における電気事業法に基づく電気主任技術者としての選任が可能であること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
27		休日及び夜間、守衛室にて電気設備の異常を察知し、かつ保安管理上緊急の電気設備点検の必要があると判断された場合、電気設備責任者が、異常の察知から2時間以内に本部に到達できること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—	
28		受変電設備の点検整備業務について、実務経験及び作業の指導・管理の経験が合計15年以上あること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—	

業務提案書審査における評価項目						①必須項目 条件 (○:必須)	②加点条件 項目 (満たす場合、 記載の点数を 加点)
分類	評価項目		評価対象となる 提出書類				
機械設備責任者	29	・Microsoft社のWord及びOutlookを業務に支障なく使用できること。 なお、求める水準は以下のとおりとする。 Word: 報告書等の文書作成 Outlook: メール作成並びにこれによる報告、連絡、相談及び進行管理等	様式2 業務従事者名簿(案)		○	—	
	30	常駐可能であること。	様式2 業務従事者名簿(案)		○	—	
	31	第一種電気主任技術者の資格を有するか	様式2 業務従事者名簿(案)		—	3	
	32	建築物環境衛生管理技術者の資格を有していること。	様式2 業務従事者名簿(案)		○	—	
	33	乙種四類危険物取扱者以上の資格を有していること。	様式2 業務従事者名簿(案)		○	—	
	34	機械設備責任者として同等規模(延べ床面積50,000㎡)の施設における業務の実務経験が5年以上あること。	様式2 業務従事者名簿(案)		○	—	
	35	Microsoft社のWord及びOutlookを業務に支障なく使用できること。 なお、求める水準は以下のとおりとする。 Word: 報告書等の文書作成 Outlook: メール作成並びにこれによる報告、連絡、相談及び進行管理等	様式2 業務従事者名簿(案)		○	—	
	36	常駐可能であること。	様式2 業務従事者名簿(案)		○	—	
	37	エネルギー管理士の資格を有するか	様式2 業務従事者名簿(案)		—	3	
	38	二級ボイラー技士の資格を有するか	様式2 業務従事者名簿(案)		—	2	
	39	一級ボイラー技士以上の資格を有するか(前項と重複加点しない。)	様式2 業務従事者名簿(案)		—	3	
	40	第三種冷凍機械責任者の資格を有するか	様式2 業務従事者名簿(案)		—	2	
	41	第二種冷凍機械責任者以上の資格を有するか(前項と重複加点しない。)	様式2 業務従事者名簿(案)		—	3	
	42	防火管理者技能講習修了証を受けているか。	様式2 業務従事者名簿(案)		—	2	
警備責任者	43	施設警備業務検定二級又は一号警備員指導教育責任者の資格を有すること。	様式2 業務従事者名簿(案)		○	—	
	44	警備責任者として同等規模(延べ床面積50,000㎡)の施設における業務の実務経験が5年以上あること。	様式2 業務従事者名簿(案)		○	—	
	45	・Microsoft社のWord及びOutlookを業務に支障なく使用できること。 なお、求める水準は以下のとおりとする。 Word: 報告書等の文書作成 Outlook: メール作成並びにこれによる報告、連絡、相談及び進行管理等	様式2 業務従事者名簿(案)		○	—	
	46	警備業法第14条第1項に抵触しない、健康な身体を有していること。	様式2 業務従事者名簿(案)		○	—	

業務提案書審査における評価項目					
分類	評価項目		評価対象となる提出書類	①必須項目条件 (○:必須)	②加点条件項目 (満たす場合、記載の点数を加点)
電気設備作業員	47	常駐可能であること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	48	配置予定者のうち1名が一級施設警備業務の資格を有するか	様式2 業務従事者名簿(案)	—	1
	49	配置予定者のうち2名が一級施設警備業務の資格を有するか(前項と重複加点しない。)	様式2 業務従事者名簿(案)	—	2
	50	配置予定者3名全員が一級施設警備業務の資格を有するか(前項及び前々項と重複加点しない。)	様式2 業務従事者名簿(案)	—	3
	51	第二種電気主任技術者又は第二種電気工事士の資格を有していること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	52	電気設備作業員としての実務経験が5年以上あること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	53	常駐可能であること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	54	第一種電気工事士の資格を有している者を1名以上配置しているか	様式2 業務従事者名簿(案)	—	2
機械設備作業員	55	設備作業員として同等規模(延べ床面積50,000㎡)の施設における業務の実務経験が5年以上あること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	56	常駐可能であること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	57	乙種四類危険物取扱者以上の資格を有する者を3名以上配置しているか	様式2 業務従事者名簿(案)	—	2
	58	二級ボイラー技士以上の資格を有する者を1名以上配置しているか	様式2 業務従事者名簿(案)	—	2
	59	三種冷凍機械責任者以上の資格を有する者を1名以上配置しているか	様式2 業務従事者名簿(案)	—	2
警備作業員	60	警備作業員として実務経験が3年以上あること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	61	警備業法第14条第1項に抵触しない、健康な身体を有していること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	62	常駐可能であること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	63	施設警備業務二級以上の資格を有する者を常時1名以上配置しているか	様式2 業務従事者名簿(案)	—	2
入退室システム運用作業員	64	業務システム(経理等何でもよい)の操作を伴う事務系業務又は業務システムの運用業務について1年以上の従事経験があること	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	65	Microsoft社のWord、Excel及びOutlookを業務に支障なく使用できること。 なお、求める水準は以下のとおりとする。 Word: 報告書等の文書作成 Excel: 四則演算及び表作成 Outlook: メール作成並びにこれによる報告、連絡、相談及び進行管理等	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	66	常駐可能であること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	67	ITパスポート又は同等以上の資格を有する者を配置しているか	様式2 業務従事者名簿(案)	—	1

業務提案書審査における評価項目				①必須項目 条件 (○:必須)	②加点条件 項目 (満たす場合、 記載の点数を 加点)
分類	評価項目		評価対象となる 提出書類		
受付作業員	68	受付業務に関する実務経験が3年以上あること。(2名のうち1名以上)	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	69	英語検定二級程度の英語(社会生活に必要な英語、日常的・社会的な話題に対応できる英語)を用いた会話ができる者であること。(2名のうち1名以上。68との重複も可とする)	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	70	常駐可能であること。	様式2 業務従事者名簿(案)	○	—
	71	69を満たす者のうち英語検定二級以上(TOIEC520点程度)を有する者を常時1名配置しているか	様式2 業務従事者名簿(案)	—	2
	72	69を満たす者のうち英語検定二級以上(TOIEC520点程度)を有する者を常時2名配置しているか(前項と重複加しない。)	様式2 業務従事者名簿(案)	—	3
計				基礎得点 50点	加点項目得点 50点
				合計 100点	

- ※1 複数の認定等に該当する場合は、最も配点が高い区分により評価を行うものとする。
- ※2 女性活躍推進法第12条の規定に基づく認定
- ※3 女性活躍推進法第9条の規定に基づく認定 なお、労働時間等の働き方に係る基準は満たすことが必要。
- ※4 常時雇用する労働者の数が100人以下の事業主に限る(計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ)
- ※5 次世代法第15条の2の規定に基づく認定
- ※6 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、次世代育成支援対策推進法施行規則の一部を改正する省令(令和6年厚生労働省令第146号。以下「令和6年改正省令」という。)による改正後の次世代育成支援対策推進法施行規則(以下「新施行規則」という。)第4条第1項第1号及び第2号の基準による認定
- ※7 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、令和6年改正省令による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条第1項第1号及び第2号又は令和6年改正省令附則第2条第2項の規定によりなお従前の例によることとされた令和6年改正省令による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条第1項第1号及び第2号の基準による認定(ただし、※9及び※11の認定を除く。)
- ※8 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、新施行規則第4条第1項第3号及び第4号の基準による認定
- ※9 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、次世代育成支援対策推進法施行規則の一部を改正する省令(令和3年厚生労働省令第185号。以下「令和3年改正省令」という。)による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条又は令和3年改正省令附則第2条第2項の規定によりなお従前の例によることとされた令和3年改正省令による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条の基準による認定(ただし、※11の認定を除く。)
- ※10 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、令和6年改正省令による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条第1項第3号及び第4号又は令和6年改正省令附則第2条第2項の規定によりなお従前の例によることとされた令和6年改正省令による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条第1項第3号及び第4号の基準による認定
- ※11 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、次世代育成支援対策推進法施行規則等の一部を改正する省令(平成29年厚生労働省令第31号。以下「平成29年改正省令」という。)による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条又は平成29年改正省令附則第2条第3項の規定によりなお従前の例によることとされた平成29年改正省令による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条の基準による認定
- ※12 次世代法第12条の規定に基づく一般事業主行動計画のうち、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律(令和6年法律第42号)による改正後の次世代法第12条第5項の規定に基づき令和7年4月1日以後に策定又は変更を行ったもの
- ※13 複数の規定に該当する場合も、3点とする。

この表は、民間競争入札に使用

別紙2

従来の実施状況に関する情報の開示

1 従来の実施に要した経費

(単位:千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
委託費(税抜)	146,913	154,012	174,646	
計(a)	146,913	154,012	174,646	

(注記事項:委託費の内訳は下記のとおり)

2. 委託費の内容

(単位:千円)

内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
I 統括業務	7,332	7,332	7,332	
II 定期点検及び保守業務	27,361	30,027	48,338	
III 運転監視業務	47,304	51,738	54,060	
IV 警備業務	64,916	64,915	64,916	
	146,913	154,012	174,646	

2 従来の実施に要した人員

(単位:人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
統括責任者	1	1	1
電気設備責任者	1	1	1
機械設備責任者	1	1	1
電気設備作業員 (電気設備副責任者を含む)	3	3	3
機械設備作業員 (機械設備副責任者を含む)	10	10	8
警備責任者	4	3	3
警備作業員	10	11	11
入退室管理システム運用作業員	2	3	2
受付作業員	10	8	8
計	42	41	38

※各年度、年度で最後に提出された従事者名簿に記載されている人員(代替要員を除く。)を計上するもの。

(業務従事者に求められる知識・経験等)

実施要項別紙1 評価項目一覧表参照

(業務の繁閑の状況とその対応)

特になし。

(注記事項)

3 従来の実施に要した施設及び設備

(施設概要)	
施設名：	国立研究開発法人情報通信研究機構本部
所在地：	東京都小金井市貫井北町4-2-1
敷地面積：	120583.61㎡
建物建面積：	22,980.38㎡
建物延面積：	64,474.07㎡
建築年：	(以下、主な建物のみ抜粋) 研究本館(1号館)：平成13(2001)年 2号館：平成15(2003)年 3号館：平成23(2011)年 4号館：昭和56(1981)年 5号館：平成9(1997)年 6号館：平成12(2000)年 量子セキュリティ・協創棟：令和4(2022)年
(注記事項)	
・原則として、業務を実施するために必要な道具は無償で貸与する。(仕様書で指定のある場合を除く。)	
・業務を実施するための光熱水費は全て受託者が負担する。(仕様書で指定のある場合を除く。)	

4 従来の実施における目的の達成の程度

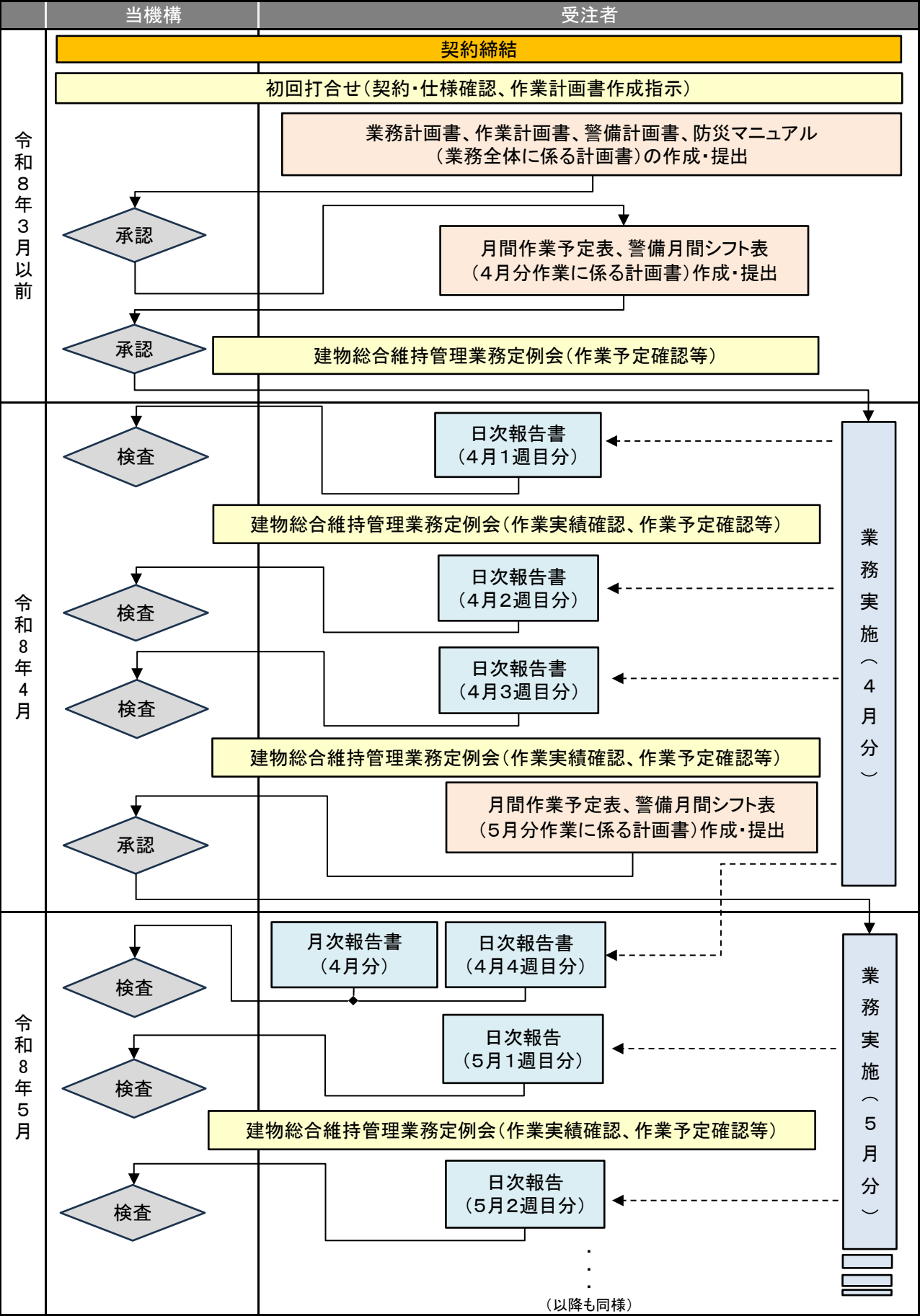
単位：件

項目				令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	状態	主要事項	指標	目標	実績	目標	実績	目標	実績
平常時		安全性の確保	受注者の管理の不備に起因する施設内でのけが・物損事故が発生しないこと	0	0	0	0	0	0
					けが:0 物損事故:0		けが:0 物損事故:0		けが:0 物損事故:0
		業務継続性の確保	受注者の管理の不備に起因する停電・空調停止・断水が発生しないこと。	0	0	0	0	0	0
					停電:0 空調停止:0 断水:0		停電:0 空調停止:0 断水:0		停電:0 空調停止:0 断水:0
		環境への配慮	産業廃棄物の違法な処理(不法投棄)が発生しないこと。	0	0	0	0	0	0
緊急時	業務継続性の確保	落雷又は事故により全館停電が発生した場合、電気主任技術者が2時間以内に駆け付けられないことによる調査・処置の遅れが発生しないこと。	0	0	0	0	0	0	
				落雷等による全館停電: 0件 駆け付け遅れ: 0件		落雷等による全館停電: 0件 駆け付け遅れ: 0件		落雷等による全館停電: 0件 駆け付け遅れ: 0件	
計				0	0	0	0	0	0

5 従来の実施方法等

従来の実施方法（業務フロー図等）

1. 業務フロー図については、以下のとおりです。



2. 従来業務の業務分担及び民間競争入札による業務分担の関係は別添の業務区分表のとおりです

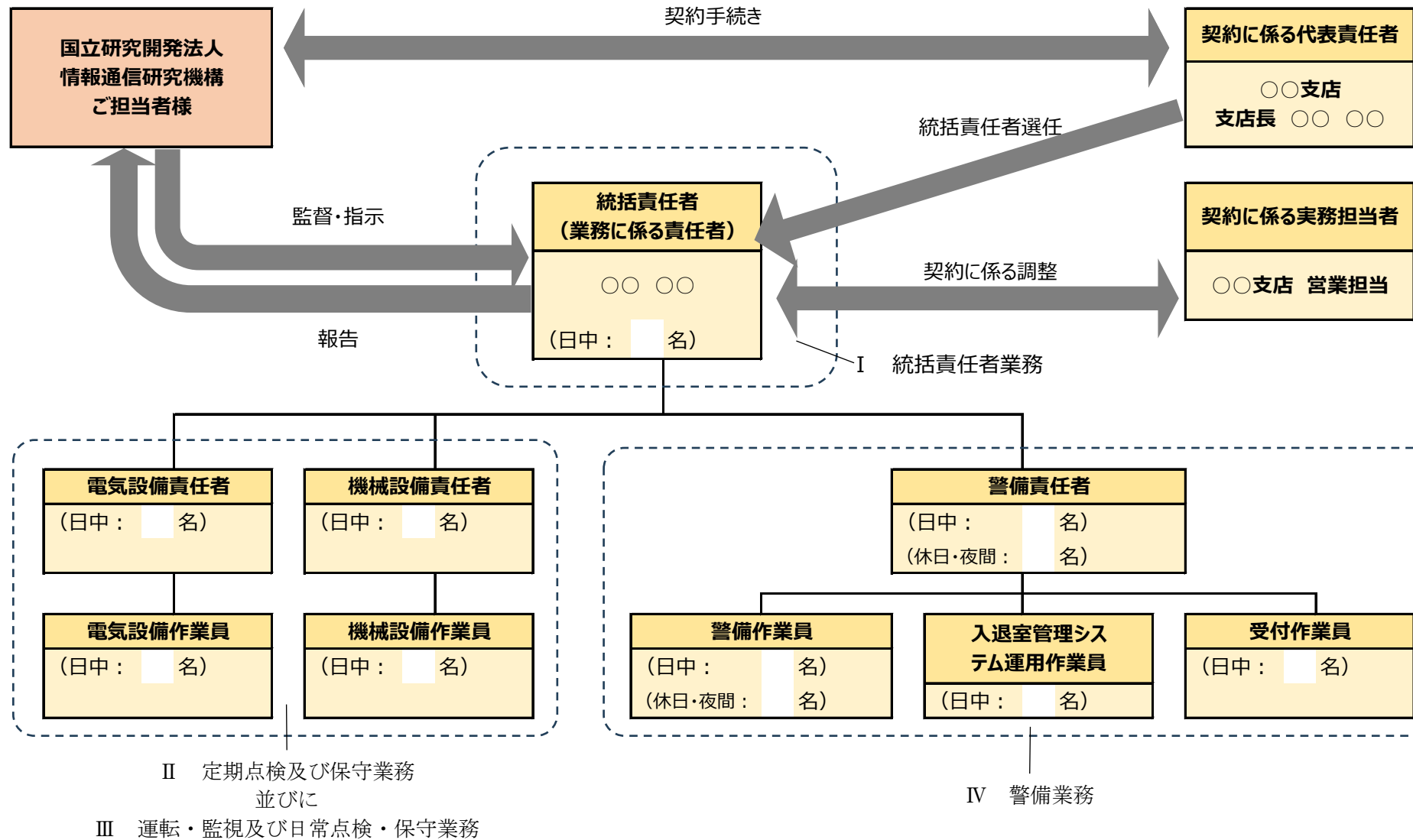
業務区分表

業務 種別	大項目	中項目	小項目	頻度	現状			民間競争入札		
					当機構	A (主な 受託者)	A以外の 事業者	当機構	B (主な 受託者)	B以外の 事業者
Ⅰ 統括責任者業務	2 計画書・報告書作成	(1) 業務計画書等提出	業務計画書	1Y(各年度業務開始前)		○			○	
			作業計画書	1Y(各年度業務開始前)		○			○	
			警備計画書	1Y(各年度業務開始前)		○			○	
			防災マニュアル	1Y(各年度業務開始前)					○	
			月間作業予定表	1M		○			○	
			警備業務月間シフト表	1Y		○			○	
		(2) 各種報告書提出		1Y, 1M		○			○	
		(3) 進捗点検		1Y		○			○	
	3 教育研修	業務に係る社員研修実施		1以上/Y					○	
	4 訓練・イベント対応	(1) 自衛消防訓練協力・参加		1Y		○			○	
		(2) 危険物取扱施設緊急事態対応訓練に協力・参加		1Y		○			○	
		(3) オープンハウス協力		1Y		○			○	
	6 分析・提案	(1) 課題一覧表		6M		○			○	
		(2) 省エネ分析		6M		○			○	
		(3) 警備業務分析		6M		○			○	
		(4) 改善提案		6M		○			○	
	7 打合せ	建物総合維持管理業務定例会		2/M		○			○	
Ⅱ 定期点検及び保守業務	【1 建築】	1－1. 建築物定期点検		1Y		○			○	
		1－2. 建築基準法に基づく定期点検（12条点検）		1Y		○			○	
		1－3. 雨樋及び雨水枡清掃		6M		○			○	
		1－4. 自動ドア保守点検		3M		○			○	
		1－5. 道路標識定期点検		5Y			○		○	
	【2 電気設備】	2－1. 電気設備定期点検	年次点検	1Y		○			○	
			細密点検	3Y		○			○	
		2－2. 発電設備用オイルタンク点検	地下埋設設置15年超又は屋内	1Y		○			○	
			地下埋設設置15年未満	3Y		○			○	
		3－1. 温熱源機器定期点検	真空式温水発生機・無圧式温水発生機		6M		○		○	
		3－2. 冷熱源機器定期点検	(1) チリングユニット	IN点検	1Y		○		○	
				ON点検	1M		○		○	
				OFF点検	1Y		○		○	
			(2) 空気熱源ヒートポンプユニット	IN点検	1Y		○		○	
				ON点検	1M		○		○	
				OFF点検	1Y		○		○	
			(3) 直だき吸収冷温水機	IN点検	6M		○		○	
				ON点検	6M		○		○	
				OFF点検	6M		○		○	
			(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器（個別空調）	IN点検	6M		○		○	
				ON点検	6M		○		○	
				OFF点検	6M		○		○	
			(5) 氷蓄熱ユニット	IN点検	6M		○		○	
				OFF点検	6M		○		○	
			(6) 冷却塔	IN点検	1Y		○		○	
				ON点検	1M		○		○	
				OFF点検	1Y		○		○	
		3－3. 空気調和等関連機器定期点検	(1) 熱交換器等（ヘッダー及び密閉式膨張タンクを含む。）	IN点検	1Y		○		○	
				ON点検	1M		○		○	
			(2) 還水タンク・開放形膨張タンク		1Y		○		○	
			(3) ①ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機	IN点検	6M		○		○	
				ON点検	1M		○		○	
			(3) ②空気清浄装置	1M点検	1M		○		○	
				6M点検	6M		○		○	
				1Y点検	1Y		○		○	
			(4) ファンコイルユニット	IN点検	6M		○		○	
				1M点検	1M		○		○	
				6M点検	6M		○		○	
				1Y点検	1Y		○		○	
			(6) 送風機	6M点検	6M		○		○	
				1Y点検	1Y		○		○	
			(7) 全熱交換機	6M点検	6M		○		○	
				1Y点検	1Y		○		○	
	3－4. 給排水衛生機器定期点検	(1) 受水タンク・高置タンク	①点検	1Y		○			○	
			②清掃	1Y		○			○	
		(2) 汚水槽・雑排水槽	①点検	6M		○			○	
			②清掃	6M		○			○	
		(3) ポンプ（給排水衛生用）	①陸上	6M		○			○	
			②排水	6M		○			○	
		(4) ガス湯沸器	1M点検	1M		○			○	

業務 種別	大項目		中項目	小項目	頻度	現状			民間競争入札			
						当機構	A （主な 受託者）	A以外の 事業者	当機構	B （主な 受託者）	B以外の 事業者	
		3－5．空調機用水 水質管理	①空調機器用水の水質 管理	6M点検	6M		○			○		
				1Y点検	1Y		○			○		
				1M点検	1M		○			○		
				1Y点検	1Y		○			○		
		3－6．上下水道水 質検査	②空調機器用水薬品投入			随時		○			○	
				①下水道水質検査	3M項目	3M		○			○	
					1Y項目	1Y		○			○	
				②上水道水質検査	6M項目	6M		○			○	
		1Y項目	1Y			○			○			
		3－7．法令に基づくばい煙測定				6M		○			○	
		3－8．フロン排出 抑制法に基づく空調 設備簡易点検	①チリングユニット			3M		○			○	
			②空冷ヒートポンプユニット			3M		○			○	
			③空冷ヒートポンプパッケージ形空気調和 器（個別空調）			3M		○			○	
			④氷蓄熱ユニット			3M		○			○	
		3－9．空調用エア フィルタ清掃	①空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調 和器（個別空調）			3M		○			○	
			②ユニット形空気調和機・コンパクト形空 気調和機			6M		○			○	
			③ファンコイルユニット			6M		○			○	
			④空気清浄装置			6M		○			○	
			⑤全熱交換機			6M		○			○	
		3－10．熱源機器保 守点検	（１）研究本館氷蓄熱 システム	本体整備点検	1Y		○			○		
				ON点検（冷房ON）	1Y		○			○		
				ON点検（冷暖房ON）	2/Y		○			○		
				OFF点検	1Y		○			○		
			（２）2号館氷蓄熱シ ステム	年次点検	1Y		○			○		
				3M点検	4/Y		○			○		
				2M点検	2M		○			○		
			（３）2号館スク リュー冷凍機	IN点検	1Y		○			○		
				ON点検	4/Y		○			○		
	（４）2号館空冷ヒート ポンプチラー				2/Y		○			○		
	（５）3号館温水発生 機	定期点検	3/Y		○			○				
		総合点検	1Y		○			○				
	3-11．浄水器カートリッジ交換				1Y		○			○		
	3－12．喫煙システ ム保守点検	①研究本館喫煙システム			1M		○			○		
		②3号館・4号館喫煙 システム	奇数月点検	2M		○			○			
			偶数月点検	2M		○			○			
			毎月点検	1M		○			○			
	3－13．省エネ分析に必要な資料作成				1M		○			○		
	3－14．省エネ法に 基づく定期報告等に 係る支援	①定期報告書の作成に係る支援			1Y	○				○		
		②エネルギー管理標準への適合状況の点検			1Y	○				○		
	3－15．業務に関する消耗品在庫点検				1M		○			○		
	御【 設 備 】監 視 制	4．空調中央監視制 御装置定期点検	5号館・6号館	1M点検	1M		○			○		
				1Y点検	1Y							
							○			○		
		5－1．消防用設備 等定期点検	機器点検			6M		○			○	
			総合点検			1Y		○			○	
		5－2．防災管理点 検	防災管理点検			1Y		○			○	
		建【 築 】1	1．建築日常点検		1D点検	1D		○			○	
					1M点検	1M		○			○	
					3M点検	3M		○			○	
気【 設 備 】電		2．電気設備日常運 転・監視		1D点検	1D		○			○		
				1W点検	1W		○			○		
	1M点検			1M		○			○			
【 3 ・ 機 械 設 備 】	3－1．温熱源機器 運転・監視及び日常 保守	真空式温水発生機・無 圧式温水発生機	運転・監視記録	2H		○			○			
			作業	1D		○			○			
	3－2．冷熱源機器 運転・監視及び日常 保守	（１）チリングユニッ ト	運転・監視記録	1D		○			○			
			作業	1D		○			○			
		（２）空気熱源ヒート ポンプユニット	運転・監視記録	1D		○			○			
			作業	1D		○			○			
		（３）直だき吸収冷温 水機	運転・監視記録	4/D		○			○			
			作業	1D		○			○			
		（４）氷蓄熱ユニット	運転・監視記録	1D		○			○			
			作業	1D		○			○			
	3－3．空気調和等 関連機器運転・監視 及び日常保守	（１）熱交換器等（ヘッダー及び密閉式膨 張タンクを含む。）		1M		○			○			
		（２）冷却塔		1W		○			○			
		（３）①ユニット形空気調和機・コンパク ト形空気調和機		1M		○			○			
		（３）②空気清浄装置		1M		○			○			
		（４）ファンコイルユニット		1M		○			○			

実施体制図（案）

（記載例）



業務従事者名簿（案）

1. 「Ⅰ 統括業務」、「Ⅱ 定期点検及び保守業務」並びに「Ⅲ 運転・監視及び日常点検・保守業務」従事者

[illegible]

※各資格の正式名称は以下のとおり。

ビル管：建築物環境衛生管理技術者
冷凍機：冷凍機械責任者

電験：電気主任技術者
危険物乙四：乙種四類危険物取扱者

電工：電気工事士
防火管理：防火管理者技能講習修了者

ボイラー：ボイラー技士
エネ管：エネルギー管理士

2. 「IV 警備業務」従事者

No.	職責・担当等	氏名	よみがな (ローマ字)	性 別	年 齢	保有資格（※） （保有の場合"○"）													実務 経験 年数 (年)	常駐	Officeソフト使用 (可能な場合"○")			副責任者又 は副担当の 指定等
						指導 教育	施設警備		自衛 消防	防災 センター	救命		英検			TOEIC 520～	英検2級 同等以上	ITパス 同等以上			Word	Excel	Outlo ok	
							二級	一級			普通	上級	準二級	二級	準一級									
1	警備責任者																							
2	警備責任者																							
3	警備責任者																							
4	警備作業員																							
5	警備作業員																							
6	警備作業員																							
7	警備作業員																							
8	警備作業員																							
9	警備作業員																							
10	警備作業員																							
11	警備作業員																							
12	警備作業員																							
13	警備作業員																							
14	入退室管理システ ム運用作業員																							
15	受付作業員																							
16	受付作業員																							
17	受付作業員																							
18	受付作業員																							
19	受付作業員																							
20	受付作業員																							
21	受付作業員																							
22	受付作業員																							
計																								

※各資格の正式名称は以下のとおり。

指導教育：一号警備員指導教育責任者

施設警備：施設警備業務検定

自衛消防：自衛消防業務講習修了者

防災センター：防災センター要員講習修了者

救命：救命講習修了者

英検：英語検定

TOEIC：Test of English for International Communication

ITパス：ITパスポート

Word：報告書等の文書作成

Excel：四則演算及び表作成

Outlook：メール作成並びにこれによる報告、連絡、相談及び進行管理

警備業務月間シフト表（案）

別紙3－3【様式3】

○：出勤

区分	No.	職責・担当等	氏名	R8(2026)年4月																														計
				1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火	22 水	23 木	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	
警備	1	警備責任者																														0		
	2	警備責任者																														0		
	3	警備責任者																														0		
	4	警備作業員																														0		
	5	警備作業員																														0		
	6	警備作業員																														0		
	7	警備作業員																														0		
	8	警備作業員																														0		
	9	警備作業員																														0		
	10	警備作業員																														0		
	11	警備作業員																														0		
	12	警備作業員																														0		
	13	警備作業員																														0		
	14	警備作業員																														0		
	計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
システム運用	1	入退室管理システム運用作業員																														0		
	2	入退室管理システム運用作業員																														0		
	計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
受付	1	受付作業員																														0		
	2	受付作業員																														0		
	3	受付作業員																														0		
	4	受付作業員																														0		
	5	受付作業員																														0		
	6	受付作業員																														0		
	7	受付作業員																														0		
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

警備： ：前半 6:00～18:00 ／ 後半 18:00～翌6:00

入退室管理システム ：9:00～12:00

受付 ：前半 8:30～13:00 ／ 後半 13:00～18:00

業務の質の確保等に関する事項（案）

1. 実施項目

No.	項目	実施は"○"	対象範囲及び主な取り組み	備考
1	警備業務に関して公安委員会から警備業の認定を受けている。			
2	ISO9001（品質）の認証を取得している。			
3	ISO14001（環境マネジメントシステム）の認証を取得している。			
4	情報セキュリティ又は個人情報保護に係る履行体制を構築している。	ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証を取得している。		
		プライバシーマーク（個人情報保護）の認証を取得している。		
5	ワーク・ライフ・バランス等の確保のための取り組みを実施している。	女性活躍推進法に基づく行動計画を策定している。		
		女性活躍推進法に基づくえるぼしの認定を受けている。（何段階目かも要記載）		
		次世代育成支援対策推進法に基づくくるみんの認定を受けている。（いつの時点での基準で認定を受けたかも要記載）		
		若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定企業）を受けている。		
6	従業員の資格取得のための支援制度がある。			

2. 研修計画

No.	研修又は訓練の名称	計画年月	目的	対象者	内容（項目を列举）	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

業務工程表（令和●年度分）（案）

○：予定（各項目の番号は仕様書に基づく。）

業務 種別	大項目	中項目	小項目	実施頻度	再委託有の場合 は事業者名 （※当機構から の再委託許可を 要する）	年月												備考		
						R8（2026）年										R9（2027）年				
						3月 （計画）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	
Ⅰ 統括責任者業務	2 計画書・報告書作成	(1) 業務計画書等提出	業務計画書（実施体制、全体工程、業務担当者名簿等）	1Y(事業年度開始前に提出)		○														
			作業計画書（業務ごとに、作業内容、作業手順、作業範囲、責任者、担当者、安全管理の内容等）	1Y(事業年度開始前に提出)		○														
			警備計画書（火災等を感じた場合の対応、鍵管理、駐車場管理、出入管理、巡回巡視経路等）	1Y(事業年度開始前に提出)		○														
			防災マニュアル（地震、火災、風水害及び落雷による停電並びに危険物貯蔵所の燃料漏れ等が発生した場合の準備・発生後対応等）	1Y(事業年度開始前に提出)		○														
			月間作業予定表（定期点検及び保守業務に係る各業務の作業予定日）	1M(作業対象の月の開始より1週間以上前まで)		○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分			
			警備業務月間シフト表	1M(作業対象の月の開始より1週間以上前まで)		○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分	○ 翌月分			
		(2) 各種報告書提出	月次報告	1M			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			日次報告	1W			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		(3) 進捗点検		1M			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	3 教育研修	初任研修（対象：本業務従事者全員）		1Y		○														
		〇〇研修（対象：〇〇責任者・〇〇作業員）		1Y								○								
	4 訓練・イベント対応	(1) 自衛消防訓練協力・参加		1Y										○						
		(2) 危険物取扱施設緊急事態対応訓練に協力・参加		1Y												○				
		(3) オープンハウス協力		1Y				○												
		(4) その他（あれば可能な限り）																		
	6 分析・提案	(1) 課題一覧表		6M								○						○		
		(2) 改善提案		6M								○						○		
	7 打合せ	建物総合維持管理業務定例会		2/M																

○：予定（各項目の番号は仕様書に基づく。）

業務 種別	大項目	中項目	小項目	実施頻度	再委託有の場合 は事業者名 （※当機構から の再委託許可を 要する）	年月													備考		
						R8（2026）年												R9（2027）年			
						3月 （計画）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
Ⅱ 定期点検及び保守業務	【１ 建築】	１－１．建築物定期点検		1Y										○							
		１－２．建築基準法に基づく定期点検（12条点検）		1Y										○							
		１－３．雨樋及び雨水枡清掃		6M										○							
		１－４．自動ドア保守点検		3M										○							
		１－５．道路標識定期点検		5Y										○							
	【２ 電気設備】	２－１．電気設備 定期点検	年次点検		1Y								○								
			細密点検		3Y		当年度対象外														
		２－２．発電設備 用オイルタンク点 検	地下埋設設置15年超又は屋内		1Y												○				
			地下埋設設置15年未満		3Y												○				
		３－１．温熱源機 器定期点検	真空式温水発生機・無圧式温水発生機		6M																
		３－２．冷熱源機 器定期点検	（１）チリングユニット	IN点検	1Y																
				ON点検	1M																
				OFF点検	1Y																
			（２）空気熱源ヒートポン プユニット	IN点検	1Y																
				ON点検	1M																
				OFF点検	1Y																
			（３）直だき吸収冷温水機	IN点検	6M																
				ON点検	6M																
				OFF点検	6M																
			（４）空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空気調和器 （個別空調）	IN点検	6M																
				ON点検	6M																
				OFF点検	6M																
			（５）氷蓄熱ユニット	IN点検	6M																
				OFF点検	6M																
			（６）冷却塔	IN点検	1Y																
				ON点検	1M																
				OFF点検	1Y																
		３－３．空気調和 等関連機器定期点 検	（１）熱交換器等（ヘッ ダー及び密閉式膨張タンク を含む。）	IN点検	1Y																
				ON点検	1M																
			（２）還水タンク・開放形膨張タンク		1Y																
			（３）①ユニット形空気調 和機・コンパクト形空気調 和機	IN点検	6M																
				ON点検	1M																
			（３）②空気清浄装置	1M点検	1M																
				6M点検	6M																
				1Y点検	1Y																
		（４）ファンコイルユニッ	IN点検	6M																	

○：予定（各項目の番号は仕様書に基づく。）

業務 種別	大項目	中項目	小項目	実施頻度	再委託有の場合 は事業者名 （※当機構から の再委託許可を 要する）	年月													備考		
						R8（2026）年												R9（2027）年			
						3月 （計画）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	3－4．給排水衛生	（５）ポンプ（空調用）	1M点検	1M																	
			6M点検	6M																	
			1Y点検	1Y																	
			（６）送風機	6M点検	6M																
				1Y点検	1Y																
			（７）全熱交換機	6M点検	6M																
		1Y点検		1Y																	
		（１）受水タンク・高置タンク	①点検	1Y																	
			②清掃	1Y																	
			（２）汚水槽・雑排水槽	①点検	6M																
				②清掃	6M																
			（３）ポンプ（給排水衛生用）	①陸上	6M																
				②排水	6M																
			（４）ガス湯沸器	1M点検	1M																
				6M点検	6M																
				1Y点検	1Y																
		3－5．空調機用水水質管理	①空調機器用水の水質管理	1M点検	1M																
				1Y点検	1Y																
	②空調機器用水薬品投入		随時																		
	3－6．上下水道水質検査	①下水道水質検査	3M項目	3M																	
			1Y項目	1Y																	
		②上水道水質検査	6M項目	6M																	
			1Y項目	1Y																	
	3－7．法令に基づくばい煙測定				6M																
	3－8．フロン排出抑制法に基づく空調設備簡易点検	①チリングユニット			3M																
		②空冷ヒートポンプユニット			3M																
		③空冷ヒートポンプパッケージ形空気調和器（個別空調）			3M																
		④氷蓄熱ユニット			3M																
	3－9．空調用エアフィルタ清掃	①空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器（個別空調）			3M																
		②ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機			6M																
		③ファンコイルユニット			6M																
		④空気清浄装置			6M																
		⑤全熱交換機			6M																
	3－10．熱源機器保守点検	（１）研究本館氷蓄熱システム	本体整備点検		1Y																
			ON点検（冷房ON）		1Y																
			ON点検（冷暖房ON）		2/Y																
			OFF点検		1Y																

○：予定（各項目の番号は仕様書に基づく。）

業務 種別	大項目	中項目	小項目	実施頻度	再委託有の場合 は事業者名 （※当機構から の再委託許可を 要する）	年月													備考		
						R8（2026）年												R9（2027）年			
						3月 （計画）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
		(2) 2号館氷蓄熱システム	年次点検	1Y																	
			3M点検	4/Y																	
			2M点検	2M																	
			(3) 2号館スクリー冷却機	1N点検	1Y																
				0N点検	4/Y																
			(4) 2号館空冷ヒートポンプチャラー		2/Y																
				(5) 3号館温水発生機	定期点検	3/Y															
			総合点検		1Y																
		3-11. 浄水器カートリッジ交換			1Y																
		3-12. 喫煙システム保守点検	①研究本館喫煙システム		1M																
			②3号館・4号館喫煙システム	奇数月点検	2M																
				偶数月点検	2M																
				毎月点検	1M																
		3-13. 省エネ分析に必要な資料作成			1M																
		3-14. 省エネ法に基づく定期報告等に係る支援	①定期報告書の作成に係る支援		1Y																
			②エネルギー管理標準への適合状況の点検		1Y																
		3-15. 業務に関する消耗品在庫点検			1M																
	御【4 設 備 】 監視制 備【5 ・ 防災設	4. 空調中央監視制御装置定期点検	5号館・6号館	1M点検	1M																
				1Y点検	1Y																
		5-1. 消防用設備等定期点検	機器点検		6M																
			総合点検		1Y																
		5-2. 防災管理点検	防災管理点検		1Y																
Ⅲ 運 転 ・ 監 視 及 び 日 常 点 検	築【1 ・ 建	1. 建築日常点検		1D点検	1D																
				1M点検	1M																
				3M点検	3M																
	設備【2 ・ 電気	2. 電気設備日常運転・監視		1D点検	1D																
				1W点検	1W																
				1M点検	1M																
	【3 ・ 機	3-1. 温熱源機器運転・監視及び日常保守	真空式温水発生機・無圧式温水発生機	運転・監視記録	2H																
				作業	1D																

○：予定（各項目の番号は仕様書に基づく。）

業務 種別	大項目	中項目	小項目	実施頻度	再委託有の場合 は事業者名 （※当機構から の再委託許可を 要する）	年月															備考
						R8（2026）年												R9（2027）年			
						3月 （計画）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
・ 保守業務	機設備】	3－2．冷熱源機器 運転・監視及び 日常保守	（１）チリングユニット	運転・監視記録	1D																
				作業	1D																
			（２）空気熱源ヒートポン プユニット	運転・監視記録	1D																
				作業	1D																
			（３）直だき吸収冷温水機	運転・監視記録	4/D																
				作業	1D																
			（４）氷蓄熱ユニット	運転・監視記録	1D																
				作業	1D																
		3－3．空気調和 等関連機器運転・ 監視及び日常保守	（１）熱交換器等（ヘッダー及び密閉式膨張タンクを 含む。）		1M																
			（２）冷却塔		1W																
			（３）①ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調 和機		1M																
			（３）②空気清浄装置		1M																
			（４）ファンコイルユニット		1M																
			（５）ポンプ（空調用）		1W																
			（６）送風機		1W																
			（７）全熱交換機		1W																
			（８）氷蓄熱ユニット		1W																
		3－4．給排水衛生 機器運転・監視 及び日常点検・保 守	（１）ポンプ（給排水衛生 用）	1M点検	1M																
				1W点検	1W																
			（２）受水タンク・高置タ ンク	1D点検	1D																
				1W点検	1W																
				1M点検	1M																
			（３）汚水槽・雑排水槽点 検	1W点検	1W																
				1M点検	1M																
		3－5．管球交換			随時																
	御〔4 設備〕監視 制	4．空調中央監視 制御装置日常点検		1D点検	1D																
				1W点検	1W																
Ⅳ 警備業務	【警備業務】	（１）施設警備業 務	①防犯・防災監視		常時																
			②エレベータ管理（運行管理）		定期																
			③鍵管理		随時																
			④駐車場管理		随時																
			⑤出入管理		随時																
			⑥遺失物の取扱い		随時																
			⑦巡回監視		4/D																
			⑧各種災害時の対応		随時																

○：予定（各項目の番号は仕様書に基づく。）

業務 種別	大項目		中項目	小項目	実施頻度	再委託有の場合 は事業者名 （※当機構から の再委託許可を 要する）	年月												備考			
							R8（2026）年													R9（2027）年		
							3月 （計画）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月		
			⑨急病人発生時の対応	随時																		
			⑩業務妨害への対応	随時																		
		（２）入退室管理 システム運用業務	①人事に伴う作業	随時																		
			②特定IDカード発行作業	随時																		
			③アクセス権設定変更作業	随時																		
			④電気錠の設定変更作業	随時																		
			⑤監視・分析	随時																		
		（３）受付業務	①来訪者対応	随時																		
			②職員用当日駐車場の案内	随時																		

同種業務の履行実績一覧

1. 「Ⅱ 定期点検及び保守業務」並びに「Ⅲ 運転・監視及び日常点検・保守業務」

No.	契約に関する情報				対象施設の規模		備考
	業務名（件名等）	発注者	契約期間	請負金額（円） ※「Ⅱ 定期点検及び保守業務」並びに「Ⅲ 運転・監視及び日常点検・保守業務」に関する金額のみ集計すること。	敷地面積（㎡）	延床面積（㎡）	
1			～（年間）				
2			～（年間）				
3			～（年間）				
4			～（年間）				
5			～（年間）				

2. 「Ⅳ 警備業務」

No.	契約に関する情報				対象施設の規模		備考
	業務名（件名等）	発注者	契約期間	請負金額（円） ※「Ⅳ 警備業務」に関する金額のみ集計すること。	敷地面積（㎡）	延床面積（㎡）	
1			～（年間）				
2			～（年間）				
3			～（年間）				
4			～（年間）				
5			～（年間）				

48/234

緊急時の体制及び対応方法（案）

1. 本業務における安全管理及び安全対策について具体的に記載すること。

①「Ⅱ 定期点検及び保守業務」並びに「Ⅲ 運転・監視及び日常点検・保守業務」
②「Ⅳ 警備業務」

2. 以下の事案について、事前準備、発生時の緊急対応及び当機構担当者への報告の観点から、対応案を記載すること。

①深夜 2 時、台風が直撃し、落雷により一部の建物に停電が発生した。 ア. 事前準備（教育研修や体制の構築等） イ. 発生時の緊急対応（状況の把握及び被害拡大防止策） ウ. 当機構担当者への報告（被害の状況に応じた提案等） ・〇〇の場合： ・〇〇の場合：
②空調用水の水質検査において、基準値を超えるレジオネラ菌が検出された。 ア. 事前準備（教育研修や体制の構築等） イ. 発生時の緊急対応（状況の把握及び被害拡大防止策） ウ. 当機構担当者への報告（被害の状況に応じた提案等） ・〇〇の場合： ・〇〇の場合：

現行基準及び実施方法に関する業務提案書

1. 管理・運営業務の実施全般に対する質の確保に関する提案

■以下の項目について、具体的かつ簡潔にまとめること。なお、必要に応じ、点検及び保守業務、清掃業務、執務環境測定業務、施設警備業務ごとに提案書を作成（各1枚以内）することができる。

1. 管理・運営業務の実施全般に対する質の確保についての考え方

2. 質の確保に関する提案事項

※表内の行・列は必要に応じ適宜追加すること。

2. 従来の実施方法に対する改善提案（総括表）				
■従来の実施方法に対し、改善提案を行う場合は、改善を行う業務の項目と提案の概略を整理すること。なお、下記に改善提案のない業務項目については、当機構が提示する最低水準として従来の実施方法に基づいて業務を行うものとする。				
(1) 統括責任者業務		提案の有無	有	無
業務項目 ※既存の仕様書類 に定める項目を明記	提案の概略			
(2) 定期点検及び保守業務		提案の有無	有	無
業務項目 ※既存の仕様書類 に定める項目を明記	提案の概略			

(3) 運転・監視及び日常点検・保守業務		提案の有無	有	無
業務項目 ※既存の仕様書類 に定める項目を明 記	提案の概略			
(4) 警備業務		提案の有無	有	無
業務項目 ※既存の仕様書類 に定める項目を明 記	提案の概略			

3. 従来の実施方法に対する改善提案（各業務）

■提案を行う各業務の1項目につき1枚以内とする。

（1）改善提案を行う業務及び項目

（2）改善提案の趣旨

（3）改善提案の内容

（4）最低水準の確保に対する説明

特記仕様書

1 件名

2026-2030 年度 国立研究開発法人情報通信研究機構 本部建物設備維持管理等業務
FY 2026 to FY 2030 Maintenance and Management of Buildings and Facilities of
NICT Headquarters

2 目的

本業務は国立研究開発法人情報通信研究機構(以下「当機構」という。)本部において、建築物及びその附帯施設(以下「建築物等」という。)の定期点検、臨時点検、保守、運転・監視、警備及び受付を行うことを目的とする。

3 作業期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

4 作業場所

(1) 当機構

ア 所在地： 東京都小金井市貫井北町 4-2-1

イ 名称： 国立研究開発法人情報通信研究機構本部

(2) 受注者の事業所(事務作業場所として)

5 総則

- (1) 特記仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者の責任において履行すべきものとする。
- (2) 受注者は、本契約の全部を一括して、又は主たる部分を第三者(以下本条において「再委託先」という。)に再委託することはできないものとする。ただし、受注者が、あらかじめ再委託先の住所、氏名、再委託する業務の範囲、その必要性及び契約金額、再委託の業務に従事する者の適格性及び情報保全のための履行体制(情報に意図せざる変更が加えられないための管理体制を含む。)について記載した書面を当機構又は当機構の指定する者に提出し、当機構の承認を受けたときは、本契約の適正な履行を確保するために必要な範囲において、本契約の一部(主たる部分を除く)を再委託することができる。
- (3) 「主たる部分」とは、業務における統括管理業務をいう。
- (4) (2) のただし書の場合において、受注者は、当機構から承認を受けた内容を変更しようとするとき、又は再委託先が第三者(以下「再々委託先」という。)に再々委託する場合以降も同様に当機構の承認を受けなければならない。

- (5) 受注者は、本契約の一部（主たる部分を除く。）を再委託するときは、受注者が本契約を遵守するために必要な事項を再委託先との間でも約定しなければならない。
- (6) 本契約の一部について、再委託先が再々委託を行う場合においては、受注者は、本契約を遵守するために必要な事項を再々委託先にも約定させるものとし、再々委託先以降の委託先がさらに委託をする場合にも、全て同様とする。
- (7) 受注者は、本契約の一部を再委託した場合は、本件業務に関する再委託先（再委託先の再々委託以降の委託が行われているときは、再委託先及び再々委託先以降の委託先）の行為について、当機構に対して全ての責任を負うものとする。
- (8) 特記仕様書における用語の定義は、「建築保全業務共通仕様書」（令和5年度 国土交通省大臣官房官庁営繕部（改定 令和5年11月8日 国営保第13号）（以下「共通仕様書」という。）第1編 1.1.2 によるもののほか、以下のとおりとする。
- ① 「当機構担当者」とは、当機構の職員のうち、本業務の監督員として指名されている者とする。
 - ② 「統括責任者」とは、業務を総合的に把握し、業務を円滑に実施するために当機構担当者との連絡調整を行う者で、現場における受注者側の責任者をいい、共通仕様書に定義する業務責任者と同義とする。
 - ③ 「電気設備責任者」とは、受注者側の作業員のうち、定期点検及び保守業務並びに運転・監視及び日常点検・保守業務に専従する者で、電気設備に関する責任者とする。
 - ④ 「機械設備責任者」とは、受注者側の作業員のうち、定期点検及び保守業務並びに運転・監視及び日常点検・保守業務に専従する者で、機械設備に関する責任者とする。
 - ⑤ 「警備責任者」とは、受注者側の作業員のうち、警備業務の責任者とする。
 - ⑥ 「電気設備作業員」とは、受注者側の作業員のうち、定期点検及び保守業務並びに運転・監視及び日常点検・保守業務に専従する者で、電気設備に関する作業員とする。
 - ⑦ 「機械設備作業員」とは、受注者側の作業員のうち、定期点検及び保守業務並びに運転・監視及び日常点検・保守業務に専従する者で、機械設備に関する作業員とする。
 - ⑧ 「警備作業員」とは、受注者側の作業員のうち、警備業務に専従する作業員とする。
 - ⑨ 「入退室管理システム運用作業員」とは、受注者側の作業員のうち、警備業務における出入管理に付随する業務として、当機構が設置運用している入退室管理システム（職員等が所有するIDカードにその所属及び職権等に応じて付与されたアクセス権により、通用門、建物入口及び居室等のドアの解錠の可否を電気錠で制御するシステム）について、当機構担当者からの指示を受けアクセス権の登録、変更及び削除等の運用業務に専従する作業員とする。
 - ⑩ 「受付作業員」とは、受注者側の作業員のうち、警備業務における出入管理に付随する業務として、受付業務に専従する作業員とする。
- (9) 受注者の負担の範囲は、共通仕様書第1編 1.1.3 による。
- (10) 本特記仕様書に疑義が生じた場合、または本特記仕様書に記載のない事項の詳細は、

原則として、共通仕様書による。共通仕様書を含めても疑義が解決しない場合は、当機構担当者と速やかに協議し解決を図ること。

協議に際しては、受注者において打ち合わせ議事録を作成すること。作成した打ち合わせ議事録は、当機構の承認を得て発行するものとする。発行した打ち合わせ議事録に含まれる決定事項は、本仕様書に優先する。

なお、仕様書等の変更を要する事態が生じた場合には、協議をするので応じること。

- (11) 業務の実施に当たり、適用を受ける関係法令等を遵守し、業務の円滑な遂行を図る。
- (12) 非常時の対応については、共通仕様書第 1 編 1.1.7 によるほか、「9 成果提出」に規定する業務計画書に事前に定めるものとする。
- (13) 作業員に業務に適した制服並びに履物を着用させるとともに、名札又は腕章等、外見から身分を明確にするものを着用・携帯させること。

警備責任者及び警備作業員については、警備業法第 16 条に基づく適切な制服を着用し、また、必要に応じ、第 17 条に基づく適切な護身用具を身に着けること。

なお、クリーンルーム等、当機構より指定された居室に入室する場合は、当機構が貸与する指定の防塵服を着用すること。

- (14) 作業員の身元については一切の責任を負うこと。また、適切な教育及び指導を行い、労働安全衛生及び規律・風紀維持に一切の責任を負うこと。
- (15) 採用、異動及び退職等に伴う作業員の変更がある場合は、事前に当機構担当者に通知すること。また、新規に当機構本部に配置された従事者には、業務に必要な教育・研修を行うとともに、必要に応じ訓練期間を設けること。
- (16) 作業員に対する民法、労働基準法、健康保険法その他法令・条例に規定される事業主または雇用者としての一切の責任・義務を負うこと。
- (17) 業務責任者及び作業員は、言動及び素行に注意し、機構に対する信用を失墜させる行為等をしてはならない。
- (18) 作業員の資格要件、業務遂行能力又は素行につき、不適當・不適格と認められる者がいるときには、当機構から対象の作業員の交代を請求することができる。

受注者は、請求を受けた場合、速やかに必要な措置を講ずるものとする。

- (19) 業務履行上の事故等が発生した場合、内容及び原因等について速やかに報告すること。また、受注者の責に帰する理由により発生した事故・事件等の損害に対する全ての賠償及び補償等については、受注者の責任において解決するものとし、受注者は損害賠償等の発生に備えて必要な保険に加入しておくこと。
- (20) 事故並びに地震、火災、風水害、落雷による停電及び危険物貯蔵所の燃料漏れ等が発生した場合には、被害状況の確認を行い、被害を確認した場合は、その被害の最小化及び職員の安全確保に必要な応急対応を実施すること。

事故その他警備上の事案への対応については、受注者側が作成・提出した業務計画書中の警備計画に沿って対応すること。

災害対応については、受注者側が作成・提出した防災マニュアルに沿って対応すること。

- (21) 作業の履行確認は、原則として、「9 成果提出」に定める月次報告書及び日次報告書等の書面により行うものとする。

なお、当機構担当者が、書面のみでは十分な履行確認ができないものとして指定した業務の履行確認は、立会い等の方法により行うものとする。

- (22) 業務の履行に伴い生じる廃棄物の処理等は、共通仕様書第1編 1.5.1 及び 1.5.2 による。

- (23) 施設等の利用については、以下のとおりとする。

- ① 業務の履行に必要な範囲で、当機構は受注者側に、当機構が指定した共用室（常駐業務室、控室等）及び共用物（什器、ロッカー、業務用パソコン等）を供用する。

供用対象の共用室及び共用物は、「別添Ⅵ 共用室及び共用品リスト」のとおりとし、受注者側は、統括責任者の管理のもと、善良な管理者の注意義務を持ってこれを使用するものとする。

- ② 建物内の便所、エレベーター及び食堂等の一般共用施設は、利用することができる。

- ③ 受注者側による当機構敷地内駐車場の通勤目的での利用は、原則として不可とする。

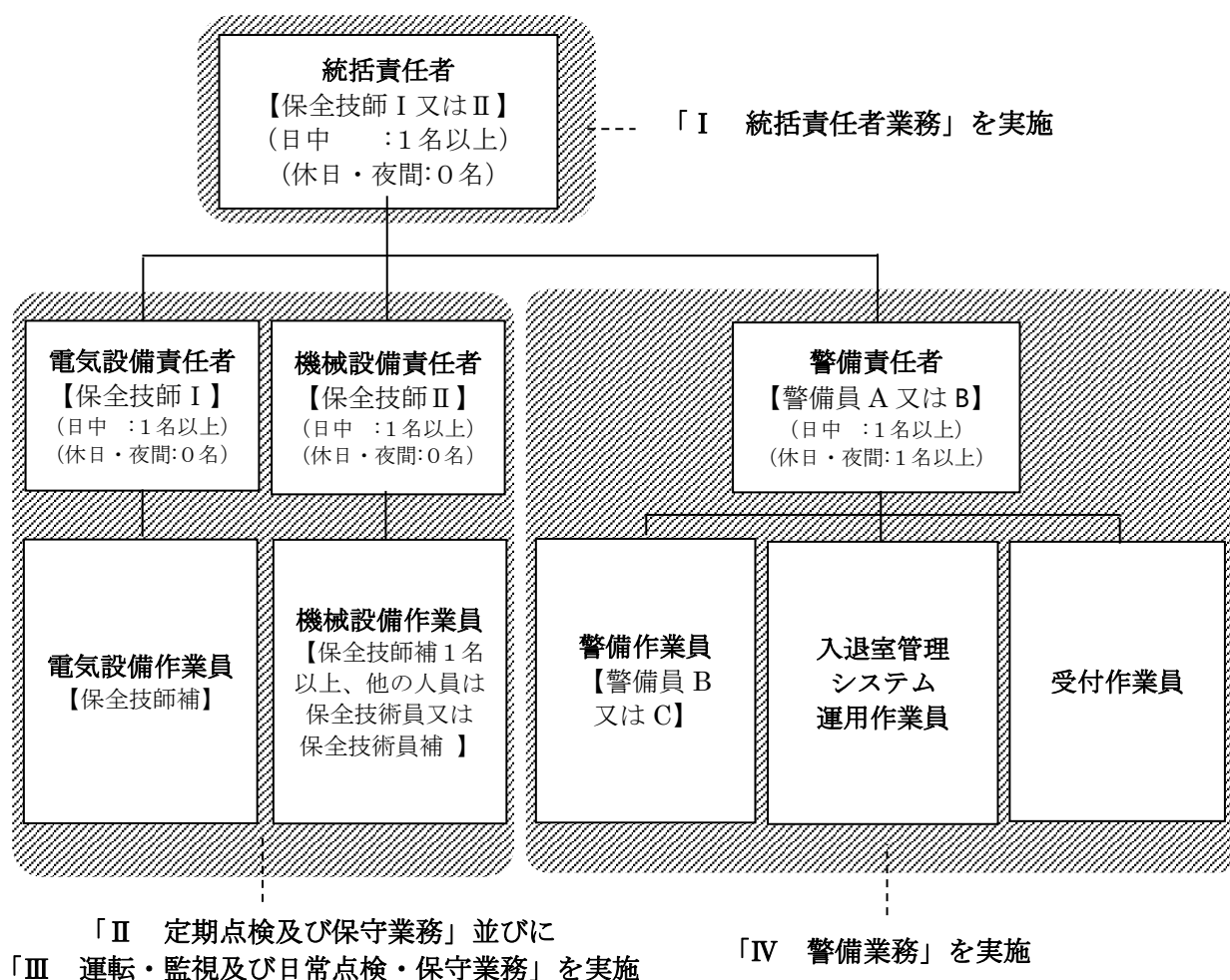
- ④ 「別添Ⅵ 共用室及び共用品リスト」に記載するもの以外で、業務の履行にあたり必要な機材等は、原則として受注者の負担とする。ただし、当機構が保有する機材について、当機構担当者より許可を得たものについては、その限りでない。

6 業務体制

(1) 業務体制

受注者側が配置する人員に関し、想定する技術者区分（「建築保全業務積算要領」令和5年版準拠、【 】内に記載）、業務時間内の必要配置人数（責任者に限る）、業務分担及び指揮系統は下図に示すとおりとする。

特別な事情により当機構の許可を得ない限り、下図に示す必要配置人数については、常駐・専任とし、本請負業務内での兼務及び他請負業務との兼務は不可とする。



(2) 各責任者及び作業員等の業務範囲

統括責任者、各業務責任者及び各作業員が行う業務の範囲は、下図に定めるとおりとする。

「◎」印を付した業務については、責任者として、スケジュール管理、現状の把握、課題の摘出、改善の検討及び各作業員への指示・指導等を実施し、問題が発生した場合は、必要に応じ、統括責任者若しくは他の業務責任者又は当機構担当者と調整し解決に当たること。

「○」印を付した業務については、作業員として、該当する業務責任者より指示を受け作業を実施し、問題が発生した場合は、必要に応じ、業務責任者又は他の作業員等に報告・相談を行い、解決に当たること。

ただし、統括責任者が、特定の業務について、下表に示す以外の責任者又は担当者が実施することが適切であると思料し、下表に示す以外の責任者又は担当者を充てる場合は、この限りではない。

業務 実施者	I 統括責任者業務	II 定期点検及び保守業務 並びに III 運転・監視 及び日常点検・保守業務			IV 警備業務			その他必要な業務
		2. 電気設備	3. 機械設備	5. 防災設備 4. 監視制御装置、 （1. 建築、 その他	1. 施設警備業務	テム運用	2. 入退室管理シス 3. 受付	
①統括責任者	◎							◎
②電気設備責任者		◎						
③機械設備責任者			◎	◎				
④警備責任者					◎	◎	◎	
⑤電気設備作業員		○						
⑥機械設備作業員			○	○				
⑦警備作業員					○			
⑧入退室システム 運用作業員						○		
⑨受付作業員							○	

なお、当機構は、電気設備責任者を、電気事業法第 43 条第 1 項に基づく当機構本部事業場内の電気主任技術者として選任するものとし、電気主任技術者に選任された電気設備責任者は、同法第 42 条第 1 項に基づき当機構が定める保安規程及び同法第 43 条第 4 項に基づき、事業用電気工作物の工事、維持及び運用に係る保安監督業務を実施するものとする。

(3) 各責任者の選任等

① 統括責任者等の選任

受注者は、統括責任者を 1 名以上選任し、作業期間開始前に当機構に選任の届出を行うものとする。また、統括責任者を変更した場合も対象者の着任前に、同様に届出を行うものとする。

② 電気設備責任者、機械設備責任者及び警備責任者の指定

受注者側は、電気設備責任者、機械設備責任者を各 1 名以上、警備責任者を 3 名以上指定するものとする。

指定方法は、業務計画書に付属する業務従事者名簿への記載による。

③ 統括責任者、電気設備責任者及び機械設備責任者等の代理の指定

受注者側は、統括責任者、電気設備責任者、機械設備責任者及び入退室管理システム運用作業員については、対象者が休暇等により不在となった場合に代理で業務を

行う者を、それぞれ副統括責任者、電気設備副責任者、機械設備副責任者及び入退室管理システム作業員代理として事前に各 1 名以上指定するものとする。

指定方法は、業務計画書に付属する業務従事者名簿への記載による。

④ 代替要員

受注者側は、作業員が休暇等により欠員が出ることが想定される場合は、同等程度の代替要員を契約金額の範囲内で用意すること。

代替要員を用意している場合は、どの責任者又は作業員の代替要員としてかを明示したうえで、業務従事者名簿に加えて提出すること。（例：「代替要員（機械設備作業員）」等）また、代替要員には、作業に必要な研修を受講させること。

（４）各業務責任者及び作業員に求める資格

各業務責任者及び作業員に必要な資格等の要件は以下のとおりとする。

① 統括責任者	・建築物環境衛生管理技術者の資格を有していること。 ・防火管理者技能講習を修了していること。 ・専任の統括責任者として同等規模（延べ床面積 50,000 ㎡）以上の施設における業務の実務経験が 3 年以上を有していること。 ・Microsoft 社の Word、Excel 及び Outlook を業務に支障なく使用できる。 なお、求める水準は以下のとおりとする。 Word：報告書等の文書作成 Excel：四則演算及び表作成 Outlook：メール作成並びにこれによる報告、連絡、相談及び進行管理等 ・常駐可能であること。
② 電気設備責任者	・第二種電気主任技術者の資格を有しており、当機構本部における電気事業法に基づく電気主任技術者としての選任が可能であること。 ・休日及び夜間、守衛室にて電気設備の異常を察知し、かつ保安全管理上緊急の電気設備点検の必要があると判断された場合、電気設備責任者が、異常の察知から 2 時間以内に本部に到達できること。 ・受変電設備の点検整備業務について、実務経験及び作業の指導・管理の経験が合計 15 年以上あること。 ・Microsoft 社の Word 及び Outlook を業務に支障なく使用できること。 なお、求める水準は以下のとおりとする。 Word：報告書等の文書作成 Outlook：メール作成並びにこれによる報告、連絡、相談及び進行管理等 ・常駐可能であること。
③ 機械設備責任者	・建築物環境衛生管理技術者の資格を有していること。 ・乙種四類危険物取扱者以上の資格を有していること。 ・機械設備責任者として同等規模（延べ床面積 50,000 ㎡）の施設における

	業務の実務経験 5 年以上を有していること。 ・ Microsoft 社の Word 及び Outlook を業務に支障なく使用できること。 なお、求める水準は以下のとおりとする。 Word：報告書等の文書作成 Outlook：メール作成並びにこれによる報告、連絡、相談及び進行管理等 ・ 常駐可能であること。
④ 警 備 責 任 者	・ 施設警備業務検定二級又は一号警備員指導教育責任者の資格を有すること。 ・ 警備責任者として同等規模（延べ床面積 50,000 m²）の施設における業務の実務経験 5 年以上を有していること。 ・ Microsoft 社の Word 及び Outlook を業務に支障なく使用できること。 なお、求める水準は以下のとおりとする。 Word：報告書等の文書作成 Outlook：メール作成並びにこれによる報告、連絡、相談及び進行管理等 ・ 警備業法第 14 条第 1 項に抵触しない、健康な身体を有していること。 ・ 自動火災警報装置等の各種警報機器について熟知していること。 ・ 常駐可能であること。 （警備責任者及び警備作業員の全員のうち一定以上を満たせばよい要件） ・ 警備責任者及び警備作業員のうち半数以上が自衛消防技術認定証を取得していること。 ・ 警備責任者及び警備作業員のうち半数以上が防災センター要員講習を修了していること。 ・ 警備責任者及び警備作業員のうち半数以上が普通救命技術認定証を取得していること。
⑤ 電 気 設 備 作 業 員	・ 第二種電気主任技術者又は第二種電気工事士の資格を有していること。 ・ 電気設備作業員としての実務経験 5 年以上を有していること。 ・ 常駐可能であること。
⑥ 機 械 設 備 作 業 員	・ 設備作業員として同等規模（延べ床面積 50,000 m²）の施設における業務の実務経験 5 年以上を有していること。 ・ 常駐可能であること。
⑦ 警 備 作 業 員	・ 警備作業員として実務経験 3 年以上を有していること。 ・ 警備業法第 14 条第 1 項に抵触しない、健康な身体を有していること。 ・ 自動火災警報装置等の各種警報機器について熟知していること。 ・ 常駐可能であること。
⑧ 入 退 室 システム	・ 業務システムの操作を伴う事務系業務又は業務システムの運用業務について 1 年以上の従事経験を有していること。

運 用 作 業 員	・Microsoft 社の Word、Excel 及び Outlook を業務に支障なく使用できること。 - なお、求める水準は以下のとおりとする。 - Word：報告書等の文書作成 - Excel：四則演算及び表作成 - Outlook：メール作成並びにこれによる報告、連絡、相談及び進行管理等 ・常駐可能であること。
⑨ 受 付 作 業 員	・受付業務に関する実務経験 3 年以上を有していること。 ・英検 2 級程度の英語（社会生活に必要な英語、日常的・社会的な話題に対応できる英語）を用いた日常的な会話ができる者であること。 ・常駐可能であること。

(5) 指示、報告及び情報共有の体制

① 当機構からの受注者側への指示

原則として、当機構担当者から統括責任者に対し行う。
ただし、緊急時及び事前に合意のある場合を除く。

② 受注者側から当機構への報告

原則として、統括責任者から当機構担当者に対し行う。
ただし、緊急時及び事前に合意のある場合を除く。

③ 受注者側の指揮系統及び情報共有

「6. 業務体制（1）業務体制」に示す図に示す指揮系統により、統括責任者、各業務責任者及び各作業員の間で、随時、必要な指示及び報告を行うこと。

また、統括責任者、各業務責任者及び各作業員の間で、随時、必要な情報共有（発生した事故及びヒヤリハット事案を含む。）を行い、連携を高め、事故リスクの低減及び作業効率的に努めること。

④ 連絡時間

原則として、業務時間内とする。

ただし、事故、事件の発生又はその恐れ等、特に緊急性の高い事案が発生した場合は、休日・夜間を問わず、受注者側から当機構担当者へ、電話等により速報を行うものとする。

うち、事業用電気工作物の保安の監督に関わる事故又は事象（設備が発している警報等を含む。）が発生した場合は、停電若しくは設備の故障等の有無に関わらず、速やかに電気主任技術者による判断を経たうえで速報を実施するものとする。

(6) 業務実施日時

① 原則

以下のア及びイを原則とする。

必要に応じ交代を行うものとし、業務に支障のない範囲で休憩を行うものとする。

ア 平日（年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）を除く。）

人員 \ 時間	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6
統括責任者																									
電気設備責任者																									
電気設備作業員																									
機械設備責任者																									
機械設備作業員																									
警備責任者																									
警備作業員																									
入退室管理システム運用 作業員																									
受付作業員																									

イ 土日祝日及び年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）

人員 \ 時間	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6
警備責任者																									
警備作業員																									

② 例外

ア オープンハウス（当機構本部にて実施する技術展示会）の開催日において、会場となる本部の主要建物において、空調の運転・監視及び建築物等の不具合発生時の緊急対応を行うものとする。

オープンハウスは、6月のうち当機構が指定する2日間に渡り実施し、うち1日は土日祝日とし、勤務時間は、イベントの準備時間及び片付け時間を含めた時間として、以下を想定すること。なお、業務に支障のない範囲で休憩を行うものとする。

- ・ 1日目（平日）：午前8時30分～午後5時00分
- ・ 2日目（土日祝日）：午前8時30分～午後5時00分

上記の土日祝日についても、統括責任者及び機械設備責任者が出勤し対応にあたること。

当機構担当者より、この想定時間を超過する業務指示のあった場合、受注者は、当機構と協議の上、超過分に相当する費用を請求することができるものとする。

イ 定期点検及び保守業務のうち計画的な停電を伴う電気設備定期点検の実施日において、必要な対応を行うものとする。

点検は、9月～3月の間の土日祝日のうちから当機構が受注者と協議のうえ決定する2日間についてとし、勤務時間は、点検の準備から復旧作業までにかかる時

間として、以下を想定すること。なお、業務に支障のない範囲で休憩を行うものとする。

- ・ 1 日目（土日祝日）：午前 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
- ・ 2 日目（土日祝日）：午前 8 時 30 分～午後 5 時 00 分

上記の土日祝日についても、統括責任者、電気設備責任者、機械設備責任者その他点検業務に必要な作業員が出勤し対応にあたること。

当機構担当者より、この想定時間を超過する業務指示のあった場合、受注者は、超過分に相当する費用を請求することができるものとする。

ウ その他、業務上必要がある場合及び緊急的な対応を行う場合は、原則としている業務実施日時以外にも業務を行うものとする。また、受注者は当機構と協議の上、当該業務に相当する費用を請求することができるものとする。

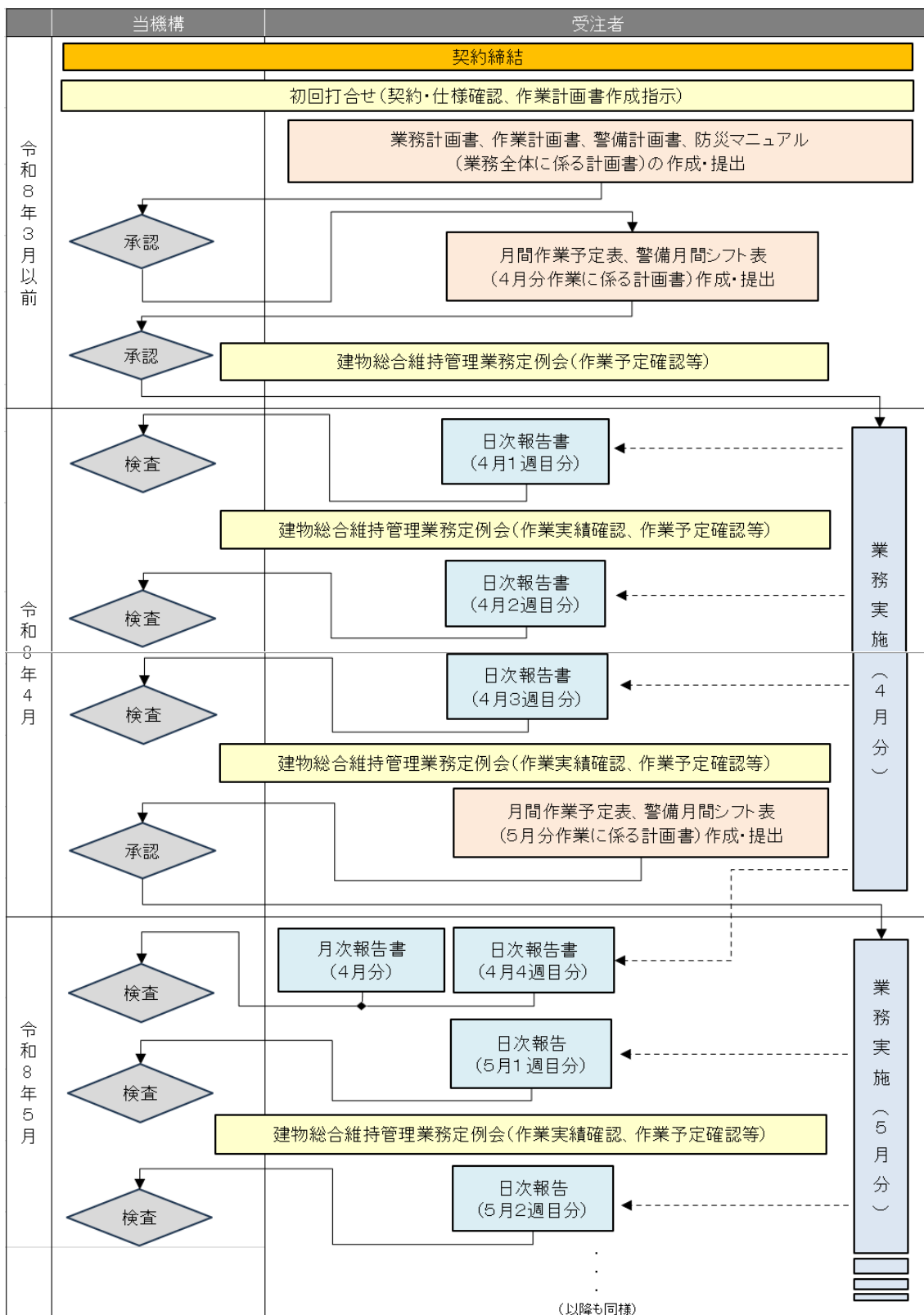
（7）作業場所

受注者側の主な勤務場所は、以下のとおりとする。

人員	事務所	作業中
統括責任者	128 棟（研究本館）地下 1 階 監視室	各建築物等
電気設備責任者		
電気設備作業員		
機械設備責任者		
機械設備作業員	128 棟（研究本館）地下 1 階 監視室及び備品庫	
警備責任者	131 棟（セキュリティ棟） 1 F 守衛室及び集中管理室	警備計画書で定める ポスト（配置）及び 巡回巡視経路等
警備作業員		
入退室管理システム運用 作業員	128 棟（研究本館）地下 1 階 監視室	
受付作業員	131 棟（セキュリティ棟） 1 F 守衛室	

7 業務フロー

全体的な業務フローは下図のとおりとする。



8 業務内容

(1) 業務項目詳細

業務の項目の詳細は、以下のとおりとする。

① 統括責任者業務

別添Ⅰのとおり

② 定期点検及び保守業務

別添Ⅱのとおり

③ 運転・監視及び日常点検・保守業務

別添Ⅲのとおり

④ 警備業務

別添Ⅳのとおり

(2) 対象設備一覧

別添Ⅴのとおり

9 貸与品の有無

有（「別添Ⅵ 共用室及び共用品リスト」のとおり）

10 成果提出

(1) 成果品

① 業務計画書等

受注者が行う各業務については、以下に示す業務計画書等により、当機構担当者に事前に承認を得てから実施すること。業務計画書等を変更する場合も同様とする。（その場合、変更が生じる日に対し「提出時期」に相当する期間前に提出）

名称	数量	形式	提出時期	備考
業務計画書	1部	電子データ	各年度の業務開始日2週間前まで	共通仕様書第1編 1.2.1に規定のとおり、実施体制、全体工程（各年度）、業務従事者名簿（保有資格含む）、緊急時の連絡体制等、必要事項を総合的にまとめたもの。
作業計画書	1部	電子データ	作業期間開始日2週間前まで	共通仕様書第1編 1.2.2に規定のとおり、業務ごとに作業日時、作業内容、作業手順、作業範囲、作業責任者、作業員、安全管理の内容等を定めた作業計画書を作成すること。 なお、作成時点で作業日時が未定の場合、作業計画書上は「未定」としてよい。その場合、別途、作業予定表で当機構へ通知す

				ること。
警備計画書	1 部	電 子 デ ータ	各年度の 業務開始 日 2 週間 前まで	共通仕様書第 6 編 1.1.5 に規定のとおり、 警備に係る各業務（火災感知時の対応、鍵 管理、駐車場管理、出入管理、巡回巡視経 路等）について計画すること。 入退室管理システム運用作業員の配置（人 数）、処理手順、受付作業員の配置、受付 手順についても記述すること。
防災マニユ アル	1 部	電 子 デ ータ	各年度の 業務開始 日 2 週間 前まで	共通仕様書第 3 編 1.1.12 の規定により、 当機構担当者と協議し、地震、火災、風水 害及び落雷による停電並びに危険物貯蔵 所の燃料漏れ等が発生した場合を想定し た、受注者側における、事前準備、発生後 の対応等を網羅的に記述する。 対応に関しては、被害の極小化及び早期復 旧に努めるものとする。
月間作業予 定表	1 部	電 子 デ ータ	作業対象 の月の開 始より 1 週間前ま で	定期点検及び保守業務に係る各業務の月 間の作業予定日について示すもの。
警備業務月 間シフト表	1 部	電 子 デ ータ	作業対象 の月の開 始より 1 週間前ま で	警備業務従事者の月間のシフトを示すも の。

② 月次報告書（月報）

月次報告書（月報）を紙媒体で提出する場合は、仕様書で示す業務項目順に、報告書をファイル等に綴じて提出すること。全体の表紙及び業務項目ごとに中表紙を付すること。中表紙等には、仕様書で示す業務項目の番号と同じ番号を付し、仕様書との対応が分かるようにすること。

名称	数量	形式	提出時期	備考
統括責任 者業務報 告書	1 部	紙又は電子データ	原則として業務対 象月の翌月 10 日 まで。（毎年 3 月に ついては末日ま	別添「Ⅰ 統括責任者業務」 にて月単位で行う業務につ いて、報告を行うもの。

			で。)	
定期点検 及び保守 業務報告 書	1 部	紙又は電子データ	原則として業務対象月の翌月 10 日まで。(毎年 3 月については末日まで。)	別添「Ⅱ 定期点検及び保守業務」について、月単位及び週単位で行う点検の結果について、報告を行うもの。
運転監視 及び日常 保守業務 報告書	1 部	紙又は電子データ	原則として業務対象月の翌月 10 日まで。(毎年 3 月については末日まで。)	別添「Ⅲ 運転監視及び日常保守業務」にて月単位及び週単位で行う点検の結果について、報告を行うもの。

③ 日次報告書（日報）

日次報告書（日報）の紙提出分については、他に指示のない限り、週 1 回、直近 1 週間分をまとめてファイル等に綴じ提出すること。

名称	数量	形式	提出時期	備考
運転・監視 及び日常 点検・保守 業務日報	1 部	紙又は電子データ	原則として作業日の翌日から 7 営業日以内（毎年 3 月については末日まで。)	別添「Ⅲ 運転・監視及び日常点検・保守業務」にて日単位の点検の結果について、報告を行うもの。
警備日報	1 部	紙又は電子データ	原則として作業日の翌日から 7 営業日以内（毎年 3 月については末日まで。)	別添「Ⅳ 警備業務」にて日単位の実績について、報告を行うもの。

④ その他提出物

名称	数量	形式	提出時期	備考
履歴書、 要求資格 を証する ものの写 し、顔写 真	1 部	電子データ	原則として当機構への責任者又は作業員として着任予定日の 2 週間前まで	業務責任者・作業員としての要件を満たすかの確認及び当機構本部施設内にて就業するために必要なセキュリティ上の手続きに必要なもの。
打合せ議 事録	1 部	電子データ	打合せを実施した場合速やかに	定期及び臨時の打合せを想定するもの。
保守点検	1 部	電子データ	業務上の必要によ	点検作業後緊急性の高い異

等結果速報			り当機構担当者より請求のあった場合速やかに	常が発見された場合や、速やかな履行確認が必要な場合等に、速報を求めることを想定するもの。
顛末書	1部	電子データ	業務上の必要により当機構担当者より請求のあった場合速やかに	事故・事件又は安全衛生上の懸念が発生した場合等に、顛末書による報告を求めることを想定するもの。
経過報告書	1部	電子データ	業務上の必要により当機構担当者より請求のあった場合速やかに	業務進捗状況の照会を求める場合等を想定するもの。
産業廃棄物マニフェスト(産業廃棄物管理票) D票・E票	1部	紙又は電子データ	業務(汚泥処分等)の履行に伴い発行された場合速やかに	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)に基づき発行されるもので、当機構が事業者として地方公共団体へ報告を行う際に使用するため必要なもの。

(2) 提出先

東京都小金井市貫井北町4-2-1
 国立研究開発法人情報通信研究機構
 財務部施設室施設管理グループ

(3) その他

- ① 紙での提出を指定されている場合は、他に指示のない限り、A4又はA3で作成し、ファイル等に綴じて提出するものとする。
- ② 電子データでの提出を指定されている場合は、他に指示のない限り、PDF、Word又はExcelで作成するものとし、受け渡し方法は当機構担当者と協議し決定するものとする。
- ③ 緊急的な変更が生じた等の理由につき指定された提出時期までの提出が困難である場合は、当機構担当者に理由を説明し承諾を得ること。
- ④ 各成果品については、別添の作成例を参考に、当機構担当者と協議して様式を定めること。
- ⑤ 受注者が紙で作成し当機構へ提出した月次報告書及び日次報告書は、当機構担当者が内容確認及び検査等の必要な事務処理を行った後、受注者に返却する。
 受注者は、返却を受けた報告書について、業務期間中、当機構担当者及び受注者側が必要に応じ速やかに閲覧できるよう、当機構が供用する棚等に保管すること。

11 検査

提出された報告書等に基づき当機構担当者による検査を実施する。

12 契約の目的物の種類又は品質に関する担保責任（契約不適合責任）

当機構が本件作業について、作業完了日から起算して1か年以内に、契約の内容（目的物の種類、品質又は数量）に適合しないことを発見したときは、受注者にその内容を通知するものとし、受注者は履行の追完等、担保の責を負うこと。

13 管理責任者について

- （１） 本請負作業の実施にあたり、請負作業員の管理責任者は、統括責任者とする。
- （２） 作業報告は統括責任者より当機構担当者に行うこと。
- （３） 作業について疑義がある場合、統括責任者より当機構担当者に申し入れること。
- （４） 当機構担当者からの作業指示は統括責任者を通じて行うものとする。

14 個人情報の取り扱いについて

本件における個人情報の取扱いは、当機構「作業請負契約書 附則（個人情報の取扱い）」の規定によるものとする。

受注者における管理体制及び実施体制や個人情報の管理の状況について、少なくとも契約期間中に1回以上、原則として実地検査により確認する。検査においては、下記チェックシートを使用するので、対応すること。

チェックシート

https://www.nict.go.jp/tender/NICTpersonaldata_chk.xlsx

受注者が、当機構の承認を得て、業務の一部を再委託する場合は、受注者が上記のチェックシートにより再委託先の検査を行うこと。（再々委託の場合も同じ）

詳細は、当機構調達情報 Web ページ

「契約にあたって」

<http://www.nict.go.jp/tender/keiyakuniatatte.html>

「個人情報保護対策のお願い」 保有個人情報の取り扱いに係る業務の外部委託について

<http://www.nict.go.jp/tender/4otfsk00002cmy4h-att/4otfsk00005gal70.PDF>

を参照すること。

15 業務の引継ぎ

当機構は、本業務を開始するまでの間に業務内容を明らかにした書類等により、受注者に業務の引継ぎを行うものとする。

また、本業務の終了に伴い受注者が変更となる場合には、当機構は、報告等をもとに次の受注者への引継ぎを行うものとする。ただし、必要に応じて当機構が、業務終了前に受注者に対し、引継ぎに必要な資料等を求めた場合は、受注者は応じることとする。

(1) 本業務の前身に当たる業務の受注者からの引継ぎ

当機構は、当該引継ぎが円滑に実施されるよう、本業務の前身に当たる業務である「国立研究開発法人情報通信研究機構 本部建物設備維持管理等請負作業」（契約期間令和3年4月1日～令和8年3月31日）の受注者（以下「旧受注者」という。）及び本業務を新たに実施することとなった受注者（以下「受注者」という。）に対して必要な措置を講ずるとともに、引継ぎが完了したことを確認する。

本業務を新たに実施することとなった受注者は、本業務の開始日までに、業務内容を明らかにした書類等により、現行の事業者から業務の引継ぎを受けるものとする。なお、その際の事務引継ぎに必要な経費は、旧受注者の負担となる。

(2) 本業務終了の際の引継ぎ

当機構は、当該引継ぎが円滑に実施されるよう、受注者及び本業務の次期に当たる業務の受注者（以下「次期受注者」という。）に対して必要な措置を講ずるとともに、引継ぎが完了したことを確認する。

本業務の終了に伴い受注者が変更となる場合には、受注者は、当該業務の開始日までに、業務内容を明らかにした書類等により、次期事業者に対し、引継ぎを行うものとする。

なお、その際の業務引継ぎに必要な経費は、受注者の負担となる。

16 情報セキュリティについて

(1) 適切な情報セキュリティ管理の実施

受注者は、適切な情報セキュリティ管理を実施していること。適切な情報セキュリティ管理を実施しているとは、組織としての情報セキュリティ方針及び情報セキュリティ管理体制が制定され、リスク対応計画立案、管理策の実施、教育、内部監査を含む情報セキュリティ管理が、文書化された手順に従って実施されていることを言う。ISO/IEC 27001 または JIS Q 27001 に準拠した管理は、適切な情報セキュリティ管理の例である

(2) 業務実施体制

受注者は、本業務を履行する体制について、予め以下の事項について提出し、当機構の了承を得ること。

ア 業務実施体制

- ① 責任者（専門性・実績・国籍等に関する情報を含むこと）
- ② 担当者（専門性・実績・国籍等に関する情報を含むこと）
- ③ 連絡体制・窓口

④ 業務実施場所（国内・国外を問わず当機構外で業務する場合）

イ 構築すべき体制に関する留意点

受注者は、下記に留意して、体制を構築すること。なおこれらに変更があった場合は速やかに当機構に報告し、その了承を得ること。

- ① 本業務を履行するにあたり必要な経験、資格、業績等を有する者を確保して体制を構築すること。その際、必要な経験、資格、業績等を有する者は、背景となる適切な経歴、知見、語学、文化的背景を有すること。
- ② 本業務を履行するにあたり受注者の従業員もしくはその他の者による意図しない変更や業務に関して知り得た情報の窃取等が行われないことを保証する管理体制を構築すること。

（３）情報セキュリティ対策の実施

受注者は、業務に関して知り得た情報の紛失、滅失、改ざん、き損、漏えい、その他の情報セキュリティ事故を防止するために必要な情報セキュリティ対策を講じなければならない。

（４）情報セキュリティ事故発生時における報告

受注者は、契約の履行中、履行後を問わず情報セキュリティ事故、又はそのおそれのあることを知ったときは、必要な措置を講じるとともに、速やかに当機構に報告し、当機構の指示に従うものとする。

（５）情報セキュリティ対策の実施状況の報告・点検

ア 当機構は業務や情報の取扱いが適切に行われていることを確認するため、受注者に対して定期的な報告や自己点検、情報の適正な取扱いのための情報セキュリティ対策（ログの取得・監視等以下参照）を求めることができるものとする。

- ・情報セキュリティインシデント等への対処能力の確立・維持
- ・情報へアクセスする主体の識別とアクセスの制御
- ・ログの取得・監視
- ・情報を取り扱う機器等の物理的保護
- ・情報を取り扱う要員への周知と統制
- ・セキュリティ脅威に対処するための資産管理・リスク評価
- ・委託先が取り扱う情報及び当該情報を取り扱うシステムの完全性の保護
- ・セキュリティ対策の検証・評価・見直し

イ 特に重要な業務（情報の格付けに伴い重要と格付けされた業務、（例）個人情報を含むもの）を委託している場合、監査、サービス品質の保証を求めることができるものとする。また、個人情報を含む重大な情報セキュリティ事故が発生した場合、機構は受注者と協議の上、立入調査を求めることができるものとする。報告・点検の結果、改善が必要な点が見つかった場合、受注者は改善計画を立て当機構に提出するものとする。

(6) 委託の制限

- ア 受注者は当機構が書面で承諾した場合を除き、本件業務の全部を一括して、又は主たる部分を第三者に委託してはならない。受注者は第三者に委託するときは、責任を持って情報セキュリティの適切な管理を行う能力を有する者を選定するものとする。
- イ 選定した委託先に対しては、情報セキュリティに関し受注者が履行すべき義務と同等の義務を負わせるものとし、受注者及び受注者の委託先との間で締結する契約書にその旨を明記するものとする。
- ウ 受注者は委託先の情報セキュリティ管理全般、業務実施体制、情報セキュリティに関する点検・調査の受け入れ可否等の状況について、あらかじめ当機構に書面で提出するものとする。受注者の委託先が第三者に再々委託を行うとき以降も同様とする。

(7) 情報の目的外利用及び提供の禁止

受注者は業務に関して知り得た当機構所定の書式・方法により明示した保護すべき情報（契約を履行する一環として受注者が収集、整理、作成等した情報であって、当機構が保護を要しないと確認したものを除く。）その他の非公知の情報を本仕様書の業務履行にのみ利用し、他の目的に使用しないこと。当機構の承諾なしに第三者に提供してはならず、受注者は受注者の従業員その他受注者の委託先及びその再委託先に対し、受注者と同様の秘密保持義務、情報保全義務を負担させるものとする。

(8) 要機密情報の取扱い

受注者は、当機構の要機密情報を取り扱う場合、契約書の秘密保持の事項に従うこと。

(9) 情報の複写又は複製の禁止

受注者は、本業務のために当機構から提供された情報や資料等を当機構の承諾なしに複写又は複製してはならない。

(10) 情報の受取り

当機構が一時的に電子ファイル等を受注者に預ける場合は、預かり証に受注者（作業員等を含む）の押印あるいは署名を求める場合があるので応じること。

(11) 情報のやり取り

- ア 当機構と通信回線を経由して電子ファイル等のやりとりを行う場合は、万一の事故に備えてパスワード付与や暗号化などの措置をとること。
- イ また最新のパターンファイルが適用されたウイルス検出ソフトで検査し、問題がないことを確認してから送付すること。

(12) 資料・情報の保管

- ア 受注者は、業務のために当機構から提供を受け、又は受注者自らが作成した情報が記録された資料を、適切に施錠管理された場所に保管すること。
- イ 電子ファイルの場合は適切なアクセス制御が行われたフォルダーに保管すること。また当機構が特に指定した場合は暗号化などの対応をとること。

(13) 資料の返却・情報の消去等

ア 受注者は、業務のために当機構から提供を受け、又は受注者自らが作成した情報が記録された資料は、業務完了後直ちに当機構に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、当機構が別に指示したときは当該方法によるものとする。

イ 受注者は、情報を記録した資料を当機構に返還した後、なお当該情報が複写や電磁記録等として残されていることのないよう、遅滞なく復元又は判読が不可能な方法により当該情報を消去又は廃棄しなければならない。なおその際「預かり証兼データ破棄届」を当機構に提出すること。

17 その他の事項

- (1) 運送・搬入・据付実施中に、建築物、工作物等に損傷を与えた場合は、速やかに当機構担当者に申し出るとともに受注者の責任においてこれを原形に復すること。
- (2) 機器の納品又は付帯作業が含まれる場合は、納品物の設置に当たっては、建築設備耐震設計・施工指針[国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修]等の各種基準例を参照し、適切に固定すること。
- (3) 本件の納品物にかかる知的財産権の扱いは、当機構「作業請負契約書」の規定によるものとする。

上記契約書に関する情報は以下のとおり。

<https://www.nict.go.jp/tender/format.html>

I 統括責任者業務

1. 一般事項

- (1) 業務を総合的に把握し、業務を円滑に実施するために当機構担当者との連絡調整を行うこと。
- (2) 本業務を履行するうえで、職員等に作業内容、危険箇所、進入禁止場所等の事前周知が必要な作業が発生する場合は、当機構担当者の指示された方法及び内容により、事前周知を行うこと。
- (3) 第三者に作業の一部を請負わせる際には作業内容、構内への出入りに関する責任を負うこと。
- (4) 危険と思われる箇所を発見したとき並びに石綿、ポリ塩化ビフェニル含有の疑いのある物質を発見したときは、直ちに当機構担当者に報告すること。
- (5) 建築物等の現況及び保守点検の実施状況等について法令への不適合の可能性を発見したときは、直ちに当機構担当者に報告すること。
- (6) 仕様書と対象建築物の現況とが一致しないと思料するときは、直ちに当機構担当者に報告すること。
- (7) 仕様書の内容及び対象建築物の現況について、必要に応じ、助言及び改善の提案を行うこと。

2. 業務計画書・報告書等の提出及び保管

- (1) 業務全体の計画管理を行うこと。特記仕様書にて定める業務計画書等を作成し、当機構担当者に提出し、承認を得てから業務を実施すること。ただし、緊急でやむを得ない場合はこの限りでない。
- (2) 各種報告書を取りまとめ、遅滞なく当機構担当者に提出すること。
- (3) 受注者側が業務計画書に含めて提出している年間工程表のとおり進捗しているか進捗状況の点検を行うこと。月次報告書にて、年間の業務工程表に対する進捗状況点検報告書（年間工程表に対し、既に完了済の作業をチェックした資料）を作成し提出すること。
- (4) 当機構検査員による検査に合格した報告書については、年度ごとに分類し段ボール等に収納のうえ、以下の場所に保管すること。

保管場所：5号館1階保守員室、5号館1階機械室（東側棚内）

3. 教育研修等

- (1) 各業務責任者及び業務担当者に、業務目的、作業内容及び当機構担当者の指示事項等を伝え、その周知徹底を図るとともに、必要な指導・教育を行うこと。

なお、新規に配置される者に対しては、業務履行に支障をきたすことのないよう、配置後速やかに行うこと。

- (2) 各業務責任者及び業務担当者の全員に、年1回以上、業務履行に必要な知識の維持・向上を目的とした定期研修を計画し、実施すること。

研修内容は、各従事者が担当する業務に応じたものとし、本業務に係る業務計画書及び作業手順書等の確認を含むものとする。

研修実施後は、以下の項目を記録した研修実施報告書を、実施月の月次報告書にて報告すること。

- ① 実施年月日
- ② 研修の目的
- ③ 研修内容の概要（使用した文書についても報告すること。）
- ④ 参加者一覧及び各参加者の理解度（受講者が理解できているか等。）

- (3) 各業務責任者及び業務担当者の適切な労務管理及び効率的な運用を行うこと。

4. 訓練・イベント等への対応

- (1) 各業務責任者及び業務担当者で連携し、当機構が消防法及び消防計画に基づき年1回実施する自衛消防訓練に協力・参加すること。

依頼内容の想定としては、以下のとおりとする。

- ・ 訓練参加：通報連絡、初期消火、全館放送、避難実施
- ・ 協力： 準備・片付けにおける備品移設作業

- (2) 各業務責任者及び業務担当者で連携し、当機構が消防法第11条に基づく危険物貯蔵所からの燃料の漏えいを想定し年1回実施する危険物取扱施設緊急事態対応訓練に協力・参加すること。

依頼内容の想定としては、以下のとおりとする。

- ・ 訓練参加：通報連絡、燃料の漏えい個所への応急処置
- ・ 協力： 準備・片付けにおける備品移設作業

- (3) 各業務責任者及び業務担当者で連携し、当機構が日本標準時システム管理に係るマニュアルに基づき年1回実施する、業務継続計画（BCP）に係る訓練に協力・参加すること。

依頼内容の想定としては、以下のとおりとする。

- ・ 訓練参加：通報連絡、設備（空調設備等を想定）の異常への応急処置
- ・ 協力： 準備・片付けにおける備品移設作業

- (4) 機械設備責任者等と連携し、特記仕様書で定めるとおり、オープンハウス運営に関する協力を行うこと。

- (5) 以上(1)～(4)以外にも、訓練・イベント等への協力依頼のあった場合は、各業務責任者・各業務担当者で連携し、本業務の履行に支障のない範囲で協力を行うこと。

と。

5. 共用室及び共用品等の管理

当機構が受注者側に供用する共用室及び共用品並びに図面等の資料について、各業務責任者及び業務担当者に、善良な管理者の注意義務を持ってこれを使用させること。

ただし、これ以外についても当機構担当者より許可を得た場合はその限りでない。

共用室及び共用品等について、不備又は経年劣化等により改善が必要と思料する場合は、現状の説明及び具体的な改善案を添え、当機構担当者へ文書により要望を行うこと。要望後、当機構担当者による現地確認等により改善対応の要否を決定する。

6. 課題整理及び改善提案等

以下に示す課題整理及び改善提案等について、各年度の上半期末（4～9月）分については9月の月次報告書と併せて、下半期末（10月～3月）分については3月の月次報告書と併せ、書面で提出すること。

（1）課題一覧表

本業務の履行の中で報告・把握している、修繕その他の対応が必要となっている課題（以下「指摘事項」という。）を一覧にしたものを作成する。

指摘事項には、初回報告年月、改善案、緊急度及び経過を記載するものとし、改善確認が取れていない指摘事項については、次期の課題一覧表に引継ぐこととする。

（2）仕様等又は施設の運用に係る改善の提案

本業務に係る仕様又は施設の運用等において、不備の是正、質の向上（業務効率化及び事故リスク低減及び業務効率化等）の観点から必要がある場合、具体的な改善案を提案すること。

改善案の内容は、以下の項目とすること。

① 改善対象及び改善内容

具体的な措置を伴うものとする。

例1：〇〇棟〇〇室〇〇設備に安全装置として〇〇を設置する。

例2：定期点検及び保守に係り、〇〇設備の保守項目に〇〇の交換を加える。

② 質の向上が見込まれる根拠

具体的な根拠及びかつ定量的な数量を伴うものとする。

例1：〇〇点検で〇〇設備を年〇回操作する必要があるが、令和〇年度に〇件、〇〇を〇〇してしまうヒヤリハットが発生し、事故リスクが高い。これに安全装置を設置することで、事故リスクを低減できると考えられる。

例2：〇棟の〇〇設備は、〇〇の劣化を原因とし、令和〇年度に〇件の緊急停止があった。（業務日報〇月〇日、〇月〇日参照）保守項目に〇〇を加えることで、この緊急停止の発生リスクを低減できると考える。

なお、前回の提案が反映採用されていない場合、同様の提案を継続してもよい。ものとし、その場合は、初回提案年月も付記すること。

7. 定期及び臨時の打合せ

当機構及び受注者側の関係者により、定期の打合せとして、「建物総合維持管理業務定例会」を行うものとする。

受注者側の参加者は、原則として、統括責任者を筆頭に、電気設備責任者、機械設備責任者及び警備責任者とする。

実施頻度は、原則として、月2回程度を想定する。

内容は、主に以下を想定する。

- ① 月間作業予定表による、直近の作業実績についての確認
- ② 月間作業予定表による、今後の作業予定についての確認
- ③ 業務連絡・情報共有
- ④ 問題提起及び解決に向けての協議

なお、緊急的な課題に対応するため、当機構からの指示により、臨時の打合せを実施することもあり得る。

Ⅱ 定期点検及び保守業務

本業務に係る一般事項については、「建築保全業務共通仕様書 令和5年版」(国土交通省大臣官房官庁営繕部、以下「共通仕様書」という。)第2編の各章に定められるとおりとする。

実施項目、対象設備、点検項目及び点検周期等は下表のとおりとし、報告書は、原則として、点検実施月の月次報告書に実施項目の大項目ごとに対応する番号を附番し、番号順に整理して提出するものとする。

なお、下表中の「共仕」とは、「共通仕様書」の略とする。

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
【1. 建築】				
1-1. 建築物定期点検				
建築物の保全のため、共通仕様書に準拠した定期点検を実施するもの。				
(1)外部				
①屋根	別添V1-1	共仕第2編 2.2.1(b)周期I	共仕第2編 2.2.1(b)周期I(1Y)	
②外壁	〃	共仕第2編 2.2.2(b)周期I	共仕第2編 2.2.2(b)周期I(1Y)	
③ひさし(車寄せ)・ とい・タラップ	〃	共仕第2編 2.2.3(b)周期I	共仕第2編 2.2.3(b)周期I(1Y)	
④軒天井・ひさ し下端	〃	共仕第2編 2.2.4(b)周期I	共仕第2編 2.2.4(b) 周期I(1Y)	
⑤外部床	〃	共仕第2編 2.2.5(b)周期I	共仕第2編 2.2.5(b)周期I(1Y)	
⑥屋外階段	〃	共仕第2編 2.2.6(b)周期I	共仕第2編 2.2.6(b)周期I(1Y)	
⑦バルコニー	〃	共仕第2編 2.2.7(b)周期I	共仕第2編 2.2.7(b)周期I(1Y)	
⑧外部建具	〃	共仕第2編 2.2.8(b)周期I	共仕第2編 2.2.8(b)周期I(1Y)	
⑨エキスパンショ ンジョイント金物	〃	共仕第2編 2.2.10(b)周期I	共仕第2編 2.2.10(b)周期I(1Y)	
(2)内部				
①内壁・柱・は り	別添V1-1	共仕第2編 2.3.1(b)周期I	共仕第2編 2.3.1(b)周期I(1Y)	

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
②内部天井	〃	共仕第 2 編 2. 3. 2 (b) 周期 I	共仕第 2 編 2. 3. 2 (b) 周期 I (1Y)	
③内部床	〃	共仕第 2 編 2. 3. 3 (b) 周期 I	共仕第 2 編 2. 3. 3 (b) 周期 I (1Y)	
④内部階段	〃	共仕第 2 編 2. 3. 4 (b) 周期 I	共仕第 2 編 2. 3. 4 (b) 周期 I (1Y)	
⑤内部建具	〃	共仕第 2 編 2. 3. 5 (b) 周期 I	共仕第 2 編 2. 3. 5 (b) 周期 I (1Y)	
(3) 構造部				
構造体・基礎	別添 V 1-1	共仕第 2 編 2. 4. 2 (b) 周期 I	共仕第 2 編 2. 4. 2 (b) 周期 I (1Y)	
1－2．建築基準法に基づく定期点検（12 条点検） 建築基準法第 12 条に基づく特定行政庁への報告のため、建築基準法で定める特定建築物について、法 12 条第 3 項に基づく建築設備のうち給排水設備、換気設備、非常用照明設備及び排煙設備の定期点検を実施するもの。				
建築設備 (第 12 条第 3 項) (給排水設備、 換気設備、非常 用照明設備及び 排煙設備)	別添 V 1-1 のう ち建築基準法上 の特定建築物に 設置された対象 設備	共仕第 2 編 1. 2. 2 (b) 点検項目 B 業務には、行政及び 提出先機関との打合 せを含むものとし る。	共仕第 2 編 1. 2. 2 (b) 点検項目 B (1Y)	・法令で定める有 資格者が実施。 ・提出物は以下の とおり。 i. 法令で定める報 告書 ii. 調査写真、指摘 事項写真 iii. 指摘事項がある 場合はその改善案 （概算算出含む。） iv. 打合せ記録（行 政との打合せ記録 含む。）

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
1－3．雨樋及び雨水枡清掃 雨水排水機構を維持するため、建物に附帯する雨樋及び雨水枡の清掃を実施するもの。				
雨樋及び雨水枡の清掃	別添V1-1のうち指定の棟（2階以下の低層棟のうち、排水機構に土等が溜まりやすい棟を指定。）	・雨樋及び雨水枡の清掃 ・設備に機能維持上の問題がある場合は報告すること。	6M	報告書には写真を添付すること。
1－4．自動ドア保守点検 自動ドアの保全のため、一般的なメーカー基準による定期点検を実施するもの。				
自動ドア	別添V1-3	①駆動装置(ドアエンジン本体)： 本体・モータ部・減速機・ベルト部 ②検出装置(センサースイッチ等)： 各スイッチ部動作 ③連結機構(レール、吊り車)： 扉開閉動作確認	3M	・消耗品・工具は受注者が準備。 ・修理・調整・補修含む。 ・作業箇所の清掃含む。 ・定期保守とは別で故障発生時には速やかに技術員を派遣し復旧する。
1－5．道路標識定期点検 本部敷地正門前「情報通信研究機構」と表示する片持ち式案内標識1本について、道路法第42条第1項及び同法施行令第35条の2第1項第2号の規定に基づく点検を行う。				
道路標識定期点検	本部敷地正門前「情報通信研究機構」と表示の片持ち式案内標識1本	点検小規模附属物点検要領（国土交通省道路局）に示されるとおり。	5Y (R12年度予定)	R12年度の点検種別は、「中間点検」を予定。

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
【 2. 電気設備】				
2-1. 電気設備定期点検				
電気事業法第 41 条に基づく当機構の自家用電気工作物保安規程（以下「保安規程」という。）に規定する、電気設備の定期点検を実施するもの。点検項目は、原則として共通仕様書に準拠するが、特別高圧電気設備についてはメーカー基準の項目とする。 なお、実施周期 3Y の点検項目は、保安規程に基づき、「精密点検項目」といい、契約期間中は、R9 年度、R12 年度を予定する。実施周期 6Y については、3Y と読み替える。 停電を伴う点検作業を要する項目は、当機構と調整し、計画的な所内全体の停電（以下「計画停電」という。）を行い、その間の実施を想定している。計画停電に関する実施手順は別記Ⅱ-2. 1 のとおり。				
(1) 電灯・動力設備				
①照明器具	別添 V-2	共仕第 2 編 3. 2. 1	共仕第 2 編 3. 2. 1 (1Y)	
②分電盤・開閉器箱・照明制御盤	〃	共仕第 2 編 3. 2. 2	共仕第 2 編 3. 2. 2 (1Y)	
③制御盤	〃	共仕第 2 編 3. 2. 4	共仕第 2 編 3. 2. 4 (1Y)	
(2) 受変電設備				
①配電盤等(内部機器除く)	別添 V-2	共仕第 2 編 3. 3. 1	共仕第 2 編 3. 3. 1 (1Y)	
②変圧器	〃	共仕第 2 編 3. 3. 2	共仕第 2 編 3. 3. 2 (項目により 1Y, 3Y, 6Y)	
③交流遮断器	〃	共仕第 2 編 3. 3. 3	共仕第 2 編 3. 3. 3 (項目により 1Y, 3Y, 6Y)	
④断路器	〃	共仕第 2 編 3. 3. 4	共仕第 2 編 3. 3. 4 (1Y)	
⑤計器用変圧器・変流器	〃	共仕第 2 編 3. 3. 5	共仕第 2 編 3. 3. 5 (1Y)	
⑥避雷器	〃	共仕第 2 編 3. 3. 6	共仕第 2 編 3. 3. 6 (項目により 1Y, 3Y)	

実施項目		対象設備	点検項目	点検周期	備考
	⑦高圧負荷開閉器	〃	共仕第2編 3.3.7	共仕第2編 3.3.7(項目により 1Y, 3Y, 6Y)	
	⑧高圧カットアウト	〃	共仕第2編 3.3.8	共仕第2編 3.3.8(1Y)	
	⑨高圧電磁接触器	〃	共仕第2編 3.3.9	共仕第2編 3.3.9(項目により 1Y, 3Y, 6Y)	
	⑩力率改善装置	〃	共仕第2編 3.3.10	共仕第2編 3.3.10(1Y)	
	⑪指示計器・保護継電器	〃	共仕第2編 3.3.11	共仕第2編 3.3.11(1Y)	
	⑫低圧開閉器類	〃	共仕第2編 3.3.12	共仕第2編 3.3.12(1Y)	
	⑬特別高圧ガス絶縁スイッチギヤ(GIS・C-GIS)	〃	共仕第2編 3.3.13	共仕第2編 3.3.13(項目により 1Y, 6Y)	
	⑭その他特別高圧関連機器	〃	共仕第2編 3.3.14	共仕第2編 3.3.14(1Y)	
	⑮非常予備電源(自家発電設備)との切換試験	〃	共仕第2編 3.3.15	共仕第2編 3.3.15(1Y)	
(3) 自家発電設備					
	自家発電装置	別添V-2	共仕第2編 3.4.1	共仕第2編 3.4.1(項目により 6M, 1Y, 6Y)	
(4) 直流電源設備					
	①整流装置	別添V-2	共仕第2編 3.5.2	共仕第2編 3.5.2(項目により 6M, 1Y)	
	②蓄電池	〃	共仕第2編 3.5.3	共仕第2編 3.5.3(項目により 6M, 1Y)	

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
(5) 交流無停電電源設備				
①交流無停電電源装置 (UPS) (簡易形を除く)	別添 V-2	共仕第 2 編 3. 6. 2,	共仕第 2 編 3. 6. 2 (1Y)	
②交流無停電電源装置 (UPS) (簡易系)	〃	共仕第 2 編 3. 6. 3	共仕第 2 編 3. 6. 3 (1Y)	
(6) 太陽光発電設備				
太陽光発電設備	別添 V-2	共仕第 2 編 3. 7. 1	共仕第 2 編 3. 7. 1 (1Y)	
(7) 通信・情報設備				
時刻表示装置 (電気時計装置)	別添 V-2	共仕第 2 編 3. 9. 6 (B)	共仕第 2 編 3. 9. 6 (B) (1Y)	
(8) 外灯				
外灯	別添 V-2	共仕第 2 編 3. 10. 1	共仕第 2 編 3. 10. 1 (1Y)	
(9) 雷保護設備				
雷保護	別添 V-2	共仕第 2 編 3. 12. 1	共仕第 2 編 3. 12. 1 (1Y)	147 棟屋上避雷設備 点検は柵のない傾斜屋根上で作業。
(10) 特別高圧電気設備				
特別高圧電気設備	別添 V-2	別記 II-2. 2	別記 II-2. 2	
2-2. 発電設備用オイルタンク定期点検				
発電設備用オイルタンクについて、共通仕様書に準拠した定期点検を実施するもの。(当機構に設置されているオイルタンクは全て発電設備用であり、空調用はないため、電気設備点検の一項目として整理。)				
オイルタンク	別添 V-2	共仕第 2 編 4. 4. 1	共仕第 2 編 4. 4. 1 (地下設置 : 1Y, (ただし設置 15 年以内は 3Y) 屋内設置 : 1Y)	

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
【 3. 機械設備等】				
3-1. 温熱源機器定期点検				
温熱源機器（ボイラー類）の保全のため、共通仕様書に準拠した定期点検を実施するもの。				
真空式温水発生機・無圧式温水発生機	別添V-3-1	共仕第2編 4.2.3	IN 又は ON 点検： 6M	
3-2. 冷熱源機器定期点検				
冷熱源機器（チラー類）の保全のため、共通仕様書に準拠した定期点検を実施するもの。				
（1）チリングユニット	別添V-3-2	共仕第2編 4.3.1	共仕第2編 4.3.1 (IN 点検：1Y, ON 点検：1M, OFF 点検：1Y)	
（2）空気熱源ヒートポンプユニット	〃	共仕第2編 4.3.2	共仕第2編 4.3.2 (IN 点検：6M, ON 点検：1M, OFF 点検：6M)	暖房又は冷房のみの運転の場合は、IN 点検及び OFF 点検は、1Y でよい。
（3）直だき吸収冷温水機	〃	共仕第2編 4.3.5(A)	共仕第2編 4.3.5(A) (IN 点検：6M, ON 点検：6M, OFF 点検：6M)	
（4）空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器（個別空調）	〃	共仕第2編 4.3.6	IN 点検：6M, ON 点検：1M, OFF 点検：6M	・暖房又は冷房のみの運転の場合は、IN 点検及び OFF 点検は 1Y でよい。 ・年間冷房運転（サーバ室等）の場合は以下のとおりとする。 IN 点検に相当する点検：6M ON 点検：1M

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
(5) 氷蓄熱ユニット	〃	共仕第2編 4.3.8	共仕第2編 4.3.8 (IN点検:6M, OFF点検:6M)	・暖房又は冷房のみの運転の場合は、IN点検及びOFF点検は1Yでよい。
(6) 冷却塔	〃	共仕第2編 4.3.9	共仕第2編 4.3.9 (IN点検:1Y, ON点検:1M, OFF点検:1Y)	常時運転の場合、IN点検及びOFF点検不要。

3-3. 空気調和等関連機器定期点検

空調設備等関連機器の保全のため、共通仕様書に準拠した定期点検を実施するもの。

(1) 熱交換器等(ヘッダー及び密閉式膨張タンクを含む。)	別添V-3-3	共仕第2編 4.4.2	共仕第2編 4.4.2 (IN点検:1Y, ON点検:1M)	
(2) 還水タンク・開放形膨張タンク	〃	共仕第2編 4.4.3	共仕第2編 4.4.3(1Y)	
(3) ①ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機	〃	共仕第2編 4.4.4	共仕第2編 4.4.4 (IN点検:6M, ON点検:1M)	
(3) ②空気清浄装置	〃	共仕第2編 4.4.6	共仕第2編 4.4.6(項目により 1M, 6M, 1Y)	
(4) ファンコイルユニット	〃	共仕第2編 4.4.5	共仕第2編 4.4.5 (IN点検:6M)	暖房又は冷房のみの運転の場合は、IN点検及びOFF点検は1Yでよい。
(5) ポンプ(空調用)	〃	共仕第2編 4.4.7	共仕第2編 4.4.7(項目により 1M, 6M, 1Y)	

実施項目		対象設備	点検項目	点検周期	備考
	(6) 送風機	〃	共仕第 2 編 4. 4. 8	共仕第 2 編 4. 4. 8(項目により 6M, 1Y)	
	(7) 全熱交換機	〃	共仕第 2 編 4. 4. 10(B)	共仕第 2 編 4. 4. 10(B) (項目により 6M, 1Y)	天井隠ぺい型全熱 交換ユニット(カセ ット形は除く。 1,000m3/h 未満)
3-4. 給排水衛生機器定期点検					
給排水衛生機器等保全のため、共通仕様書に準拠した定期点検等を実施するもの。					
(1) 受水タンク・高置タンク					
	①受水タンク・ 高置タンク点検	別添V-3-4 のう ち飲料用水用	共仕第 2 編 4. 5. 1	共仕第 2 編 4. 5. 1(1Y)	指摘については写 真を提出すること。
	②受水タンク・ 高置タンク清掃	〃	共仕第 2 編 4. 5. 2	共仕第 2 編 4. 5. 2(1Y)	作業写真を添付す ること。
(2) 汚水槽・雑排水槽					
	①汚水槽・雑排 水槽点検	別添V-3-4	共仕第 2 編 4. 5. 5	共仕第 2 編 4. 5. 5(6M)	指摘については写 真を提出すること。
	②汚水槽・雑排 水槽清掃	〃	共仕第 2 編 4. 5. 6	共仕第 2 編 4. 5. 6(6M)	作業写真を添付す ること。
(3) ポンプ（給排水衛生用）					
	①陸上ポンプ	別添V-3-4	共仕第 2 編 4. 5. 7(A)	共仕第 2 編 4. 5. 7(A) (6M)	
	②排水ポンプ	〃	共仕第 2 編 4. 5. 7(C)	共仕第 2 編 4. 5. 7(C) (6M)	
(4) ガス湯沸器					
	ガス湯沸器	別添V-3-4	共仕第 2 編 4. 5. 8	共仕第 2 編 4. 5. 8(項目により 1M, 6M, 1Y)	
3-5. 空調機用水水質管理					
空調機器用水の水質悪化による冷却水系へのスケールやスライムの付着による性能低下、腐食、レジオネラ菌増殖等を防止するため、共通仕様書に準拠した水質管理を実施するもの。					
	①空調機器用水 の水質管理	別添V-3-5	共仕第 2 編 4. 7. 1	共仕第 2 編 4. 7. 1(項目により 1M, 1Y)	・ボイラー用水は 対象外。(共仕第 2 編 4. 7. 2(a) 該当の ボイラーなし。)

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
②空調機器用水 薬品投入	〃	水質管理の状況等から、必要に応じ薬品（別添V-3-5 参照）を投入する。	随時	・ ボイラー用水は対象外。（共仕第 2 編 4.7.2(a) 該当ボイラーなし。） ・ 薬品在庫切れが見込まれる場合、3 か月前を目安に申し出ること。（当機構が調達する。）

3－6．上下水道水質検査

下水道法第 39 条の 2 に基づき、政令で定める基準を超える排水施設である下水道管理者である小金井市長より命令を受け、下水道水の水質検査を実施するもの。

また、建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法、ビル管理法）第 2 条第 1 項に基づく特定建築物と同等の衛生環境を維持するため、同法第 4 条第 1 項及び同法施行令第 2 条第 2 項イに基づく上水の水質検査を実施するもの。（なお、当機構の建築物等はいずれも建築物衛生法上の特定建築物ではない。）

①下水道水質検査	検体採取箇所は以下のとおり。 ア. 構内から小金井市公共下水道への吐出口 1 か所。 イ. 構内から小平市公共下水道への吐出口 2 か所。	検査項目は、小金井市が指定する項目で、以下のとおり。 i . 水素イオン濃度 (pH) ii . 生物化学的酸素要求量 (BOD) iii . 浮遊物質 (SS) iv . ノルマルヘキサン抽出物質 (n-Hex) v . 溶解性鉄 (s-Fe) vi . フッ素 (F) vii . 全窒素 (T-N) viii . 全リン (T-P)	検査周期は、小金井市が指定する周期で、以下のとおり。 i ～ vi : 3M vii ・ viii : 1Y (1Y の検査は、年度の最終回の検査時に実施する。)	・ 検体採取箇所は当機構と調整し決定する。 ・ 検体採取日は、発注者が指定した月に属する日で、雨水等の影響を受けない日とする。 ・ 道具及び消耗品は受注者負担。 ・ 検査結果は適宜用紙で 2 部提出。
②上水道水質検査	検体採取箇所は、飲料用水槽が設置されている棟における各末端水栓とする。	検査項目は、建築物衛生法施行規則第 4 条第 3 項に基づく。	検査周期は、建築物衛生法施行規則第 4 条第 3 項に基づく。 (項目により 6M、1Y。1Y の検査は年度の最終回の検査時に実施する。)	・ 検体採取箇所は当機構と調整し決定する。 ・ 道具及び消耗品は受注者負担。 ・ 検査結果は適宜用紙で 2 部提出。

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
3-7. 法令に基づくばい煙測定 法令に基づきばい煙発生施設に指定されている施設について、都知事への定期報告に必要なばい煙測定を実施するもの。				
ばい煙測定	別添V-3-7	点検・計量の方法は以下のとおり。 i. JIS Z 8808 円形ろ紙法 ii. JIS K 0104 定電位電解法	6M	適宜の書式により濃度計量証明書として1部提出すること。
3-8. フロン排出抑制法に基づく空調設備簡易点検 フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)第5条第2項に基づき、空調設備に異常がないかの簡易点検(目視点検)を実施するもの。				
①チリングユニット	別添V-3-2のうち (1)チリングユニット	第一種特定製品の管理者等に関する運用の手引き(環境省)参照。	3M	
②空冷ヒートポンプユニット	別添V-3-2のうち (2)空冷ヒートポンプユニット	〃	〃	
③空冷ヒートポンプパッケージ形空気調和器(個別空調)	別添V-3-2のうち (4)空冷ヒートポンプパッケージ型空気調和器(個別空調)	〃	〃	
④氷蓄熱ユニット	別添V-3-2のうち (5)氷蓄熱ユニット	〃	〃	

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
3－9．空調用エアフィルタ清掃 空気環境を清浄な状態に維持するため、空調用エアフィルタの清掃を実施するもの。				
①空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器（個別空調）	別添V-3-2のうち(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器（個別空調）における空冷式の機器	・清掃を実施する。 取替え用フィルタと同等品を用意し取替える。	3M	・ほこり対策として必要に応じ OA 機器を養生すること。 ・実施日時は当機構の指示による。 ・取替用フィルタは支給品とする。 ・清掃用薬品としてオイルフラッシュ（日本滌化科学(株)製）及びフィルターディップル（日本滌化科学(株)製）各同等品以上可・100L を構内に常備すること。
②ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機	別添V-3-3のうち(3) ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機	〃	〃	〃
③空気清浄装置	別添V-3-3のうち(3) 空気清浄装置付きのユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機	〃	6M	〃
④ファンコイルユニット	別添V-3-3のうち(5) ファンコイルユニットにおける天井埋込形又はカセット形の機器	〃	〃	〃

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
⑤全熱交換機	別添V-3-3のうち(7)全熱交換機	〃	〃	〃
3-10. 熱源機器保守点検 指定する機器について保守点検を行うもの。なお、機器の性能に係る部分については、メーカー保証の得られるよう、メーカー又はメーカーと同等の技能を有する者による保守点検を実施する。				
(1) 研究本館 氷蓄熱システム	別記Ⅱ-3-10	別記Ⅱ-3-10	別記Ⅱ-3-10	
(2) 2号館氷 蓄熱システム	〃	〃	〃	
(3) 2号館ス クリュー冷凍機	〃	〃	〃	
(4) 2号館空冷 ヒートポンプチラ ー	〃	〃	〃	
(5) 3号館温 水発生機	〃	〃	〃	
3-11. 浄水器カートリッジ交換 水道水を清浄な状態に維持するため、建物共用部設置の浄水器カートリッジの交換を実施するもの。				
浄水器カートリ ッジ交換	別添V-3-11	同規格品への交換を 行う。	1Y	
3-12. 喫煙システム保守点検 喫煙室を清浄な状態に維持するため、喫煙システムの機能維持を目的とした保守点検を実施するもの。				
①研究本館喫煙 システム	別添V-3-12	・集塵ユニット交換 ・プレフィルタ交換 ・ルーバー動作確認 ・各センサー点検 ・本体内外装清掃 ・動作確認 ・脱臭フィルタ交換	1M	・消耗品・工具類は受注者が準備。 ・軽微な調整・補修を含む。 ・点検箇所の清掃を含む。 ・定期保守とは別で故障等の際は臨時で技術員を派遣し機能回復する。

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
② 3号館・4号館喫煙システム	〃	i. 集塵セルの薬液洗淨又は洗淨済のものと交換 ii. プレフィルタの薬液洗淨又は洗淨済のものと交換 iii. 動作確認	点検項目に応じて以下のとおりとする。 i. 2M（奇数月） ii. 2M（偶数月） iii. 1M	〃
3-13. 省エネ分析に必要な資料作成 当機構本部に係るエネルギー使用量等に係るデータを収集し、省エネに分析に必要な資料を作成するもの。				
省エネ分析に必要な資料作成	—	i. 月ごとの平均外気温度推移 ii. 月ごとの太陽光発電設備の発電量推移 iii. 日ごと・系統ごとの使用電力量推移 iv. 日ごとの使用水道量推移 v. 日ごとの都市ガス・プロパンガス使用量推移	1M	・いずれも折れ線グラフにより表現すること。 ・ i は、当機構の空調設備附帯装置で測定を想定している。 ・ i 及び ii は直近5年間の対比含めグラフ化する。 ・ データから設備の異常又はその可能性が読み取れる場合は、可能な範囲で調査を実施し、改善案を含め助言を行うこと。

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
3-14. 省エネ法に基づく定期報告等に係る支援 当機構は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（省エネ法）第7条に基づく特定事業者に指定されており、これに伴い、年1回、同法第16条に基づく経済産業大臣への定期報告を実施している。また、当機構本部は、同法第10条に基づく第一種エネルギー管理指定工場に指定されており、前述の定期報告に伴い、指定表（拠点単位の個票）の添付が必要である。 当機構が行う当該定期報告業務に係り、一部点検業務について、受注者による支援を行うもの。				
①定期報告書の作成に係る支援	本部の分について	別記3-14 参照	1Y (6月末までに提出)	エネルギー管理士の資格を持つ者が実施。
②エネルギー管理標準への適合状況の点検	〃	〃	〃	〃
3-15. 業務に関する消耗品在庫点検 蛍光灯、電球、スイッチ、安定器、Vベルト、空調用中性性能フィルタ、電池、空調水処理薬品及び水栓類等、受注者側が業務上取り扱う消耗品について、在庫管理を行うとともに、型番・種別等ごとに消耗品在庫一覧表として管理するものとする。				
消耗品在庫管理	—	各消耗品について、型番・種別等ごとに使用実績及び在庫量を点検し、月次報告。	1M	
【4. 監視制御設備】				
4. 空調中央監視制御装置定期点検 空調中央監視制御装置の正常な稼働を維持するため、定期点検を実施するもの。				
空調中央監視制御装置定期点検	別添V-4のうち5号館及び6号館のみ	別記Ⅱ-4	別記Ⅱ-4	

実施項目		対象設備	点検項目	点検周期	備考
【 5. 防災設備】					
5－1. 消防用設備等定期点検					
消防法第 17 条の 3 の 3 に基づく消防設備等の定期点検を実施するもの。					
消防設備定期点検のうち、年 2 回の機器点検のうち 1 回は、年 1 回の総合点検と同時に行うものとする。					
(1) 消防用設備					
消 火 設 備	①消火器	別添 V-5	共仕第 2 編 6. 2. 2	共仕第 2 編 6. 2. 2 (6M)	
	②屋内消火 栓設備	〃	〃	〃	
	③ガス系消 火設備	〃	〃	〃	
	④送水ポン プ	〃	〃	〃	
警 報 設 備	⑤自動火災 報知設備、 ガス漏れ火 災警報設備	〃	〃	〃	
	⑥非常警報 設備	〃	〃	〃	
避 難 設 備	⑦避難器具 (避難はし ご、救助袋)	〃	〃	〃	
	⑧誘導灯、 誘導標式	〃	〃	〃	
(2) 消火活動上必要な施設					
①排煙設備		別添 V-5	共仕第 2 編 6. 2. 2	共仕第 2 編 6. 2. 2 (6M)	
②連結送水管		〃	〃	〃	
③連結散水設備		〃	〃	〃	
(3) 非常電源・配線等					
①蓄電池設備、 自家発電設備		別添 V-5	共仕第 2 編 6. 2. 2	共仕第 2 編 6. 2. 2 (項目により 6M, 1Y)	
②配線		〃	〃	〃	
③総合操作盤		〃	〃	〃	

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
(4) 建築基準法関係防災設備				
①非常用照明装置	別添V-5	共仕第2編 6.3.2	共仕第2編 6.3.2(項目により 6M, 1Y)	
②防火戸・防火シャッター	〃	共仕第2編 6.3.3(A)	共仕第2編 6.3.3(A)(項目により 6M, 1Y)	
③防火ダンパー	〃	共仕第2編 6.3.4	共仕第2編 6.3.4	
④排煙設備	〃	共仕第2編 6.3.5(A)～(D)	共仕第2編 6.3.5(A)～(D)	
⑤予備電源	〃	共仕第2編 6.3.5(E), (F)	共仕第2編 6.3.5(E), (F)	
⑥その他の避難設備等(避難器具、非常用進入口等)	〃	共仕第2編 6.3.6	共仕第2編 6.3.6	
5-2. 防災管理点検				
消防法第36条第1項において準用する同法第8条の2の2第1項の規定に基づき、防災管理点検を実施するもの。 防災管理点検は、消防設備等定期点検における年1回の総合点検と同時に行うものとする。				
防災管理点検	別添V-5	消防法に基づく	消防法に基づく (1Y)	

別記Ⅱ-2 「別添Ⅱ-2. 電気設備定期点検」に関する別記

(1) 計画停電に関する実施手順

① 計画停電における停電範囲の決定

計画点検実施日は、9月～3月の間の土日祝日のうち2日間を見込むものとする。

計画点検実施日及び各計画停電実施日における計画停電の範囲は、4月中に当機構担当者と受注者側の協議し決定する。当機構担当者は、これが決定次第当機構本部全体へ周知する。

② 一部停電回避のための措置

ア 計画停電中の電源の確保

一部の研究室等からの事業継続の都合上の要望に基づき、当機構担当者が指定する箇所については、既設の非常用発電機又は臨時に設置する仮設電源を運転し、当機構停電中は、この設備から対象箇所へ電源を供給することで停電を回避（以下、「一部停電回避」という。）を行うものとし、これに伴う以下の業務についても、本業務に含むものとする。

i. 既設の非常用発電機について

- ・ 運転管理及び電源供給切替を行う。
- ・ 点検実施日前2週間前までを目処に燃料の残量を確認し当機構担当者へ報告するとともに、必要に応じて補給依頼を行う。

ii. 臨時に設置する仮設電源について

- ・ 仮設電源の調達、搬入据付、燃料補給、運転管理、電源供給切替及び撤去を行う。
- ・ 受注者側が臨時に設置する仮設電源の規格、出力及び数量の想定は以下のとおりとする。

る。

規格	出力	数量	備考
ディーゼル発電機 3φ200V／1φ100V	5kV 程度	1 台	
ディーゼル発電機 3φ200V／1φ100V	25～40kVA 程度	6 台	
ディーゼル発電機 3φ200V／1φ100V	80～90kVA 程度	2 台	

なお、一部停電回避箇所は、各研究室等の事業の状況に応じて毎年度変更が生じる可能性があるため、受注者側は、本点検実施日の3か月前までに当機構担当者に確認すること。

- ・ 一部停電回避の要望者である各研究室等より、仮設電源設置後の設置状況確認のための立会要望のあった場合、これを見込むものとする。

イ 計画停電における供給電源切替時等の電話連絡

受注者側は、一部停電回避箇所について、各研究室等からの要望に応じて、原則として停電実施日の以下の各時点において、当機構担当者経由で一部停電回避の要望元の各研究室等の担当者へ電話連絡を行うものとする。

i. 常用電源から非常用電源又は仮設電源への切替時

ii. 非常用電源又は仮設電源から常用電源への切替時

iii. その他必要な時点

なお、各研究室等からの電話連絡の要望の取りまとめ及び調整は当機構担当者が実施し、当機構担当者は、電話連絡を希望する各研究室等の担当者には、計画停電実施日当日の出勤及び立会を求めるものとする。

③ 計画停電の実施に伴う設備等の保全及び復旧

計画停電の実施に伴い、本件請負業務の保守対象である設備等が損傷を受けないよう、必要に応じ事前に電源を切る等の対応を行うものとする。また、停電により電源が断となった設備等については、復電後、必要な復旧作業を行うものとする。

④ 作業計画書の提出

受注者側は、以下の項目を含む作業計画書を提出するものとする。

ア 日時及び工程概略

イ 各日程の作業予定

ウ 各日程の作業体制及び作業員一覧（兼連絡網）

エ 当機構関係者連絡先一覧

ここで言う関係者とは、対象者一部停電回避に伴い、計画停電実施日に出勤及び立会をする当機構担当者及び計画停電に伴い連絡の発生の可能性のある設備保守受注者とする。

関係者について所属名、氏名、電話番号及びその役割（「〇〇棟〇〇システム停電回避立会」等）をリストアップしたものとし、必要な情報は、当機構担当者が受注者側へ提供する。

なお、関係者への連絡は、原則として、当機構担当者が行うものとする。

オ 各日程の作業タイムテーブル

棟ごとに以下が分かるように明記すること。

i. 仮設電源の搬入据付日

- ・ 仮設電源の搬入据付の作業時間

ii. 点検及び停電実施日

- ・ 棟ごとの高圧遮断器の開放（停電開始）の時間
- ・ 棟ごとの高圧遮断器の投入（復電）の時間
- ・ 棟ごとの計画停電時間（停電開始から復電時間まで）
- ・ 棟ごとの点検時間（点検開始から点検完了まで）
- ・ 棟ごとの非常用電源又は仮設電源の運転に必要な準備時間
- ・ 棟ごとの非常用電源又は仮設電源の運転時間（運転開始から運転停止まで）
- ・ 棟ごとの常用電源から非常用電源又は仮設電源に給電切替えを行う時間
- ・ 棟ごとの非常用電源又は仮設電源から常用電源に給電切替えを行う時間

iii. 仮設電源の撤去日

- ・ 仮設電源の撤去の作業時間

カ 各日程の作業手順等詳細

棟ごとに以下が分かるように明記すること。

i. 作業手順

作業員が行う各作業及び電話連絡等を分単位で記入するものとし、以下を網羅すること。

- ・ 作業員名（別途作業員名簿等で指定のある場合は省略可）
- ・ 作業概要
- ・ 作業対象設備等
- ・ 電話連絡の場合は、連絡先の所属、氏名、電話番号及び連絡内容（台詞）の概要

ii. 仮設計画図

一部停電回避を行う箇所は、仮設計画図の概略を掲載すること。図には以下を付記すること。

- ・ 非常用発電機又は仮設電源の規格（「〇φ〇〇〇KVA」等、別途リスト等で示されている場合は不要。）
- ・ 非常用発電機又は仮設電源の設置場所（「〇〇棟〇〇側屋外（臨時設置）」又は「〇〇棟1階〇〇室内（既設）」等）
- ・ 仮設ケーブルを屋内へ配線する手段（「〇〇棟〇〇階〇〇側の窓から屋内へ配線」等）
- ・ 接続先の分電盤等の名称（「〇〇-〇 〇〇切替盤」等）及びその分電盤等の設置場所詳細（「〇〇棟〇〇階〇〇室〇〇側」等）

キ その他手順書

停電・復電時の対応手順、非常用発電機・仮設電源の切替手順、その他停電・復電に伴い必要となる各種設備の電源断・復旧手順等

ク 非常用発電機及び仮設電源設置状況

以下のとおり作成すること。

i. 点検作業用仮設電源

受注者側が点検作業用に設置する仮設電源について、規格、用途（「〇〇棟点検用」等）が分かるようにしたものを一覧にすること。また、設置個所について、配置図上に示すこと。

ii. 非常用発電機又は仮設電源

受注者側が一部停電回避用に運転を行う非常用発電機又は設置・運転を行う仮設電源について、規格、用途（「〇〇棟停電回避用」等）が分かるようにしたものを一覧にすること。また、設置個所について、配置図上に示すこと。

ケ 高圧配電所の配電系統一覧

同時に停電する同系統の棟を一覧にしたもの

コ 停電時における各棟の水道・トイレの使用可否についてまとめた資料

サ その他、当機構担当者との協議により添付が必要と決定したもの。

⑤ 計画停電説明会支援

当機構担当者は、関係者（一部停電回避を行う研究室等の担当者及びその他出席を希望する職員等）を対象とした計画停電説明会を、点検実施日の概ね2～3か月前を目安に実施する。

受注者側は、この説明会に出席し、当機構担当者からの指示を受け、計画停電における停電時間、停電範囲及び一部停電回避の要領等について概要説明を行い、また、質疑回答への支援も行うものとする。

⑥ 一般送配電事業者への届出代行

受注者側は、計画停電の実施に伴い必要となる一般送配電事業者への手続き代行及び支援を実施する。

(2) 特別高圧受変電設備に関する点検項目及び点検周期

点検項目は、以下のとおりとする。点検周期は、いずれも1Yとする。

対象機器	点検項目	備考
① 72kV C-GIS ユニット点検 ア VCT 接続箱 イ VCT 切換ユニット ウ 1号受電ユニット エ 1号機変圧器1次ユニット オ 母線区分ユニット(1) カ 母線区分ユニット(2) キ 2号受電ユニット ク 2号機変圧器2次ユニット	i. 外観構造点検、清掃 ii. 操作機構部の点検、注油 iii. 各断路器の操作試験 iv. 絶縁抵抗測定(主回路/各機器制御回路) v. 各断路器・遮断器の開閉動作試験 vi. 密度スイッチ動作試験 vii. 警報試験	1号線及び2号線は年度交替で送電しており、送電中の受電ユニット内は停電できない。停電できないC-GIS受電ユニットは受電断路器2次側より点検する。
② 5,000kVA 油入変圧器(2台)	i. 外観構造点検、清掃 ii. 周辺装置(窒素封入装置他) 外観点検・動作試験 iii. 保護リレー(ブッフホルツリレー他) 外観点検・動作試験 iv. 指示計(温度計他) 外観点検・動作試験 v. 油分析(油中ガス分析、特性耐圧試験)	vは採取し分析
③ 特高操作盤・特高保護継電器盤点検(2面)	i. 配電盤 ・ 内部機器外観点検・清掃 ・ 内部配線端子増締め確認 ii. 保護継電器特性試験 ・ 外観点検・清掃 ・ 保護継電器単体での特性試験	

計画停電中に特別高圧受電所内で使用する照明・点検試験器用仮設電源用発電機の規格は、

制御用電源DC100V、容量45kVAとする。

別記Ⅱ-3-10 「別添Ⅱ-3-10. 熱源機器保守点検」に関する別記

(1) 研究本館氷蓄熱システム保守点検

対象機器、点検項目及び周期は、以下のとおりとする。

対象機器	点検項目	点検周期	備考
① 本体整備点検			
水冷ブラインスクリーチャー 2 台	点検整備： i. 外観点検 ii. 保安装置点検 iii. 圧力ゲージ点検 iv. 油面点検 v. 電気整備 vi. 凝縮器チューブ清掃、 試運転調整： 総合試運転調整及びデータ採取	1Y	三菱電機製
空冷ヒートポンプチラー 3 台	点検整備： i. 外観点検 ii. 気密確認 iii. 油面・油量の確認 iv. 電気整備 v. 冷媒漏洩確認（暖房のみ） 試運転調整： 総合試運転調整及びデータ採取	〃	〃
② シーズンオン点検			
水冷ブラインスクリーチャー 2 台	運転状況総合点検： i. 運転状況点検 ii. 運転データによる総合評価	1Y (冷房 ON)	三菱電機製
空冷ヒートポンプチラー 3 台	運転状況総合点検： i. 運転状況点検 ii. 運転データによる総合評価	2/Y (冷暖房各 1 回)	〃
氷蓄熱槽 2 台	本体点検整備： i. 外観点検 ii. 水槽水位気密確認	1Y (冷房 ON)	〃
冷却塔 2 基	本体点検整備： i. 外観点検 ii. ストレーナ・水槽清掃 iii. 水張り・エア抜き iv. ファンベルト点検	〃	〃
熱交換器 4 基	本体点検整備： i. 外観点検 ii. 温度状態 (LTD) 確認	〃	〃
ポンプ 6 基	本体点検整備： i. 外観点検 ii. 運転状況確認 試運転調整： 総合試運転調整及びデータ採取	〃	〃
膨張タンク 2 基	本体点検整備： i. 外観点検 ii. 水槽水位気密確認	〃	〃
自動制御機器 2 式	本体点検整備： i. 外観点検・清掃 ii. 電気整備 iii. 電動弁動作確認	〃	〃

	対象機器	点検項目	点検周期	備考
③シーズンオフ点検				
	氷蓄熱槽 2 基	本体点検整備： i. 外観点検 ii. 水槽水位気密確認 iii. ブライン分析 iv. 蓄熱水分析	1Y	三菱 電機製
	冷却塔 2 基	本体点検整備： i. 外観点検 ii. 水抜き・簡易清掃	//	//
	熱交換機 4 基	本体点検整備： i. 外観点検 ii. 温度状態（LTD）確認	//	//
	ポンプ 6 基	本体点検整備： i. 外観点検 ii. 運転状況確認 試運転調整： 総合試運転調整及びデータ採取	//	//
	膨張タンク 2 基	本体点検整備： i. 外観点検 ii. 水槽水位気密確認	//	//
	自動制御機器 2 式	本体点検整備： i. 外観点検・清掃 ii. 電気整備 iii. 電動弁動作確認	//	//

データ採取及び分解整備については以下のとおりとする。

- ・下記項目の報告内容は、蓄熱システム内の記録装置から記録吸出しを行い報告すること。

絶縁抵抗値、保安装置実作動設定値、積算運転時間、試運転データ

水系統：各出入口水温、冷媒系統：各出入口水温、LTD

- ・安全弁、圧力計の点検は、本体から各部品を分解し、専門工場にて整備・校正を行うこと。

（２）２号館氷蓄熱システム

対象機器、点検項目及び周期は、以下のとおりとする。

	対象機器	点検項目	点検周期	備考
①熱源ユニット年次点検				
	ブライン内融 式氷蓄熱ユニ ット	圧力計検査作業： i. 圧力計 ii. 連成計の検査 その他： i. 氷蓄熱槽内の水質検査（サンプリングにて PH 値ほか） ii. ブライン溶液分析（サンプリングにて濃度・凍結温度ほか）	1Y	ダイキ ン製
	ポンプ 4 台	一次側ポンプ点検	//	//
② 3 か月点検				
	ブライン内融 式氷蓄熱ユニ ット	熱交換器ユニット整備： ポンプ・三方弁の作動確認 タンク整備： i. 水位センサー・温度センサーチェック	4/Y	ダイキ ン製

		ii. 氷蓄熱槽内の点検		
対象機器		点検項目	点検周期	備考
③熱源ユニット2か月点検				
ブライン内融式氷蓄熱ユニット	熱源ユニット点検作業： i. 電流・電圧の測定及び電気関係絶縁測定 ii. 油漏れ・水漏れ有無のチェック iii. 運転音・振動のチェック iv. 保護装置の作動及び外観点検 v. 運転状態の良否判定 vi. 各部ネジの増し締め vii. 錆発生ネジ・ビス類の交換及び錆発生ケーシングのタッチペイント viii. 熱交換器の汚れ及び腐食度合の点検 ix. 点検表の作成 x. 一次側ポンプの点検 xi. 各部圧力データ報告 xii. 各部温度データ報告 x iii. 圧縮機の運転積算時間データ x iv. ファンの運転積算時間データ		2M	ダイキン製

データ採取及び分解整備については以下のとおりとする。

- ・下記項目の報告内容は、システム機器内の記録装置から記録吸出しを行い報告すること。

水熱交換：冷水温度差、冷水熱交換状況、温水温度差、温水熱交換状況

保安装置：吐出ガス温度スイッチ、圧縮機保護サーモ、温度調節機、デフロスト、冷温水断水リレー

その他：サンプル水の分析

電気系統：水位センサー、氷厚センサー

- ・安全弁の点検は、本体から各部品を分解し、専門工場にて整備・校正を行うこと。

(3) 2号館スクリュウ冷凍機

点検項目及び周期は、以下のとおりとする。

点検項目		点検周期	備考
①シーズンイン点検			
1台	圧力計検査作業： 圧力計の検査 冷凍機点検： i. 圧縮機用電動機・電動弁・電磁弁絶縁測定を行う ii. 動力線・計装線等配線及びコネクタの緩み・接点確認 iii. INV 制御盤の点検 iv. 圧力・温度センサーの較正 v. 保安リレーの作動点検 vi. 安全弁の再調整 vii. 冷媒系統・潤滑油系統のガス漏れ検査 viii. 運転データ測定	1Y	神戸製鋼所
②シーズンオン点検			
1台	冷凍機点検：	4/Y	ダイキン

	i. 運転データ測定 iii. 冷却水・例随の水側圧力差・つまり点検 iv. 油フィルタ差圧点検	ii. 圧縮機異音点検 v. 冷媒量点検		ン製
--	--	-------------------------	--	----

(4) 2号館空冷ヒートポンプチラー

点検項目及び周期は、以下のとおりとする。

点検項目			点検周期	備考
6 か月点検				
2 台	i. 外観点検 iii. 水側熱交換器（蒸発機）点検 v. 圧縮機点検 vii. 安全装置点検 ix. 電装品関係点検 xi. 運転前状態点検	ii. 空気側熱交換器（凝縮機）点検 iv. 送風機点検 vi. 冷媒回路点検 viii. 制御類点検 x. 運転状況点検	2/Y	東芝キ ャリア 製

(5) 3号館温水発生機

点検項目及び周期は、以下のとおりとする。

点検項目			点検周期	備考
①定期点検				
2 台	i. 燃焼ガス測定 iii. フレーム電流測定 v. 遮断弁弁越し漏れ点検 vii. イグニッションロッドの点検清掃 ix. 各安全装置点検 xi. 電気系統点検	ii. エアードンパー調整 iv. 外部ガス漏れ点検 vi. バーナー運転動作確認 viii. 炎検出器点検清掃 x. 各付属品部品点検	3/Y	昭和鉄 工製
②総合点検				
2 台	i. 缶体燃焼室内部点検 iii. ガスノズル分解清掃 v. 補給スイストレーナー清掃 vii. 防腐剤の投入	ii. バーナーファン及びスクロール清掃 iv. ガスストレーナー清掃 vi. 水面計の清掃	1Y	昭和鉄 工製

別記Ⅱ-3-14 「別添Ⅱ-3-14. 省エネ法に基づく定期報告等に係る支援」に関する別記

① 定期報告書の作成に係る支援

- ・ 定期報告書のうち、当機構本部の指定表における「指定-第8表 エネルギー管理指定工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する判断の基準の遵守状況」の各項目について点検を行った結果を提出する。
- ・ 実施が不十分の項目については、書面でその理由を示すとともに改善について助言する。
- ・ 作業は、エネルギー管理士の資格を持つ者が実施し、報告書に記名すること。

② エネルギー管理標準への適合状況の点検

- ・ 当機構が定めるエネルギー管理標準の各項目に対し、当機構本部における実施状況の良否の点検を行った結果を提出する。
- ・ 実施が不十分の項目については、書面でその理由を示すとともに改善について助言する。
- ・ 作業は、エネルギー管理士の資格を持つ者が実施し、報告書に記名すること。
- ・ エネルギー管理標準自体に不備又はその可能性がある場合は、書面でその改善について助言する。

別記Ⅱ-4 「別添Ⅱ-4. 中央監視制御装置定期点検」に関する別記

(1) 点検仕様

点検項目及び周期は、以下のとおりとする。

対象機器	点検仕様	保守点検作業内容	周期	備考
MBU	機能 外観	キー操作・マウス操作確認	1Y	
マンマシンユニットコントローラー		清掃・増し締め		
CRT 本体		最新データ採集		
キーボード		冷却ファン清掃		
マウス		CD ドライブの清掃		
BMS	機能 外観	キー操作・マウス操作確認	1Y	
マンマシンユニットコントローラー		清掃・増し締め		
CRT 本体		最新データ採集		
キーボード		冷却ファン清掃		
マウス				
カラープリンター				
光磁気ディスク				
I CONT		清掃・増し締め	1Y	

ループ点検電子式制御機器点検表

機種	保守項目	周期
1. 検出器・発信器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認	1M
	(2) 外観のクリーンアップ	〃
	(3) 検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整	〃
2. 調節計	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認	〃
	(2) 外観のクリーンアップ	〃
	(3) 各設定の確認 (比例帯・積分値・微分値・不感帯・動作隙間)	〃
	(4) 検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整	〃
	(5) 規定値の設定	〃
3. 調節計 (プログラマブル式)	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認	〃
	(2) 外観のクリーンアップ	〃
	(3) 軽故障・アラーム状態・システムエラー値の点検・確認	〃
	(4) 上位伝送状態の点検確認	〃
	(5) 検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整	〃
	(6) 規定値の設定	〃
4. 変換器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認	〃
	(2) 外観のクリーンアップ	〃
	(3) 検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整	〃
5. 操作器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認	〃
	(2) 外観のクリーンアップ	〃

	(3) 検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整	//
6. 自動制御用調節弁	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認	//
	(2) 外観のクリーンアップ	//
	(3) グランド部漏れ点検	//
	(4) 検出器又は発信器・調節計・操作部等関連部とのループ作動点検調整	//

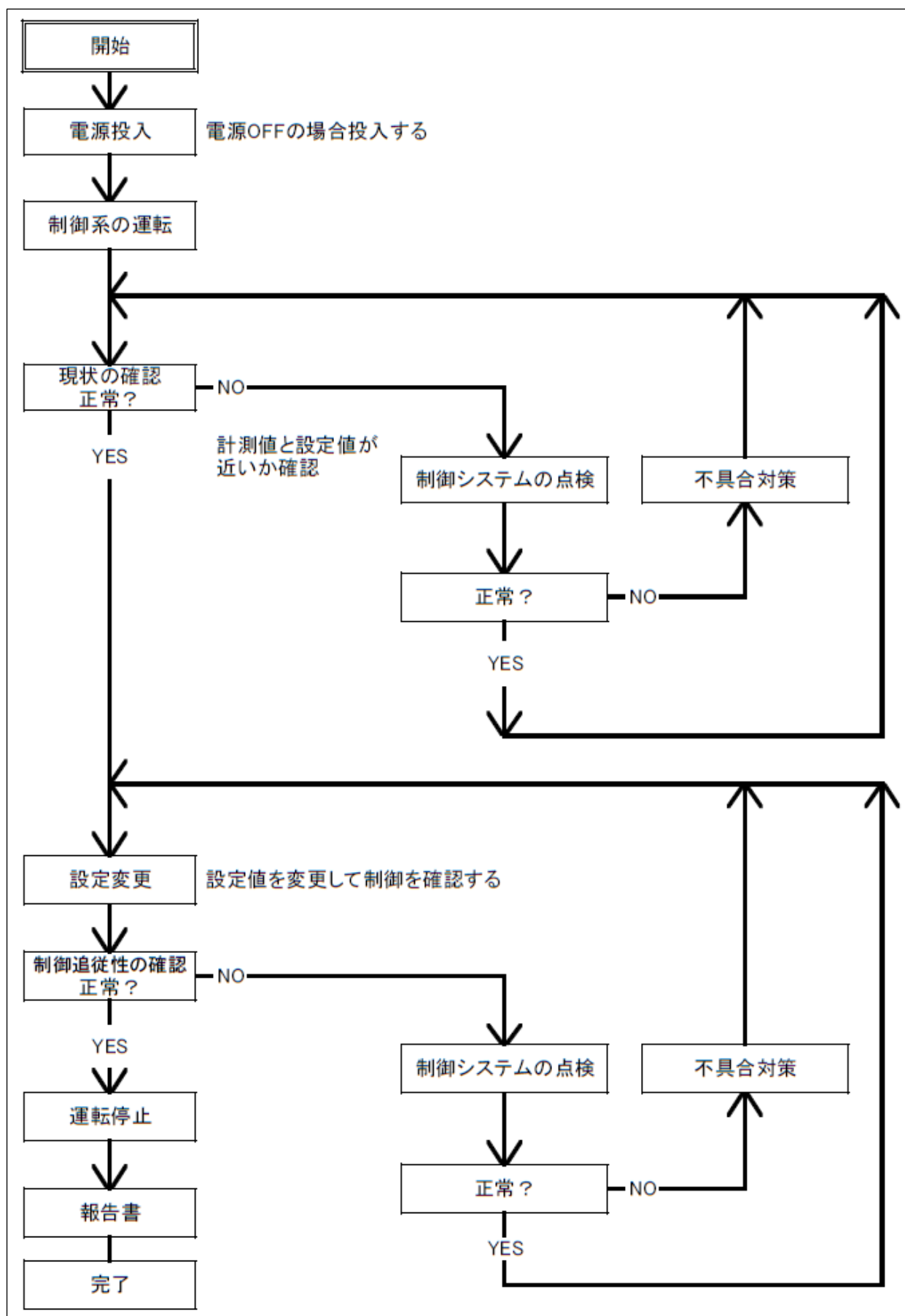
(2) 数量表

項目	摘要	数量	単位	備考
1	中央監視装置			
	液晶モニター	1	個	
	MCU	1	個	
	アナンシエーター	1	個	
	プリンター	1	個	
2	ファン-PAC制御			
	室内用温度検出器	2	個	
	デジタル指示調節計	2	個	
	ステップコントローラー	2	個	
	挿入用温度検出器	1	個	
	ON・OFF温度調節器	1	個	
3	外調機制御			
	室内用湿度調節器	1	個	
	挿入用温度検出器	1	個	
	ON・OFF温度調節器	1	個	
	遠隔設定器	1	個	
	電動2方弁	1	個	
	ダンパー操作器	1	個	
4	全熱交換器廻り制御			
	室内用湿度調節器	62	個	
5	計測系統			
	室内用温度検出器	1	個	
6	ファン発停制御			
	室内用温度検出器	1	個	
7	ヒートポンプ・パッケージ制御(1)			
	室内用温度検出器	2	個	
	室内用湿度検出器	2	個	
	ON・OFF温度調節器	2	個	
	デジタル指示調節計	2	個	
	ステップコントローラー	2	個	
8	ヒートポンプ・パッケージ制御(2)			
	室内用温度検出器	1	個	
	室内用湿度検出器	1	個	
	ON・OFF温度調節器	1	個	
	デジタル指示調節計	1	個	
	ステップコントローラー	1	個	
	DDC コントローラー	1	個	
	ASC マスター	1	個	
	設定器	1	個	

9	ヒートポンプ・パッケージ制御(3)			
	室内用温度検出器	1	個	
10	パッケージ制御(2)			
	室内用温度検出器	1	個	
	室内用湿度検出器	1	個	
	ON・OFF温度調節器	1	個	
項目	摘要	数量	単位	備考
	デジタル指示調節計	1	個	
	ステップコントローラー	1	個	
11	漏水警報監視			
	漏水感知器(漏水テープは除く)	35	個	
12	水槽液面制御			
	フロートスイッチ(液面リレー)/電極棒	7	個	
	2方電磁弁	3	個	
13	VAV 制御			
	室内用温度検出器	1	個	
	室内安定器	1	個	
	DDC コントローラー	1	個	

(3) ループ点検

次頁のチャートに従って、ループ点検を実施し、報告・終了とする。



Ⅲ 運転・監視及び日常点検・保守業務

本業務に係る一般事項については、「建築保全業務共通仕様書 令和5年版」（国土交通省大臣官房官庁営繕部、以下「共通仕様書」という。）第3編の各章に定められるとおりとする。

実施項目、対象設備、点検項目及び点検周期等は下表のとおりとし、報告書は、数時間単位（2H等）、日単位（1D）又は週単位（1W）の場合は日次報告書に、月単位（1M, 2M, 3M）の場合は月次報告書に、実施項目に対応する番号を附番し、番号順に整理して提出するものとする。

なお、下表中の「共仕」とは、「共通仕様書」の略とする。

また、各項目共通の作業事項は以下のとおりとする。

- ・ 対象設備が設置されている居室（電気室及び機械室等）の整理整頓及び掃き掃除を行う。
- ・ 点検・運転に障害となる物がある場合は取り除く。注意標識は、見えやすい状態にする。
- ・ 設備に不具合・破損等がある場合、貸与された工具類で対応可能な範囲での小修理を行う。
- ・ 処置事項については、日報に記録する。
- ・ 事故又はその恐れを発見した場合には、速やかに当機構担当者に口頭にて報告し、後日、書面でも報告を行う。

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
【1. 建築】				
1. 建築日常点検				
建築物の保全のため、共通仕様書に準拠した日常点検を実施するもの。				
建築	別添V-1	共仕第3編 2.1.1	共仕第3編 2.1.1(項目により 1D, 1M, 3M)	
【2. 電気設備】				
2. 電気設備日常運転・監視				
電気事業法第41条に基づく当機構の自家用電気工作物保安規程（以下「保安規程」という。）に規定する、電気設備の日常運転・監視を実施するもの。				
(1) 電灯・動力	別添V-2	共仕第3編 3.2.1	共仕第3編 3.2.1(1M)	
(2) 受変電	別添V-2	共仕第3編 3.3.1	共仕第3編 3.3.1(項目により 1D, 1W, 1M)	
(3) 自家発電装置	別添V-2	共仕第3編 3.4.1	共仕第3編 3.4.1(項目により 1D, 1W, 1M)	

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
(4) 直流電源装置	別添V-2	共仕第3編 3.5.1	共仕第3編 3.5.1 (項目により 1D, 1W)	
(5) 交流無停電電源装置 (UPS)	別添V-2	共仕第3編 3.6.1	共仕第3編 3.6.1 (項目により 1D, 1W)	
(6) 太陽光発電装置	別添V-2	共仕第3編 3.7.1	共仕第3編 3.7.1 (項目により 1D, 1M)	
(7) 外灯	別添V-2	共仕第3編 3.9.1	共仕第3編 3.9.1 (項目により 1D, 1M)	
(8) 雷保護	別添V-2	共仕第3編 3.11.1	共仕第3編 3.11.1 (1M)	

【3. 機械設備】

3-1. 温熱源機器運転・監視及び日常保守

温熱源機器（ボイラー類）の保全のため、共通仕様書に準拠した運転監視及び日常保守を実施するもの。

真空式温水発生機・無圧式温水発生機	別添V-3-1	運転・監視記録： 共仕第3編 4.1.2 作業内容： 共仕第3編 4.1.4	運転・監視記録： 共仕第3編 4.1.2(2H) 作業内容： 共仕第3編 4.1.4(1D)	空調の想定運転時間は、8時30分～17時00分とする。
-------------------	---------	---	---	-----------------------------

3-2. 冷熱源機器運転・監視及び日常保守

冷熱源機器（チラー類）の保全のため、共通仕様書に準拠した運転・監視及び日常保守を実施するもの。

(1) チリングユニット	別添V-3-2	運転・監視記録： 共仕第3編 4.2.2 作業内容： 共仕第3編 4.2.3	運転・監視記録： 共仕第3編 4.2.2(1D) 作業内容： 共仕第3編 4.2.3(1D)	空調の想定運転時間は、8時30分～17時00分とする。
--------------	---------	---	---	-----------------------------

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
(2) 空気熱源 ヒートポンプユ ニット	〃	運転・監視記録： 共仕第3編 4.2.2 作業内容： 共仕第3編 4.2.3	運転・監視記録： 共仕第3編 4.2.2(1D) 作業内容： 共仕第3編 4.2.3(1D)	〃
(3) 直だき吸 収冷温水機	別添V-3-2	運転・監視記録： 共仕第3編 4.2.2 作業内容： 共仕第3編 4.2.3	運転・監視記録： 共仕第3編 4.2.2(4/D) (冷凍能力が単体で 186kW 未満のもの及 び吸収冷温水機ユニ ットにあつては1D) 作業内容： 共仕第3編 4.2.3(1D)	〃
(4) 氷蓄熱ユ ニット	〃	運転・監視記録： 共仕第3編 4.2.2 作業内容： 共仕第3編 4.2.3	運転・監視記録： 共仕第3編 4.2.2(1D) 作業内容： 共仕第3編 4.2.3(1D)	〃
3-3. 空気調和等関連機器運転・監視及び日常保守 空調設備等関連機器の保全のため、共通仕様書に準拠した運転・監視及び日常保守を実施するもの。				
(1) 熱交換器 等（ヘッダー及 び密閉式膨張タ ンクを含む。）	別添V-3-3	共仕第3編 4.3.2	共仕第3編 4.3.2(1M)	空調の想定運転時間 は、8時30分～17時 00分とする。
(2) 冷却塔	別添V-3-2	〃	共仕第3編 4.3.2(1W)	〃
(3) ①ユニッ ト形空気調和 機・コンパクト 形空気調和機	別添V-3-3	〃	共仕第3編 4.3.2(1M)	〃

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
(3) ②空気清浄装置	〃	〃	〃	〃
(4) ファンコイルユニット	〃	〃	〃	〃
(5) ポンプ (空調用)	〃	〃	共仕第3編 4.3.2(1W)	〃
(6) 送風機	〃	〃	〃	〃
(7) 全熱交換機	〃	〃	〃	〃
(8) 氷蓄熱ユニット	別添V-3-2	〃	〃	〃

3-4. 給排水衛生機器運転・監視及び日常点検・保守

飲料用水用タンク及び汚水用タンク等の保全のため、共通仕様書に準拠した運転・監視及び日常点検・保守を実施するもの。

(1) ポンプ (給排水衛生用)	別添V-3-4	共仕第3編 4.4.2	共仕第3編 4.4.2(項目により 1W, 1M)	
(2) 受水タンク・高置タンク	〃	〃	共仕第3編 4.4.2(1M)	台風や地震等の影響で 水質が悪くなる恐れのある場合は臨時点検を行うこと。
		各給水栓末端で、 以下の項目の点検を実施する。 ・色が透明か ・にごりがないか ・塩素(カルキ)以外の臭いがないか ・味に異常ないか	1D	
		各給水栓末端で、 遊離残留塩素が 0.1mg/L 以上か	1W	測定方法は、ジエチル パラフェニレンジアミン法とする。
(3) 汚水槽・雑排水槽点検	〃	共仕第3編 4.4.2	共仕第3編 4.4.2(項目により 1W, 1M)	

実施項目	対象設備	点検項目	点検周期	備考
3－5．管球交換 職員より管球切れの報告を受けた場合、交換を行うもの。				
管球交換	別添V-1に 指定する建物 内の蛍光灯類	管球交換の実施	職員より連絡を受け 随時	
4．監視制御設備				
4．空調中央監視制御装置日常点検 各空調中央監視制御装置の正常な稼働を維持するため、日常点検を行うもの。				
空調中央監視制 御装置	別添V-4	共仕第3編 5.1.1	共仕第3編 5.1.1（項目により 1D, 1W）	

Ⅳ 警備業務

本業務に係る一般事項については、「建築保全業務共通仕様書 令和５年版」（国土交通省大臣官房官庁営繕部、以下「共通仕様書」という。）第６編の各章に定められるとおりとする。

実施項目、対象施設、実施項目及び実施周期等は下表のとおりとし、報告書は、日次報告書に、実施項目に対応する番号を附番し、番号順に整理して提出するものとする。

なお、下表中の「共仕」とは、「共通仕様書」の略とする。

実施項目	対象施設	実施項目	実施周期	備考
【警備業務】				
（１）施設警備業務				
施設の防犯・防災等に関する業務を実施するものとする。				
各業務は、警備責任者及び警備作業員が実施する。ただし、「⑤出入管理 ウ.入退室管理システム運用及び エ.受付」に係る業務については、平日昼の職員及び訪問者等の出入の多い時間帯においては、各業務の専従者である入退室管理システム運用作業員及び受付作業員が主となり実施する。				
実施時間に指定のある業務の実施時間は、別記Ⅳのとおりとする。				
①防犯・ 防災監視	別添Ⅴ-１に 定める建物 及び 別添Ⅴ-6-1 に定める敷 地全域	共仕第６編 2.1.4 (防犯・防災システム 監視並びに異常発生時 における消防等への通 報、指定の部署への連 絡、避難誘導、非常用 放送及び被害拡大防止 に係る緊急対応等)	常時	・各種警報表示盤・システムの監視・操作、収集したデータの管理及び必要時の抽出等を行うこと。 ・火災及び災害等、場合ごとの対応詳細については、当機構担当者と協議し、当機構の消防計画等も勘案した内容を警備計画書に定めること。また、発生時には職員との必要な連携を行うこと。 ・月ごとに、以下の件数を集計し、月次報告を行うこと。 i. 自動火災報知設備発報 ii. 入退室管理システム発報 iii. 門扉発報 iv. 身障者用トイレ非常通報 v. エレベータ非常通報等 なお、実際のインシデント（不審者の侵入、エレベータ閉じ込め等）があった場合は、その概要を付記すること。

実施項目	対象施設	実施項目	実施周期	備考
②エレベータ管理 (運行管理)	別添V-6-2	共仕第6編2.1.4 (エレベータ運行管理、緊急時の操作)	定期及び随時	・当機構が定める各エレベータ運行時間は別添V-6-2 参照 ・かご内閉じ込め等の対応詳細については、当機構担当者と協議し、警備計画書に定めること。
③鍵管理	別添V-1 に定める建物及び 別添V-6-1 に定める敷地全域	共仕第6編2.1.4 (鍵の保管及び職員等への鍵貸出)	随時	・鍵の授受の記録を、鍵の貸出記録として整備すること ・別添V-1 に掲載のない敷地内建物（落下水槽（138 棟北西建物）及び60M 鉄塔（128 棟南東）等）の鍵管理も含む。 ・月ごとに、鍵の貸出件数を集計し、月次報告を行うこと。
④駐車場管理	敷地内の駐車場及び駐輪場（いずれも自走式）	共仕第6編2.1.4 (駐車場内巡回等) 及び駐輪場内巡回	定期及び随時	・駐車許可証の発行手順については「(3) 受付業務」参照。 ・通勤時間帯及び要人來訪時における南側敷地正門及び北側敷地正門付近の交通整理並びに構内への誘導を行う。 ・無許可駐車等の違反車両（軽車両含む）について、車両情報及び違反内容を記録するとともに、所有者へ警告を行う。警告方法は、警告内容及び警告年月日を付記した帳票を、自動車の場合はワイパーに挟み、自転車等の場合はハンドルに巻く等して設置する。

実施項目	対象施設	実施項目	実施周期	備考
⑤出入管理	別添V-1に定める建物及び 別添V-6-1に定める敷地全域	共仕第6編2.1.4 (施設における人等の出入り管理、門扉等の解錠・施錠、入退室管理システム等を通じた出入管理等) 当機構の出入管理は以下の方法により行う。 ア. 門の開閉 イ. 南側敷地正門前立哨の警備作業員による確認 ウ. 入退室管理システム運用 エ. 受付	定期及び随時	・門の開閉時間は別記IV参照。 ・南側敷地正門前立哨は、出入管理として以下の業務を行う。 i. 敷地内へ進入する者及び車両(軽車両含む)が、当機構指定のIDカード又駐車許可証等を保有するかにより入構に適格があるかを判別する。保有しない者は受付へ案内又は必要に応じ制止を行う。 ii. 周辺における歩行者及び車両に対する安全確保に努める。 iii. 雨天時における身障者車両に係る乗降の介助を行う。 ・入退室管理システム運用業務については、(2) 参照。 ・受付業務については、(3) 参照。
⑥遺失物の取扱い	〃	共仕第6編2.1.4	随時	・遺失物を発見又は受領した場合、指定の遺失物等記載簿に届出者、対象物の情報、発見日時及び場所等を記載し、速やかに遺失物とともに当機構担当者へ引き渡す。

実施項目	対象施設	実施項目	実施周期	備考
⑦巡回監視	〃	共仕第 6 編 2.1.4 (不審者及び不審物の発見・適正処理、火気点検、各室の施錠状況の確認、在館者の有無の確認等) なお、以下 2 種類の巡回監視を指定の時間に行うこと。 i. 敷地等巡回巡視： 敷地内の通路及び常時無人の建物内 ii. 建物内巡回巡視： 敷地内の各建物内	4/D	・巡回巡視経路は、当機構担当者との協議により定めるものとし、敷地等巡回監視ではごみ収集場所を、建物内巡回監視では、火気使用場所（喫煙所等）を経路に含めること。いずれの経路も、立入禁止とされている区域・居室等は対象外とする。 ・扉、窓及びガラスの破損等、防犯上の異常がないかを確認すること。不適切に扉及び窓等が開いている場合は閉めること。 ・消火器等の消防設備の破損、防火戸、防火シャッター及び非常口の機能を阻害する障害物の設置等、防火防災上の異常がないか確認すること。障害物は可能な範囲で移動する等し避難経路の確保に努めること。 ・不要な電力の使用及び蛇口の漏水は、使用者がいないことを確認のうえ停止し、省エネルギーに努めること。 ・22 時～翌 1 時に実施する建物内巡回監視の際、当機構が消防計画にて定める火元責任者点検検査票に記載箇所の火元点検を実施し、結果を当機構へ報告すること。 ・不審者の発見、不審物の発見、不法行為の発見、館内禁止行為の発見、火災の発見、危険箇所の発見等の想定される場合ごとの対応詳細については、当機構担当者と協議し、警備計画書に定めること。

実施項目	対象施設	実施項目	実施周期	備考
⑧各種災害時の対応	〃	共仕第 6 編 2.1.4 (台風接近前後の施設の安全確認、地震後の施設の安全確認、豪雪時等の施設の安全確認)	随時	・台風接近前後、地震後、豪雪時及び敷地内への落雷等、場合ごとの対応詳細については、当機構担当者と協議し、当機構の消防計画等も勘案した内容を警備計画書に定めること。また、発生時には職員との必要な連携を行うこと。
⑨急病人発生時の対応	〃	共仕第 6 編 2.1.4 (怪我人、急病人等発生時の応急手当、119 番通報、指定の部署への連絡及び意識不明者への A E D 使用)	随時	・怪我人及び急病人等への対応詳細については、当機構担当者と協議し、警備計画書に定めること。また、発生時には職員との必要な連携を行うこと。
⑩業務妨害への対応	〃	共仕第 6 編 2.1.4	随時	・当機構の職員又は建物への危害予告等の業務妨害への対応詳細については、当機構担当者と協議し、警備計画書に定めること。また、発生時には職員との必要な連携を行うこと。

実施項目	対象施設	実施項目	実施周期	備考
(2) 入退室管理システム運用業務 「(1) 施設警備業務 ⑤出入管理 ウ.入退室管理システム運用」は、入退室管理システムの仕様及び操作方法を十分理解し、当機構担当者からの指示を受けシステム端末を操作し、ID カード及び電気錠の設定変更等作業を実施するものとする。 職員からの設定変更申請の多い平日昼の時間帯（別記Ⅳに規定する時間）においては、当該業務専従者である入退室管理システム運用作業員が主となり、申請処理を中心とした作業を実施し、平日 8:30～17:00 の間で入退室管理システム運用作業員が不在となる時間帯において即時対応が必要な場合は、警備責任者若しくは警備作業員又はその他代理者が実施する。				
①人事に伴う作業	—	・人事異動に伴う対象者の ID カードのアクセス権の設定変更 ・新規採用に伴う対象者の ID カードのアクセス権設定 ・退職に伴う対象者の ID カード情報抹消	職員より依頼のあった場合、随時	
②特定 ID カード発行作業	—	・指定された居室等のみアクセス権のある ID カード（特定 ID カード）の発行	〃	
③アクセス権設定変更作業	—	・指定された対象者の ID カードについて、指定されたとおりのアクセス権の設定変更	〃	
④電気錠の設定変更作業	—	・指定された電気錠について、時限付きの開放（施錠解除）等の設定変更	〃	・イベント開催等により、要望者から会場となる建物又は居室の開放依頼があった場合等を想定する。
⑤監視・分析	—	・異常時の報告 ・ログ管理及び必要に応じたデータ抽出及び分析	〃	

実施項目	対象施設	実施項目	実施周期	備考
(3) 受付業務 「(1)施設警備業務 ⑤出入管理 エ. 受付」は、正門前の守衛室窓口において受付業務を行うものとする。 職員及び訪問者等の出入の多い平日昼の時間帯（別記Ⅳに規定する時間）においては、当該業務専従者である受付作業員が主となり実施し、受付作業員不在の時間帯は、警備作業員等が実施する。				
①来訪者 対応	—	・ 訪問先所属・担当の確認及び訪問先への照会を行う。 ・ 訪問先担当との間の約束が確認できた場合、訪問者に、当機構が指定する書式に氏名等必要な情報を記載していただいたうえ、訪問者用バッジ及び必要に応じ ID カードを貸与し、場所を案内する。 ・ 来訪者の退所時には、貸与した訪問者用バッジ及び ID カードの返却を求め、これを回収する。	随時	・ 一般的な来訪者の対応手順の詳細については、当機構担当者と協議し、警備計画書に定めること。 ・ 出入りの事業者及び VIP 視察対応等、例外的な対応が必要な来訪者がある場合は、パターンごとに対応手順詳細について当機構担当者と協議し、警備計画書に定めること。 ・ 出入りの多い平日昼の時間帯においては、英語話者の来訪を想定し、当該業務専従者である受付作業員には、英語検定 2 級程度の英語用いた日常会話ができる者を配置する。 ・ 月ごとに、以下の件数を集計し、月次報告を行うこと。 i. 訪問者へのバッジ貸出数 ii. 訪問者への ID カード貸出数 iii. 職員への ID カード貸出数
②駐車許可証の貸与	—	・ 車両での来訪者には、来訪者用駐車許可証を、当日限り駐車場を利用したいと申し出のあった職員には、当日限り有効な職員用駐車許可証を発行し、それぞれ指定の駐車場所を案内する。 ・ 駐車場利用者の退所時には、貸与した駐車許可証の返却を求め、これを回収する。	随時	・ 月ごとに、以下の件数を集計し、月次報告を行うこと。 i. 来訪者用駐車場への駐車許可証貸出数 ii. 職員用当日利用駐車場への駐車許可証貸出数

別記Ⅳ 「別添Ⅳ 警備業務」に関する別記

ア 警備業務に係る各業務の実施時間

警備業務に係る各業務の実施時間は、下表内の棒で示す時間とする。

なお、表中の「人員」の各項目に示す番号は、別添Ⅳに対応する業務項目を表す。

i. 平日（年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）を除く。）

[illegible]

ii. 土日祝日及び年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）

[illegible]

イ 門の開門時間

門の開門時間は、下表内の棒で示す時間とする。

なお、歩行者用である通用門は、電気錠を設置しており、閉門中も当機構の ID カードでの一時解錠を可能とする。

i. 平日（年末年始（12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで）を除く。）

人員 \ 時間		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6
南側敷地	正門																									
	正門横通用門																									
	西門																									
	東門																									
	南通用門																									
北側敷地	正門(北正門)																									
	正門横通用門																									
	西門(北西門)																									
	東門(北東門)																									
	北門																									

ii. 土日祝日及び年末年始（12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで）

人員 \ 時間		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6
南側敷地	正門																									
	正門横通用門																									
	西門																									
	東門																									
	南通用門																									
北側敷地	正門(北正門)																									
	正門横通用門																									
	西門(北西門)																									
	東門(北東門)																									
	北門																									

【1. 建築】—1 建築物

No.	棟 番号	名称	場所		階数		構造	建物面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築 年	屋根形状	Ⅱ-1-2 12条点検対象 (建築基準法 に基づく 特定建築物)	Ⅱ-1-3 雨樋及び雨水 枳清掃対象 (※)	備考
			南側	北側	地上	地下								
1	128	研究本館	○	—	4F	B1F	RC-4F	3,218.04	13,140.62	2001	陸屋根	—	—	別名：1号館
2	134	2号館	○	—	4F	—	RC-4F	1,802.20	5,453.11	2003	陸屋根	—	—	別名：ネットワーク時刻認 証棟
3	140	3号館	○	—	6F	B2F	SRC-6F	2,665.10	12,491.53	2011	陸屋根	○	—	別名：総合電磁波環 境研究棟
4	97	4号館	○	—	4F	B1F	RC-4F	1,522.22	4,825.44	1981	陸屋根	—	—	別名：総合研究庁舎
5	123	5号館	○	—	4F	—	RC-5F	1,503.13	5,905.44	1997	陸屋根	○	○ (東側雨樋)	別名：マルチメディア研究 センター
6	59	旧食堂棟	○	—	1F	—	RC-1	422.64	422.64	1965	陸屋根	—	○	
7	61	ウルシグラム送信庁 舎	○	—	1F	—	CB-1	57.72	57.72	1966	陸屋根	—	—	
8	63	食堂物置	○	—	1F	—	CB-1	11.55	11.55	1967	陸屋根	—	—	
9	91	管理倉庫	○	—	2F	—	RC-2	121.00	242.00	1979	陸屋根	—	○	
10	95	車庫	○	—	1F	—	S-1	210.89	210.89	1981	折版屋根	—	—	
11	98	厨房作業員控室	○	—	1F	—	CB-1	28.10	28.10	1983	折版屋根	—	—	
12	108	旧移動追尾高額実験 小屋	○	—	1F	—	S-1	35.68	35.68	1993	折版屋根	—	—	
13	111	ミリ波研究棟	○	—	2F	—	SRC-2	1,270.00	2,599.09	1994	陸屋根	—	○	
14	114	研究交流センター	○	—	2F	—	RC-2	367.30	599.30	1994	陸屋根	—	○	
15	124	4～5号館渡り廊下	○	—	2F	—	S-1	28.41	28.41	1997	曲面屋根	—	—	
16	129	自転車置場	○	—	1F	—	S-1	45.38	45.38	2001	折版屋根	—	—	研究本館東西側
17	130	光デバイス技術セン ター	○	—	1F	B1F	SRC-1	856.33	1,431.20	2001	陸屋根	—	—	
18	131	セキュリティ集中管 理棟	○	—	1F	—	RC-1	145.86	126.00	2002	陸屋根	—	—	
19	132	オープンサイト用測 定室	○	—	1F	—	RC-1	103.60	101.78	2003	折版屋根	—	—	

【1. 建築】—1 建築物

No.	棟 番号	名称	場所		階数		構造	建物面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築 年	屋根形状	Ⅱ-1-2 12条点検対象 (建築基準法 に基づく 特定建築物)	Ⅱ-1-3 雨樋及び雨水 枿清掃対象 (※)	備考
			南側	北側	地上	地下								
20	—	自転車置場	○	—	1F	—	S-1	9.80	19.60	2003	その他	—	—	管理倉庫南側
21	135	産学官研究交流棟	○	—	3F	—	RC-3	541.76	1,521.37	2005	陸屋根	—	—	
22	141	自転車置場	○	—	1F	—	S-1	40.45	40.45	2011	曲面屋根	—	—	
23	145	防災倉庫	○	—	1F	—	LS-1	6.34	6.34	2015	折版屋根	—	—	
24	146	防災倉庫	○	—	1F	—	LS-1	19.02	19.02	2015	折版屋根	—	—	
25	148	B5G電波暗室棟	○	—	1F	—	RC-1	425.25	397.05	2023	陸屋根	—	○	
26	127	6号館	—	○	4F	—	RC-4F	1,475.73	5,676.14	2000	陸屋根	—	—	別名：電磁環境研究棟
27	147	量子セキュリティ・協創棟	—	○	3F	—	RC・S-3F	1,524.43	3,731.85	2022	傾斜屋根（金属）	—	—	
28	74	旧変電所	—	○	1F	—	RC-1	142.30	142.30	1974	陸屋根	—	○	
29	93	便所	—	○	1F	—	CB-1	32.00	32.00	1980	陸屋根	—	—	
30	96	倉庫	—	○	1F	—	LS-1	101.11	101.11	1981	折版屋根	—	—	
31	105	機械室	—	○	1F	—	S-1	445.71	442.83	1969	傾斜屋根（金属）	—	—	
32	107	宇宙光通信地上センター	—	○	2F	—	S-1, RC-2	1,242.66	1,348.09	1988	一部陸屋根、一部局面屋根	—	○	
33	109	テストフィールド用測定室	—	○	1F	—	LS-1	20.00	20.00	1993	折版屋根	—	—	
34	110	光伝送技術開発棟	—	○	1F	—	S-1	420.00	411.00	1994	陸屋根	—	○	

【1. 建築】—1 建築物

No.	棟 番号	名称	場所		階数		構造	建物面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築 年	屋根形状	Ⅱ-1-2 12条点検対象 (建築基準法 に基づく 特定建築物)	Ⅱ-1-3 雨樋及び雨水 桟清掃対象 (※)	備考
			南側	北側	地上	地下								
35	112	VLBI観測棟	—	○	2F	—	RC-2	293.00	587.00	1994	陸屋根	—	—	
36	113	ゲストハウス	—	○	1F	—	RC-1	336.00	324.00	1994	傾斜屋根	—	○	
37	116	送信器室	—	○	1F	—	LS-1	35.00	1.00	1994	折版屋根	—	—	
38	117	自転車置場	—	○	1F	—	S-1	9.30	9.30	1994	曲面屋根	—	—	
39	119	KSP・SLR観測棟	—	○	1F	—	RC-1	41.00	41.00	1996	曲面屋根	—	—	
40	120	ACE観測局舎	—	○	1F	—	LS-1	24.00	24.00	1996	折版屋根	—	—	
41	122	物品格納庫	—	○	1F	—	LS-1	26.00	26.00	1995	折版屋根	—	—	
42	125	物品格納庫	—	○	1F	—	LS-1	33.00	33.00	1998	折版屋根	—	—	
43	126	高圧配電所	—	○	1F	—	RC-1	128.44	116.52	1998	傾斜屋根（金 属）	—	—	
44	133	自転車置場	—	○	1F	—	S-1	27.24	56.04	2003	曲面屋根	—	—	
45	136	倉庫	—	○	1F	—	LS-1	30.80	30.80	2004	折版屋根	—	—	
46	137	特別高圧受電所	—	○	1F	—	RC-1	238.53	231.22	2007	傾斜屋根（金 属）	—	—	
47	138	電離層観測・試作開 発棟	—	○	2F	—	RC-2	779.15	1,097.44	2008	陸屋根	—	○	
48	139	自転車置場	—	○	1F	—	LSS	8.11	8.11	2008	曲面屋根	—	—	
49	142	西側搬入口屋根	—	○	1F	—	S-1	4.54	15.33	2011	曲面屋根	—	—	
50	143	光空間通信実験棟小 金井局	—	○	2F	—	S-2	85.54	155.26	2014	曲面屋根	—	○	
51	144	防災倉庫	—	○	1F	—	LS-1	19.02	19.02	2015	折版屋根	—	—	
合計			25	26				22,980.38	64,474.07			2	12	

※雨樋及び雨水桟清掃の対象は、土やごみの溜まりやすい2F以下の低層棟としている。

【1. 建築】—4 自動ドア設備

No.	設置箇所				機種	センサー	形式	オートロック	備考
	棟番号	建物名	No.	場所					
1	59	旧食堂棟	1	正面入口	DS-21	H-94	引分け	○	ナブコ
			2	裏側入口	MF-175	SSP-1	折れ戸	○	〃
2	97	4号館	3	南側入口	15 k 15 k	DA-301	引分け	○	ソリック
			4	図書室	DS-21	H-94	二重両開き	—	ナブコ
			5	北側出入口	MF-N60	SSP-N4, SSP-N4	折れ戸	—	〃
3	107	宇宙光通信地上センター	6	正面入口(1)	DS-60	SSP-N4	引分け	○	〃
			7	正面入口(2)	DS-60	DA-1100	片引き	○	〃
4	110	光伝送技術開発棟	8	正面入口	DS-60	SSP-N1	引分け	○	〃
5	111	ミリ波研究棟	9	正面入口	DS-150	SSP-1	引分け	○	〃
6	112	VLBI観測棟	10	正面入口	DS-75	H-N85	引分け	○	〃
7	114	研究交流センター	11	正面入口外	DS-21	SSP-1	引分け	—	〃
			12	正面入口内	DS-21	SSP-1	引分け	○	〃
8	123	5号館	13	正面入口	DS-75	DA-1100	引分け	○	〃
			14	正面右	DS-21	DA-1100	引分け	—	〃
			15	正面左	DS-21	DA-1100	引分け	—	〃
			16	5-207	DS-75	SSP-N43	引分け	○	〃
9	127	6号館	17	正面入口外	V-85SL-N	NS-A04	引分け	○	〃
			18	正面入口内	AC-100-CTLB	OA-72V	引分け	—	JAD
10	128	研究本館	19	正面入口外右	DS-75	H-N86	引分け	—	ナブコ
			20	正面入口外左	DS-75	DA-1100	引分け	—	〃
			21	正面入口内右	V-85SL-F	NS-A04N	引分け	○	〃
			22	正面入口内左	DS-75	DA-1100	引分け	○	〃
			23	裏側入口外	DS-75	DA-1100	引分け	—	〃
			24	裏側入口内	DS-75	DA-1100	引分け	○	〃
			25	展示室入口	DS-60	外：SSP-N42, 内：SSP-N4	片引き	—	〃
			26	ホール打合せコーナー横	MF-N75	NP-N104	折れ戸	○	〃
			27	ホール自販機コーナー横	MF-N75	NP-N104	折れ戸	○	〃
11	130	光デバイス技術センター	28	正面入口	CBDR-100(G)	DA-1100	引分け	○	JAD
			29	B1F	CBDR-100(G)	DA-1100	引分け	—	〃
12	134	2号館	30	正面入口	YCB-DCU-3	OA-70P (外), OA-70P (内)	引分け	○	テラオカ
			31	裏側入口	YCB-DCU-5	OA-72V (外), OA-205V (内)	引分け	○	〃
			32	EVホール入口	YCB-DCU-3	OA-70P	片引き	○	〃

【1. 建築】—4 自動ドア設備

No.	設置箇所			機種	センサー	形式	オート ロック	備考	
	棟 番号	建物名	No.						場所
13	135	産学官研究交流棟	33	風除室外	V-150SL-N	NS-A01(S)	片引き	—	ナブコ
			34	風除室内	D S-1 5 0	H-94D	片引き	—	〃
			35	食堂	D S-1 5 0	H-94D	片引き	—	〃
14	138	電離層観測・試作開発棟	36	入口	DS-75	SPP-1	片引き	○	〃
			37	設計事務室	DS-75CH	SPP-1	片引き	—	〃
15	140	3号館	38	1F 正面入口外	SOV-160KLCM	OA-204V/OA-205V	引分け	○	テラオカ
			39	1F 正面入口内	SOV-160KLCM	OA-204	引分け	○	〃
			40	1F 廊 下 1	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			41	1F 廊 下 2	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			42	1F ELVホール	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			43	2F ELVホール1	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			44	2F ELVホール2	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			45	3F 廊 下	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			46	3F 研究室側	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			47	3F ブリッジ側	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			48	4F 廊 下	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			49	4F 研究室側	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			50	4F ブリッジ側	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			51	5F 廊 下	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			52	5F 研究室側	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			53	5F ブリッジ側	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			54	6F 廊 下	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			55	6F 研究室側	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
			56	6F ブリッジ側	SOV-100KLCM	OA-72V	片引き	○	〃
16	147	量子セキュリティ・協創棟	57	1 F 正面入口外	VS-250	NS-A02	引分け	○	ナブコ
			58	1 F 正面入口内	VS-250	NS-A02	引分け	○	〃
			59	1 F 廊下	V-SL	NS-A02	引分け	○	〃
			60	3 F EVホール	V-250EM	NS-A02	引分け	○	〃
17	148	B5G電波暗室棟	61	1 F ピロティ	スリムタイトドア		片引き	—	フルテック
			62	1 F 風除室	スリムタイトドア		片引き	○	〃
計			62	台					

※当該リスト以外の箇所に設置されている自動ドア設備は、本業務における保守点検対象外とする。

【2. 電気】（1）受電設備

No.	設置場所			設備 容量 (kVA)	C-GIS (ガス絶縁 開閉装置) (台)	変圧器	遮断器 VCB (台)	力率改善 装置(台)		配電盤(面)		高圧 ケーブル (本)	電力供給先建物等	
	棟 番号	建物名	場所					高圧	低圧	高圧	低圧		フィーダー 系統	建物等
1	137	特別高圧受電所	建物内		2	特別高圧：2 高圧：0	2			特別高圧：7 高圧：2	3	4 6	—	126棟高圧配電所
2	126	高圧配電所	建物内	60	0	2	20	4		25	2	20	F13	各変電所室内電源用、74棟旧変電所
3	128	研究本館	B1F電気室	1,950	0	9	8	4		8	10	12	F1	128棟研究本館、91棟旧管理倉庫、131棟セキュリティ集中管理棟
4	97	4号館	B1F電気室	725	0	6	5	2	4	3	6	6	F4	97棟4号館、135棟産学官研究交流棟、60M鉄塔(128棟南東側鉄塔)
5	123	5号館	1F電気室	1,850	0	10	5	4		9	12	9	F5	123棟5号館
6	127	6号館	1F電気室	1,500	0	6	3		3	2	6	7	F11	127棟6号館、133棟自転車置場
7	111	ミリ波研究棟	屋外南側	1,100	0	7	1	3		3	7	8	F6	111棟ミリ波棟、61棟ウルシグラム送信庁舎、95棟車庫、98棟厨房作業員控室、132棟オープンサイト用測定室、南部低圧配電盤、給水加圧ポンプ
8	130	光デバイス技術センター	RF	1,475	0	7	1	3		3	7	9	F18	130棟光デバイス技術センター
9	138	電離層観測・試作開発棟	屋外南側	700	0	2	1		3	1	3	1	F7	138棟電離層観測・試作開発棟、120棟ACE観測棟、122棟物品格納庫、125棟物品格納庫、落水水槽(138棟北西の工作物)、SARアンテナ装置(120棟南側アンテナ装置)
10	112	VLBI観測棟	屋外西側	720	0	6	2	1	4	2	6	7	F9	112棟VLBI棟、93棟便所、96棟倉庫、109棟テストフィールド用測定室、116棟送信機室、119棟KSP・SLR観測棟、136棟倉庫
11	107	宇宙光通信地上センター	屋外西側	700	0	4	1	2		2	4	6	F8	107棟宇宙光通信地上センター、143棟光空間通信実験棟小金井局
12	105	機械室	1F電気室	1,200	0	8	1	2		1	8	8	F10	105棟機械室、110棟光伝送技術開発棟、113棟ゲストハウス、屋外・雲レーダー観測盤(147棟北東側コンテナ)
13	134	2号館	3F電気室	1,450	0	6	8	3		8	6	6	F2	134棟2号館
14		南部変電所	148棟西側	500	0	3	2	2		3	4	2	F3	59棟旧食堂棟、97棟4号館の一部(消火栓ポンプ・排煙設備)、108棟移動追尾光学実験小屋、114棟研究交流センター、148棟B5G電波暗室棟
15	135	産学官研究交流棟	2F屋外	250	0	2	1	1		1	2	1		135棟産学官研究交流棟
16	140	3号館	B2F電気室	3,100	0	11	6	4		6	11	10	F16	140棟3号館
17	147	量子セキュリティ・協創棟	屋外北側	1,900	0	10	14	4		9	10	10	F17	147棟量子セキュリティ・協創棟
計					2	101	81	39	14	95	107	122		

【2. 電気】（2）自家発電設備 及び 発電設備用オイルタンク

No.	設置場所			設置目的	供給先	発電設備仕様					発電設備用オイルタンク仕様						備考
	棟番号	建物名	場所			種類	エンジン	発電機	容量	数量	タンク場所	類別及び品目	最大貯蔵量又は最大取扱量	設置年	数量	給油口位置	
1	128	研究本館	B1F電気室	BCP	サーバー用UPS、サーバー室空調、131棟セキュリティ集中管理棟、直流電源、LAN、PBX、消防機	ディーゼル発電装置	ヤンマーディーゼル	東京電機	300 KVA	1 組	屋外西側地下埋設	第4類第2石油類(軽油)	1,500 L	2000	1 基	屋外西側マンホール内	
2	130	光デバイス技術センター	RF	BCP	光デバイス棟クリーンルーム設備（給排気及びMBE装置、ガス検知器）	ディーゼル発電装置	東京電機	東京電機	130 KVA	1 組	屋外西側地下埋設	第4類第2石油類(軽油)	1,500 L	2001	1 基	屋外西側壁ボックス内	
3	74	旧変電所	屋外北側	ピークカット発電機		ディーゼル発電装置	ヤンマー発電システム	太陽電機	500 KVA	1 組	屋外北側地下埋設	第4類第3石油類(A重油)	4,200 L	1986	1 基	屋外北側マンホール内	
4	134	2号館	3F電気室	高圧/BCP	日本標準時システム（UPS、3・4階空調）、蓄電池、実験室AC-GCコンセント、消防機器	ガスタービン発電装置	川崎重工ガスタービン	東芝	500 KVA	1 組	屋外東側地下埋設(2つの発電機で共通)	第4類第3石油類(A重油)	20,000 L	2003	1 基	屋外東側危険物貯蔵所表示板裏側ボックス内	
5			屋外南西側	低圧/計画停電用		ディーゼル発電装置	小松製作所	西芝電機	500 kvA	1 組							電気設備定期点検に伴う計画停電で稼働（点検作業に支障のないよう必要最小限箇所のみ給電するため設置）
6	140	3号館	RF	BCP	3号館重要設備	ディーゼル発電装置	川崎重工	川崎重工	200 KVA	1 組	RF	第4類第2石油類(軽油)	950 L	2010	1 基	屋外南側壁面ボックス内	
7	123	5号館	屋外南側	BCP	5号館重要設備	ディーゼル発電装置	池貝鉄工	東京電機	250 KVA	1 組	屋外南側地上	第4類第2石油類(軽油)	963 L	2014	1 基	燃料槽上部	ネットワーク研究所整備
8	147	量子セキュリティ・協創棟	屋外北側	BCP	量子セキュリティ・協創棟重要設備	ディーゼル発電装置	川崎重工	東芝インフラシステムズ	1,000 KVA	1 組	建物北側地下埋設	第4類第3石油類(A重油1種)	8,000 L	2021	1 基	屋外北東側壁面ボックス内	
計										8 組					7 基		

【2. 電気】（3）対象直流電源装置

No.	設置場所			設備仕様							数量	備考
	棟番号	建物名	場所	メーカー	型式等	容量	浮動充電電圧	セル個数	公称電圧	用途		
1	126	高压配電所		GSユアサ	AO-32-124-50BD-HS	40AH/10HR	118V	18(54セル)個	108V	操作用	1組	
2	128	研究本館	B1F電気室	GSユアサ	GTSC100-30	200AH/10H. R	118V	54個	108V	操作用 非常照明用	1組	
3	128	研究本館	B1F電力監視室		鉛蓄電池 12V*2					電気時計親時計用	1組	
4	134	2号館	3F電気室	古河電池	MSJ-200	200AH/10H. R	120V	54個	108V	操作用 非常照明用	1組	
5	134	2号館	2F業務管理室		鉛蓄電池 12V*2					親時計用	1組	
6	97	4号館	B1F電気室	GSユアサ	SNSX-200	200AH/10H. R	120V	54個	108V	操作用 非常照明用	1組	
7	97	4号館	B1F電気室		鉛蓄電池 12V*2					電気時計親時計用	1組	
8	123	5号館	1F電気室	新神戸	HS-250E	250AH/10H. R	118V	54個	108V	操作用 非常照明用	1組	
9	127	6号館	1F電気室	GSユアサ	HS-120E	120AH	118V	54個	108V	操作用 非常照明用	1組	
10	140	3号館	1Fエントランスホール壁の扉内（西側階段の北側）		鉛蓄電池 12V*2					電気時計親時計用	1組	
11	140	3号館	B2F電気室	GSユアサ	MSE-300AH×54	300AH/10HR	120.4V	54個	108V	操作用 非常照明用	1組	
12	147	量子セキュリティ・協創棟	1F UPS室	GSユアサ	LIM50EL	48.5AH	114.8V	28個	106.4V	操作用 非常照明用	1組	
計											12組	

【 2. 電気】（4）対象交流電源装置（UPS）

No.	設置場所			設備仕様				数量	備考
	棟 番号	建物名	場所	メーカー	型式等	容量	項目		
1	134	2号館	3F電気室		MSE-100-6	単機容量 50KVA	2台単機・1台共通システム	3 台	
2	128	研究本館	B1F電気室		REH40-12	40KVA	単機システム(4台)	1 台	
3	147	量子セキュリティ・協創棟	1F UPS室	GSユアサ	LIMSOEL	単機容量 100KVA	2台予備システム	2 台	
計								6 組	

【2. 電気】（5）太陽光発電設備

No.	設置場所			太陽光パネル・太陽電池モジュール仕様						パワーコンディショナ仕様				最大出力 (kW)	備考
	棟 番号	建物名	場所	メーカー	モジュール 型式	発電 容量 (kW/枚)	パネル 枚数 (枚)	発電 容量 (kW)	設置(交換) 年月日	メーカー	型式	パワコン 容量 (kW)	設置(交換) 年月		
1	128	研究本館	RF（トップライトガラスA）	シャープ(株)	NT-KP702	0.0836	50	4.18	2001/3/15 (新設)	オムロン阿蘇 (株)	KPK-A40	5.5	2025/3/26 (更新)	4.18	
2			RF（トップライトガラスB）			0.0836	40	3.344	2001/3/15 (新設)	オムロン阿蘇 (株)	KPK-A55	4		3.344	
3			RF（トップライトガラス以外）	サンテックパワー ジャパン(株)	STP550S- C72/Vmh	0.55	282	155.1	2025/3/26 (更新)	(株)安川電機	CEPT- P3AB2025B×5	125	2025/3/26 (更新)	125	
4	134	2号館	建物南面窓ひさし	—	—	0.071	32	2.272	2003/12/10 (新設)	オムロン阿蘇 (株)	KPK-A40	4	2025/3/26 (更新)	2.272	
5	140	3号館	建物南面窓ひさし	—	Q4CA03	0.114	132	35.748	2011/1/31 (新設)	山洋電気(株)	W83A493S	50	2025/3/26 (更新)	35.748	
6			RF西側（電波暗室上）	サンテックパワー ジャパン(株)	STP200-18/Ud	0.2	60		2011/1/31 (新設)						
7			RF北東側	サンテックパワー ジャパン(株)	STP435S- C54/Nshtb+	0.435	20		2025/3/26 (新設)						
8	97	4号館	RF	サンテックパワー ジャパン(株)	STP435S- C54/Nshtb+	0.435	59	25.665	2025/3/26 (新設)	(株)安川電機	CEPT- P3AB2025B	25	2025/3/26 (新設)	25	
9	127	6号館	RF	サンテックパワー ジャパン(株)	STP550S- C72/Vmh	0.55	90	49.5	2025/3/26 (更新)	(株)安川電機	CEPT- P3AB2025B×2	50	2025/3/26 (更新)	49.5	
10	110	光伝送技術開発棟	RF	サンテックパワー ジャパン(株)	STP435S- C54/Nshtb+	0.435	92	40.02	2025/3/26 (新設)	(株)安川電機	CEPT- P3AB2025B	50	2025/3/26 (新設)	40.02	
11	111	ミリ波研究棟	RF	サンテックパワー ジャパン(株)	STP230-20/Wd	0.23	210	48.3	2011/11/30 (新設)	三菱電機(株)	P73H103R J ×5	50	2011/11/30 (新設)	48.3	
12	114	研究交流センター	RF	サンテックパワー ジャパン(株)	STP435S- C54/Nshtb+	0.435	42	18.27	2025/3/26 (新設)	(株)安川電機	CEPT- P3AB2025B	25	2025/3/26 (新設)	18.27	
13	135	産学官研究交流棟	RF	サンテックパワー ジャパン(株)	STP550S- C72/Vmh	0.55	54	29.7	2025/3/26 (更新・一部新設)	(株)安川電機	CEPT- P3AB2025B	25	2025/3/26 (更新)	25	
14	138	電離層観測・試作開発棟	RF	サンテックパワー ジャパン(株)	STP550S- C72/Vmh	0.55	18	9.9	2025/3/26 (更新)	山洋電気(株)	P73H103SFC	10	2025/3/26 (更新)	9.9	
15		北側敷地テストフィールド	屋外地上	サンテックパワー ジャパン(株)	STP435S- C54/Nshtb+	0.435	99	43.065	2025/3/26 (更新)	(株)安川電機	CEPT- P3AB2025B×2	50	2025/3/26 (更新)	43.065	
計							1,280	465.064				473.5		429.599	

【3. 機械】— 1 温熱源機器

無圧式温水発生機及び真空式温水発生機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様									メーカー	数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	定格 出力	温水量	最高 使用圧力	伝熱 面積	ガス 消費量	電源	動力	起動 方式			
1	BHW-1	134	2号館	1F熱源機械室	温水発生機 CT-200W	233kW	660L/min	980kPa	3.5㎡	23 Nm ³ /h	AC3φ 200V	1.0kW	直入	三浦工業	2台	
2	BHW-1	140	3号館	B2F熱源機械室	温水発生機 SV-N2503G-H	290kW	600L/min	980kPa	7.9㎡	30 Nm ³ /h	AC3φ 200V	2.0kW	直入	昭和鉄工	2台	
計															4台	

【３．機械】－２ 冷熱源機器

(１) チリングユニット

No.	記号 (又は 摘要)	設置場所			仕様										室外機仕様(フロン排出抑制法関係)					
		棟 番号	建物名	場所	メーカー	型式	冷房 能力	電源	主電動 機容量	起動 方式	圧縮機	潤滑 油	冷媒	数量	備考	メーカー	型式	容量	数量	備考
1	1号冷凍機	128	研究 本館	B1F機 械室 2	三菱電 機	水冷ブラインスク リューチラー BCL-SP120E	480.2K W	AC3 φ 200V	60KW	スターテ ルタ	半密閉ス クリュ式	MEL56 (N)	R404a	1 台		三菱電 機	水冷ブラインスク リューチラー BCL-SP120E	60 KW	1 台	
2	2号冷凍機	128	研究 本館	B1F機 械室 2	三菱電 機	水冷ブラインスク リューチラー BCL-SP120E	480.2K W	AC3 φ 200V	60KW	スターテ ルタ	半密閉ス クリュ式	MEL56 (N)	R404a	1 台		三菱電 機	水冷ブラインスク リューチラー BCL-SP120E	60 KW	1 台	
3	RA-1	134	2 号 館	2F機械 室	コヘルコ (神戸製 鋼)	INVスクルー冷凍 機 HEM100R II	351.6k W	AC3 φ 200V	64.5 KW	インバー タ	半密閉ス クリュ式	-	HFC40 7E	1 台		コヘルコ (神戸製 鋼)	INVスクルー冷凍機 HEM100R II	55 KW	1 台	
4	RR-1	140	3 号 館	B2F熱 源機械 室	ダイキン工 業	水冷チリングユニッ ト UWD4000DA5 CR	312.5k W	AC3 φ 200V	45×2 KW	スターテ ルタ	半密閉 式	FVC 68D	R- 134a	1 台		ダイキン 工業	水冷チリングユニット UWD4000DA5CR	90 kW	1 台	
5	RR-2	140	3 号 館	B2F熱 源機械 室	ヤマ・エコ・ システムズ (日立アプ ライアンス)	水冷スクルーチ ラー RCUP1320WZ3 B×1 RCUP1320WZ3 B-S×2	116.7 ×3 kW	AC3 φ 200V	30+ 22×2 KW	スターテ ルタ	半密閉 式	-	R- 407C	1 台		日立製 作所	水冷スクルーチラー RCUP1320WZ3B	104 KW	1 台	
計														5 台				5 台		

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(2) 空冷熱源ヒートポンプユニット

No.	記号 (又は 摘要)	設置場所			仕様								メーカー	数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	冷房能力	電源	主電動機 容量	起動 方式	圧縮機	潤滑 油	冷媒			
1	3・4・5号 冷凍機	128	研究本館	RF	空冷ヒートポンプチラー CAHV-P1180A2-B5	冷111.3kW 暖107.1kW	AC3φ 200V	26.8 KW	スターター タ	全密閉 式	エステル油	R- 410A	三菱電機	3 台	冷温
2	6号冷凍 機	97	4 号館	屋外	空冷ヒートポンプチラー RHUP3550AHZB	315kW	AC3φ 200V	30×2 KW	スターター タ	半密閉ス クリュー式	フレオール UX300	R407C	ヤマ・エコ・システムズ (日立アプライアンス)	1 台	冷温
3	7号冷凍 機	105	機械室	屋外	空冷ヒートポンプチラー CAH-50J	137KW	AC3φ 200V	37KW	スターター タ	半密閉 式	スニ 4GS	R-22	三菱電機	1 台	冷温
4	9号冷凍 機	123	5 号館	RF	空冷ヒートポンプチラー UWYP750ACR	67KW	AC3φ 200V	22.5KW	スターター タ	半密閉 式	スニ 4GS	R407C	ダイキン工業	1 台	冷温
6	RR-1	134	2 号館	屋外	空冷ヒートポンプチラー RUA-TBP0903HLK	269KW	AC3φ 200V	7.5×9 KW	直入 (順次)	全密閉ス クロール式	3MAW POE	R- 410A	東芝キャリア	2 台	温
7	MC-IF- 1～8	147	量子セキュリティ・ 協創棟	屋外	空冷ヒートポンプチラー CAHV-MP1500VB-P	150KW	AC3φ 400V	9.2×4 KW	インバータ	全密閉ス クロール式	エステル油	R-32	三菱電機	8 台	冷温
8	RR-TF- 1	140	3 号館	RF	空冷式ヒートポンプチラー RHGP1180AVPB	118KW	AC3Φ 200V	7.0kWx 4	直入 (INV内 蔵)	28kW	FW68H	R32	日立グローバルライフソ リューションズ	1 台	
9	RR-TF- 2	140	3 号館	RF	空冷式ヒートポンプチラー RHGP1180AVPB	118KW	AC3Φ 200V	7.0kWx 4	直入 (INV内 蔵)	28kW	FW68H	R32	日立グローバルライフソ リューションズ	1 台	
計														18 台	

※111棟屋外空冷ヒートポンプチラー及び130棟RF空冷ヒートポンプチラーは本業務の保守点検対象外

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(3) 直だき吸収冷温水機

No.	記号 (又は 摘要)	設置場所			仕様									メーカー	数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	冷凍 能力	加熱 能力	冷水量	温水量	冷却 水量	ガス消費量		電源			
											冷房時	暖房時				
1	RB-1	134	2号館	1F熱源機 械室	直炊き吸収冷温水 機(二重効用) CH-MGC100	352kW	294 kW	1,000 L/min	840 L/min	1,710 L/min	24 Nm3/h	28 Nm3/h	AC3 φ 200V 6.0kVA	テクノ 矢崎	2 台	
2	RB-1	140	3号館	B2F熱源 機械室	直炊き吸収冷温水 機(二重効用) Σ TEG-150XN5C	422kW	291 kW	870 L/min	870 L/min	1,630 L/min	30 Nm3/h	28 Nm3/h	AC3 φ 200V 5.0kVA	川重冷 熱工業	1 台	
計															3 台	

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
1	AC-1-1	97	4号館	104	1F図書管理室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K	5.56 kw	1台	室外機	日立	RAS-AP280GSR	5.6 kw	1台	104
2	AC-1-1	97	4号館	104	1F図書管理室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K		1台						
2	AC-1-1	97	4号館	202b	2F医務室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K	5.56 kw	1台		日立	RAS-AP280GSR	5.6 kw	1台	202b
3	AC-1-1	97	4号館	202a	2F資料整理室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K		1台						
3	AC-1-1	97	4号館	204	2F宇宙通信システム 研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K	6 kw	1台		日立	RAS-AP280GSR	6 kw	1台	204
4	AC-1-1	97	4号館	206	2F宇宙通信システム 研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K		1台						
4	AC-1-1	97	4号館	302	3Fワイヤレスネットワーク 研究センター企画室 居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K	6 kw	1台		日立	RAS-AP280GSR	6 kw	1台	302
5	AC-1-1	97	4号館	302	3Fワイヤレスネットワーク 研究センター企画室 居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K		1台						
5	AC-1-1	97	4号館	304	3F宇宙通信システム 研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K	6 kw	1台		日立	RAS-AP280GSR	6 kw	1台	304
6	AC-1-1	97	4号館	306	3F宇宙通信システム 研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K		1台						
6	AC-1-1	97	4号館	402	4F宇宙通信システム 研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K	6 kw	1台		日立	RAS-AP280GSR	6 kw	1台	402

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
7	AC-1-1	97	4号館	402	4F宇宙通信システム 研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K		1台						
7	AC-1-1	97	4号館	404	4F宇宙通信システム 研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K	6 kw	1台		日立	RAS-AP280GSR	6 kw	1台	404
8	AC-1-1	97	4号館	404	4F宇宙通信システム 研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K		1台						
8	AC-2-1	97	4号館	102	1F書庫・図書閲覧 室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP112K	5 kw	2台		日立	RAS-AP224GSR	5 kw	1台	102
9	AC-2-1	97	4号館	301	3F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP112K	5 kw	1台		日立	RAS-AP224GSR	5 kw	1台	301
9	AC-2-1	97	4号館	301	3F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP112K		1台						
10	AC-2-1	97	4号館	401	4F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP112K	3 kw	2台		日立	RAS-AP224GSR	3 kw	1台	401
10	AC-2-1	97	4号館	401	4F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP140K		1台						
11	AC-3-1	97	4号館	106	1F労働組合事務 室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP71K	3 kw	1台		日立	RAS-NP140FSR1	3 kw	1台	106
11	AC-3-1	97	4号館	106	1F労働組合事務 室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPC- AP71K		1台						
12	AC-4	97	4号館	208	2F宇宙通信システム 研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP140K	2.5 kw	1台		日立	RAS-AP140HVM1	2.5 kw	1台	208

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
12	AC-4	97	4号館	308	3F宇宙通信システム 研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP140K	2.5 kw	1台		日立	RAS-AP140HVM1	2.5 kw	1台	308
13	AC-4	97	4号館	401	4F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP140K	2.5 kw	1台						
13	AC-4	97	4号館	406	4F宇宙通信システム 研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP140K	2.5 kw	1台		日立	RAS-AP140HVM1	2.5 kw	1台	406
14	AC-5	97	4号館	114	1F展示室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP160K	2.5 kw	1台		日立	RAS-AP160HVM1	2.5 kw	1台	114
14	AC-8	97	4号館	303a	3Fテレビ会議室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP160K	2.5 kw	1台		日立	RAS-AP160HVM1	2.5 kw	1台	303a
15	AC-8	97	4号館	303b	3F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP160K	2.5 kw	1台		日立	RAS-AP160HVM1	2.5 kw	1台	303b
15	AC-8	97	4号館	403	4F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP160K	2.5 kw	1台		日立	RAS-AP160HVM1	2.5 kw	1台	403
16	AC-8	97	4号館	405a	4F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP160K	2.5 kw	1台		日立	RAS-AP160HVM1	2.5 kw	1台	405a
16	ACR-1	97	4号館	101	1F書庫	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RCB- AP140K	16.7 kw	4台		日立	RAS-AP690GSR	16.7 kw	1台	101室
17	ACR-2- 1	97	4号館	201	2Fシステム書庫	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RCB- AP90K	9 kw	3台		日立	RAS-AP400GSR	9 kw	1台	201室
17	ACR-3	97	4号館	203	2F古書倉庫	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RCB- AP112K	1.8 kw	1台		日立	RAS-AP400GSR	1.8 kw	1台	203

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様 (フロン排出抑制法関係)					
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考	
18	AC-101-1	97	4号館	112	1F C2センター資料室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PCFY-P71KMG6	3.8 kw	1台		三菱	PUSY-P140MH2	3.8 kw	1台	112	
18	AC-101-2	97	4号館	110	1F閲覧室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PCFY-P56KMG6		1台							
19	AC-6-1	97	4号館	-	2Fホワイエ(5号館との渡り廊下前空間)	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FHYP112P	1.8 kw	1台		ダイキン	RZYP112H9	1.8 kw	1台	ホワイエ、喫煙室	
19	AC-6-2	97	4号館	215	2F喫煙室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FHYP112P	- kw	1台							
20	AC-7	97	4号館	305	3F映写室, 調整室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	PC-RP140KA14	3 kw	1台		ダイキン	PUZERMP140LA6	3 kw	1台	305	
20	ACP-1-1	123	5号館	-	1Fロビー階段西側空間	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYLMP36MB	9.4 kw	6台		ダイキン	RQYP400DAR	9.4 kw	1台	企画室, ロビー, 112室	
21	ACP-1-2	123	5号館	112	1F展示室	日立	空冷ヒートポンプパッケージ	RAS-AP160K		1台							
21	ACP-1-3	123	5号館	-	1Fロビー	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYSP36MB		1台							
22	ACP-2-1	123	5号館	105c	1Fフォトリックネットワーク研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP45MB	10.1 kw	1台		ダイキン	RQYP450DAR	10.1 kw	1台	102, 104, 105, 106室	
22	ACP-2-2	123	5号館	105b	1Fフォトリックネットワーク研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP28MB		2台							
23	ACP-2-3	123	5号館	105a	1F保守員控室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP28MB		1台							

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
23	ACP-2-4	123	5号館	102a, 102b	1F7オトリックネットワーク研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP45MB		1台						
24	ACP-2-4	123	5号館	104	1F7オトリックネットワーク研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP45MB		1台						
24	ACP-2-5	123	5号館	106, 108	1F7オトリックネットワーク研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP45MB		4台						
25	ACP-3-1	123	5号館	211	2F会議室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP45MB	12.5 kw	2台		ダイキン	RQYP335DAR, RQYP224DA (RQYP560DA)	12.5 kw	1台	202, 204, 206, 208, 211室
25	ACP-3-2	123	5号館	202	2Fネットワークアーキテクチャ研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP56MB		2台						
26	ACP-3-3	123	5号館	204	2Fネットワークアーキテクチャ研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP56MB		2台						
26	ACP-3-3	123	5号館	206, 208	2Fネットワークアーキテクチャ研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP56MB		2台						
27	ACP-3-4	123	5号館	206, 208	2Fネットワークアーキテクチャ研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP45MB		2台						
27	ACP-4-1	123	5号館	-	2Fホール (ELV前空間)	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP90MB	10.1 kw	1台		ダイキン	RQYP450DAR	10.1 kw	1台	2Fホール・談話室・渡廊下
28	ACP-4-2	123	5号館	215	2F談話室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP45MB		1台						
28	ACP-4-3	123	5号館	-	2F渡り廊下	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP45MJ		2台						

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
29	ACP-5-1	123	5号館	302	3Fサイバーセキュリティ研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP56MB	10.9 kw	2台		ダイキン	RQYP500DAR	10.9 kw	1台	302, 304, 402室
29	ACP-5-2	123	5号館	304	3Fサイバーセキュリティ研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP56MB		2台						
30	ACP-5-3	123	5号館	402	4Fサイバーセキュリティ研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP56MB		4台						
30	ACP-6-1	123	5号館	402	4Fサイバーセキュリティ研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP56MB	7.4 kw	2台						RQYP335DAR
31	ACP-6-2	123	5号館	406b, 408	4Fサイバーセキュリティ研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP56MB		1台						
31	ACP-6-3	123	5号館	406b	4Fサイバーセキュリティ研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP56MB		2台						
32	ACP-7-1	123	5号館	310a, 310b	3Fサイバーセキュリティ研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP45MB	6.4 kw	3台						RQYP280DA
32	ACP-7-2	123	5号館	312	3F nictcr居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP71MB		2台						
33	ACP-8-1	123	5号館	—	3Fホール (ELV前空間)	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP90MB	10.1 kw	1台		ダイキン	RQYP450DAR	10.1 kw	1台	313, 413室
33	ACP-8-2	123	5号館	313	3F談話室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP45MB		1台						
34	ACP-8-3	123	5号館	314	3Fコピー室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP36MB		1台						

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様 (フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名		部屋番号・居室名	メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
34	ACP-8-4	123	5号館	-	4Fホール (ELV前 空間)	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP90 MB		1台						
35	ACP-8-5	123	5号館	413	4F談話室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP45 MB		1台						
35	ACP-8-6	123	5号館	413	4F談話室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP36 MB		1台						
36	ACP-9	123	5号館	107, 109	1Fフォトリソネットワーク 研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP36 MB	10.1 kw	12台		ダイ キン	RQYP450DAR	10.1 kw	1台	107, 109室
36	ACP-10	123	5号館	201, 203, 20 5	2Fネットワークアーキテクチャ 研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP56 MB	12.5 kw	9台		ダイ キン	RQYP335DA, RQYP224DAR (RQYP560DA)	12.5 kw	1台	201, 203, 2 05ab室
37	ACP-11	123	5号館	201, 203, 20 5	2Fネットワークアーキテクチャ 研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYWP22 4MC	16.8 kw	3台		ダイ キン	RQYP400DAR, RQYP335DA (RQYP730DA)	16.8 kw	1台	201, 203, 2 05室
37	ACP-12	123	5号館	303b, 307, 30 9	3Fサイバーセキュリティ研 究室居室、実験 室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP45 MB	3.1 kw	9台		ダイ キン	RQYP335DAR, RQYP224DA (RQYP160DA)	12.5 kw	1台	102a, 102b , 104, 105a , 105b, 106 室
38	ACP-13	123	5号館	303b, 305, 30 7, 309	3Fサイバーセキュリティ研 究室居室、実験 室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYWP28 0MC	12.5 kw	4台		ダイ キン	RQYP335DA, RQYP224DA (RQYP560DA)			303a, 305, 307, 309室
38	ACP-14	123	5号館	212	2F空調機械室	ダイ キン	空冷ヒートポンプ パッケージ床置	FXYWP22 4MC	5.1 kw	1台		ダイ キン				RQYP224DA
39	ACP-15	123	5号館	305	3Fサイバーセキュリティ研 究所実験室	ダイ キン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP80 MB	6.4 kw	1台		ダイ キン				RQTP280DA

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
39	ACP-16-1	123	5号館	410	4Fユニバーサルコミュニケーション研究所総合企画室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP56MB	6.4 kw	2台		ダイキン				RQYP280DA
40	ACP-16-2	123	5号館	412a, 412b	4Fユニバーサルコミュニケーション研究所総合企画室、主席研究員居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP71MB		2台						
40	ACP-21	123	5号館	108	1Fフォトリックネットワーク研究室研究室	ダイキン	天井カセット 冷房専用	SZRC112BA	1.95 kw	1台		ダイキン	SZRC112B	1.95 kw	1台	108
41	ACP-28	123	5号館	—	1Fロビー							ダイキン	室内機SRYP-224AAR	5.5 kw	1台	1Fロビー
41	ACP-30	123	5号館	305	3Fサイバーセキュリティ研究所実験室	ダイキン	床置 空冷ヒートポンプパッケージ	FZYCP56OMR	12.4 kW	1台						
42	ACP-S1	123	5号館	108	1Fフォトリックネットワーク研究室研究室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	SZRG80BT	1.53 kw	1台		ダイキン	RZRP-80BAT	1.53 kw	1台	108
42	ACP-S2	123	5号館	213	2F R&Dアドバイザー室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	SZRG80BT	1.53 kw	1台		ダイキン	RZRP80BANT	1.53 kw	1台	213
43	ACP-S3	123	5号館	311	3Fセキュリティ基盤研究室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	SZRG112B	1.95 kw	1台		ダイキン	RZRP112BA	2.4 kw	1台	311
43	ACP-S4	123	5号館	411	4Fサイバーセキュリティ研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	SZRG112B	1.95 kw	1台		ダイキン	RXYCP450G	1.95 kw	1台	411
44	ACP-S5	123	5号館	305	3Fサイバーセキュリティ研究所実験室	サンヨー	空冷ヒートポンプパッケージ	SPW-SSCHRVPP160B	3 kw	2台		サンヨー	SPW-CHRVPP160B	3.0 kw	1台	305
44	ACP-S6	123	5号館	305	3Fサイバーセキュリティ研究所実験室	サンヨー	空冷ヒートポンプパッケージ	SPW-BDCHVP140B1	2.5 kw	1台		サンヨー	SPW-CHRVPP140B1	2.5 kw	1台	305

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様 (フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
45	ACP-S7	123	5号館	207	2Fテストベッド研究 開発運用室実験 室・居室	サン ヨー	空冷ヒートポンプ パッケージ	SPW- CHRV14 0B	2.5 kw	1 台		ダイ キン	SPW-CHRV140B	2.5 kw	1 台	207
45	ACP-S8	123	5号館	405	4Fビッグデータ 利活用研究室実 験室	日 立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP160HV M1	2.5 kw	1 台		日 立	RAS-AP160HVM1	2.5 kw	1 台	405
46	ACP-S9	123	5号館	307	3Fサイバーセキュリティ研 究所実験室	サン ヨー	空冷ヒートポンプ パッケージ	RP224BA	3.44 kw	1 台						
46	ACP- S10	123	5号館	308	3Fサイバーセキュリティ 研究室居室	サン ヨー	空冷ヒートポンプ パッケージ	SPW- CHRV80 A1	1.5 kw	1 台		サン ヨー	SPW-CHRV80A1	1.5 kw	1 台	308
47	ACP- S11	123	5号館	205	2Fネットワークアーキテク 研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	RYP140L	3.75 kw	1 台		ダイ キン	RYP-140L	3.75 kw	1 台	205
47	ACP- S12	123	5号館	307	3Fサイバーセキュリティ研 究所実験室	サン ヨー	空冷ヒートポンプ パッケージ	RZYP45H V	3.1 kw	1 台						
48	ACP-1- 1	123	5号館	307	3Fサイバーセキュリティ研 究所実験室	ダイ キン	床置空冷ヒートポン プパッケージ	RZYCP45 0G	9.8 kw	1 台						
48	ACP-1- 2	123	5号館	307	3Fサイバーセキュリティ研 究所実験室	ダイ キン	床置空冷ヒートポン プパッケージ	RZYCP45 0G	9.8 kw	1 台						
49	ACP-1- 3	123	5号館	307	3Fサイバーセキュリティ研 究所実験室	ダイ キン	床置空冷ヒートポン プパッケージ	RZYCP45 0G	9.8 kw	1 台						
49	ACP-1- 4	123	5号館	307	3Fサイバーセキュリティ研 究所実験室	ダイ キン	床置空冷ヒートポン プパッケージ	RZYCP45 0G	9.8 kw	1 台						
50	ACP-1- 5	123	5号館	307	3Fサイバーセキュリティ研 究所実験室	ダイ キン	床置空冷ヒートポン プパッケージ	RZYCP45 0G	9.8 kw	1 台						

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
50	3ACP-1-1	123	5号館	207, 209b	2Fテストベッド研究開発運用室実験室・居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP112C	10.6 kw	2台		ダイキン	RQYP140BA, RQYP180BAR, RQEP180BAR (RQCEP500BA)	10.6 kw	1台	207, 209b室
51	3ACP-1-2	123	5号館	207	2Fテストベッド研究開発運用室実験室・居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP112C		2台						
51	3ACP-1-4	123	5号館	207	2Fテストベッド研究開発運用室実験室・居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP28C		1台						
52	3ACP-2-1	123	5号館	301	3Fセキュリティ基盤研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYWP14OMC	9.8 kw	1台		ダイキン	RQEP140BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQCEP450BA)	9.8 kw	1台	301
52	3ACP-2-2	123	5号館	301	3Fセキュリティ基盤研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYCP140C		2台						
53	3ACP-3-1	123	5号館	403	4F情報利活用基盤総合実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYFP56MJ	6 kw	2台		ダイキン	RQEP140BAR, RQEP140BAR (RQEP280BA)	6 kw	1台	401, 403, 405室
53	3ACP-3-2	123	5号館	401	4Fソーシャルイノベーションユニット居室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYFP56MJ		1台						
54	3ACP-3-3	123	5号館	405	4Fビッグデータ利活用研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYFP71MJ		1台						
54	3ACP-3-4	123	5号館	405	4Fビッグデータ利活用研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FXYFP45MJ		1台						
55	ACP-30	123	5号館	305	3Fサイバーセキュリティ研究所実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FVYCP56OM	12.4 kW	1台		ダイキン	RXYCP560CA	12.4 kw	1台	305

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メーカー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メーカー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
55	展示室	123	5号館	112	1F展示室内北側	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FHYKP80 C	2.11 kw	1台		ダイキン	RYP80L	2.11 kw	1台	112
56	ACP-R5	123	5号館	404, 406	4Fサイバーセキュリティ研究所総合企画室居室	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ	PLFY-P56LM-E2	6.7 kw	3台		三菱電機	PUHY-P280CM-E2		1台	
56	ACP-401A	123	5号館	401a	4Fソーシャルイノベーションユニット居室	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ		6 kw	1台		三菱電機	PUD-P280CM-E	6.0 kw	1台	401a
57	ACP-401B	123	5号館	401b	4Fソーシャルイノベーションユニット居室	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ		6 kw	1台		三菱電機	PUD-P280CM-E	6.0 kw	1台	401b
57	ACP-R16	123	5号館	—	1F～4Fサーバー室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	RSXYP160P	3.3 kw	4台		ダイキン	RSXYP160P	3.3 kw	1台	
58	ACP-1-1	123	5号館	307	3Fサイバーセキュリティ研究所実験室(床置き)	—	—	—	—	—	研究室設置(実験用)で保守定期点検対象外(フロン排出抑制法点検のみ対象とする)	ダイキン	RZYCP450G	9.8 kw	1台	307
58	ACP-1-2	123	5号館	307	3Fサイバーセキュリティ研究所実験室(床置き)	—	—	—	—	—	研究室設置(実験用)で保守定期点検対象外(フロン排出抑制法点検のみ対象とする)	ダイキン	RZYCP450G	9.8 kw	1台	307

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器（個別空調）

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メーカー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メーカー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
59	ACP-1-3	123	5号館	307	3Fサイバーセキュリティ研究所実験室（床置き）	—	—	—	—	—	ダイキン	RZYCP450G	9.8 kw	1台	307
59	ACP-1-4	123	5号館	307	3Fサイバーセキュリティ研究所実験室（床置き）	—	—	—	—	—	ダイキン	RZYCP450G	9.8 kw	1台	307
60	ACP-1-5	123	5号館	307	3Fサイバーセキュリティ研究所実験室（床置き）	—	—	—	—	—	ダイキン	RZYCP450G	9.8 kw	1台	307
60	ACP-22	123	5号館	R101	5F機械室（インターネットアプリケーションG実験401, 401b系統）	—	冷房能力40kW 暖房能力45kW 風量6640m³/h 主な機器容量4kW	—	12.9 kW	1台					

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様 (フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
61	ACP-23	123	5号館	R101	5F機械室 (インター ネットアプリケーションG実 験室403系統)	—	冷房能力50kW 暖房能力56kW 風量8500m³/h 主な機器容量6kW		13.2 kW	1 台						
61	ACP-24	123	5号館	R101	5F機械室 (セキュリ ティ基礎G危機管理 研究施設407, 409 系統)	—	冷房能力50kW 暖房能力50kW 風量8500m³/h 主な機器容量6kW		13.2 kW	1 台						
62	ACP- 25(冷 専)	123	5号館	R101	5F機械室 (セキュリ ティ基礎G危機管理 研究施設系統)	—	冷房能力50kW 暖房能力50kW 風量8500m³/h 主な機器容量2kW		13.2 kW	1 台						
62	ACP-28	123	5号館	R101	5F機械室 (1フロ ビー・廊下系 統)	—	冷房能力11.7kW 暖房能力16.6kW 風量2040m³/h 主な機器容量2kW			1 台						
63	ACP-1- 1	127	6号館	112a	1Fリフレッシュ ルーム	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井 兼セット4方向	FXYFP90 KC	9.4 kw	1 台		ダイ キン	RQUP224DAR, RQUP224DAR (RQUP450DA)	9.4 kw	1 台	1F～4Fリ フレッ シュル ーム
63	ACP-1- 2	127	6号館	211	2Fリフレッシュ ルーム	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井 兼セット4方向	FXYFP90 KC		1 台						
64	ACP-1- 3	127	6号館	311	3Fリフレッシュ ルーム	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井 兼セット4方向	FXYFP90 KC		1 台						
64	ACP-1- 4	127	6号館	411	4Fリフレッシュ ルーム	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井 兼セット4方向	FXYFP90 KC		1 台						

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様 (フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
65	ACP-2-1	127	6号館	—	1Fホール (エン トランスホール)	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井 隠蔽タイプ	FXYP28 OMB	18.1 kw	1 台		ダイ キン	RQUP335DAR, RQUP280DAR, RQUP224DAR (RQUP850D)	18.1 kw	1 台	1Fホール
65	ACP-2-2	127	6号館	—	1Fホール (エン トランスホール)	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井 隠蔽タイプ	FXYP28 OMB		1 台						
66	ACP-2-3	127	6号館	—	1Fホール (エン トランスホール)	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井 隠蔽タイプ	FXYP28 OMB		1 台						
66	ACP-3-1	127	6号館	—	2Fホール	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井 カセット4方向	FXYFP16 OMJ	8.9 kw	1 台		ダイ キン	RQUP400DAR	8.9 kw	1 台	2Fホール
67	ACP-3-2	127	6号館	—	2Fホール	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井 カセット4方向	FXYFP16 OMJ	kw	1 台						
67	ACP-4-1	127	6号館	302	2F電磁波研究所 総合企画室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井 隠蔽両タイプ	FXYP11 2C	10.6 kw	1 台		ダイ キン	RQEP140BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQEP500B)	10.6 kw	1 台	302ab・ 402
68	ACP-4-2	127	6号館	302	2F電磁波研究所 総合企画室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井 隠蔽両タイプ	FXYP11 2C	kw	1 台						
68	ACP-4-3	127	6号館	304	2F電磁波研究所 総合企画室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井 隠蔽両タイプ	FXYP11 2C	kw	1 台						
69	ACP-4-4	127	6号館	304	2F電磁波研究所 総合企画室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井 隠蔽両タイプ	FXYP11 2C	kw	1 台						
69	ACP-4-5	127	6号館	402	4F宇宙環境研究 室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井 隠蔽両タイプ	FXYP14 0C	kw	1 台						

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
70	ACP-4-6	127	6号館	402	4F宇宙環境研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP140C	kw	1台						
70	ACP-4-7	127	6号館	404a	4F宇宙環境研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP140C	kw	1台						
71	ACP-4-8	127	6号館	404b	4F宇宙環境研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP140C	kw	1台						
71	ACP-5A-1	127	6号館	102	1Fデジタル光基盤研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYP280MC	15.2 kw	1台		ダイキン	RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQEP730BA)	11.4 kw	1台	101・201室
72	ACP-5A-2	127	6号館	202	2Fデジタル光基盤研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYP280MC	kw	1台						
72	ACP-5A-3	127	6号館	101	1Fデジタル光基盤研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP36MB	kw	1台						
73	ACP-5A-4	127	6号館	101	1Fデジタル光基盤研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP36MB	kw	1台						
73	ACP-5A-5	127	6号館	201	1Fデジタル光基盤研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP36MB	kw	1台						
74	ACP-5A-6	127	6号館	201	1Fデジタル光基盤研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP36MB	kw	1台						

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様 (フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
74	ACP-5B-1	127	6 号館	301	3F電磁波研究所 所長室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽ダクト外形	FXYWP28 OMC	15.2 kw	1 台		ダイ キン	RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQEP730BA)	15.2 kw	1 台	301a・ 301b・ 401・402 室
75	ACP-5B-2	127	6 号館	401	4F会議室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽ダクト外形	FXYWP28 OMC	kw	1 台						
75	ACP-5B-3	127	6 号館	301a	3F倉庫	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽横形	FXYLMP3 6MB	kw	1 台						
76	ACP-5B-4	127	6 号館	301b	電磁波計測研究セ ンター・センター長室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽横形	FXYLMP3 6MB	kw	1 台						
76	ACP-5B-5	127	6 号館	401a	4F会議室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽横形	FXYLMP7 1MB	kw	1 台						
77	ACP-5B-6	127	6 号館	401b	4F会議室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置	FXYLMP7 1MB	kw	1 台						
77	ACP-6-1	127	6 号館	102	1Fデジタル光学基 盤研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽ダクト外形	FXYMP90 KC	15.2 kw	1 台		ダイ キン	RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQEP730BA)	15.2 kw	1 台	102・ 202・ 306・406 室
78	ACP-6-2	127	6 号館	102	1Fデジタル光学基 盤研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽ダクト外形	FXYMP90 KC	kw	1 台						
78	ACP-6-3	127	6 号館	202	2Fデジタル光学基 盤研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽ダクト外形	FXYMP90 KC	kw	1 台						

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器（個別空調）

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様（フロン排出抑制法関係）				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メーカー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メーカー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
79	ACP-6-4	127	6号館	202	2Fデジタル光学基 盤研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽ダクト形	FXYMP90 KC	kw	1台					
79	ACP-6-5	127	6号館	306	3Fリモートセンシング 研 究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽ダクト形	FXYMP90 KC	kw	1台					
80	ACP-6-6	127	6号館	306	3Fリモートセンシング 研 究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽ダクト形	FXYMP90 KC	kw	1台					
80	ACP-6-7	127	6号館	406	4F宇宙環境研究 室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽ダクト形	FXYMP14 OKC	kw	1台					
81	ACP-6-8	127	6号館	406	4F宇宙環境研究 室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽ダクト形	FXYMP14 OKC	kw	1台					
81	ACP-7A-1	127	6号館	104	1Fリモートセンシング 研 究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽ダクト形	FXYWP28 OMC	15.2 kw	1台	ダイキン	RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQEP730BA)	15.2 kw	1台	103・203 室
82	ACP-7A-2	127	6号館	204	2Fテラヘルツ研究センター 実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽ダクト形	FXYWP28 OMC	kw	1台					
82	ACP-7A-3	127	6号館	103	1Fデジタル光学基 盤研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽横形	FXYLMP3 6MB	kw	1台					
83	ACP-7A-4	127	6号館	103	1Fデジタル光学基 盤研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽横形	FXYLMP3 6MB	kw	1台					
83	ACP-7A-5	127	6号館	203	2Fデジタル光学基 盤研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床 置隠蔽横形	FXYLMP3 6MB	kw	1台					

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メーカー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メーカー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
84	ACP-7A-6	127	6号館	203	2Fデジタル光学基盤研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP36MB	kw	1台					
84	ACP-7B-1	127	6号館	308	3Fリモートセンシング研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽ダクト形	FXYWP28OMC	15.2 kw	1台	ダイキン	RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQEP730BA)	15.2 kw	1台	303・403室
85	ACP-7B-2	127	6号館	408	4F電磁波伝搬研究センター居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽ダクト形	FXYWP28OMC	kw	1台					
85	ACP-7B-3	127	6号館	303	3Fリモートセンシング研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP45MB	kw	1台					
86	ACP-7B-4	127	6号館	303	3Fリモートセンシング研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP45MB	kw	1台					
86	ACP-7B-5	127	6号館	403	4F総合TB研究開発推進センター実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP56MB	kw	1台					
87	ACP-7B-6	127	6号館	403	4F総合TB研究開発推進センター実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP56MB	kw	1台					
87	ACP-8-1	127	6号館	104	1Fリモートセンシング研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYPMP90C	15.2 kw	1台	ダイキン	RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQEP730BA)	15.2 kw	1台	104・204・308・408室
88	ACP-8-2	127	6号館	104	1Fリモートセンシング研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYPMP90C	kw	1台					

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
88	ACP-8-3	127	6号館	204	2Fテラヘルツ研究センター 実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井 隠蔽両ダクト形	FXYP90 C	kw	1台					
89	ACP-8-4	127	6号館	204	2Fテラヘルツ研究センター 実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井 隠蔽両ダクト形	FXYP90 C	kw	1台					
89	ACP-8-5	127	6号館	308	3Fリモートセンシング°研 究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井 隠蔽両ダクト形	FXYP11 2C	kw	1台					
90	ACP-8-6	127	6号館	308	3Fリモートセンシング°研 究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井 隠蔽両ダクト形	FXYP11 2C	kw	1台					
90	ACP-8-7	127	6号館	408	4F電磁波伝搬研 究センター居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井 隠蔽両ダクト形	FXYP14 0C	kw	1台					
91	ACP-8-8	127	6号館	408	4F電磁波伝搬研 究センター居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井 隠蔽両ダクト形	FXYP14 0C	kw	1台					
91	ACP-9-1	127	6号館	206	2Fリモートセンシング°研 究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°床 置隠蔽ダクト形	FXYP28 0MC	9.8 kw	1台	ダイ キン	RQEP140BAR, RQEP140BAR, RQEP180BAR (RQEP450BA)	9.8 kw	1台	205
92	ACP-9-2	127	6号館	205	2Fリモートセンシング°研 究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°床 置隠蔽横形	FXYLMP3 6MB	kw	1台					
92	ACP-9-3	127	6号館	205	2Fリモートセンシング°研 究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°床 置隠蔽横形	FXYLMP3 6MB	kw	1台					

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
93	ACP-10-1	127	6号館	310	3Fリモートセンシング研究室特別招へい研究員室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽ダクト形	FXYWP28 OMC	15.2 kw	1 台		ダイキン	RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQEP730BA)	15.2 kw	1 台	305・310 405・410 室
93	ACP-10-2	127	6号館	410	4F宇宙天気予報グループ 居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽ダクト形	FXYWP28 OMC	kw	1 台						
94	ACP-10-3	127	6号館	305	3Fリモートセンシング研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP3 6MB	kw	1 台						
94	ACP-10-4	127	6号館	305	3Fリモートセンシング研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP3 6MB	kw	1 台						
95	ACP-10-5	127	6号館	405	4Fリモートセンシング研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP5 6MB	kw	1 台						
95	ACP-10-6	127	6号館	405	4Fリモートセンシング研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP5 6MB	kw	1 台						
96	ACP-11-1	127	6号館	106	1F総合総合TB研究開発推進センターサイエンスクラフト	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽	FXYMP90 C	15.2 kw	1 台		ダイキン	RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQEP730BA)	15.2 kw	1 台	106, 206, 310, 410室
96	ACP-11-2	127	6号館	106	1F総合総合TB研究開発推進センターサイエンスクラフト	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYMP90 C	kw	1 台						
97	ACP-11-3	127	6号館	206	環境情報センシング・ネットワークG実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYMP90 C	kw	1 台						

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
97	ACP-11-4	127	6号館	206	環境情報センシング・ネットワークG実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	kw	1台						
98	ACP-11-5	127	6号館	310	環境情報センシング・ネットワークG実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	kw	1台						
98	ACP-11-6	127	6号館	310	環境情報センシング・ネットワークG実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	kw	1台						
99	ACP-11-7	127	6号館	410	宇宙環境計測G	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井隠蔽両ダクト形	FXYP140C	kw	1台						
99	ACP-11-8	127	6号館	410	宇宙環境計測G	ダイキン	空冷ヒートポンプ°天井隠蔽両ダクト形	FXYP140C	kw	1台						
100	ACP-12-1	127	6号館	208	環境情報センシング・ネットワークG実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°床置隠蔽ダクト形	FXYP280MC	9.8 kw	1台		ダイキン	RQEP140BAR, RQEP140BAR, RQEP180BAR (RQEP450BA)	9.8 kw	1台	207, 208室
100	ACP-12-2	127	6号館	207	環境情報センシング・ネットワークG実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°床置隠蔽横形	FXYLMP36MB	kw	1台						
101	ACP-12-3	127	6号館	207	環境情報センシング・ネットワークG実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°床置隠蔽横形	FXYLMP36MB	kw	1台						
101	ACP-13-1	127	6号館	312	環境情報センシング・ネットワークG居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°床置隠蔽ダクト形	FXYP280MC	15.2 kw	1台		ダイキン	RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQEP730BA)	15.2 kw	1台	307・312・407・412室
102	ACP-13-2	127	6号館	412	環境情報センシング・ネットワークG共通計算機室	ダイキン	空冷ヒートポンプ°床置隠蔽ダクト形	FXYP280MC	kw	1台						

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メーカー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メーカー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
102	ACP-13-3	127	6号館	307	環境情報センシング・ネットワークG居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP36MB	kw	1台					
103	ACP-13-4	127	6号館	307	環境情報センシング・ネットワークG居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP36MB	kw	1台					
103	ACP-13-5	127	6号館	407	環境情報センシング・ネットワークG共通計算機室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP71MB	kw	1台					
104	ACP-13-6	127	6号館	407	環境情報センシング・ネットワークG共通計算機室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 床置隠蔽横形	FXYLMP71MB	kw	1台					
104	ACP-14-1	127	6号館	108	電波計測G環境情報センシング・NWG	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	15.2 kw	1台	ダイキン	RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQEP730BA)	15.2 kw	1台	108・208・312・412室
105	ACP-14-2	127	6号館	108	電波計測G環境情報センシング・NWG	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	kw	1台					
105	ACP-14-3	127	6号館	208	環境情報センシング・ネットワークG居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP112C	kw	1台					
106	ACP-14-4	127	6号館	208	環境情報センシング・ネットワークG居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP112C	kw	1台					
106	ACP-14-5	127	6号館	312	3F打合せ室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	kw	1台					
107	ACP-14-6	127	6号館	312	3F打合せ室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	kw	1台					

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器（個別空調）

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メーカー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メーカー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
107	ACP-14-7	127	6号館	412	4F宇宙環境研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP140C	kw	1台					
108	ACP-14-8	127	6号館	412	4F宇宙環境研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP140C	kw	1台					
108	ACP-15-1	127	6号館	110a	1F宇宙環境研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	15.2 kw	1台		ダイキン RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR, RQEP180BAR (RQEP730BA)	15.2 kw	1台	110a, 110b, 210, 314, 414室
109	ACP-15-2	127	6号館	110b	1F宇宙環境研究室実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	kw	1台					
109	ACP-15-3	127	6号館	210	2Fテラヘルツ連携研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	kw	1台					
110	ACP-15-4	127	6号館	210	2Fテラヘルツ連携研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	kw	1台					
110	ACP-15-5	127	6号館	314	3F倉庫	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	kw	1台					
111	ACP-15-6	127	6号館	314	3F倉庫	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP90C	kw	1台					
111	ACP-15-7	127	6号館	414	4F宇宙環境研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP140C	kw	1台					
112	ACP-15-8	127	6号館	414	4F宇宙環境研究室居室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 天井隠蔽両ダクト形	FXYP140C	kw	1台					

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器（個別空調）

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メーカー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メーカー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
112	ACP-16-1	127	6号館	—	ダイキン	空冷エアコン壁掛(冷房専用)	FXYP28MB	9.4 kw	1台		ダイキン	RQUP224DAR, RQUP224DAR(RQEP450BA)	9.8 kw	1台	1F~4F EPS・1F 電気室
113	ACP-16-2	127	6号館	—	ダイキン	空冷エアコン壁掛(冷房専用)	FXYP28MB		1台						
113	ACP-16-3	127	6号館	—	ダイキン	空冷エアコン壁掛(冷房専用)	FXYP28MB		1台						
114	ACP-16-4	127	6号館	—	ダイキン	空冷エアコン壁掛(冷房専用)	FXYP28MB		1台						
114	ACP-16-5	127	6号館	107	ダイキン	空冷パッケージ床置(冷房専用)	FVYCP28OMA		1台						
115	ACP	127	6号館	204	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FHYCP140D	7.5 kw	1台						
115		127	6号館	204	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FHYP140C9		1台						
116	ACP-409	127	6号館	409	ダイキン	空冷ヒートポンプ	SZRG50BA	0.85 kw	1台						
116	ACP-309	127	6号館	209	ダイキン	空冷ヒートポンプ	FHYGJ63L	1.5 kw	1台						

【 3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器（個別空調）

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
117	ACP	127	6号館	204	実験室	—	—	—	—	—	研究室設置 (実験用)で 保守定期点検 対象外 (フロン排出 抑制法点検の み対象とする)	ダイ キン	RZRP280BA	7.5 kw	1	
117	ACP	127	6号館	101	101実験室	—	—	—	—	—	研究室設置 (実験用)で 保守定期点検 対象外 (フロン排出 抑制法点検の み対象とする)	ダイ キン	RZYP140H9	2.4 kw	1	
118	ACP	127	6号館	309	309更衣室	—	—	—	—	—		サン ヨー	SPW-CHEP50BN2	0.9 kw	1	
118	ACP	127	6号館	409	409更衣室	—	—	—	—	—		ダイ キン	RZRP50BCT	0.85 kw	1	
119	ACP	127	6号館	209	209 倉庫	—	—	—	—	—		ダイ キン	RZYJ63CV	1.5 kw	1	
119	ACP- 109	127	6号館	109	109 倉庫	ダイ キン	パッケージエアコン (壁掛型)	S36XTES -W		1 台		ダイ キン	S36XTES-W	0.95 kw	1 台	
120	ACP	59	旧食堂棟	111	倉庫(2) 東	ダイ キン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FAY71DB	2.2 kw	1 台		ダイ キン	RY71DB	2.2 kw	1 台	

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
120	ACP	59	旧食堂棟	110	倉庫(2)中	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FAY71DB	2.2 kw	1 台		ダイ キン	RY71DB	2.2 kw	1 台	
121	ACP	59	旧食堂棟	108	倉庫(2)西	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FAY71DB	2.2 kw	1 台		ダイ キン	RY71DB	2.2 kw	1 台	
121	ACP	59	旧食堂棟	113	倉庫(3)東	松下	空冷ヒートポンプ パッケージ	CS- MG28J2- W	2.45 kw	2 台		松下 電器	CU-MG50J2	2.45 kw	1 台	
122	ACP	59	旧食堂棟	112	倉庫(3)西	松下	空冷ヒートポンプ パッケージ	CS- MG28J2- W	2.45 kw	2 台		松下 電器	CU-MG50J2	2.45 kw	1 台	
122	ACP	59	旧食堂棟	106	会議室(東)	東芝 キャリア	空冷ヒートポンプ パッケージ	AIU- AP1407H	5.4 kw	2 台		東芝 キャリア	ROB-AP2805HS	5.4 kw	1 台	
123	ACP	59	旧食堂棟	104	会議室(西)	東芝 キャリア	空冷ヒートポンプ パッケージ	AIU- AP1407H	5.4 kw	2 台		東芝 キャリア	ROB-AP2805HS	5.4 kw	1 台	
123	ACP	59	旧食堂棟	102	倉庫(1)	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FHYJ140 F	7.5 kw	2 台		ダイ キン	RYJ280F	7.5 kw	1 台	
124	ACP	74	旧変電所	—	ホール	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ	PSH- 100FKHD	2.7 kw	1 台		三菱 電機	RUH-100EKD	2.7 kw	1 台	
124	AC	74	旧変電所	—	男子更衣室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 壁 掛	F22HTNS -W	0.6 kw	1 台		ダイ キン	R22HNS	0.6 kw	1 台	
125	AC	74	旧変電所	—	女子更衣室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 壁 掛	F22HTNS -W	0.6 kw	1 台		ダイ キン	R22HNS	0.6 kw	1 台	
125	ACP-1	91	管理倉庫	101	1F財務部・管理官 倉庫	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ	MPL- RP80BA3	2.9 kw	2 台		三菱 電機	MPUZ-R160HA8	2.9 kw	1 台	

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
126	ACP	91	管理倉庫	201	2F財務部・管理官 倉庫	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ	RP-761A	kw	1 台		日立	RP-761A	kw	1 台	
126	AC	95	車庫	—	車庫	ダイキン	空冷スプリット /壁掛	FAP50BA	1.1 kw	1 台		ダイ キン	RZZP50BBV	1.08 kw	1 台	
127	AC	95	車庫	—	和室	ダイキン	空冷ヒートポンプス プリット/壁掛	F28FTNV -W	0.75 kw	1 台		ダイ キン	R28FNV	0.75 kw	1 台	
127	AC	96	倉庫	—	洗濯室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 壁 掛	F50FTSP -W	2 kw	1 台		ダイ キン	RYJ63F	2 kw	1 台	
128	AC	96	倉庫	—	ロッカー室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 壁 掛	F50ETSV -W	1.5 kw	1 台		ダイ キン	R50FSP	1.5 kw	1 台	
128	AC	96	倉庫	—	倉庫	ダイキン	空冷ヒートポンプ 壁 掛	FAYJ63F	1.5 kw	1 台		ダイ キン	R50ESV	1.5 kw	1 台	
129	AC	98	厨房作業員 控室	—	控室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 壁 掛	F28PTEV -W	0.75 kw	1 台						
129	PAC-1	105	機械室		1F西側実験室	—	冷房能力100kW 暖房能力112kW 風量21600m³/h 有効加湿量 12kg/h 主な機器容量 21kW	—	—	1 台	研究室設置 (実験用)で 保守定期点検 対象外 (フロン排出 抑制法点検の み対象とする)	三菱 電機	PFHV-P1120DM- E	21 kw	1 台	

【3. 機械】ー2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メーカー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メーカー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
130		105	機械室	1F実験室	—	—	—	—	—	研究室設置 (実験用)で 保守定期点検 対象外 (フロン排出 抑制法点検の み対象とする)	オリ オン	RKE15000A-V	7.5 kw	1 台	
130	ACP-101	107	宇宙光通信 地上セン ター	101 1F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RPV- AP224SH 3	4 kw	2 台		日立	RAS-AP224SH3	4 kw	1 台	
131	ACP-102	107	宇宙光通信 地上セン ター	102 1F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP280SH 3	5.8 kw	2 台		日立	RAS-AP280SH3	5.8 kw	1 台	
131	ACP-103	107	宇宙光通信 地上セン ター	103 1F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP280SH 3	5.8 kw	2 台		日立	RAS-AP280SH3	5.5 kw	1 台	
132	ACP	107	宇宙光通信 地上セン ター	— 東側廊下	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- GP112RS H	1.95 kw	2 台		日立	RAS-GP112RSH	1.95 kw	1 台	
132	ACP-105	107	宇宙光通信 地上セン ター	104 1F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP280SH 3	5.8 kw	2 台		日立	RAS-AP280SH3	5.8 kw	1 台	
133	ACP-106	107	宇宙光通信 地上セン ター	105 1Fネットワークアーキテクチャ 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- GP112RS H	1.95 kw	1 台		日立	RAS-GP112RSH	1.95 kw	1 台	
133	ACP	107	宇宙光通信 地上セン ター	— 西側廊下	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ	FDCJ1- 40HA	3.75 kw	2 台		三菱 電機	FDCJ40HA	3.75 kw	1 台	
134	RC-1	107	宇宙光通信 地上セン ター	108 1F 仮眠室2号室	日立	空冷ヒートポンプ 壁 掛	RAC- ZJ25G	0.8 kw	1 台		日立	RAC-ZJ22G	0.8 kw	1 台	

【3. 機械】ー2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メーカー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メーカー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
134	RC-3	107	宇宙光通信 地上セン ター	109	1F 仮眠室3号室	日立	空冷ヒートポンプ 壁 掛	RAC- ZJ25G	0.8 kw	1 台		日立	RAC-ZJ25G	0.8 kw	1 台	
135	RC-2	107	宇宙光通信 地上セン ター	107	1F倉庫	日立	空冷ヒートポンプ 壁 掛	RAC- ZJ22G	0.8 kw	1 台		日立	RAC-ZJ25G	0.8 kw	1 台	
135	ACP- 111	107	宇宙光通信 地上セン ター	111	1Fフロンティア創造総 合研究室実験室 (中)	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- GP160RS H	3.6 kw	2 台		日立	RAS-GP-160RSH	3.6 kw	1 台	
136	ACP- 112	107	宇宙光通信 地上セン ター	111	1Fフロンティア創造総 合研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- GP160RS H	3.6 kw	2 台		日立	RAS-GP-160RSH	3.6 kw	1 台	
136	ACP- 110	107	宇宙光通信 地上セン ター	116	1Fデジタル光学基 盤研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- GP160RS H	3.6 kw	2 台		日立	RAS-GP-160RSH	3.6 kw	1 台	
137	ACP- 109	107	宇宙光通信 地上セン ター	115	1Fフロンティア創造総 合実験室 居室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- GP160RS H	3.6 kw	2 台		日立	RAS-GP-160RSH	3.6 kw	1 台	
137	ACP- 108	107	宇宙光通信 地上セン ター	114	1Fネットワークアーキテクチャ 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- GP160RS H	3.6 kw	2 台		日立	RAS-GP-160RSH	3.6 kw	1 台	
138	ACP- 107	107	宇宙光通信 地上セン ター	113	1F宇宙通信システム 研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- GP160RS H	3.6 kw	2 台		日立	RAS-GP-160RSH	3.6 kw	1 台	
138	ACP- 113	107	宇宙光通信 地上セン ター	118	1F観測室(ドーム)	日立	空冷ヒートポンプ 壁 掛	RAS- GP56RSH	1 kw	1 台		日立	RAS-GP-56RSH	1 kw	1 台	
139	ACP- 113	107	宇宙光通信 地上セン ター	R101	2Fドーム室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RAS- AP80FVM	1.38 kw	1 台		日立	RCR-J140A1	2 kw	1 台	

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
139		107	宇宙光通信 地上セン ター		—	—	—	—	—	—	研究室設置 (実験機器冷 却用)で保守 定期点検対象 外 (フロン排出 抑制法点検の み対象とする)	オリ オン	RKE3750B-V	1.7 kw	1 台	屋外111イン バータ チラー
140		109	テストフィールド用 測定室		測定室	ダイ キン		FHP63DG		1 台		ダイ キン	RZRP63BCT	1.18 kw	1 台	冷媒R32
140	AC-14-1	110	光伝送技術 開発棟	2-1	光信号処理評価 室1	東芝 キャリア	空冷ヒートポンプ パッケージ	MMU- AP903H	4.6 kw	1 台						ユニット MMY- AP9003H 室外機 4 台MMY- MAP2243
141	AC-14-2	110	光伝送技術 開発棟	3-2	光伝送特性評価 室1	東芝 キャリア	空冷ヒートポンプ パッケージ	MMU- AP803H	4.6 kw	1 台						
141	AC-14-3	110	光伝送技術 開発棟	3-2	光伝送特性評価 室2	東芝 キャリア	空冷ヒートポンプ パッケージ	MMU- AP453WH		1 台						
142	AC-14-1.2	110	光伝送技術 開発棟	1-2, 廊 下	光信号処理開発 室・廊下	東芝 キャリア	空冷ヒートポンプ パッケージ	MMU- AP713H	4.6 kw	4 台						
142	AC-14-3.4	110	光伝送技術 開発棟	2-2	光信号処理評価 室2	東芝 キャリア	空冷ヒートポンプ パッケージ4方向	MMU- AP563WH	4.6 kw	2 台						
143	ACP-1-1.2	110	光伝送技術 開発棟	1-1	光信号処理シス テム室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ床置きセ パレート	FVYCP45 OMR	9.8 kw	2 台		ダイ キン	SZVCP450J	9.8 kw	2 台	

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様 (フロン排出抑制法関係)					
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考	
143	ACP-2-1.2	110	光伝送技術開発棟	1-1	光信号処理システム室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ天井吊型	FHP224CB	3.44 kw	2 台		ダイキン	RP22CB	3.44 kw	2 台	
144	ACP-3-1.2	110	光伝送技術開発棟	3-1	光伝送特性評価システム室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ床置きセパレート	FVYCP560MR	13.3 kw	2 台		ダイキン	SZVCP560J	13.3 kw	2 台	
144	AC-1-1	111	ミリ波研究棟	108	1F先端ICTデハイスラボ実験室	日立	空冷ヒートポンプ	RCI-AP71K4	6 kw	3 台		ダイキン	RAS-AP280DGR1	6.0 kw	1 台	
145	AC-2-1	111	ミリ波研究棟	107	1F超高周波ICT研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ	RCI-AP71K4	3.6 kw	2 台		ダイキン	RAS-AP160DGR1	3.6 kw	1 台	
145	AC-3-1	111	ミリ波研究棟	102	1F超高周波ICT研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ	RCI-AP36K4	3.6 kw	1 台		ダイキン	RAS-AP160DGR1	3.6 kw	1 台	
146	AC-3-2	111	ミリ波研究棟	101	1F先端ICTデハイスラボ居室	日立	空冷ヒートポンプ	RCI-AP63K4	3.6 kw	2 台						
146	AC-4-1	111	ミリ波研究棟	202a, b	2Fテラヘルツ連携研究室実験室	日立	空冷ヒートポンプ	RCI-AP71K4	6 kw	4 台		ダイキン	RAS-AP280DGR1	6 kw	1 台	202b室
147	AC-5-1	111	ミリ波研究棟	201	2FグリーンICTデハイス研究室居室	日立	空冷ヒートポンプ	RCI-AP80K4	7.2 kw	4 台		ダイキン	RAS-AP335DGR1	7.2 kw	1 台	
147	AC-6-1	111	ミリ波研究棟	203	2F先端ICTラボ実験室	日立	空冷ヒートポンプ	RCI-AP112K4	9.6 kw	4 台		ダイキン	RAS-AP224DGR1, RAS-AP224DGR1	9.6 kw	2 台	
148	AC-7-1	111	ミリ波研究棟	204	2F小金井フロンティア研究センター企画室居室	日立	空冷ヒートポンプ	RCI-AP56K4	3 kw	2 台		ダイキン	RAS-AP140DGR1	3 kw	1 台	
148	AC-8-1	111	ミリ波研究棟	205	2F超高周波ICT研究室居室(北西角)	日立	空冷ヒートポンプ	RCI-AP56K4	3 kw	2 台		ダイキン	RAS-AP140DGR1	3 kw	1 台	

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様 (フロン排出抑制法関係)					
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考	
149	AC-9-1A	111	ミリ波研究棟	208, 208c	2F超高周波ICT研究室居室・実験室(南側)	日立	空冷ヒートポンプ	RCI-AP140K4	12 kw	4 台		ダイキン	RAS-AP560DGR1	12 kw	1 台		
149	AC-9-1C	111	ミリ波研究棟	207	2F先端ICTデバイス実験室(西側)	日立	空冷ヒートポンプ	RCI-AP140K4	12 kw	4 台		ダイキン	RAS-AP560DGR1	12 kw	1 台		
150	AC-9-1B	111	ミリ波研究棟	207	2F先端ICTデバイス実験室(東側)	日立	空冷ヒートポンプ	RCI-AP140K4	12 kw	4 台		ダイキン	RAS-AP560DGR1	12 kw	1 台		
150	AC-10	111	ミリ波研究棟	103, 104	1F先端ICTデバイス実験室	ダイキン	空冷ヒートポンプ	FHCP140CB	5.26 kw	2 台							
151	AC-11	111	ミリ波研究棟	207	2F先端ICTデバイス実験室(北西側)	ダイキン	空冷ヒートポンプ	FHCP140CB	2.75 kw	1 台							
151	ACP-1-1	112	VLBI観測棟	105	1F宇宙環境研究室南極倉庫前室	日立	空冷ヒートポンプパッケージ	RCID-AP28K2	3.6 kw	2 台		日立	RAS-AP160DGR1	3.6 kw	1 台	103, 104b, 105室	
152	ACP-1-2	112	VLBI観測棟	103	1F宇宙環境研究室倉庫	日立	空冷ヒートポンプパッケージ	RCID-AP45K2		2 台							
152	ACP-1-3	112	VLBI観測棟	104b	1F宇宙環境研究室倉庫	日立	空冷ヒートポンプパッケージ	RCI-AP36K4		1 台							
153	ACP-2-1	112	VLBI観測棟	205	2F宇宙通信システム研究室居室実験室	日立	空冷ヒートポンプパッケージ	RCID-AP36K2	3.6 kw	2 台		日立	RAS-AP160DGR1	3.6 kw	1 台	201, 204, 205室	
153	ACP-2-2	112	VLBI観測棟	201	2F宇宙通信システム研究室居室実験室	日立	空冷ヒートポンプパッケージ	RCID-AP36K2		2 台							
154	ACP-2-3	112	VLBI観測棟	204	2F宇宙通信システム研究室居室実験室	日立	空冷ヒートポンプパッケージ	RCI-AP56K4		1 台							

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様 (フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
154	ACP-3-1.2	112	VLBI観測棟	106, 107	2F宇宙通信システム 研究室居室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	-	3.75 kw	4 台	フィルターなし	三菱 電機	FDC125A8A	3.75 kw	2 台	
155	ACP-4-1.2	112	VLBI観測棟	206, 207	2F宇宙通信システム 研究室居室実験室	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ (冷房 専用)	RPI- AP140K2	3 kw	4 台	フィルターなし	日立	RAS-AP140EA1	2.9 kw	2 台	
155	ACP-5.1.2	112	VLBI観測棟	202, 203	宇宙通信システム 研究室観測制御室202・203	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ (冷房専 用)	RPI- AP140K2	3 kw	4 台	フィルターなし	日立	RAS-AP140EA1	2.9 kw	2 台	
156		112	VLBI観測棟	104b	2F宇宙通信システム 研究室居室実験室	日立	空冷ヒートポンプ	RPC- J71K	2.2 kw	1 台						
156		112	VLBI観測棟		1F電気室							日立	RAS-J71A	2.2 kw	1 台	
157	AC-1-1	113	ゲストハウス	—	1F談話室	日立	空冷ヒートポンプ	RCID- 35HZJ6	1.9 kw	1 台		日立	RAS-71HZJ6	1.9 kw	1 台	
157	AC-1-1	113	ゲストハウス	—	1F談話室	日立	空冷ヒートポンプ	RCID- 45HZJ6	1.9 kw	1 台						
158	AC-2-1	113	ゲストハウス	101	1F 101号室	日立	空冷ヒートポンプ	C40RTV- W	2.3 kw	1 台		ダイ キン	4M80RV	2.3 kw	1 台	
158	AC-2-2	113	ゲストハウス	101	1F 101号室	日立	空冷ヒートポンプ	C50RTV- W		1 台						
159	AC-3-1	113	ゲストハウス	102	1F 102号室	日立	空冷ヒートポンプ	C40RTV- W	2.3 kw	1 台		ダイ キン	4M80RV	2.3 kw	1 台	
159	AC-3-2	113	ゲストハウス	102	1F 102号室	日立	空冷ヒートポンプ	C50RTV- W		1 台						

【 3. 機械】 — 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様 (フロン排出抑制法関係)					
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考	
160	AC-4-1	113	ゲストハウス	103	1F 103号室	ダイキン	空冷ヒートポンプ		0.95 kw	1 台		ダイキン	R36REV	0.95 kw	1 台	
160	AC-5-1	113	ゲストハウス	104	1F 104号室	ダイキン	空冷ヒートポンプ		0.95 kw	1 台		ダイキン	R36REV	0.95 kw	1 台	
161	AC-6-1	113	ゲストハウス	105	1F 105号室	ダイキン	空冷ヒートポンプ		0.95 kw	1 台		ダイキン	R36REV	0.95 kw	1 台	
161	ACP-1a	113	ゲストハウス	—	1F談話室天井埋込	日立	空冷ヒートポンプ	RCID-GP80K2	1.5 kw	1 台	天井カセット (2方向)	日立	RAS-GP80RSHJ3	1.5 kw	1 台	冷媒R32
162	ACP-1b	113	ゲストハウス	—	1F談話室天井埋込	日立	空冷ヒートポンプ	RCID-GP80K2	1.5 kw	1 台	天井カセット (2方向)	日立	RAS-GP80RSHJ3	1.5 kw	1 台	冷媒R32
162	AC-3-3	114	研究交流センター	207	2F受託者控室 (運転手)	日立	空冷パッケージ 天井カセット2方向	RCID-AP50K2	7.2 kw	2 台		日立	RAS-AP335DGR1	7.2 kw	1 台	204, 205, 206, 207室
163	AC-3-2	114	研究交流センター	206	2F受託者控室(清掃)	日立	空冷パッケージ 天井カセット2方向	RCID-AP40K2		1 台						
163	AC-3-1	114	研究交流センター	205	2F受託者控室(清掃)	日立	空冷パッケージ 天井カセット2方向	RCID-AP90K2		1 台						
164	AC-3-1	114	研究交流センター	204	2F受託者控室(設備)	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RCID-AP90K2		1 台						
164	AC-2-1	114	研究交流センター	101	1F交流ラウンジ 中央(北・南), 東 (北・南)	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RCID-AP90K2	7.2 kw	4 台		日立	RAS-AP335DGR1	7.2 kw	1 台	
165	AC-1-1	114	研究交流センター	101	1F交流ラウンジ 北西	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RCID-AP90K2	6 kw	1 台		日立	RAS-AP280DGR1	6 kw	1 台	倉庫

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様 (フロン排出抑制法関係)					
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考	
165	AC-1-2	114	研究交流センター	101	1F交流ラウンジ 南西	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	RCID- AP90K2		1 台							
166	AC	114	研究交流センター	201a	2F男脱衣室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 壁 掛	F22ETSS -W	0.6 kw	1 台		ダイ キン	R22ESS	0.6 kw	1 台		
166	AC	114	研究交流センター	201b	2F女脱衣室	ダイキン	空冷ヒートポンプ 壁 掛	F22ETSS -W	0.6 kw	1 台		ダイ キン	R22ESS	0.6 kw	1 台		
167	AC-4-2	114	研究交流センター	107手 前	1F作業スペース	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ	PEFY- P160M- E1-F	5.4 kw	1 台		ダイ キン	PUHY-P224CM- E2	5.4 kw	1 台	作業ス ペース・ 旧喫煙室	
167	AC-4-1	114	研究交流センター	105	1F旧喫煙室・交 流ラウンジ	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ	PEFY- P160M- E1-F		1 台							
168	ACP	126	高压配電所	—	高压配電所	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FVYJ160 LA	4.5 kw	1 台		ダイ キン	RJ160B	4.5 kw	1 台		
168	ACP	126	高压配電所	—	高压配電所	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FVYJ160 LA	4.5 kw	1 台		ダイ キン	RJ160B	4.5 kw	1 台		
169	ACP-1- 1	130	光デバイス 技術セン ター	104, 10 5	1F男女更衣室	サン ヨー	空冷ヒートポンプ パッケージ	SPW- SSXJ36U	15 kw	2 台		ダイ キン	SPW- CHDYJ561T2	15 kw	1 台	104, 105, 1 06, 107, BF ホール	
169	ACP-1- 2	130	光デバイス 技術セン ター	106, 10 8	1F事務室・会議 室	サン ヨー	空冷ヒートポンプ パッケージ	SPW- SXJ45U		5 台							
170	ACP-1- 3	130	光デバイス 技術セン ター	—	B1Fエレベーター ホール	サン ヨー	空冷ヒートポンプ パッケージ	SPW- SXJ56U		1 台							
170	ACP-1- 4	130	光デバイス 技術セン ター	107	1F先端ICTデバ イス 実験室	サン ヨー	空冷ヒートポンプ パッケージ	SPW- TXJ56U		3 台							

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様 (フロン排出抑制法関係)					
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考	
171	ACP-2	130	光デバイス 技術セン ター	B04	B1F第 2 工作室	サン ヨー	空冷ヒートポ [°] ンプ [°] パ [°] ッケージ [°]	SPW- TJ112U	5.5 kw	2 台		サン ヨー	SPW-CHJ224U	6 kw	1 台	
171	ACP	130	光デバイス 技術セン ター									サン ヨー	SPW- CHRV140A1	2.5 kw	1 台	1F廊下
172	PAC-1	131	セキュリ ティ集中管 理棟	103	守衛室	日立	空冷ヒートポ [°] ンプ [°] パ [°] ッケージ [°]	RCID- P56K1	6 kw	3 台		日立	RAS-P224S	6 kw	1 台	103室
172	PAC-2- 1	131	セキュリ ティ集中管 理棟	102	集中管理室	日立	空冷ヒートポ [°] ンプ [°] パ [°] ッケージ [°]	RCID- P40K1	6 kw	4 台		日立	RAS-P224S	6 kw	1 台	集中管理 室・ロッ カー室
173	PAC-2- 2	131	セキュリ ティ集中管 理棟	101b	更衣室	日立	空冷ヒートポ [°] ンプ [°] パ [°] ッケージ [°]	RCIS- P28K1		1 台						
173	PAC-2- 3	131	セキュリ ティ集中管 理棟	101c	和室 (休憩室)	日立	空冷ヒートポ [°] ンプ [°] パ [°] ッケージ [°] / 壁掛	RAS- N25S	0.6 kw	1 台		日立	RAC-N25S	0.6 kw	1 台	和室 (休憩 室)
174	AC	132	オープンサ イト用測定 室	—	保管室	三菱	空冷ヒートポ [°] ンプ [°]	FDEP40D 2	1.1 kw	1 台		三菱 電機	FDCP40HD2	1.1 kw	1 台	
174	AC	132	オープンサ イト用測定 室	—	保管室	三菱	空冷ヒートポ [°] ンプ [°]	FDEP40D 2	1.1 kw	1 台		三菱 電機	FDCP40HD2	1.1 kw	1 台	
175	AC	132	オープンサ イト用測定 室	—	打合せ室	ダイキン	空冷ヒートポ [°] ンプ [°] 壁 掛		1.1 kw	1 台		ダイ キン	R40ADV	1.1 kw	1 台	
175	HP-1	135	産学官研究 交流棟	—	3F RF食堂系統室 外機	ダイキン	空冷ヒートポ [°] ンプ [°] パ [°] ッケージ [°]		11.3 kw			ダイ キン	RSXYP504P	11.3 kw	1 台	ホー ル, 103, 106
176	HP-1-1	135	産学官研究 交流棟	—	1Fホール (食堂 前室)	ダイキン	空冷ヒートポ [°] ンプ [°] パ [°] ッケージ [°]	FXYFP56 MA		1 台						

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メーカー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メーカー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
176	HP-1-1	135	産学官研究 交流棟	106	1F喫煙室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP56 MA		1 台					
177	HP-1-1	135	産学官研究 交流棟	103	1F食堂	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP71 MA		3 台					
177	HP-1-2	135	産学官研究 交流棟	103	1F食堂	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP56 MA		3 台					
178	HP-2	135	産学官研究 交流棟	—	3F RF食堂北系統 室外機	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ		7.3 kw		ダイ キン	RSXYP335P	7.3 kw	1 台	103
178	HP-2-1	135	産学官研究 交流棟	103	1F食堂	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP56 MA		2 台					
179	HP-2-2	135	産学官研究 交流棟	103	1F食堂	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP71 MA		3 台					
179	HP-3	135	産学官研究 交流棟	—	3F RF事務室/売 店系統室外機	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ		6.1 kw		ダイ キン	RSXYP280P	6.1 kw	1 台	101, 104室
180	HP-3-1	135	産学官研究 交流棟	101	1F事務室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP71 M		1 台					
180	HP-3-2	135	産学官研究 交流棟	104	1F喫茶厨房	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYKP56 MA		1 台					
181	HP-3-3	135	産学官研究 交流棟	104	1F売店／喫茶	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP71 MA		2 台					
181	HP-4	135	産学官研究 交流棟	—	3F RF厨房系統室 外機	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ		11.7 kw		ダイ キン	RSXYP450P	11.7 kw	1 台	105a, 105b 室

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メーカー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メーカー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
182	HP-4-1	135	産学官研究 交流棟	105b	1Fスタッフ室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP36 M		1 台						
182	HP-4-2	135	産学官研究 交流棟	105a	1F食堂厨房	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYTP14 OM		2 台						
183	HP-5	135	産学官研究 交流棟	—	RF 2F南系統室外 機	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ		10.1 kw			ダイ キン	RSXYP400P	10.1 kw	1 台	廊下, 連携 室, OR倉 庫, TLO室 室
183	HP-5-1	135	産学官研究 交流棟	—	2F廊下	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP45 M		1 台						
184	HP-5-2	135	産学官研究 交流棟	202	2F R&Dアドバイ ザー室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP 4 5 MA		1 台						
184	HP-5-2	135	産学官研究 交流棟	206	2F 倉庫	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP 4 5 MA		1 台						
185	HP-5-3	135	産学官研究 交流棟	204	2F 倉庫	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP56 MA		1 台						
185	HP-5-4	135	産学官研究 交流棟	208	2Fベンチャーオ フィス	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP36 MA		2 台						
186	HP-5-4	135	産学官研究 交流棟	210	2Fベンチャーオ フィス	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP36 MA		2 台						
186	HP-5-4	135	産学官研究 交流棟	212	2Fベンチャーオ フィス	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP36 MA		2 台						
187	HP-6	135	産学官研究 交流棟	R階屋 上	2F北系統室外機	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ		13.4 kw			ダイ キン	RSXYP335P, RSXYP280P	13.4 kw	1 台	201, 203, 2 05. 207. 20 9. 203 室

【 3. 機械】 — 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)					
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考	
187	HP-6-1	135	産学官研究 交流棟	201	2Fベンチャー研 究室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP71 MA		2 台						
188	HP-6-2	135	産学官研究 交流棟	203	2Fベンチャー研 究室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP56 MA		2 台						
188	HP-6-2	135	産学官研究 交流棟	205	2Fベンチャー研 究室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP56 MA		2 台						
189	HP-6-2	135	産学官研究 交流棟	207	2Fベンチャー研 究室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP56 MA		2 台						
189	HP-6-2	135	産学官研究 交流棟	209	2Fベンチャー研 究室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP56 MA		2 台						
190	HP-6-3	135	産学官研究 交流棟	203	2Fベンチャー研 究室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP36 MA		1 台						
190	HP-7	135	産学官研究 交流棟	—	RF コミュニティ 系統室外機	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ		5.2 kw		ダイ キン	RSXYP224P	5.2 kw	1 台		
191	HP-7-2	135	産学官研究 交流棟	—	3Fコミュニティコーナ (フリースペース)	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP90 MA		2 台						
191	HP-8	135	産学官研究 交流棟	—	RF和室系統室外 機	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ		6.1 kw		ダイ キン	RSXYP280P	6.1 kw	1 台		
192	HP-8-1	135	産学官研究 交流棟	302	3F休養室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP71 M		1 台						
192	HP-8-1	135	産学官研究 交流棟	304	3F休養室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP71 M		1 台						

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器（個別空調）

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
193	HP-8-2	135	産学官研究 交流棟	306	3F休養室（女 子）	ダイキン 空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYCP56 M		1 台						
193	HP-8-3	135	産学官研究 交流棟	—	3F廊下	ダイキン 空冷ヒートポンプ パッケージ	FXYFP90 MA		1 台						
194	AC-1	135	産学官研究 交流棟	301, 30 3, 308, 310, 31 2, 314, 316室	3Fゲストルーム (7室)	ダイキン 空冷ヒートポンプ エア コン	F36ETDS -W	0.95 kw	7 台		ダイ キン	F36ETDS-W	0.95 kw	6 台	301, 303, 3 08, 310, 31 2, 316室
194	ACP-1	128	研究本館	236, 23 7	2Fサーバー室 (床置)	ダイキン 空冷ヒートポンプ パッケージ	FVCP560 MR	14.4 kw	1 台		ダイ キン	FVCP560MR	14.4 kw	1 台	
195	ACP-2	128	研究本館	236, 23 7	2Fサーバー室 (床置)	ダイキン 空冷ヒートポンプ パッケージ	FVCP560 MR	14.4 kw	1 台		ダイ キン	FVCP560MR	14.4 kw	1 台	
195	ACP-3	128	研究本館	236, 23 7	2Fサーバー室 (床置)	ダイキン 空冷ヒートポンプ パッケージ	FVCP560 MR	14.4 kw	1 台		ダイ キン	FVCP560MR	14.4 kw	1 台	
196	ACP-4	128	研究本館	236, 23 7	2Fサーバー室 (天吊)	三菱 空冷ヒートポンプ パッケージ	PCZG- P10MBA4	5.5 kw	1 台		ダイ キン	PUG-P10MHA7	5.5 kw	1 台	
196	ACP-5	128	研究本館	236, 23 7	2Fサーバー室 (天吊)	三菱 空冷ヒートポンプ パッケージ	PCZG- P10MBA4	5.5 kw	1 台		ダイ キン	PUG-P10MHA7	5.5 kw	1 台	
197	ACP-6	128	研究本館	236, 23 7	2Fサーバー室 (天吊)	三菱 空冷ヒートポンプ パッケージ	PCZG- P10MBA4	5.5 kw	1 台		ダイ キン	PUG-P10MHA7	5.5 kw	1 台	
197	ACP-7	128	研究本館	236, 23 7	2Fサーバー室 (天吊)	三菱 空冷ヒートポンプ パッケージ	PCZG- P10MBA4	5.5 kw	1 台		ダイ キン	PUG-P10MHA7	5.5 kw	1 台	
198	ACP-8	128	研究本館	236, 23 7	2Fサーバー室 (天吊)	三菱 空冷ヒートポンプ パッケージ	PCZG- P10MBA4	5.5 kw	1 台		ダイ キン	PUG-P10MHA7	5.5 kw	1 台	

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メーカー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メーカー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備考
198	ACP-2	128	研究本館								三菱	PUHV- P280SDMJ1, PUHV- P280SDMJ1	10.2 kw	1 台	2F 北西部
199	ACP-3	128	研究本館								三菱	PUHV- P280SDMJ1, PUHV- P280SDMJ1	10.2 kw	1 台	3F 北西部
199	ACP-3-1	128	研究本館	1W-332b	3F会議室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	4.5 kw	1 台		ダイキン	RYJ140B	4.5 kw	1 台	
200	ACP-3-2	128	研究本館	1W-322	3Fリフレッシュ ルーム	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	3.75 kw	1 台		ダイキン	RYJ160B	3.8 kw	1 台	
200	ACP-3-3,3-4	128	研究本館	1E-323 ～326	3F特別会議室 2	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	7.25 kw	2 台		ダイキン	RSXYJ280KC	7.3 kw	1 台	
201	ACP-4-4	128	研究本館	1W-415, 416, 417	4Fグローバル推進部門	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	22 kw	6 台		ダイキン	RXYJ450KD1, RXYJ448KD2	22 kw	2 台	
201	ACP-4-5	128	研究本館	1W-425, 426	4F倉庫 (床置)						ダイキン	RYJ224L	5.5 kw	1 台	
202	サーバー 室3	128	研究本館	1E-416, 417	4F総合TB研究開発推進センター	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	4 kw	1 台		日立	RAS-AP224GH	4 kw	1 台	
202	サーバー 室2	128	研究本館	1E-416, 417	4F総合TB研究開発推進センター	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	4 kw	1 台		日立	RAS-AP224GH	4 kw	1 台	
203	サーバー 室1	128	研究本館	1E-416, 417	4F総合TB研究開発推進センター	日立	空冷ヒートポンプ パッケージ	4 kw	1 台		日立	RAS-AP224GH	4 kw	1 台	

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
203	ACP-W435	128	研究本館	1W-435	4Fソーシャルイノベーションユニット	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FHP224CB	4.61 kw	1 台		ダイキン	RZZP224CG	4.61 kw	1 台	
204	ACP-W436	128	研究本館	1W-436	4Fビュッテータ利活用研究室	ダイキン	空冷ヒートポンプパッケージ	FHP224CB	4.61 kw	1 台		ダイキン	RZZP224CG	4.61 kw	1 台	
204	ACP-412	128	研究本館	1W-412	4F TV会議室 天カセ(四方向吹出)	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PLZ-ERMP112EW	2.1 kw	1 台		三菱電機	PLZ-ERMP112EW	2.1 kw	1 台	
205	PAC-1-1	128	研究本館	1W-132b~136	1F展示室東	パナニック	空冷ヒートポンプパッケージ		4.2 kw	1 台		パナニック	CU-P224	4.2 kw	1 台	
205	PAC-1-2	128	研究本館	1W-132b~136	1F展示室東	パナニック	空冷ヒートポンプパッケージ		4.2 kw	1 台		パナニック	CU-P224	4.2 kw	1 台	
206	1W-136室	128	研究本館	1W-137	1F展示室西	サンヨー	空冷ヒートポンプパッケージ		3.75 kw	1 台		サンヨー	SPW-CHRP140A	3.75 kw	1 台	
206	ACP-5	128	研究本館	1C-B112	B1F監視室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ		2.8 kw	1 台		三菱電機	PUSY-P112MH1	2.8 kw	1 台	
207		128	研究本館	1C-B111	B1F MDF 室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PUZ-ERMP160LA6	4 kw	1 台		ダイキン	PUZ-ERMP160LA6	4.6 kw	1 台	
207	ACP-4(水冷)	128	研究本館		1F～3F 会議室1～3, ホワイエ							ダイキン		11 kw	1 台	
208	ACP-1-1	138	電離層観測・試作開発棟	101	1F機械加工室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PEFY-P280M-E1	12 kw	3 台		三菱電機	PUHY-P500CM-E1	12 kw	1 台	101
208	ACP-1-2	138	電離層観測・試作開発棟	101	1F機械加工室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PEFY-P224M-E1		3 台						

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)					
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名	メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考	
209	ACP-2-1	138	電離層観測・試作開発棟	104	1F設計事務室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PLFY-P90LM-E2	6.7 kw	2 台		三菱電機	PURY-P280CM-E	6.7 kw	1 台	104、109室
209	ACP-2-2	138	電離層観測・試作開発棟	109	1F会議室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PLFY-P71BN-E1		1 台						
210	ACP-3-1	138	電離層観測・試作開発棟	102	1F熱処理室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PCFY-P140KM-E1	10.1 kw	3 台		三菱電機	PUHY-P400CM-E1	10 kw	1 台	102
210	ACP-4-1	138	電離層観測・試作開発棟	206	2F宇宙環境研究室実験室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PCFY-P90KM-E1	12.1 kw	2 台		三菱電機	PURY-P280SCM-E, PURY-P224SCM-E	12.1 kw	2 台	202. 204. 206. 2F廊下
211	ACP-4-2	138	電離層観測・試作開発棟	202	2F宇宙環境研究室実験室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PLFY-P71LM-E2		3 台						
211	ACP-4-3	138	電離層観測・試作開発棟	204	2F宇宙環境研究室実験室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PLFY-P56LM-E2		2 台						
212	ACP-4-4	138	電離層観測・試作開発棟	—	2階廊下	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PLFY-P56BN-E1		1 台						
212	ACP-5-1	138	電離層観測・試作開発棟	208	2F宇宙環境研究室実験室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PLFY-P112BN-E1	10.5 kw	4 台		三菱電機	PUHY-P450CM-E1	10 kw	1 台	
213	ACP-6-1	138	電離層観測・試作開発棟	103	1F測定室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PLFY-P112LM-E2	5.4 kw	2 台		三菱電機	PUHY-P224CM-E1	5.4 kw	1 台	
213	OAC-1-1	138	電離層観測・試作開発棟	101	1F機械加工室	三菱	空冷ヒートポンプパッケージ	PEFY-P160M-E1-F	4 kw	3 台		三菱電機	PUHY-P160CM-E1	4 kw	1 台	
214		138	電離層観測・試作開発棟	103	1Fロッカー室	ダイキン	空冷ヒートポンプ壁掛形	F22KTPS-W	0.6 kw	1 台						

【3. 機械】— 2 冷熱源機器

(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空気調和器 (個別空調)

No.	記号 (図面上)	設置場所				仕様						室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	部屋番号・居室名		メー カー	型式	型番	圧縮機	室内機 台数	備考	メー カー	圧縮機 型式	圧縮機 容量	室外機 ユニット台数	備 考
214	AC-1	143	光空間通信 実験棟小金 井局	101	1F制御室	ダイ キン	空冷ヒートポンプ パッケージ		1.88 kw	1 台		ダイ キン	RZZP-112CB	1.88 kw	1 台	
215	AC-2	143	光空間通信 実験棟小金 井局	201	2F観測室	ダイキン	空冷ヒートポンプ パッケージ	F22KTPS -W	2.75 kw	1 台		ダイ キン	RZZP-160CB	2.75 kw	1 台	
215	ACP-1	148	B5G電波暗室 棟	101	1F空調室内機置 場	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ	PFHV- P450DMJ 1	45 kW	2 台		三菱 電機	PFHV-P450DMJ1	45 kW	2 台	
216	ACP-2	148	B5G電波暗室 棟	101	1F空調室内機置 場	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ	PFHV- P450DMJ 1	45 kW	1 台		三菱 電機	PFHV-P450DMJ1	45 kW	1 台	
216	ACP-3	148	B5G電波暗室 棟	—	1F前室	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ	PLZX- ZRMP112 EFGZ	11.2 kW	1 台		三菱 電機	PLZX- ZRMP112EFGZ	11.2 kW	1 台	
217	ACP-4	148	B5G電波暗室 棟	—	1F吸収体置場	三菱	空冷ヒートポンプ パッケージ	PCZ- ZRMP224 BZ	22.4 kW	1 台		三菱 電機	PCZ-ZRMP224BZ	22.4 kW	1 台	
217	ACP- 1A-1	140	3 号館	506~51 1, 606~ 611	3号館北居室5F× 3、6F×3	日立 GLS	パッケージエアコン (天吊り型)	RCP- GP56K3		6 台		日立 GLS	RAS-AP400TG	10.6 kW	1 台	冷媒R410A
218	ACP- 1B-1	140	3 号館	306~31 1, 3- 406~41 1	3号館北居室3F× 3、4F×3	日立 GLS	パッケージエアコン (天吊り型)	RCP- GP56K3		6 台		日立 GLS	RAS-AP400TG	10.6 kW	1 台	冷媒R410A
計									621 台					236 台		

【3. 機械】—2 冷熱源機器

(5) 氷蓄熱ユニット

No.	記号 (又は 摘要)	設置場所			仕様											室外機仕様(フロン排出抑制法関係)				
		棟 番号	建物名	場所	メーカー	型式	冷房 能力	電源	主電動 機容量	起動 方式	圧縮機	潤滑 油	冷媒	数量	備考	メーカー	型式	容量	数量	備考
1	氷蓄熱 1HP-1	134	2号館	RF	ダイキン 工業	空冷ブラインチ ラーヒートポンプ ユニット UZIAP40F5R	207kW	AC3φ 200V	30KW	スターテ ルタ	半密閉 式	—	R- 407C	1台	蓄熱 量 2,580 MJ	ダイキン 工業	空冷ブラインチ ラーヒートポンプ ユニット UZIAP40F5 R	30 KW	1台	
2	氷蓄熱 1HP-2	134	2号館	RF	ダイキン 工業	空冷ブラインチ ラーヒートポンプ ユニット UZIYP40G5R	207kW	AC3φ 200V	30KW	スターテ ルタ	半密閉 式	—	R- 407C	1台		ダイキン 工業	空冷ブラインチ ラーヒートポンプ ユニット UZIYP40G5 R	30 KW	1台	
計														2台						

【３．機械】—２ 冷熱源機器

(６) 冷却塔

No.	記号(図面上)	摘要	設置場所			メーカー	仕様									数量	本業務 保守対象 ○:対象	備 考
			棟 番号	建物名	場所		型式	冷却 能力	冷却 水量	損失 水頭	電源	送風機 電源	ヒータ 電源	起動 方式	騒音 値			
1	CT-1	ブラインスクリューチラー用	128	研究本館	RF	空研工業	直交流式開放型角型超低騒音形	214 kW	59.5 L/min	66 kPa	AC3Φ 200V	2.2kw	なし	直入	—	1 台	○	研究本館：空調シーズンのみ運転を想定。
2	CT-2	ブラインスクリューチラー用	128	研究本館	RF	空研工業	直交流式開放型角型超低騒音形	214 kW	59.5 L/min	66 kPa	AC3Φ 200V	2.2kw	なし	直入	—	1 台	○	
3	CT-1	二重効用吸収式冷温水発生機用	134	2 号館	RF	空研工業	直交流式開放型角型超低騒音形	655 kW	1,710 L/min	40.0 kPa	AC3φ 200V	5.5 kW	5.0 kW	直入	61 db以下	2 台	○	2 号館：常時運転を想定。
4	CT-1 (RB-1用)	二重効用吸収式冷温水発生機用	140	3 号館	RF	三菱樹脂	直交流式開放型角型超低騒音形	785 kW	1.631 L/min	40.0 kPa	AC3Φ 200V	2.2×2 kw	5.0×2 kW	直入	61 db以下	1 台	○	3 号館：空調使用シーズン中のみ運転と常時運転の混在を想定。
5	CT-2 (RR-1用)	チリングユニット用	140	3 号館	RF	三菱樹脂	直交流式開放型角型超低騒音形	375 kW	770 L/min	32.0 kPa	AC3Φ 200V	2.2kw	4.0 kW	直入	60 db以下	1 台	○	
6	CT-3 (RR-2用)	チリングユニット用	140	3 号館	RF	三菱樹脂	直交流式開放型角型超低騒音形	390 kW	1.120 L/min	40.0 kPa	AC3Φ 200V	2.2kw	4.0 kW	直入	60 db以下	1 台	○	
7	CT-4 (実験用)	実験用	140	3 号館	RF	三菱樹脂	直交流式密閉型角型超低騒音形	36 kW	100 L/min	58.8 kPa	AC3Φ 200V	0.75kw	3.0 kW	直入	60 db以下	1 台	—	
8	冷却塔 No.1	実験用	107	宇宙光通信地上センター	建物北側屋外											1 台	—	
9	—	実験用	111	ミリ波研究棟	建物南側屋外	荏原冷熱システム		68.02 kW	195 L/min		AC3Φ 200V					1 台	—	
10	CT-2(実験機器用)	実験用	130	光デバイス技術センター	RF	荏原冷熱システム		104.7 kW	300 L/min		AC3Φ 200V					1 台	—	
計																11 台		

【3. 機械】— 3 空気調和等関連機器

(1) 熱交換器等（ヘッダー及び密閉式膨張タンクを含む。）

No.	記号 (図面上)	設置場所			型式・寸法(mm)等	数量	備 考
		棟番号	建物名	場所			
①熱交換器							
1	HE-1 (NO. 1)	128	研究本館	B1F機械室 2	熱交換器 M-15BFML	1 基	
2	HE-1 (NO. 2)	128	研究本館	B1F機械室 2	熱交換器 M-15BFML	1 基	
3	HE-2 (NO. 1)	128	研究本館	B1F機械室 2	熱交換器 M-15BFML	1 基	
4	HE-2 (NO. 2)	128	研究本館	B1F機械室 2	熱交換器 M-15BFML	1 基	
5	HEX-C-1	140	3 号館	RF	熱交換器	1 基	
6	HEX-TF-1	140	3 号館	RF	熱交換器	1 基	プレート型
7	HEX-TF-2	140	3 号館	RF	熱交換器	1 基	プレート型
計						● 9 基	
②ヘッダー							
1	HCHS-1	128	研究本館	B1F機械室 2	400×4, 835	2 ケ	
2	H-C-1	134	2 号館	熱源機械室 1	267. 4×2, 950	1 ケ	
3	H-C-2	134	2 号館	熱源機械室 1	267. 4×2, 950	1 ケ	
4	H-H-1	134	2 号館	熱源機械室 1	267. 4×2, 950	1 ケ	
5	H-H-2	134	2 号館	熱源機械室 1	267. 4×2, 950	1 ケ	
6	H-C-1	140	3 号館	熱源機械室 2	250×3, 700	1 ケ	
7	H-C-2	140	3 号館	熱源機械室 2	300×3, 000	1 ケ	
8	H-C-3	140	3 号館	熱源機械室 2	300×2, 600	1 ケ	
9	H-H-1	140	3 号館	熱源機械室 2	250×4, 200	1 ケ	
10	H-H-2	140	3 号館	熱源機械室 2	300×3, 400	1 ケ	
11	H-H-3	140	3 号館	熱源機械室 2	300×2, 700	1 ケ	
12	H-CF-1	140	3 号館	RF	125×1, 600	1 ケ	天井輻射空調系統冷温水配管ヘッダー
13	H-CF-2	140	3 号館	RF	125×1, 601	1 ケ	天井輻射空調系統冷温水配管ヘッダー
計						14 ケ	
③密閉式膨張タンク							
1	EXT-TF-1	140	3 号館	RF	密閉式膨張タンク	1 基	天井輻射空調系統
2	EXT-TF-2	140	3 号館	RF	密閉式膨張タンク	1 基	天井輻射空調系統
3	EXT-TF-3	140	3 号館	RF	密閉式膨張タンク	1 基	天井輻射空調系統
4	CUT-1	140	3 号館	RF	クッションタンク	1 基	天井輻射空調系統
5	TE-1	97	4 号館	1F空調機械室	冷温水系（密閉式）鋼製 559Φ×830H	1 基	
8	EXT-1F-C	147	量子セキュリティ・協創棟	屋外北側	冷水系（密閉式） SUS	1 基	
9	EXT-1F-H	147	量子セキュリティ・協創棟	屋外北側	温水系（密閉式） SUS	1 基	
計						7 基	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器

(2) 還水タンク・開放形膨張タンク

No.	記号 (図面上)	設置場所			型式	種別	寸法 (W×L×H) (mm)	数量	備 考
		棟 番号	建物名	場所					
1	TE-2	128	研究本館	2F空調機械室3	ブライン系	FRP	1000 × 1000 × 1100	2 基	
2	TE-2	128	研究本館	PHF	冷温水系	TE-1000	1000 × 1000 × 1000	1 基	
3	EXT-H-1	134	2号館	RF (高置)	温水系	SUS	1000 × 1000 × 1000	1 基	
4	TE-1	123	5号館	PHF	冷温水系	SS400	800 × 800 × 900	1 基	
5	—	105	機械室	空調機械室	冷温水系	FRP	1000 × 1000 × 1500	1 基	
6	EXT-C-1	140	3号館	RF (高置)	冷水系	SUS	1000 × 1000 × 1000	1 基	
7	EXT-H-1	140	3号館	RF (高置)	温水系	SUS	1000 × 1000 × 1000	1 基	
8	EXT-CD-1	140	3号館	RF (高置)	実験冷却水系	鋼板	300Φ×600L	1 基	
計								9 基	

【3. 機械】— 3 空気調和等関連機器

(3) ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機（空気清浄装置を含む。）

No.	記号 (図面上)	系統名	設置場所			仕様					数量	空気清浄 装置の有無		備 考
			棟 番号	建物名	場所	冷房 能力 (kW)	暖房 能力 (kW)	風量 (m3/h)	有効 加湿量 (kg/h)	主な 機器容量 (kW)		有	無	
1	AC-1-1	1F西側居室	128	研究本館	1F空調機械室 (2)	51.5	46.2	3700.0	24.0	2.2	1台	○		
2	AC-1-2	1F東側居室	128	研究本館	1F空調機械室 (3)	85.1	76.7	6200.0	40.2	5.5	1台	○		
3	AC-1-3-A,B	1Fアトリウム	128	研究本館	1F空調機械室 (2)(3)	53.6	35.7	12000.0	6.4	7.5	2台	○		
4	AC-2-1	2F西側居室	128	研究本館	2F空調機械室 (2)	52.9	56.0	11652.0	29.2	5	1台	○		
5	AC-2-2	2F東側居室	128	研究本館	2F空調機械室 (3)	62.0	55.7	4500.0	29.2	4	1台	○		
6	AC-3-1	3F西側居室	128	研究本館	3F空調機械室 (2)	52.9	56.0	11652.0	27.2	5	1台	○		
7	AC-3-2	3F東側居室	128	研究本館	3F空調機械室 (3)	69.3	62.0	5000.0	32.4	4	1台	○		
8	AC-4-1	4F西側居室(国際会議 室)	128	研究本館	4F空調機械室 (2)	75.6	68.3	5500.0	35.6	4	1台	○		停止中
9	AC-4-2	4F東側居室	128	研究本館	4F空調機械室 (3)	69.3	62.0	5000.0	32.4	4	1台	○		
10	ACC-KYO-1	1F原子周波数標準G居 室	134	2号館	E102空調機械 室	26.1	24.7	2,600	10.5	1.5	1台		○	
11	ACC-KYO-2	2F測定技術G居室	134	2号館	E202空調機械 室	21.3	17.2	3,000	5.3	1.5	1台		○	
12	ACC-KYO-3	3F日本標準時G居室	134	2号館	E302空調機械 室	23.0	17.6	3,000	7.3	1.5	1台		○	
13	ACC-KYO-4	4F時間周波数計測G居 室	134	2号館	E402空調機械 室	21.8	18.1	2,600	7.3	2	1台		○	
14	ACC-KA-1	1F準天頂衛星G居室	134	2号館	E101前廊下PS 内	24.7	16.1	3,400	3.8	2	1台		○	
15	ACC-KA-2	1Fタイムスタンププラットホーム G居室	134	2号館	E105前廊下PS 内	24.7	15.7	3,400	3.8	2	1台		○	
16	ACC-KA-3	1Fタイムスタンププラットホーム G居室	134	2号館	1F西入口前PS 内	12.1	8.1	1,700	1.9	2	1台		○	
17	ACC-KA-4	1F準天頂衛星G実験 室・共用会議室	134	2号館	E111前廊下PS 内	24.7	16.1	3,400	3.8	2	1台		○	

【3. 機械】— 3 空気調和等関連機器

(3) ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機（空気清浄装置を含む。）

No.	記号 (図面上)	系統名	設置場所			仕様					数量	空気清浄 装置の有無		備考
			棟 番号	建物名	場所	冷房 能力 (kW)	暖房 能力 (kW)	風量 (m3/h)	有効 加湿量 (kg/h)	主な 機器容量 (kW)		有	無	
18	ACC-KA-5	2F共用会議室	134	2号館	E207前廊下PS 内	16.1	12.3	1,800	3.8	2	1台		○	
19	ACC-GS-1A	1F一次周波数標準器室 (1) シールド [*]	134	2号館	W201空調機械 室	18.0	10.0	4,500	0.9	4	1台		○	
20	ACC-GS-1B	1F一次周波数標準器室 (1) シールド [*]	134	2号館	W201空調機械 室	18.0	10.0	4,500	0.9	4	1台		○	
21	ACC-GS-2A	1F一次周波数標準器室 (2)	134	2号館	W201空調機械 室	18.0	10.5	4,500	0.9	4	1台		○	
22	ACC-GS-2B	1F一次周波数標準器室 (2)	134	2号館	W201空調機械 室	18.0	10.5	4,500	0.9	4	1台		○	
23	ACC-GS-3	1F基礎実験室(1)	134	2号館	W201空調機械 室	19.0	8.0	4,500	1.5	4	1台		○	
24	ACC-GS-4	1F基礎実験室(2)	134	2号館	W201空調機械 室	19.0	8.5	4,500	1.5	4	1台		○	
25	ACC-GS-5	1F基礎実験室(3)	134	2号館	W201空調機械 室	19.0	8.0	4,500	1.5	4	1台		○	
26	ACC-GS-6	1F工作室	134	2号館	W201空調機械 室	7.8	6.8	1,800	0.8	1	1台		○	
27	ACC-GS-7	1F廊下	134	2号館	W201空調機械 室	7.8	6.8	1,800	0.8	1	1台		○	
28	ACC-SG-1-1	2F較正室	134	2号館	E203入口脇PS 内	17.0	7.0	4,500	0.6	3.7	1台		○	
29	ACC-SG-1-2	2F較正室	134	2号館	E203入口脇PS 内	17.0	7.0	4,500	0.6	3.7	1台		○	
30	ACC-SG-2-1	2F実験室両用室	134	2号館	E205入口脇PS 内	7.5	3.1	2,000	0.8	0.75	1台		○	
31	ACC-SG-2-2	2F実験室両用室	134	2号館	E205入口脇PS 内	7.5	3.1	2,000	0.8	0.75	1台		○	
32	ACC-GYO-1	2F業務管理室・主管室	134	2号館	E209出入口PS 内	10.7	7.7	2,200	1.5	1.5	1台		○	
33	ACC-NH-1-1	3F原器室(1)～(4)シールド [*] ルーム	134	2号館	E301前室機械 室	34.5	22.0	9,000	1.3	7.5	1台		○	
34	ACC-NH-1-2	3F原器室(1)～(4)シールド [*] ルーム	134	2号館	E301前室機械 室	34.5	22.0	9,000	1.3	7.5	1台		○	
35	ACC-NH-1-3	3F原器室(1)～(4)シールド [*] ルーム	134	2号館	E301前室機械 室	34.5	22.0	9,000	1.3	7.5	1台		○	

【3. 機械】— 3 空気調和等関連機器

(3) ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機（空気清浄装置を含む。）

No.	記号 (図面上)	系統名	設置場所			仕様					数量	空気清浄 装置の有無		備 考
			棟 番号	建物名	場所	冷房 能力 (kW)	暖房 能力 (kW)	風量 (m3/h)	有効 加湿量 (kg/h)	主な 機器容量 (kW)		有	無	
36	ACC-NH-2A	3F計測システム室 シールド [※] ルーム	134	2号館	E303入口脇PS内	19.0	11.5	5,000	0.6	3.7	1台		○	
37	ACC-NH-2B	3F計測システム室 シールド [※] ルーム	134	2号館	E305入口脇PS内	19.0	11.5	5,000	0.6	3.7	1台		○	
38	ACC-NH-3	3F長波局監視室シールド [※] ルーム	134	2号館	E307入口脇PS内	22.0	11.0	5,000	0.7	3.7	1台		○	
39	ACC-NH-4	3F電子時刻認証室シールド [※] ルーム	134	2号館	E309入口脇PS内	17.5	5.0	4,500	0.7	3.7	1台		○	
40	ACC-NH-5	3F時刻比較室シールド [※] ルーム	134	2号館	E311入口脇PS内	18.0	6.0	4,500	1.1	3.7	1台		○	
41	ACC-NH-6	3F試験室シールド [※] ルーム	134	2号館	E313入口脇PS内	19.0	6.5	4,500	1.5	3.7	1台		○	
42	ACC-NH-7	4FTSA実験室	134	2号館	E411前廊下PS内	8.0	3.7	2,200	0.6	1.5	1台		○	
43	ACC-NH-8	4F一般実験室	134	2号館	E413前廊下PS内	8.0	3.7	2,200	0.6	1.5	1台		○	
44	ACC-NH-9	4Fデータ保管室シールド [※] ルーム	134	2号館	E415前廊下PS内	6.8	4.0	1,800	0.4	0.75	1台		○	
45	ACC-JS-1	4F国際時刻比較実験室	134	2号館	E401前廊下PS内	21.5	10.0	5,000	1.5	3.7	1台		○	
46	ACC-JS-2	4F衛星時刻比較実験室	134	2号館	E403前廊下PS内	21.0	10.0	5,000	1.5	3.7	1台		○	
47	ACC-JS-3	4Fデータ解析実験室	134	2号館	E405前廊下PS内	6.1	3.1	1,500	0.4	1.5	1台		○	
48	ACC-JS-4	4F精密計測用恒温室シールド [※] ルーム	134	2号館	E407前廊下PS内	20.0	11.5	5,000	1.1	3.7	1台		○	
49	ACC-JS-5	4F環境試験実験室	134	2号館	E409廊下PS内	3.6	3.3	800	0.4	0.75	1台		○	
50	ACP101-1~5	2F実験用両用室	134	2号館							7台		○	
51	AHU-WB101-B2F	B2F大型電波暗室	140	3号館	B2F空調機械室	111.2	32.0	28400.0	3.4	22	1台		○	
52	AHU-WB102-B1F	B1F測定室	140	3号館	B1F前室	12.2	4.0	2800.0	1.0	1.5	1台		○	

【3. 機械】— 3 空気調和等関連機器

(3) ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機（空気清浄装置を含む。）

No.	記号 (図面上)	系統名	設置場所			仕様					数量	空気清浄 装置の有無		備考
			棟 番号	建物名	場所	冷房 能力 (kW)	暖房 能力 (kW)	風量 (m3/h)	有効 加湿量 (kg/h)	主な 機器容量 (kW)		有	無	
53	OAHU-B1-B2F	B2Fふく射パネル	140	3号館	B2F熱源機械室 2	77.9	29.8	11300.0	12.2	11	1台		○	
54	AHU-B101-B1F	B1FB101室	140	3号館	B1F空調機械室 1	25.4	14.7	3900.0	6.6	2.2	1台		○	
55	AHU-B103-B1F	B1F103室	140	3号館	B1F空調機械室 2	16.6	5.4	4100.0	1.0	2.2	1台		○	
56	AHU-B105-B1F	B1F105室	140	3号館	B1F空調機械室 2	16.6	4.8	4100.0	1.0	2.2	1台		○	
57	AHU-B1071-B1F	B1F107-1室	140	3号館	B1F空調機械室 2	4.5	2.9	800.0	1.0	0.4	1台		○	
58	AHU-B1072-B1F	B1F107-2室	140	3号館	B1F空調機械室 2	4.4	2.2	900.0	0.6	0.4	1台		○	
59	AHU-B108-B1F	B1FB108室	140	3号館	B1F空調機械室 3	23.1	20.8	5500.0	2.0	5.5	1台		○	
60	AHU-B110-B1F	B1FB110室	140	3号館	B1F空調機械室 3	23.1	20.8	5500.0	2.0	5.5	1台		○	
61	AHU-B113B1F	B1FB113室	140	3号館	B1F AC1	17.8	6.4	3400.0	1.2	2.2	1台		○	
62	AHU-B1151-B1F	B1FB115-1室	140	3号館	B1F AC1	9.4	7.8	900.0	3.5	0.4	1台		○	
63	AHU-B1152-B1F	B1FB115-2室	140	3号館	B1F AC2	23.2	8.4	1700.0	5.9	1.5	1台		○	
64	AHU-B116-B1F	B1FB116室	140	3号館	B1F AC2・AC3	15.4	13.8	2800.0	1.0	2.2	3台		○	
65	AHU-B119-B1F	B1FB119室	140	3号館	B1F空調機械室 2	25.6	23.0	6100.0	2.2	5.5	1台		○	
66	AHU-B121-B1F	B1FB121室	140	3号館	B1F空調機械室 3	30.5	23.4	6200.0	6.0	5.5	1台		○	
67	AHU-GAR-1F	1F外来者用打合せ スペース	140	3号館	1F空調機械室	16.6	14.4	2600.0	3.7	1.5	1台		○	
68	AHU-TEN-1F	1F展示スペース	140	3号館	1F AC5	59.7	52.2	13500.0	6.5	7.5	1台		○	
69	AHU-SEM-1F	1Fセミナー室	140	3号館	1F AC6	57.7	39.8	9300.0	13.4	5.5	1台		○	

【3. 機械】— 3 空気調和等関連機器

(3) ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機（空気清浄装置を含む。）

No.	記号 (図面上)	系統名	設置場所			仕様					数量	空気清浄 装置の有無		備 考
			棟 番号	建物名	場所	冷房 能力 (kW)	暖房 能力 (kW)	風量 (m3/h)	有効 加湿量 (kg/h)	主な 機器容量 (kW)		有	無	
70	AHU-114-1F	1F114室	140	3号館	1F AC1	10.2	4.2	2200.0	0.8	1.5	1台		○	
71	AHU-115-1F	1F115室	140	3号館	1F AC2	5.5	2.6	1300.0	0.5	0.75	1台		○	
72	AHU-116-1F	1F116室	140	3号館	1F AC2	13.5	8.6	3100.0	1.5	1.5	1台		○	
73	AHU-118-1F	1F118室	140	3号館	1F AC3	15.0	6.5	3700.0	0.9	2.2	1台		○	
74	AHU-119-1F	1F119室	140	3号館	1F AC4	13.0	5.1	3200.0	0.8	1.5	1台		○	
75	AHU-120-1F	1F120室	140	3号館	1F AC3	7.7	3.9	1900.0	0.2	1.5	1台		○	
76	AHU-121-1F	1F121室	140	3号館	1F AC4	21.1	9.8	5200.0	1.2	3.7	1台		○	
77	OAHU-1-1F	1Fリフレッシュラウンジ	140	3号館	1F空調機械室	23.3	18.6	1700.0	10.6	1.5	1台		○	
78	AHU-313-3F	3F313室	140	3号館	3F AC1	11.8	7.1	2700.0	1.0	1.5	1台		○	
79	AHU-314-3F	3F314室	140	3号館	3F AC2	15.8	14.2	3900.0	0.5	2.2	2台		○	
80	AHU-318-3F	4F318室	140	3号館	3F AC3	16.2	14.6	4000.0	0.5	2.2	1台		○	
81	AHU-320-3F	4F320室	140	3号館	3F AC4	13.1	5.9	2900.0	1.4	1.5	1台		○	
82	AHU-412-4F	4F412室	140	3号館	4F AC2	17.9	11.4	2800.0	4.0	1.5	2台		○	
83	AHU-415-4F	4F415室	140	3号館	4F AC5	7.9	3.7	1800.0	0.6	1.5	1台		○	
84	AHU-416-4F	4F416室	140	3号館	4F AC3	9.8	4.9	2100.0	1.0	1.5	1台		○	
85	AHU-417-4F	4F417室	140	3号館	4F AC4	10.4	4.7	2500.0	0.6	1.5	1台		○	
86	AHU-419-4F	4F419室	140	3号館	4F AC5	10.1	4.0	2300.0	0.8	1.5	2台		○	

【3. 機械】— 3 空気調和等関連機器

(3) ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機（空気清浄装置を含む。）

No.	記号 (図面上)	系統名	設置場所			仕様					数量	空気清浄 装置の有無		備 考
			棟 番号	建物名	場所	冷房 能力 (kW)	暖房 能力 (kW)	風量 (m3/h)	有効 加湿量 (kg/h)	主な 機器容量 (kW)		有	無	
87	AHU-421-4F	4F421室	140	3号館	4F AC6	7.9	3.7	1800.0	0.6	1.5	1台		○	
88	AHU-422-4F	4F422室	140	3号館	4F AC6	8.7	4.1	2000.0	0.7	1.5	1台		○	
89	AHU-512-5F	5F512室	140	3号館	5F AC1・AC2	15.4	13.8	3800.0	0.5	2.2	2台		○	
90	AHU-514-5F	5F514室	140	3号館	5F AC2・AC3	12.6	11.3	3100.0	0.4	1.5	2台		○	
91	AHU-516-5F	5F516室	140	3号館	5F AC3	12.4	9.7	2800.0	1.7	1.5	1台		○	
92	AHU-517-5F	5F517室	140	3号館	5F AC4	12.2	10.9	3000.0	0.7	1.5	2台		○	
93	AHU-519-5F	5F519室	140	3号館	5F AC5	12.6	11.3	3100.0	0.4	1.5	2台		○	
94	AHU-521-5F	5F521室	140	3号館	5F AC6	12.6	11.3	3100.0	0.4	1.5	2台		○	
95	AHU-615-6F	6F615室	140	3号館	6F AC3	12.7	7.2	2900.0	1.0	2.2	1台		○	
96	AHU-617-6F	6F617室	140	3号館	6F AC4	12.7	7.2	2900.0	1.0	1.5	1台		○	
97	AHU-619-6F	6F619室	140	3号館	6F AC5	12.7	7.2	2900.0	1.0	1.5	1台		○	
98	AHU-621-6F	6F621室	140	3号館	6F AC6	13.5	7.7	3100.0	1.1	2.2	1台		○	

【3. 機械】— 3 空気調和等関連機器

(3) ユニット形空気調和機・コンパクト形空気調和機（空気清浄装置を含む。）

No.	記号 (図面上)	系統名	設置場所			仕様					数量	空気清浄 装置の有無		備 考
			棟 番号	建物名	場所	冷房 能力 (kW)	暖房 能力 (kW)	風量 (m3/h)	有効 加湿量 (kg/h)	主な 機器容量 (kW)		有	無	
99	OAHU-1-RF	2～6Fリフレッシュラウンジ・会議室	140	3号館	RF 屋上	30.9	20.3	3600.0	10.9	2.2	1台		○	
100	OAHU-2-RF	1～6F廊下	140	3号館	RF 屋上	151.4	120.9	10550.0	65.8	5.5	1台		○	
101	OHU-1F-OA	1～3F諸室	140	3号館	RF	197.1	153.3	14050.0	98.4	5.5	1台		○	
102	ACU-1	4号館大会議室	97	4号館	1F空調機械室	127.2	113.5	21140.0	—	11	1台	○		
103	ACU-2	4号館C2センター	97	4号館	1F空調機械室	10.2	14.2	2000.0	—	1	1台	○		
104	ACU-3	4号館外気処理(各居室)	97	4号館	B1F機械室	77.7	84.8	7520.0	—	6	1台	○		
105	AC-1	5号館外気処理(各階ロビー)	123	5号館	RF	48.1	58.5	4760.0	—	4	1台	○		
106	AHU-1F-OP1,2	IFQKDネットワークオペレーション室	147	量子セキュリティ・協創棟	屋外北側	11.6	7.2	1500.0	3.0	0.75	2台		○	
107	AHU-1F-SR1,2	1Fサーバールーム	147	量子セキュリティ・協創棟	屋外北側	19.3	6.0	4600.0	2.9	2.2	2台		○	
108	AHU-1F-NW1,2	1F量子暗号実験室1・2	147	量子セキュリティ・協創棟	屋外北側	69.1	22.8	17900.0	7.4	11	2台		○	
109	AHU-1F-TN1,2	1Fトラスレット・ノード環境模擬室・前室	147	量子セキュリティ・協創棟	屋外北側	43.5	13.9	11000.0	5.4	5.5	2台		○	
110	AHU-1F-QKD1,2	1FQKDモジュール実験室・測定室・前室	147	量子セキュリティ・協創棟	屋外北側	27.1	11.2	6500.0	7.9	3.7	2台		○	
111	AHU-1F-UPS1,2	1FUPS室	147	量子セキュリティ・協創棟	1F UPS室	25.4	—	4300.0	—	3.7	2台		○	
112	AHU-2F-E	2Fサイバーセキュリティ研究室	147	量子セキュリティ・協創棟	2F ACMR1	65.0	30.9	14500.0	—	1.5x4+0.75	1台		○	
113	AHU-2F-W	2F量子ICT研究室	147	量子セキュリティ・協創棟	2F ACMR2	59.7	27.6	13200.0	—	1.5x4	1台		○	
114	AHU-3F-E	3F協創スペース(東)	147	量子セキュリティ・協創棟	3F ACMR1	61.5	33.6	17000.0	—	1.5x4+0.75	1台		○	
115	AHU-3F-W	3F協創スペース(西)	147	量子セキュリティ・協創棟	3F ACMR1	52.5	29.5	11700.0	—	1.5x4	1台		○	
計											128台	13	102	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器

(4) ファンコイルユニット

No.	記号 (図面上)	設置場所			型式	数量	備考
		棟番号	建物名	場所			
1	FCU-2	128	研究本館	各階居室・共通部	ファンコイル天井カセット型・隠蔽ダクト型	16 台	
2	FCU-3	128	研究本館	各階居室・共通部	ファンコイル天井カセット型・隠蔽ダクト型	14 台	
3	FCU-4	128	研究本館	各階居室・共通部	ファンコイル天井カセット型・隠蔽ダクト型	16 台	
4	FCU-6	128	研究本館	各階居室・共通部	ファンコイル天井カセット型・隠蔽ダクト型	146 台	
5	FCU-8	128	研究本館	各階居室・共通部	ファンコイル天井カセット型・隠蔽ダクト型	93 台	
6	FCU-12	128	研究本館	各階居室・共通部	ファンコイル天井カセット型・隠蔽ダクト型	8 台	
7	FCU	134	2号館	1F居室・共通部	ファンコイル天井カセット型	9 台	
8	FCU	134	2号館	1F居室・共通部	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	10 台	
9	FCU	134	2号館	2F居室・共通部	ファンコイル天井カセット型	2 台	
10	FCU	134	2号館	2F居室・共通部	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	6 台	
11	FCU	134	2号館	3F居室・共通部	ファンコイル天井カセット型	4 台	
12	FCU	134	2号館	3F居室・共通部	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	7 台	
13	FCU	134	2号館	4F居室・共通部	ファンコイル天井カセット型	4 台	
14	FCU	134	2号館	4F居室・共通部	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	7 台	
15	FCU-CK-12	140	3号館	各階居室・共通部	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	4 台	
16	FCU-CID-4	140	3号館	各階居室・共通部	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	4 台	
17	FCU-CID-6	140	3号館	各階居室・共通部	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	4 台	
18	FCU-CID-8	140	3号館	各階居室・共通部	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	28 台	
19	FCU-CID-12	140	3号館	各階居室・共通部	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	4 台	
20	FCU-1F-ME	147	量子セキュリティ・協創棟	1F量子ICTコラボレーションルーム	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	4 台	
21	FCU-1F-KOM	147	量子セキュリティ・協創棟	1F更衣室(M)	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	1 台	
22	FCU-1F-KOW	147	量子セキュリティ・協創棟	1F更衣室(W)	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	1 台	
23	FCU-1F-EN	147	量子セキュリティ・協創棟	1Fエントランスホール	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	6 台	
24	FCU-1F-RO	147	量子セキュリティ・協創棟	1F廊下2	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	1 台	
25	FCU-1F-EPS	147	量子セキュリティ・協創棟	1F情報用EPS	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	1 台	
26	FCU-2F-N	147	量子セキュリティ・協創棟	2F北側ペリカウンター	ファンコイルローボーイ隠蔽型	7 台	
27	FCU-2F-HA	147	量子セキュリティ・協創棟	2Fラウンジ	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	4 台	
28	FCU-2F-EPS	147	量子セキュリティ・協創棟	2F情報用EPS	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	1 台	
29	FCU-3F-N	147	量子セキュリティ・協創棟	3F北側ペリカウンター	ファンコイルローボーイ隠蔽型	7 台	
30	FCU-3F-EPS	147	量子セキュリティ・協創棟	3F情報用EPS	ファンコイル天井隠蔽ダクト型	1 台	
計						420 台	

【3. 機械】— 3 空気調和等関連機器
(5) ポンプ (空調用)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様							数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	用途	型式	口径 mm φ	流量 L/min	揚程 kPa	電源	出力 kW		
1	—	97	4号館	1F空調機械室	冷温水用ポンプ	小型渦巻ポンプ	65.0	700.0	170.0	AC3 φ 200V	3.7	2台	
2	—	123	5号館	5Fファンルーム	冷温水用ポンプ	小型渦巻ポンプ	50.0	190.0	130.0	AC3 φ 200V	2.2	1台	
3	PCD-1	128	研究本館	B1F空調機械室2	冷却水ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	960.0	—	AC3 φ 200V	7.5	2台	
4	PB-1	128	研究本館	B1F空調機械室2	ブラインポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	690.0	—	AC3 φ 200V	15	2台	
5	PB-2	128	研究本館	B1F空調機械室2	ブラインポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	440.0	—	AC3 φ 200V	8	2台	
6	PC-1	128	研究本館	B1F空調機械室1	冷水用ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	560.0	—	AC3 φ 200V	6	2台	
7	PC-2	128	研究本館	B1F空調機械室1	冷水用ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	410.0	—	AC3 φ 200V	6	2台	
8	PCH-1	128	研究本館	B1F空調機械室1	冷温水用ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	550.0	—	AC3 φ 200V	4	3台	
9	CP-1-1	134	2号館	1F熱源機械室	冷水一次ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	1000.0	205.0	AC3 φ 200V	8	2台	
10	CP-1-2	134	2号館	2F熱源機械室	冷水一次ポンプ	小型渦巻ポンプ	65.0	505.0	430.0	AC3 φ 200V	8	2台	
11	CP-2-1	134	2号館	3F熱源機械室	冷水二次ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	625.0	526.0	AC3 φ 200V	15	5台	
12	HP-2-1	134	2号館	4F熱源機械室	温水循環ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	840.0	280.0	AC3 φ 200V	11	1台	
13	HP-2-2	134	2号館	5F熱源機械室	温水循環ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	660.0	280.0	AC3 φ 200V	8	2台	
14	HP-2-3	134	2号館	6F熱源機械室	温水循環ポンプ	小型渦巻ポンプ	50.0	267.0	280.0	AC3 φ 200V	4	1台	
15	CDP-1	134	2号館	2F冷却関連機械室	冷却水ポンプ	小型渦巻ポンプ	100.0	1710.0	236.0	AC3 φ 200V	15	2台	
16	CHP-1	140	3号館	B2F熱源機械室	冷温水一次ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	870.0	130.0	AC3 φ 200V	4	1台	
17	CP-1-1	140	3号館	B2F熱源機械室	冷水一次ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	590.0	100.0	AC3 φ 200V	2	1台	
18	CP-1-2	140	3号館	B2F熱源機械室	冷水一次ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	620.0	100.0	AC3 φ 200V	2	1台	
19	CP-2-1	140	3号館	B2F熱源機械室	冷水二次ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	700.0	400.0	AC3 φ 200V	11	3台	
20	HP-1-1	140	3号館	B2F熱源機械室	温水一次ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	770.0	200.0	AC3 φ 200V	5.5	1台	
21	HP-1-2	140	3号館	B2F熱源機械室	温水一次ポンプ	小型渦巻ラインポンプ	65.0	600.0	200.0	AC3 φ 200V	3.7	2台	
22	HP-2-1	140	3号館	B2F熱源機械室	温水二次ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	870.0	200.0	AC3 φ 200V	11	3台	
23	CDP-1	140	3号館	B2F熱源機械室	冷却水ポンプ	小型渦巻ポンプ	150.0	1630.0	300.0	AC3 φ 200V	26	1台	
24	CDP-2	140	3号館	B2F熱源機械室	冷却水ポンプ	小型渦巻ポンプ	80.0	770.0	300.0	AC3 φ 200V	11	1台	
25	CDP-3	140	3号館	B2F熱源機械室	冷却水ポンプ	小型渦巻ポンプ	125.0	1120.0	400.0	AC3 φ 200V	22	1台	
26	CDP-4	140	3号館	RF	冷却水ポンプ	小型渦巻ラインポンプ	40.0	100.0	300.0	AC3 φ 200V	2.2	1台	
27	CHP-TF-1	140	3号館	—	天井輻射空調	冷温水ポンプ	80A	420	200	—	5.5	1台	
28	CHP-TF-2	140	3号館	—	天井輻射空調	冷温水ポンプ	80A	420	200	—	5.5	1台	
29	MC-1F-1～8	147	量子セキュリティ・協創棟	屋外北側	冷温水用ポンプ	渦巻ラインポンプ	HP熱源機内蔵			AC3 φ 400V	3.7	8台	
計												57台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統		
1	FS-1	128	研究本館	受水槽室	片吸込床置	18000.0	5.5	電気室給気	1 台	
2	FE-1	128	研究本館	地下電気室	片吸込天吊	18000.0	5.5	電気室排気	1 台	
3	FS-2	128	研究本館	1F空調機械室(3)	片吸込床置	16300.0	3.7	機械室(1)(2)・受水槽室 給気	1 台	
4	FE-2	128	研究本館	地下機械室(2)	片吸込床置	16300.0	5.5	機械室(1)(2)・受水槽室 排気	1 台	
5	FS-3	128	研究本館	地下機械室(2)	片吸込天吊	6100.0	1.5	地下EV機械室(1)給気	1 台	
6	FE-3	128	研究本館	地下機械室(2)	片吸込床置	6100.0	2.2	地下EV機械室(1)排気	1 台	
7	FS-4	128	研究本館	受水槽室	片吸込天吊	3200.0	0.8	地下EV機械室(2)給気	1 台	
8	FE-4	128	研究本館	地下機械室(2)	片吸込床置			地下EV機械室(2)排気	1 台	
9	FS-5	128	研究本館	地下機械室(2)	片吸込天吊	3200.0	0.8	地下MDF室給気	1 台	
10	FE-5	128	研究本館	地下機械室(2)	片吸込床置	3200.0	0.8	地下MDF室排気	1 台	
11	FS-7	128	研究本館	自家発電室	斜流 天吊	1200.0	0.3	自家発電室給気	1 台	
12	FE-15	128	研究本館	自家発電室	斜流 天吊	750.0	0.2	自家発電室排気	1 台	
13	FS-8	128	研究本館	監視室	斜流 天吊	100.0	0.1	監視室給気	1 台	
14	FE-16	128	研究本館	地下備品庫	斜流 天吊	750.0	0.2	地下備品庫排気	1 台	
15	FS-6	128	研究本館	1F倉庫(2)	斜流 天吊	1250.0	0.3	1F倉庫(2)・ 3, 4F倉庫(3)給気	3 台	
16	FE-6	128	研究本館	1F倉庫(2)	斜流 天吊	1250.0	0.2	1F倉庫(2)・ 3, 4F倉庫(3)排気	3 台	
17	FS-9	128	研究本館	1F空調機械室(1)	斜流 天吊	500.0	0.3	1F空調機械室(1)給気	1 台	
18	FE-19	128	研究本館	1F空調機械室(1)	斜流 天吊	500.0	0.3	1F空調機械室(1)排気	1 台	
19	FE-7	128	研究本館	3F倉庫(2)	斜流 天吊	700.0	0.2	3F倉庫(2)排気	1 台	
20	FE-8	128	研究本館	4F倉庫(1)(2)	斜流 天吊	400.0	0.1	4F倉庫(1)(2)排気	1 台	
21	FE-9	128	研究本館	3F倉庫(1)	斜流 天吊	550.0	0.1	3F倉庫(1)排気	1 台	
22	FE-10	128	研究本館	1F倉庫(1)	斜流 天吊	250.0	0.1	1F倉庫(1)排気	1 台	
23	FE-11	128	研究本館	2F倉庫	斜流 天吊	150.0	0.1	1F倉庫排気	1 台	
24	FE-12	128	研究本館	1-4F男子便所(2) 女子便所(2)	遠心送風機 天吊	1200.0	0.4	1-4F男子便所(2), 女子便 所(2)排気	8 台	
25	FE-13	128	研究本館	1-4F男子便所(1) 女子便所(1)	遠心送風機 天吊	1000.0	0.2	1-4F男子便所(1), 女子便 所(1)排気	8 台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統		
26	FE-14	128	研究本館	1～4F湯沸室・ 喫茶厨房	遠心送風機 天吊	900.0	0.2	1～4F湯沸室・喫茶厨房排 気	1 台	
27	FMS-1	128	研究本館	屋上機械室(1)	遠心式 多翼式	23800.0	5.5	西系統排煙	1 台	
28	FMS-2	128	研究本館	屋上機械室(2)	遠心式 多翼式	41600.0		東系統排煙	1 台	
29	FS-1	97	4号館	地下空調機械室	多翼型(片吸込)天吊	7500.0	2.2	電気室給気	1 台	
30	FE-1	97	4号館	地下空調機械室	多翼型(片吸込)天吊	7500.0	1.5	電気室排気	1 台	
31	FS-2	97	4号館	地下空調機械室	多翼型(片吸込)天吊	7000.0	2.2	室内給気	1 台	
32	FE-2	97	4号館	地下空調機械室	多翼型(片吸込)天吊	7000.0	1.5	室内排気	1 台	
33	FS-3	97	4号館	地下空調機械室	多翼型(片吸込)天吊	2100.0	0.2	地下ボイラー室給気	1 台	
34	FE-3	97	4号館	地下空調機械室	多翼型(片吸込)天吊	1000.0	0.2	地下ボイラー室排気	1 台	
35	FS-4	97	4号館	1F空調機械室	多翼型(片吸込)天吊	1000.0	0.2	室内給気	1 台	
36	FE-4	97	4号館	1F空調機械室	多翼型(片吸込)天吊	1500.0	0.4	室内排気	1 台	
37	FE-5	97	4号館	塔屋階ファンルーム	片吸込シロッコS 天吊	3500.0	0.8	AEX-2排気	1 台	
38	FE-6	97	4号館	塔屋階ファンルーム	片吸込シロッコS 天吊	1400.0	0.4	1-4F湯沸室排気	1 台	
39	FE-7	97	4号館	塔屋階ファンルーム	片吸込シロッコS 天吊	1840.0	0.4	1-4F便所排気	1 台	
40	FE-8	97	4号館	会議室系2F便所	多翼型(片吸込)天吊		0.2	便所排気	1 台	
41	FE-9	97	4号館	会議室系給湯室1F	多翼型(片吸込)天吊	260.0	0.2	室内排気	1 台	
42	FE-10	97	4号館	会議室系給湯室2F	多翼型(片吸込)天吊	260.0	0.2	室内排気	1 台	
43	FE-11	97	4号館	1F空調機械室	多翼型(片吸込)天吊	400.0	0.2	室内排気	1 台	
44	FE-12	97	4号館	1F空調機械室	多翼型(片吸込)天吊	350.0	0.2	室内排気	1 台	
45	FCA-1	97	4号館	3Fファンルーム	片吸込シロッコS 天吊	8930.0	5.5		1 台	
46	FCA-2	97	4号館	3Fファンルーム	片吸込シロッコS 天吊	6700.0	3.7		1 台	
47	FE-1	123	5号館	1F電気室101室	片吸込シロッコS 天吊	2400.0	0.4	室内排気	1 台	
48	FS-1	123	5号館	1F電気室101室	片吸込シロッコS 天吊	2400.0	0.4	室内給気	1 台	
49	FE-2	123	5号館	1F受水槽室103室	片吸込シロッコS 天吊	3040.0	0.8	室内排気	1 台	
50	FS-2	123	5号館	1F受水槽室 103室	片吸込シロッコS 天吊	3040.0	0.8	室内給気	1 台	
51	FE-8	123	5号館	5Fファンルーム	片吸込シロッコS 床置	3970.0	1.5	排気(便所系)	1 台	
52	FE-3	123	5号館	1F湯沸室・各階談話室	インジフートファン 天吊	540.0	0.1	室内排気	1 台	
53	FE-6	123	5号館	5F空調機械室	斜流ダクトファン 天吊	1350.0	1.5	室内排気	1 台	
54	FS-3	123	5号館	5F空調機械室	斜流ダクトファン 天吊	1350.0	1.5	室内給気	1 台	
55	FE-7	123	5号館	5Fファンルーム	斜流ダクトファン 天吊	360.0	0.1	室内排気	1 台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統		
56	FS-4	123	5号館	5Fファンルーム	斜流ダクトファン 天吊	360.0	0.1	室内給気	1台	
57	FS-2	127	6号館	電気室	遠心送風機 天吊	2400.0	0.4	室内給気	1台	
58	FE-4	127	6号館	電気室	遠心送風機 天吊	2400.0	0.4	室内排気	1台	
59	FE-1	127	6号館	各階リフレッシュルーム	消音ボックス付送風機	500.0	0.2	室内排気	4台	
60	FE-2	127	6号館	各階便所	消音ボックス付送風機	1050.0	0.2	室内排気	4台	
61	FE-3	127	6号館	受水槽室	遠心送風機 天吊	800.0	0.2	室内排気	1台	
62	FS-1	127	6号館	受水槽室	遠心送風機 天吊	800.0	0.4	室内給気	1台	
63	FE-5	127	6号館	1, 3, 4F倉庫・2F喫煙室	消音ボックス付送風機	500.0	0.2	室内排気	4台	
64	FE-7	127	6号館	5F倉庫	消音ボックス付送風機	350.0	0.1	室内排気	1台	
65	FE-6	127	6号館	エレベーター機械室	消音ボックス付送風機	900.0	0.4	室内排気	1台	
66	FS-3	127	6号館	エレベーター機械室	消音ボックス付送風機	900.0	0.4	室内給気	1台	
67	FE-11	127	6号館	2階実験室205	天井埋込型換気扇	300.0	0.4		1台	
68	FE-12	127	6号館	2階実験室207	天井埋込型換気扇	300.0	0.4		1台	
69	FE-13	127	6号館	2階実験室201	天井埋込型換気扇	300.0	0.4		1台	
70	FS-NET-1	134	2号館	1F熱源機械室 (2)	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形 #3 1/2	7500.0	2.2	1F熱源機械室 (1)	1台	
71	FE-NET-1	134	2号館	1F熱源機械室 (1)	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形 #3	6300.0	2.2	1F熱源機械室 (1)	1 _m ⁿ	
72	FS-NET-2	134	2号館	1F熱源機械室 (2)	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形 #3	3400.0	0.8	1F熱源機械室 (2)	1台	
73	FE-NET-2	134	2号館	1F熱源機械室 (1)	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形 #2 1/2	2600.0	0.8	1F熱源機械室 (2)	1台	
74	FS-JIK-1	134	2号館	2F自家発電電気室	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形 #3 1/2	6000.0	2.2	2F自家発電室 (常用)	1台	
75	FE-JIK-1	134	2号館	2F自家発電室 (常用)	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形 #3	6000.0	1.5	2F自家発電室 (常用)	1台	
76	FS-REI-1	134	2号館	2F冷却関連機械室	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形 #2 1/2	3700.0	0.8	2F冷却関連機械室	1台	
77	FE-REI-1	134	2号館	2F冷却関連機械室	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形 #2 1/2	3700.0	0.8	2F冷却関連機械室	1台	
78	FS-AC-1	134	2号館	2F空調機械室	遠心多翼送風機 床置 片吸込形 #2	1600.0	0.4	2F空調機械室	1台	
79	FE-AC-1	134	2号館	2F空調機械室	遠心多翼送風機 床置 片吸込形 #2	1600.0	0.4	2F空調機械室	1台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統		
80	FS-DEN-1	134	2号館	3F電気室	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形 #3	7000.0	2.2	3F電気室	1台	
81	FE-DEN-1	134	2号館	3F電気室 拡張スペース	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形 #3 1/2	7000.0	1.5	3F電気室	1台	
82	FS-PIT-1	134	2号館	1F空調機械室 (1)	消音ボックス付送風機 天吊	350.0	0.4	BF免振ビット	1台	
83	FE-PIT-1	134	2号館	1F熱源機械室 (1)	消音ボックス付送風機 天吊	350.0	0.4	BF免振ビット	1台	
84	FE-SM-1	134	2号館	1Fトイレ	消音ボックス付送風機 天吊	300.0	0.4	1F喫煙室	1台	
85	FE-WC-1	134	2号館	1Fトイレ	消音ボックス付送風機 天吊	1000.0	0.4	1Fトイレ	1台	
86	FE-WC-2	134	2号館	2Fトイレ	消音ボックス付送風機 天吊	1000.0	0.4	2Fトイレ	1台	
87	FE-WC-3	134	2号館	3Fトイレ	消音ボックス付送風機 天吊	1000.0	0.4	3Fトイレ	1台	
88	FE-WC-4	134	2号館	4Fトイレ	消音ボックス付送風機 天吊	1000.0	0.4	4Fトイレ	1台	
89	FE-RO-1	134	2号館	1Fロッカー室	消音ボックス付送風機 天吊	400.0	0.4	1Fロッカー室	1台	
90	FE-RO-2	134	2号館	2Fロッカー室	消音ボックス付送風機 天吊	400.0	0.4	2Fロッカー室	1台	
91	FE-RO-3	134	2号館	3Fロッカー室	消音ボックス付送風機 天吊	400.0	0.4	3Fロッカー室	1台	
92	FE-RO-4	134	2号館	4Fロッカー室	消音ボックス付送風機 天吊	400.0	0.4	4Fロッカー室	1台	
93	FE-HW-1	134	2号館	1Fトイレ	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.4	1F給湯室	1台	
94	FE-HW-2	134	2号館	2Fトイレ	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.4	2F給湯室	1台	
95	FE-HW-3	134	2号館	3Fトイレ	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.4	3F給湯室	1台	
96	FE-HW-4	134	2号館	4Fトイレ	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.4	4F給湯室	1台	
97	FE-KA-1	134	2号館	1F会議スペース (1), (2)	消音ボックス付送風機 天吊	600.0	0.4	1F会議スペース (1), (2)	1台	
98	FE-KA-2	134	2号館	1F会議スペース (3), (4)	消音ボックス付送風機 天吊	600.0	0.4	1F会議スペース (3), (4)	1台	
99	FE-KA-3	134	2号館	1F会議スペース (5)	消音ボックス付送風機 天吊	300.0	0.4	1F会議スペース (5)	1台	
100	FE-KA-4	134	2号館	1F会議スペース (6), (7)	消音ボックス付送風機 天吊	600.0	0.4	1F会議スペース (6), (7)	1台	
101	FE-KA-5	134	2号館	2F共用会議室	消音ボックス付送風機 天吊	600.0	0.4	2F共用会議室	1台	
102	FE-GS-1	134	2号館	2F空調機械室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.4	1F一次周波数機器室 (1)	1台	
103	FE-GS-2	134	2号館	2F空調機械室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.4	1F一次周波数機器室 (2)	1台	
104	FE-GS-3	134	2号館	2F空調機械室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.4	1F基礎研究室 (1)	1台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統		
105	FE-GS-4	134	2号館	2F空調機械室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.4	1F基礎研究室 (2)	1台	
106	FE-GS-5	134	2号館	2F空調機械室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.4	1F基礎研究室 (3)	1台	
107	FE-GS-6	134	2号館	2F空調機械室	消音ボックス付送風機 天吊	120.0	0.4	1F工作室	1台	
108	FE-GS-7	134	2号館	2F空調機械室	消音ボックス付送風機 天吊	700.0	0.4	1F工作室 7-ト`排気	1台	
109	FE-SG-1	134	2号館	2F校正室	消音ボックス付送風機 天吊	60.0	0.4	2F較正室	2台	
110	FE-SG-2	134	2号館	2F実験両用室	消音ボックス付送風機 天吊	60.0	0.4	2F実験室両用室	2台	
111	FE-GYO-1	134	2号館	2F実験両用室	消音ボックス付送風機 天吊	240.0	0.4	2F主管、業務管理室	1台	
112	FE-NH-1	134	2号館	3F原器室	消音ボックス付送風機 天吊	210.0	0.4	3F原器室-1~4	1台	
113	FE-NH-2	134	2号館	3F計測システム室	消音ボックス付送風機 天吊	90.0	0.4	3F計測システム室	1台	
114	FE-NH-3	134	2号館	3FテレホンJJ他	消音ボックス付送風機 天吊	60.0	0.4	3FテレホンJJY、NTPサーバー、 長波局監視室	1台	
115	FE-NH-4	134	2号館	3F電子時刻認証室	消音ボックス付送風機 天吊	60.0	0.4	3F電子時刻認証室	1台	
116	FE-NH-5	134	2号館	3F時刻比較室	消音ボックス付送風機 天吊	90.0	0.4	3F時刻比較室	1台	
117	FE-NH-6	134	2号館	3F周波数校正・ 試験室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.4	3F周波数校正・試験室	1台	
118	FE-NH-7	134	2号館	4FTSA実験室	消音ボックス付送風機 天吊	90.0	0.4	4FTSA実験室	1台	
119	FE-NH-8	134	2号館	4F一般実験室	消音ボックス付送風機 天吊	90.0	0.4	4F一般実験室	1台	
120	FE-NH-9	134	2号館	4Fデータ保管室	消音ボックス付送風機 天吊	60.0	0.4	4Fデータ保管室	1台	
121	FE-JS-1	134	2号館	4F国際比較室	消音ボックス付送風機 天吊	210.0	0.4	4F国際時刻比較実験室	1台	
122	FE-JS-2	134	2号館	4F衛生時刻室	消音ボックス付送風機 天吊	180.0	0.4	4F衛生時刻比較実験室	1台	
123	FE-JS-3	134	2号館	4Fデータ解析室	消音ボックス付送風機 天吊	60.0	0.4	4Fデータ解析室	1台	
124	FE-JS-4	134	2号館	4F精密計測室	消音ボックス付送風機 天吊	90.0	0.4	4F精密計測恒温実験室	1台	
125	FE-JS-5	134	2号館	4F環境試験室	消音ボックス付送風機 天吊	60.0	0.4	4F環境試験室	1台	
126	FE-EV-1	134	2号館	RF/4F階段室	消音ボックス付送風機 天吊	1000.0	0.4	エレベーターシャフト	1台	
127	FD-1	134	2号館	1F吹き抜け	消音ボックス付送風機 天吊	2100.0	0.8	2Fロビー吹き抜け	1台	
128	FD-2	134	2号館	2F吹き抜け	消音ボックス付送風機 天吊	700.0	0.4	3Fロビー吹き抜け	1台	
129	FD-3	134	2号館	3F吹き抜け	消音ボックス付送風機 天吊	1400.0	0.6	4Fロビー吹き抜け	1台	
130	SF-1	135	産学官研究交流棟	1F食堂厨房	給気用送風機	3300.0	1.5	1F食堂厨房	1台	
131	SF-2	135	産学官研究交流棟	1F食堂厨房	給気用送風機	3000.0	1.5	1F食堂厨房	1台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統		
132	SF-3	135	産学官研究交流棟	1F食堂厨房	給気用送風機	2100.0	0.8	1F食堂厨房	1台	
133	SF-4	135	産学官研究交流棟	1F喫茶厨房・食堂厨房	給気用送風機	1600.0	0.8	1F喫茶厨房・食堂	2台	
134	EF-1	135	産学官研究交流棟	1F食堂厨房	排気用送風機	3000.0	1.5	1F食堂厨房	1台	
135	EF-2	135	産学官研究交流棟	1F食堂厨房	排気用送風機	3000.0	1.5	1F食堂厨房	1台	
136	EF-3	135	産学官研究交流棟	1F食堂厨房	排気用送風機	2100.0	0.8	1F食堂厨房	1台	
137	EF-4	135	産学官研究交流棟	1F喫茶厨房・食堂厨房	排気用送風機	2100.0	0.8	1F喫茶厨房・食堂厨房	2台	
138	EF-5	135	産学官研究交流棟	1F食堂厨房	排気用送風機	400.0	0.0	1F食堂厨房	4台	
139	EF-6	135	産学官研究交流棟	1F男女トイレ	排気用送風機	300.0	0.0	1F男女トイレ	2台	
140	EF-7	135	産学官研究交流棟	3Fシャワー脱衣室	排気用送風機	300.0	0.0	3Fシャワー脱衣室	1台	
141	EF-8	135	産学官研究交流棟	1Fシャワー脱衣室	排気用送風機	150.0	0.0	1Fシャワー脱衣室	1台	
142	EF-9	135	産学官研究交流棟	1F電気室	天井換気扇	400.0	0.0	1F電気室	1台	
143	EF-10	135	産学官研究交流棟	1F食品庫	天井換気扇	400.0	0.0	1F食品庫	1台	
144	EF-11	135	産学官研究交流棟	2, 3F湯沸室	天井換気扇	370.0	0.0	2, 3F湯沸室	3台	
145	EF-12	135	産学官研究交流棟	2, 3F電気室・3Fランドリー	天井換気扇	300.0	0.0	2, 3F電気室・3Fランドリー・RF階段室	4台	
146	EF-13	135	産学官研究交流棟	2, 3F男女トイレ	天井換気扇	300.0	0.0	2, 3F男女トイレ	4台	
147	EF-14	135	産学官研究交流棟	3Fゲストルーム(ミニキッチン)	天井換気扇	270.0	0.0	3Fゲストルーム(ミニキッチン)	7台	
148	EF-15	135	産学官研究交流棟	4Fゲストルーム(浴室)	天井換気扇	175.0	0.0	4Fゲストルーム(浴室)	7台	
149	EF-16	135	産学官研究交流棟	1～3F多目的トイレ	天井換気扇	212.0	0.0	1～3F多目的トイレ	3台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所		仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統	
150	EF-17	135	産学官研究交流棟	3F休養室女子(ユニットバス)	天井換気扇	162.0	0.0	3F休養室女子(ユニットバス)	1台
151	EF-18	135	産学官研究交流棟	1Fスタッフ室トイレ	天井換気扇	85.0	0.0	1Fスタッフ室トイレ	1台
152	EF-19	135	産学官研究交流棟	1F食堂厨房	天井換気扇	100.0	0.0	1F食堂厨房	1台
153	EF-1	137	特別高圧受電所	受変電室	軸流ファン(天吊り)	11000.0	2.2	特高受電施設	3台
154	EF-2	137	特別高圧受電所	ボンベ室	有圧換気扇	300.0	0.0	特高受電施設	1台
155	S-1	137	特別高圧受電所	受変電室	ダクトサイレンサー			特高受電施設	2台
156	FE-1・1	138	電離層観測・試作開発棟	熱処理室	低騒音形有圧換気扇	1500.0	0.1	単独	2台
157	FE-1・2	138	電離層観測・試作開発棟	コンプレッサ室	低騒音形有圧換気扇	150.0	0.1	単独	1台
158	FE-1・3	138	電離層観測・試作開発棟	油庫	防爆形有圧換気扇	210.0	0.1	単独	1台
159	FE-2・1	138	電離層観測・試作開発棟	機械加工室	ストレートシロッコファン消音ボックス形	3240.0	1.7	単独	1台
160	VE-1・1	138	電離層観測・試作開発棟	シャワー室	天井埋込換気扇	60.0	0.0	単独	1台
161	VE-1・2	138	電離層観測・試作開発棟	廊下	天井埋込換気扇	200.0	0.0	単独	1台
162	VE-1・3	138	電離層観測・試作開発棟	男子便所	消音形ストレートシロッコファン	330.0	0.1	単独	1台
163	VE-1・4	138	電離層観測・試作開発棟	多機能トイレ	天井埋込換気扇	270.0	0.0	単独	1台
164	VE-1・5	138	電離層観測・試作開発棟	湯沸室	深形レンジフードファン	200.0	0.1	単独	1台
165	VE-2・1	138	電離層観測・試作開発棟	二階男子便所	天井埋込換気扇	300.0	0.1	単独	1台
166	VE-2・2	138	電離層観測・試作開発棟	二階湯沸コーナー	天井埋込換気扇	200.0	0.0	単独	1台
167	VE-2・3	138	電離層観測・試作開発棟	光学実験室	天井埋込換気扇	200.0	0.0	単独	1台
168	VE-2・4	138	電離層観測・試作開発棟	サーバ設置室	天井埋込換気扇	120.0	0.0	単独	1台

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所		仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統	
169	VE-2・5	130	光デバイス技術 センター	光デバイスB1Fポンプ室	天井埋込換気扇	40.0	0.0 単独	1 台	
170	FS-NET1-B2F	140	3 号館	B2F熱源機械室 (1)	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形	3100.0	1.5 B2F熱源機械室 (1)	1 台	
171	FE-NET1-B2F	140	3 号館	B2F熱源機械室 (1)	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形	2000.0	0.8 B2F熱源機械室 (1)	1 台	
172	FS-NET2-B2F	140	3 号館	B2F熱源機械室 (2)	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形	5650.0	2.2 B2F熱源機械室 (2)	1 台	
173	FE-NET2-B2F	140	3 号館	B2F熱源機械室 (2)	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形	5650.0	1.5 B2F熱源機械室 (2)	1 台	
174	FS-DEN-B2F	140	3 号館	B2F電気室	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形	2500.0	1.5 B2F電気室	1 台	
175	FE-DEN-B2F	140	3 号館	B2F電気室	遠心多翼送風機 天吊 片吸込形	2500.0	1.5 B2F電気室	1 台	
176	FS-PIT-B2F	140	3 号館	WB202倉庫	消音ボックス付送風機 天吊	1000.0	0.6 B2F吸収体収納ヒート	1 台	
177	FE-PIT-B2F	140	3 号館	WB202倉庫	消音ボックス付送風機 天吊	1000.0	0.3 B2F吸収体収納ヒート	1 台	
178	FS-SOK-B2F	140	3 号館	WB202倉庫	消音ボックス付送風機 天吊	550.0	2.6 B2F WB202倉庫	1 台	
179	FE-SOK-B2F	140	3 号館	WB202倉庫	消音ボックス付送風機 天吊	550.0	0.2 B2F WB202倉庫	1 台	
180	FS-WB101-B2F	140	3 号館	B2F空調機械室	消音ボックス付送風機 天吊	650.0	0.2 B2F WB101室	1 台	
181	FE-WB101-B1F	140	3 号館	B2F空調機械室	消音ボックス付送風機 天吊	550.0	0.1 B2F WB102室	1 台	
182	FS-WB103-B1F	140	3 号館	B1F WB103前室	消音ボックス付送風機 天吊	250.0	0.3 B1F WB103前室	1 台	
183	FE-WB103-B1F	140	3 号館	B1F WB103前室	消音ボックス付送風機 天吊	250.0	0.1 B1F WB103前室	1 台	
184	FS-SOK-B1F	140	3 号館	B1F WB104倉庫	消音ボックス付送風機 天吊	1000.0	0.6 B1F WB104倉庫	1 台	
185	FE-SOK-B1F	140	3 号館	B1F WB104倉庫	消音ボックス付送風機 天吊	1000.0	0.3 B1F WB104倉庫	1 台	
186	FE-B101-B1F	140	3 号館	B1F空調機械室1	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1 B1F B101室	1 台	
187	FE-B103-B1F	140	3 号館	B1F空調機械室2	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1 B1F B103室	1 台	
188	FE-B105B1F	140	3 号館	B1F空調機械室2	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1 B1F B105室	1 台	
189	FE-B1071-B1F	140	3 号館	B1F空調機械室2	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.1 B1F B107-1室	1 台	
190	FE-B1071S-B1F	140	3 号館	B1F B107-2室	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.1 B1F B107-1室	1 台	
191	FE-B1072-B1F	140	3 号館	B1F空調機械室2	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.1 B1F B107-2室	1 台	
192	FE-B108-B1F	140	3 号館	B1F空調機械室3	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1 B1F B108室	1 台	
193	FE-B108S-B1F	140	3 号館	B1F B108室	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.1 B1F B108室	1 台	
194	FE-B110-B1F	140	3 号館	B1F空調機械室3	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1 B1F B110室	1 台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統		
195	FE-B110S-B1F	140	3号館	B1F B110室	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.1 B1F B110室		1台	
196	FE-113-B1F	140	3号館	B1F 廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1 B1F B113室		1台	
197	FE-B1151-B1F	140	3号館	B1F B115-1室	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.1 B1F B115-1室		1台	
198	FE-B1151S-B1F	140	3号館	B1F B115-1室	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.1 B1F B115-1室		1台	
199	FE-B1152-B1F	140	3号館	B1F B115-2室	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.1 B1F B115-2室		1台	
200	FE-B1152S-B1F	140	3号館	B1F B115-2室	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.1 B1F B115-2室		1台	
201	FE-B1152F-b1F	140	3号館	B1F B115-2室	消音ボックス付送風機 天吊	400.0	0.1 B1F B115-2室		1台	
202	FE-B116-B1F	140	3号館	B1F B116室	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.1 B1F B116室		3台	
203	FE-B116S-B1F	140	3号館	B1F B116室	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.1 B1F B116室		1台	
204	FE-B119-B1F	140	3号館	B1F空調機械室3	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1 B1F B119室		1台	
205	FE-B119S-B1F	140	3号館	B1F B119室	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.1 B1F B119室		1台	
206	FE-B121-B1F	140	3号館	B1F空調機械室3	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1 B1F B121室		1台	
207	FE-B121S-B1F	140	3号館	B1F B121室	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.1 B1F B121室		1台	
208	FE-WC-B1F	140	3号館	B1F 廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	1550.0	0.4 B1F 便所		1台	
209	FE-GAR-1F	140	3号館	1F空調機械室	消音ボックス付送風機 天吊	600.0	0.1 1F外来者打合わせスペース		1台	
210	FS-TEN-1F	140	3号館	1F AC5	消音ボックス付送風機 天吊	900.0	0.2 1F展示スペース		1台	
211	FS-SEM-1F	140	3号館	1F AC6	消音ボックス付送風機 天吊	2050.0	0.6 1Fセミナー室		1台	
212	FS-WC-1F	140	3号館	1F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	1500.0	0.3 1F便所		1台	
213	FS-KOI1-1F	140	3号館	1F更衣室1	天井扇	100.0	0.0 1F更衣室1		1台	
214	FS-KOI2-1F	140	3号館	1F更衣室2	天井扇	100.0	0.0 1F更衣室2		1台	
215	FE-SM-1F	140	3号館	1F喫煙室	消音ボックス付送風機 天吊	1300.0	0.3 1F喫煙室		1台	
216	FS-ZET-1F	140	3号館	1F絶縁トランス室	消音ボックス付送風機 天吊	250.0	0.2 1F絶縁トランス室		1台	
217	FE-ZET-1F	140	3号館	1F絶縁トランス室	消音ボックス付送風機 天吊	250.0	0.1 1F絶縁トランス室		1台	
218	FE-114-1F	140	3号館	1F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.2 1F 114室		1台	
219	FE-115-1F	140	3号館	1F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.2 1F 115室		1台	
220	FE-116-1F	140	3号館	1F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.2 1F 116室		1台	
221	FE-118-1F	140	3号館	1F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.2 1F 118室		1台	
222	FE-119-1F	140	3号館	1F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.2 1F 119室		1台	
223	FE-120-1F	140	3号館	1F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.2 1F 120室		1台	
224	FE-121-1F	140	3号館	1F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.2 1F 121室		1台	
225	FE-213-2F	140	3号館	2F書庫	天井扇	100.0	0.0 2F書庫		1台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統		
226	FE-WC-2F	140	3号館	2F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	1500.0	0.3	2F便所	1台	
227	FE-WC-3F	140	3号館	3F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	1500.0	0.3	3F便所	1台	
228	FE-313-3F	140	3号館	313室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1	313室	1台	
229	FE-314-3F	140	3号館	314室	消音ボックス付送風機 天吊	200.0	0.1	314室	1台	
230	FE-318-3F	140	3号館	318室	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.1	318室	1台	
231	FE-320-3F	140	3号館	320室	消音ボックス付送風機 天吊	200.0	0.1	320室	1台	
232	FE-WC-4F	140	3号館	4F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	1500.0	0.4	4F便所	1台	
233	FE-412-4F	140	3号館	412室	消音ボックス付送風機 天吊	250.0	0.1	412室	1台	
234	FE-412F-4F	140	3号館	412室	消音ボックス付送風機 天吊	400.0	0.1	412室	1台	
235	FE-415-4F	140	3号館	415室	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.1	415室	1台	
236	FE-416-4F	140	3号館	416室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1	416室	1台	
237	FE-417-4F	140	3号館	4F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.1	417室	1台	
238	FE-419-4F	140	3号館	4F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	200.0	0.1	419室	1台	
239	FE-421-4F	140	3号館	421室	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.1	421室	1台	
240	FE-422-4F	140	3号館	4F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	100.0	0.1	422室	1台	
241	FE-WC-5F	140	3号館	5F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	1500.0	0.4	5F便所	1台	
242	FE-512-5F	140	3号館	512室	消音ボックス付送風機 天吊	200.0	0.1	512室	1台	
243	FE-514-5F	140	3号館	514室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1	514室	1台	
244	FE-516-5F	140	3号館	5F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	200.0	0.1	516室	1台	
245	FE-517-5F	140	3号館	517室	消音ボックス付送風機 天吊	200.0	0.1	517室	1台	
246	FE-519-5F	140	3号館	519室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1	519室	1台	
247	FE-521-5F	140	3号館	521室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1	521室	1台	
248	FE-WC-6F	140	3号館	6F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	1500.0	0.4	6F便所	1台	
249	FE-615-6F	140	3号館	615室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1	615室	1台	
250	FE-617-6F	140	3号館	617室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1	617室	1台	
251	FE-619-6F	140	3号館	619室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1	619室	1台	
252	FE-621-6F	140	3号館	621室	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.1	621室	1台	
253	FE-B101D-RF	140	3号館	RF屋上	遠心多翼送風機 床置	850.0	0.4	B101室	1台	
254	FE-B1151D-RF	140	3号館	RF屋上	遠心多翼送風機 床置	547.0	0.4	B115-1室	1台	
255	FE-B121D-RF	140	3号館	RF屋上	遠心多翼送風機 床置	547.0	0.4	B121室	1台	
256	FE-412D-RF	140	3号館	RF屋上	遠心多翼送風機 床置	650.0	0.4	412室	1台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統		
257	FE-JIK-B1F	140	3号館	B1F実験用機械室	消音ボックス付送風機 天吊	300.0	0.1	B1F実験用機械室	1台	
258	FE-EPS-1	140	3号館	B1～6F EPS	天井扇	200.0	0.0	B1～6F EPS	1台	
259	FE-B1152D-RF	140	3号館	RF屋上	遠心多翼送風機	547.0	0.0	B115-2室	1台	
260	FE-HPIT-B2F	140	3号館	B2F熱源機械室 (2)	消音ボックス付送風機 天吊	500.0	0.0	配線・配管ピット	1台	
261	FE-KUK-B2F	140	3号館	B2F空調機械室	消音ボックス付送風機 天吊	500.0	0.0	B2F空調機械室	1台	
262	FSM-1-RF	140	3号館	RF機械置場	片吸込みシロッコファン	33100.0	15.0	居室・廊下	1台	
263	FSM-2-RF	140	3号館	RF機械置場	片吸込みシロッコファン	19900.0	11.0	居室・廊下	1台	
264	FSM-3-RF	140	3号館	RF機械置場	片吸込みシロッコファン	33000.0	11.0	居室	1台	
265	FE-RF-1	140	3号館	2～6Fリフレッシュラウンジ	深形レンジフードファン	300.0	0.4	2～6Fリフレッシュラウンジ	5台	
266	CF-1	140	3号館	306～311、406～411、 506～511、606～611	エアパス用ファン(天井内結露防止 用)VD-15ZXP14-C天井扇	200.0			12台	
267	FS-1F-LA	147	量子セキュリティ・協 創棟	屋外	片吸込みシロッコファン 屋外	2800.0	1.5	1F実験室	1台	
268	FS-1F-PO	147	量子セキュリティ・協 創棟	1F消火・給水ポンプ室	消音ボックス付送風機 天吊	450.0	0.2	1F消火・給水ポンプ室	1台	
269	FS-1F-SO3	147	量子セキュリティ・協 創棟	1F倉庫3	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.2	1F倉庫3	1台	
270	FS-1F-EV	147	量子セキュリティ・協 創棟	1F廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	750.0	0.4	EVシャフト	1台	
271	FS-3F-PE1～8	147	量子セキュリティ・協 創棟	3F協創スペース	消音ボックス付送風機 天吊	450.0	0.3	3F協創スペース	8台	
272	FE-1F-OP	147	量子セキュリティ・協 創棟	1F QKDネットワークオペ レーション室	消音ボックス付送風機 天吊	400.0	0.2	1F QKDネットワークオペ レーション室	1台	
273	FE-1F-SR	147	量子セキュリティ・協 創棟	1F サーバルーム	消音ボックス付送風機 天吊	300.0	0.2	1F サーバルーム	1台	
274	FE-1F-NW	147	量子セキュリティ・協 創棟	1F 量子暗号実験室1・2	消音ボックス付送風機 天吊	550.0	0.2	1F 量子暗号実験室1・2	1台	
275	FE-1F-NWN	147	量子セキュリティ・協 創棟	1F 量子暗号実験室1・2	消音ボックス付送風機 天吊	200.0	0.2	1F 量子暗号実験室2 流 し台	1台	
276	FE-1F-TN	147	量子セキュリティ・協 創棟	1F トラステッドノード環 境模擬室	消音ボックス付送風機 天吊	550.0	0.2	1F トラステッドノード 環境模擬室	1台	
277	FE-1F-QKD	147	量子セキュリティ・協 創棟	1F QKDモジュール実験室・ 測定室・前室	消音ボックス付送風機 天吊	600.0	0.2	1F QKDモジュール実験 室・測定室・前室	1台	
278	FE-1F-QKDN	147	量子セキュリティ・協 創棟	1F QKDモジュール実験室・ 測定室・前室	消音ボックス付送風機 天吊	200.0	0.4	1F QKDモジュール前室 流し	1台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所		仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統	
279	FE-1F-ME	147	量子セキュリティ・協創棟	1F 倉庫2	消音ボックス付送風機 天吊	1200.0	0.5 1F 中会議室・倉庫2	1 台	
280	FE-1F-KO	147	量子セキュリティ・協創棟	1F 更衣室M	消音ボックス付送風機 天吊	800.0	0.4 1F 更衣室・給湯室・倉庫1	1 台	
281	FE-1F-WC	147	量子セキュリティ・協創棟	1F 便所	消音ボックス付送風機 天吊	1150.0	0.4 1F 便所	1 台	
282	FE-1F-UPS	147	量子セキュリティ・協創棟	1F UPS室	消音ボックス付送風機 天吊	1250.0	0.4 1F UPS室	1 台	
283	FE-1F-PO	147	量子セキュリティ・協創棟	1F 消火・給水ポンプ室	消音ボックス付送風機 天吊	450.0	0.4 1F 消火・給水ポンプ室	1 台	
284	FE-1F-SO3	147	量子セキュリティ・協創棟	1F 倉庫3	消音ボックス付送風機 天吊	150.0	0.2 1F 倉庫3	1 台	
285	FE-2F-E	147	量子セキュリティ・協創棟	2F ACR1	消音ボックス付送風機 天吊	2100.0	1.5 2F サイバーセキュリティ研究室	1 台	
286	FE-2F-W	147	量子セキュリティ・協創棟	2F ACR2	消音ボックス付送風機 天吊	1800.0	0.8 2F 量子ICT研究室	1 台	
287	FE-2F-SOE	147	量子セキュリティ・協創棟	2F 倉庫1	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.2 2F 倉庫1	1 台	
288	FE-2F-WC	147	量子セキュリティ・協創棟	2F 便所	消音ボックス付送風機 天吊	1150.0	0.4 2F 便所	1 台	
289	FE-2F-SOW	147	量子セキュリティ・協創棟	2F 倉庫2	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.2 2F 倉庫2	1 台	
290	FE-3F-W	147	量子セキュリティ・協創棟	3F ACR2	消音ボックス付送風機 天吊	1800.0	0.8 3F 協創スペース（西）	1 台	
291	FE-3F-E	147	量子セキュリティ・協創棟	3F ACR1	消音ボックス付送風機 天吊	2200.0	1.5 3F 協創スペース（東）	1 台	
292	FE-3F-SO	147	量子セキュリティ・協創棟	3F 倉庫1	消音ボックス付送風機 天吊	50.0	0.2 3F 倉庫1	1 台	
293	FE-3F-WC	147	量子セキュリティ・協創棟	3F 便所	消音ボックス付送風機 天吊	1350.0	0.4 3F 便所	1 台	
294	FE-3F-EV	147	量子セキュリティ・協創棟	3F 廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	750.0	0.3 EVシャフト	1 台	
295	FE-3F-ST	147	量子セキュリティ・協創棟	3F 廊下1	消音ボックス付送風機 天吊	1800.0	0.8 階段吹抜け	1 台	
296	FE-1～3F-EPS1	147	量子セキュリティ・協創棟	1～3F EPS1	有圧換気扇	500.0	0.0 1～3F EPS1	3 台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(6) 送風機

No.	記号 (図面上)	設置場所		仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	型式	風量 (m ³ /h)	出力 (KW)	系統	
297	FE-1F-EPSK	147	量子セキュリティ・協創棟	1F 管理用EPS	有圧換気扇	500.0	0.0	1F 管理用EPS	1 台
298	FE-2～3F-EPS2	147	量子セキュリティ・協創棟	2～3F EPS2	有圧換気扇	500.0	0.0	2～3F EPS2	2 台
299	PF-3F-S	147	量子セキュリティ・協創棟	3F協創スペース床下	ペリメータファン	155.0	0.0	協創スペースペリメータ	24 台
300	FS-1	148	B5G電波暗室棟	測定室	消音ボックス付送風機 天吊	200.0	0.0	測定室	1 台
301	FS-2	148	B5G電波暗室棟	電波暗室	消音ボックス付送風機 天吊	500.0	0.1	電波暗室	1 台
302	FS-3	148	B5G電波暗室棟	空調室内機置場	消音ボックス付送風機 天吊	500.0	0.1	空調室内機置場	1 台
303	FS-4	148	B5G電波暗室棟	電波暗室(小屋裏)	消音ボックス付送風機 天吊	1000.0	0.2	電波暗室(小屋裏)	1 台
304	FE-1	148	B5G電波暗室棟	測定室	消音ボックス付送風機 天吊	200.0	0.0	測定室	1 台
305	FE-2	148	B5G電波暗室棟	電波暗室	消音ボックス付送風機 天吊	500.0	0.1	電波暗室	1 台
306	FE-3	148	B5G電波暗室棟	空調室内機置場	消音ボックス付送風機 天吊	500.0	0.1	空調室内機置場	1 台
307	FE-4	148	B5G電波暗室棟	電波暗室(小屋裏)	消音ボックス付送風機 天吊	1000.0	0.2	電波暗室(小屋裏)	1 台
308	FE-5	148	B5G電波暗室棟	吸収体置場	消音ボックス付送風機 天吊	500.0	0.1	吸収体置場	1 台
309	VE-1	148	B5G電波暗室棟	WC(1)	天井扇	100.0	0.0	WC(1)	1 台
310	VE-2	148	B5G電波暗室棟	WC(2)	天井扇	100.0	0.0	WC(2)	1 台
311	VE-3	148	B5G電波暗室棟	給湯室	天井扇	200.0	0.0	給湯室	1 台
312	VE-4	148	B5G電波暗室棟	物入	天井扇	300.0	0.0	物入	1 台
313	FC-1	148	B5G電波暗室棟	前室	エアースイングファン	290.0	0.0	前室	1 台
計								424 台	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(7) 全熱交換機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様					数量	業務対象		備考
		棟 番号	建物名	場所	形式	型式	メーカー	処理 風量 m ³ /h	電動機 KW		定期 点検	エアフィル タ清掃	
1	HUE-4	123	5号館	フォトリックネットワーク研究室107・109	床置形 (5F-機械室)	LB-50K-50	三菱	500.0	1Φ100V0.4	2台	○	○	
2	HUE-9	123	5号館	403 (APC-23連動)	床置形 (5F-機械室)	LB-80K-50	三菱	300.0	1Φ100V0.4	2台	○	○	
3	HUE-10	123	5号館	401 (APC-22連動)	床置形 (5F-機械室)	LB-80K-50	三菱	750.0	1Φ100V0.7	1台	○	○	
4	HUE-11	123	5号館	407 (APC-24連動)	床置形 (5F-機械室)	LP-350BK114	三菱	2550.0	3Φ200V1.5×2	1台	○	○	
5	HUE-1	128	研究本館	BF監視室	天井隠ぺい形	FY-150ZD5	パナソニック	100.0	1Φ100V0.1	1台	—	○	
6	HUE-1	128	研究本館	3F東会議室	天井隠ぺい形	LGH-35RX4	三菱	100.0	1Φ100V0.1	1台	—	○	
7	AEX-1	97	4号館	展示室	床置き形	EX-080EK	昭和鉄工	8930.0	3Φ200V0.1	1台	—	○	
8	AEX-1	97	4号館	展示室	床置き形	EX-060EK	昭和鉄工	7520.0	3Φ200V0.1	1台	—	○	
9	HEU-1	123	5号館	実験室	天井隠ぺい形	LGH-N15RKX2	三菱	90.0	1Φ100V0.1	33台	—	○	
10	HEU-2	123	5号館	保守員室・打合せコーナー105C	天井隠ぺい形	LGH-N25RKX2	三菱	150.0	1Φ100V0.2	2台	—	○	
11	HEU-3	123	5号館	展示コーナー	天井隠ぺい形	LGH-N25RKX2	三菱	210.0	1Φ100V0.2	1台	—	○	
12	HEU-4	123	5号館	超高速NW105a	床置形	LB-50KX4-50	三菱	480.0	1Φ100V0.3	2台	—	○	
13	HEU-5	123	5号館	聴視実験	天井隠ぺい形	LGH-N50RKX2	三菱	450.0	1Φ100V0.3	3台	—	○	
14	HEU-6	123	5号館	実験室	天井隠ぺい形	LGH-N65RKX2	三菱	600.0	1Φ100V0.5	8台	—	○	
15	HEU-7	123	5号館	세미나	天井隠ぺい形	LGH-N35RKX2	三菱	300.0	1Φ100V0.2	9台	—	○	
16	HEU-8	123	5号館	AV計算機室	天井隠ぺい形	LGH-N15RKX2	三菱	90.0	1Φ100V0.1	1台	—	○	
17	HEU-9	123	5号館	スタジオ	床置形	LB-50KX4-50	三菱	300.0	1Φ200V0.3	2台	—	○	
18	HEU-10	123	5号館	映像評価	床置形	LF-80X	三菱	750.0	1Φ200V0.4	1台	—	○	
19	HEU-11	123	5号館	マルチ実験会場	床置形	LF-300X-50	三菱	255.0	1Φ200V2.4	1台	—	○	
20	HUE-2	127	6号館	101, 103, 201, 203, 205, 207居室	天井隠ぺい形	LGH-N35RX	三菱	300.0	1Φ100V0.14	14台	—	○	
21	HUE-1	127	6号館	301b, 303, 305, 307, 401, 403, 405, 407居室	天井隠ぺい形	PGL-61DR2	三菱	300.0	1Φ100V0.14	18台	—	○	
22	HEU-1	110	光伝送技術開発棟	光信号処理システム室	天井埋込形	LGH-N25RS	三菱	280.0	1Φ100V0.115	1台	—	○	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(7) 全熱交換機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様					数量	業務対象		備考
		棟 番号	建物名	場所	形式	型式	メーカー	処理 風量 m³/h	電動機 KW		定期 点検	エアフィル タ清掃	
23	HEU-2	110	光伝送技術開発棟	光伝送特性評価システム室	天井埋込形	LGH-N50RS	三菱	550.0	1Φ100V0.275	1台	—	○	
24	SEF1	111	ミリ波研究棟	分析室	天井隠ぺい形	LGH-35RMP	三菱	385.0	1Φ100V0.145	2台	—	○	
25	SEF1	111	ミリ波研究棟	低温実験室	天井隠ぺい形	LGH-35RMP	三菱	385.0	1Φ100V0.145	2台	—	○	
26	SEF1	111	ミリ波研究棟	1Fスタッフルーム	天井隠ぺい形	LGH-35RMP	三菱	385.0	1Φ100V0.145	1台	—	○	
27	SEF1	111	ミリ波研究棟	デバイス基礎特性実験室	天井隠ぺい形	LGH-35RMP	三菱	385.0	1Φ100V0.145	2台	—	○	
28	SEF2	111	ミリ波研究棟	2Fスタッフルーム	天井隠ぺい形	LGH-60RMP	三菱	620.0	1Φ100V0.37	2台	—	○	
29	SEF2	111	ミリ波研究棟	実験室	天井隠ぺい形	LGH-60RMP	三菱	620.0	1Φ100V0.37	2台	—	○	
30	SEF3	111	ミリ波研究棟	会議室	天井隠ぺい形	LGH-80RMP	三菱	840.0	1Φ100V0.45	4台	—	○	
31	FEX-1	112	VLBI観測棟	南極倉庫前室	天井埋込形	LGH-N15RS	三菱	150.0	1Φ100V0.082	1台	—	○	
32	FEX-2	112	VLBI観測棟	南極機器調整室	天井埋込形	LGH-N15RS	三菱	150.0	1Φ100V0.082	1台	—	○	
33	FEX-2	112	VLBI観測棟	データ解析室居室	天井埋込形	LGH-N15RS	三菱	150.0	1Φ100V0.082	1台	—	○	
34	FEX-3	112	VLBI観測棟	観測準備室	天井埋込形	LGH-35RS	三菱	385.0	1Φ100V0.145	1台	—	○	
35	FEX-2	112	VLBI観測棟	データ保管庫	天井埋込形	LGH-N15RS	三菱	150.0	1Φ100V0.082	1台	—	○	
36	FEX-2	112	VLBI観測棟	SLR観測室	天井埋込形	LGH-15RS	三菱	150.0	1Φ100V0.082	1台	—	○	
37	FEX-2	112	VLBI観測棟	観測制御室	天井埋込形	LGH-15RS	三菱	150.0	1Φ100V0.082	1台	—	○	
38	HEX-1	130	光デバイス技術センター	休憩室・更衣室	天井隠ぺい形	LGH-25RS3	三菱	250.0	1Φ100V0.109	2台	—	○	
39	HEX-2	130	光デバイス技術センター	共用居室	天井隠ぺい形	LGH-35RS3	三菱	350.0	1Φ100V0.161	2台	—	○	
40	HEX-1	147	量子セキュリティ・協創棟	守衛室	天井埋込形	LGH-35RS3	三菱	150.0	1Φ100V0.091	1台	—	○	
41	HEX-2	147	量子セキュリティ・協創棟	集中管理室	天井埋込形	LGH-35RS3	三菱	350.0	1Φ100V0.161	1台	—	○	
42	AHEX-1	134	2号館	312, 412共用会議室	天井埋込形	VAM1000GHS	ダikin	900.0	1Φ100V0.4	2台	—	○	
43	AHEX-2	134	2号館	日本標準時展示室	天井埋込形	VAM 500GHS	ダikin	600.0	1Φ100V0.4	1台	—	○	
44	HEX-1	135	産学官研究交流棟	3Fコミュニティコーナー	天井隠ぺい形	LGH-35RX4	三菱	350.0	1Φ100V0.161	1台	—	○	
45	HEX-2	135	産学官研究交流棟	1F売店・喫茶室	天井隠ぺい形	LGH-35RX4	三菱	350.0	1Φ100V0.161	1台	—	○	
46	HEX-2	135	産学官研究交流棟	1F食堂	天井隠ぺい形	LGH-35RX4	三菱	350.0	1Φ100V0.161	4台	—	○	
47	HEX-2	135	産学官研究交流棟	1F喫煙室	天井隠ぺい形	LGH-35RX4	三菱	350.0	1Φ100V0.161	1台	—	○	
48	HEX-2	135	産学官研究交流棟	2Fベンチャー、研究室	天井隠ぺい形	LGH-35RX4	三菱	350.0	1Φ100V0.161	1台	—	○	
49	HEX-3	135	産学官研究交流棟	2Fベンチャー、研究室	天井隠ぺい形	LGH-25RX4	三菱	270.0	1Φ100V0.114	4台	—	○	
50	HEX-3	135	産学官研究交流棟	3F休養室(1)	天井隠ぺい形	LGH-25RX4	三菱	270.0	1Φ100V0.114	1台	—	○	

【3. 機械】—3 空気調和等関連機器
(7) 全熱交換機

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様					数量	業務対象		備考
		棟 番号	建物名	場所	形式	型式	メーカー	処理 風量 m³/h	電動機 KW		定期 点検	エアフィル タ清掃	
51	HEX-4	135	産学官研究交流棟	2Fベンチャー、office	天井隠ぺい形	LGH-25RX4	三菱	210.0	1Φ100V0.114	3台	—	○	
52	HEX-4	135	産学官研究交流棟	3F休養室(2)	天井隠ぺい形	LGH-25RX4	三菱	210.0	1Φ100V0.114	1台	—	○	
53	HEX-5	135	産学官研究交流棟	2F連携室	天井隠ぺい形	LGH-15RX4	三菱	150.0	1Φ100V0.091	1台	—	○	
54	HEX-5	135	産学官研究交流棟	2FTLO	天井隠ぺい形	LGH-15RX4	三菱	150.0	1Φ100V0.091	1台	—	○	
55	HEX-5	135	産学官研究交流棟	2F予備OR倉庫	天井隠ぺい形	LGH-15RX4	三菱	150.0	1Φ100V0.091	1台	—	○	
56	HEX-6	135	産学官研究交流棟	1F事務室	天井埋込形	VL-150ZS	三菱	120.0	1Φ100V0.035	1台	—	○	
57	HEX-6	135	産学官研究交流棟	1Fスタッフルーム	天井埋込形	VL-150ZS	三菱	120.0	1Φ100V0.035	1台	—	○	
58	HEX-6	135	産学官研究交流棟	3F休養室(女子)	天井埋込形	VL-150ZS	三菱	120.0	1Φ100V0.035	1台	—	○	
59	HE-1・1	138	電離層観測・試作開発棟	設計事務室	天井隠ぺい形	LGH-25RS4	三菱	240.0	1Φ100V0.115	1台	—	○	
60	HE-1・2	138	電離層観測・試作開発棟	会議室	天井隠ぺい形	LGH-35RS4	三菱	270.0	1Φ100V0.163	1台	—	○	
61	HE-1・3	138	電離層観測・試作開発棟	測定室	天井隠ぺい形	LGH-25RS4	三菱	120.0	1Φ100V0.115	1台	—	○	
62	HE-2・1	138	電離層観測・試作開発棟	実験室	天井隠ぺい形	LGH-25RS5	三菱	240.0	1Φ100V0.115	2台	—	○	
63	HE-2・2	138	電離層観測・試作開発棟	定常観測室	天井隠ぺい形	LGH-25RS5	三菱	240.0	1Φ100V0.115	1台	—	○	
64	AHEX-212-2F	140	3号館	2F212特定実験室1	天井埋込形	VAM150GBS	ダikin	100.0	1Φ100V0.1	1台	—	○	
65	AHEX-213-2F	140	3号館	2F213特定実験室2	天井埋込形	VAM500GBS	ダikin	500.0	1Φ100V0.4	1台	—	○	
66	AHEX-312-3F	140	3号館	3F312校正室受付	天井埋込形	VAM150GBS	ダikin	100.0	1Φ100V0.1	1台	—	○	
67	AHEX-322-3F	140	3号館	3F322計算機室	天井埋込形	VAM150GBS	ダikin	100.0	1Φ100V0.1	1台	—	○	
68	AHEX-612-6F	140	3号館	6F312多目的実験室	天井埋込形	VAM150GBS	ダikin	100.0	1Φ100V0.1	3台	—	○	
計										174台			

【3. 機械】—4 給排水衛生機器
(1) 受水タンク・高置タンク（飲料用水等用）

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様					数量	規制 系統	水道管理に関する 主な法令に係る 行政からの指定		備考			
		棟 番号	建物名	場所	用途	種別	寸法 (W×L×H) (mm)					有効 水量 L	水道法に基 づく簡易専 用水道		都水道条例 (※)に基づく 小規模貯水 槽水道		
1	TW-1	128	研究本館	B1F受水槽室	給水系	WTFP	3,000	×	3,000	×	2,500	20,000	1 基	研究本館	○	—	
2	TWH-1	128	研究本館	RF高置	給水系	WTFP	2,000	×	2,000	×	1,500	5,000	1 基				
3	TW-1	134	2 号館	1F受水槽室	給水系(上水 受水槽)	FRP製(複 板)	1,500	×	3,000	×	1,050	9,450	1 基	2 号館	—	○	
4	TW-2	134	2 号館	BF ^レ ット式躯体 利用	雑用水受水 槽	地下コング リート						23,000	1 基				
5	TW-1	140	3 号館	B2F受水槽室	給水系	FRP製	2,000	×	2,000	×	1,500	4,000	1 基	3 号館	—	—	
6	KPU-1	140	3 号館	B2F受水槽室	加湿給水系	FRP製						1,000	1 基				
7	—	97	4 号館	RF高置	給水系	FRP製	1,500	×	2,500	×	1,000	3,700	1 基	4 号館	○	—	
8	—	97	4 号館	B1F受水槽	給水系	FRP製	2,500	×	2,500	×	2,500	15,625	1 基				
9	—	123	5 号館	1F機械室	給水系	FRP製	2,500	×	2,000	×	2,000	8,000	1 基	5 号館	—	○	
10	—	127	6 号館	1F受水槽室	給水系	FRP製	2,500	×	2,000	×	2,000	8,000	1 基	6 号館	—	○	
11	—	127	6 号館	RF高置	給水系(高置 タンク)	FRP製	1,500	×	1,000	×	1,500	2,000	1 基				
12	—	111	ミリ波研究棟	屋外南側地上	給水系(地 上タンク)	FRP製(複 板)	2,000	×	2,000	×	2,000	5,000	1 基	ミリ波研 究棟	—	—	
13	TW-1F-1	147	量子セキュリティ・協創 棟	屋外南側地上	給水系	FRP製(複 板)	1,000	×	3,000	×	2,500	5,000	1 基	量子セキ ュリティ・協創 棟	—	—	
14	PWU-1F- H	147	量子セキュリティ・協創 棟	1F消火・給水 ポンプ室	加湿給水系	FRP製						840	1 基				
15	PW-1	148	B5G電波暗室棟	1F空調室内機 置場	加湿給水系	FRP製						50	1 基	B5G電波暗 室棟	—	—	
計												15 台		2	3		

※正式名称：東京都小規模貯水槽水道等における安全で衛生的な飲料水の確保に関する条例

【3. 機械】— 4 給排水衛生機器

(2) 汚水槽・雑排水槽

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	用途	種別	寸法 (W×L×H) (mm)	有効水量 L		
1	—	128	研究本館	B1F空調機械室	雑排水槽	地下コンクリート	5,200 × 2,600 × 1,000	18,100	1 基	
2	—	97	4号館	B1F機械室	雑排水槽	地下コンクリート	5,200 × 4,000 × 1,000	20,800	1 基	
3	—	140	3号館	地下ピット式	汚水槽	地下コンクリート	2,900 × 3,890 × 200	11,300	1 基	
4	GT-1	135	産学官研究交流棟	建物南側屋外	グリストラップ		800 × 400 × 660		1 基	日常監視のみ対象 (定期点検・定期 清掃は別途実施)
計									4 台	

(※参考：その他水槽)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様				数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	用途	種別	寸法 (W×L×H) (mm)	有効水量 L		
雨水槽・湧水槽・実験用排水槽等										
1	—	128	研究本館	地下ピット式	雨水貯留槽	地下コンクリート		5,400	1 基	
2	—	128	研究本館	地下ピット式	雨水槽	地下コンクリート			2 基	
3	—	128	研究本館	地下ピット式	沈砂槽	地下コンクリート		3,400	1 基	
4	—	134	2号館	地下ピット式	湧水槽	地下コンクリート	1,000 × 1,800 × 8,00		4 基	
5	—	130	光デバイス技術センター	光デバイス棟北通路下	雨水排水槽	地下コンクリート	2,300 × 1,200 × 2,200	5,000	1 基	
6	TW-2	140	3号館	地下ピット式	中水受水槽	地下コンクリート	8,800 × 2,500 × 1,200	26,400	1 基	
7	TU-1	140	3号館	地下ピット式	雨水沈砂槽	地下コンクリート	5,200 × 3,900 × 1,500	27,000	1 基	
8	—	140	3号館	地下ピット式	雨水貯留槽	地下コンクリート	14,300 × 15,600 × 880	60,200	1 基	
9	—	140	3号館	地下ピット式	実験用排水槽	地下コンクリート	2,970 × 3,470 × 200	10,300	1 基	
計									13 台	
消火タンク										
10	TF-1	128	研究本館	PHF	消火系	WTFP	2,000 × 2,500 × 1,500	7,500	1 基	
11	—	97	4号館	塔屋高置	消火水系	FRP	1,000 × 1,000 × 1,000	700	1 基	
12	—	97	4号館	B1F消火ポンプ室	消火水系	地下コンクリート		12,000	1 基	
13	TF-1	123	5号館	PHF	消火水系	FRP製	650 × 650 × 630	200	1 基	
14	—	127	6号館	RF高置	消火水系	FRP製	2,000 × 2,500 × 1,500	7,500	1 基	
15	TWF-1	134	2号館	地下ピット式躯体利用	消火水系(地下水槽)	地下コンクリート		5,600	1 基	
16	TF-1	134	2号館	RF高置	消火水系(消火用充水タンク)	鋼製一体型	1,000 × 1,000 × 1,000	500	1 基	
17	—	130	光デバイス技術センター	光デバイス地下ピット式躯体利用	消火栓用水槽	地下コンクリート及びCB造			1 基	
18	TWF-1	140	3号館	地下ピット式	消火水槽	地下コンクリート	2,200 × 3,330 × 1,550	11,360	1 基	
19	TF-1	140	3号館	RF高置	消火水系(消火用充水タンク)	鋼板製一体型	1,000 × 1,000 × 1,500	1,000	1 基	
20	—	147	量子セキュリティ・協創棟	地下ピット式躯体利用	消火水系(地下水槽)	地下コンクリート		5,200	1 基	
21	TF-1	147	量子セキュリティ・協創棟	RF高置	消火水系(消火用充水タンク)	SUS製一体型	1,000 × 1,000 × 1,000	500	1 基	
計									12 台	

【3. 機械】—4 給排水衛生機器

(3) ポンプ（給排水衛生用）

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様							数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	用途	型式	口径 mm φ	流量 L/min	揚程 kPa	電源	出力 kW		
①陸上ポンプ													
1	PW-1	128	研究本館	B1F受水槽室	揚水用ポンプ	—	50.0	—	—	AC3 φ 200V	3.7	2 台	水上陸上用
2	PW-1	128	研究本館	RF西機械室	増圧給水用 ポンプユニット	末端推定圧力一 定給水ユニット	32.0	125	8	AC1 φ 100V	0	1 台	陸上用
3	PFU-1	128	研究本館	B1F機械室	消火用ポンプ	—	65.0	300	420	AC3 φ 200V	6	1 台	消火用
4	—	128	研究本館	地下ピット雨水 貯留槽	雨水利用ポンプ	—	25.0	—	—	AC3 φ 200V	0	1 台	
5	PU-1	134	2 号館	1F受水槽室	上水加圧給水ポン プユニット	末端推定圧力一 定給水ユニット	50.0	180	300	AC3 φ 200V	3.7×2	2 台 (1組)	陸上用
6	PF-1	134	2 号館	1F階段 (3)	消火用ポンプ	—	50.0	300	520	AC3 φ 200V	8	1 台	消火用
7	PU-2	134	2 号館	1F受水槽室	加湿用水給水ポン プユニット	小型渦巻ポンプ	40.0	80	316	AC3 φ 200V	2.2x2	2 台 (1組)	
8	PU-3	134	2 号館	1F受水槽室	雑用水加圧給水ポ ンプユニット	末端推定圧力一 定給水ユニット	50.0	150	370	AC3 φ 200V	3.7×2	2 台 (1組)	
9	PU-1	135	産学官研究交流 棟	1F機械室	増圧給水用ポンプ ユニット	末端推定圧力一 定給水ユニット	50.0	450	11	AC3 φ 200V	2.2×2	2 台 (1組)	陸上用
10	PW-1	97	4 号館	B1F受水槽室	揚水用ポンプ	—	40.0	160	—	AC3 φ 200V	2.2	2 台	水上陸上用
11	PF-1	97	4 号館	—	消火用ポンプ (5 号館兼)	—	80.0	450	610	AC3 φ 200V	11	1 台	消火用
12	PW-1	123	5 号館	1F機械室	上水加圧給水ポン プユニット	末端推定圧力一 定給水ユニット	50.0	190	270	AC3 φ 200V	1.1×2	1 台	陸上用
13	—	127	6 号館	1F受水槽室	揚水用ポンプ	—	40.0		—	AC3 φ 200V	4	2 台	水上陸上用
14	PFU-1	127	6 号館	—	消火用ポンプ	—	50.0	300	580	AC3 φ 200V	6	1 台	消火用
15	PU-1	111	ミリ波研究棟	屋外南側	給水ポンプ (111 棟・130棟)	推定末端圧力一 定給水ユニット	40.0	280	60	AC3 φ 200V	3.7x2	2 台 (1組)	陸上用
16	PW-1	138	電離層観測・試 作開発棟	—	加湿給水ポンプ	タンク付給水ポンプ タンク容量100ℓ	25.0	20	200	AC3 φ 200V	0.25	1 台	
17	PU-1	140	3 号館	B2F熱源機械室2	上水加圧給水ポン プユニット	末端推定圧力一 定給水ユニット	65.0	300	550	AC3 φ 200V	3.7×2	2 台 (1組)	陸上用
18	FP-1	140	3 号館	—	消火用ポンプ	ユニット型	65.0	450		AC3 φ 200V	15	1 台	消火用

【3. 機械】—4 給排水衛生機器
(3) ポンプ (給排水衛生用)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様							数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	用途	型式	口径 mm φ	流量 L/min	揚程 kPa	電源	出力 kW		
19	FP-2	140	3号館	—	消火用ジョッキポンプ	ユニット型	15.0	10		AC3 φ 200V	1.5	1台	消火用
20	PU-2	140	3号館	B2F熱源機械室	中水加圧給水ポンプユニット	末端推定圧力一定給水ユニット	100.0	550	600	AC3 φ 200V	5.5×3	3台 (1組)	
21	KPU-1	140	3号館	B2F熱源機械室	加湿給水ポンプユニット	吐出圧一定制御	40.0	100	600	AC3 φ 200V	3.7×2	2台 (1組)	
22	PF-1	130	光デバイス技術センター	—	消火用ポンプ	—	50.0	300	51	AC3 φ 200V	3.7	1台	消火用
23	PWU-1F-J	147	量子セキュリティ・協創棟	1F消火・給水ポンプ室	上水加圧給水ポンプユニット	末端推定圧力一定給水ユニット	50.0	270	517	AC3 φ 200V	2.2×2	1台	陸上用
24	PWU-1F-H	147	量子セキュリティ・協創棟	1F消火・給水ポンプ室	加湿加圧給水ポンプユニット	末端推定圧力一定給水ユニット	25.0	20	292	AC3 φ 200V	0.75×2	1組	消火用
25	FP-1	147	量子セキュリティ・協創棟	—	消火用ポンプ	ユニット型	50.0	300	660	AC3 φ 200V	5.5	1台	
26	PW-1	148	B5G電波暗室棟	148棟 1階 空調室内機置場	加湿加圧給水ポンプユニット	受水槽付定圧給水ユニット	30.0	43	60	AC3 φ 200V	0.4	1組	
計												38	

②排水ポンプ													
1	PD-1	128	研究本館	B1F機械室	雑排水用ポンプ	—	80	—	—	AC3 φ 200V	3.7	2台	
2	PD-2	128	研究本館	B1F機械室	湧水排水用ポンプ	—	80	—	—	AC3 φ 200V	3.7	2台	
3	PD-3	128	研究本館	B1F機械室	雨水排水用ポンプ	—	80	—	—	AC3 φ 200V	3.7	4台	
4	PD-4	128	研究本館	地下ビット雨水貯留槽	排水用ポンプ	—	50	—	—	AC3 φ 200V	1.5	2台	
5	PD-5	128	研究本館	地下ビット雨水貯留槽	排水用ポンプ	—	65	—	—	AC3 φ 200V	2.2	2台	
6	PD-1	134	2号館	地下ビット内湧水槽	湧水用排水ポンプ	汚水用 水中ポンプ	50	100	50	AC3 φ 200V	0.75×2	8台 (4組)	
7	PD-1	140	3号館	地下ビット内湧水槽	湧水排水用ポンプ	水中ポンプ	50	100	130	AC3 φ 200V	1.5×2	12台 (6組)	

【 3 . 機 械 】 — 4 給排水衛生機器

(3) ポンプ (給排水衛生用)

No.	記号 (図面上)	設置場所			仕様							数量	備考
		棟 番号	建物名	場所	用途	型式	口径 mm φ	流量 L/min	揚程 kPa	電源	出力 kW		
8	PD-2	140	3号館	B1F地下機械室	雨水排水用ポンプ	水中ポンプ	50	100	100	AC3 φ 200V	0.75×2	2台 (1組)	
9	PD-3	140	3号館	汚水・雑排水槽	汚水用ポンプ	水中ポンプ	50	100	130	AC3 φ 200V	3.7×2	2台 (1組)	
10	PD-4	140	3号館	実験用排水槽	実験用排水ポンプ	水中ポンプ	50	100	150	AC3 φ 200V	1.5×2	2台 (1組)	
11	PD-5	140	3号館	ドライエリア	雨水排水用ポンプ	水中ポンプ	100	1,800	100	AC3 φ 200V	7.5×2	6台 (3組)	
12	PD-6	140	3号館	湧水ピット	雑排水用ポンプ	水中ポンプ	50	100	100	AC3 φ 200V	0.75×2	2台 (1組)	
13	—	97	4号館	地下雑排水槽	雑排水用ポンプ	—	65	—	—	AC3 φ 200V	1.5	2台	
14	P-2	—	—	雨水排水槽内 (デバイス棟北)	雨水排水水中 ポンプ	汚水水中ポンプ	65	600	9	AC3 φ 200V	2.2	2台	
15	P-1	137	特別高圧受電所	—	湧水排水水中ポン プ	水中ポンプ	40	50	—	AC3 φ 200V	0.3	2台	
16	—	126	高圧配電所	地下湧水槽	排水用ポンプ	—	50	—	—	AC3 φ 200V	0.4	2台	
17	DP- PIT-1	147	量子セキュリティ・協 創棟	湧水ピット	湧水排水用ポンプ	水中ポンプ	50	100	70	AC3 φ 200V	0.4×2	6台 (3組)	
計												60	

【3. 機械】— 4 給排水衛生機器
(4) ガス湯沸器 (貯湯式ガス湯沸器含む)

No.	設置場所				数量	備考
	棟 番号	建物名	系統	設置場所		
1	128	研究本館	1 F 東側リフレッシュルーム		1 箇所	
2	128	研究本館	1 F 西側湯沸室		1 箇所	
3	128	研究本館	2 F 東側リフレッシュルーム		1 箇所	
4	128	研究本館	2 F 西側湯沸室		1 箇所	
5	128	研究本館	3 F 東側リフレッシュルーム		1 箇所	
6	128	研究本館	3 F 西側湯沸室		1 箇所	
7	128	研究本館	4 F 東側リフレッシュルーム		1 箇所	
8	128	研究本館	4 F 西側湯沸室		1 箇所	
9	128	研究本館	4 F 国際会議室パントリー		1 箇所	
10	97	4 号館	1 F 東側湯沸室		1 箇所	
11	97	4 号館	2 F 東側湯沸室		1 箇所	
12	97	4 号館	3 F 東側湯沸室		1 箇所	
13	97	4 号館	4 F 東側湯沸室		1 箇所	
14	97	4 号館	1 F 西側湯沸室		1 箇所	
15	97	4 号館	2 F 西側湯沸室		1 箇所	
16	97	4 号館	1 F シャワー室		1 箇所	
17	123	5 号館	1 F 湯沸室		1 箇所	
18	123	5 号館	2 F 湯沸室		1 箇所	
19	123	5 号館	3 F 湯沸室		1 箇所	
20	123	5 号館	4 F 湯沸室		1 箇所	
21	123	5 号館	1 F 実験室内打合せコーナー		1 箇所	
22	127	6 号館	1 F 湯沸室		1 箇所	
23	127	6 号館	2 F 湯沸室		1 箇所	
24	127	6 号館	3 F 湯沸室		1 箇所	
25	127	6 号館	4 F 湯沸室		1 箇所	
26	59	旧食堂棟	浴室	北側屋外	1 箇所	
27	74	旧変電所	男子シャワー室	北側屋外	1 箇所	
28	74	旧変電所	女子シャワー室	北側屋外	1 箇所	
29	91	管理倉庫	1 F 湯沸室		1 箇所	
30	95	車庫	シャワー室	北側屋外	1 箇所	
31	96	倉庫	シャワー室	西側屋外	1 箇所	
32	98	厨房作業員控室	シャワー室	東側屋外	1 箇所	
33	107	宇宙光通信地上センター	制御室		1 箇所	
34	107	宇宙光通信地上センター	湯沸室・シャワー室	北側屋外	1 箇所	
35	111	ミリ波研究棟	シャワー室	北側屋外	1 箇所	
36	113	ゲストハウス	101室・102室	東側屋外	1 箇所	
37	113	ゲストハウス	103室・104室・105室	西側屋外	1 箇所	
38	114	研究交流センター	1 F 湯沸室(大)	西側屋外	1 箇所	
39	114	研究交流センター	1 F 湯沸室(小)	北側屋外	1 箇所	
40	114	研究交流センター	2 F 浴室・湯沸室	2 F 屋上	1 箇所	
41	130	光デバイス技術センター	更衣室・シャワー室・トイレ	1 F 屋上	1 箇所	
42	135	産学官研究交流棟	1 F 食堂厨房	南側屋外	1 箇所	
43	135	産学官研究交流棟	1 F 売店・喫茶室厨房	北西側屋外	1 箇所	
44	135	産学官研究交流棟	3 F 湯沸室・シャワー室	3 F 屋上	1 箇所	
45	135	産学官研究交流棟	3 F ゲストルーム	ベランダ	1 箇所	
46	138	電離層観測・試作開発棟	1 F 機械加工室		1 箇所	
47	138	電離層観測・試作開発棟	屋外作業スペース	南西屋外	1 箇所	
計					47 箇所	

【3. 機械】—5 空調用水水質管理

No.	水質検査検体採取箇所				投入対象薬品					備考
	棟番号	建物	設備	検体採取 数量	薬品種別	小型冷却水 複合処理剤	冷却給水管 洗浄剤	冷却水用 複合処理剤	冷温水用 防食剤	
					想定 製品規格 (下段： メーカー)	レジオムニック400 (3L) (株)アクアス	アクアショットクリン(BZ- 43) (株)アクアス	ハイパーレジオ(HL- 910) (株)アクアス	アクアスキレート(D- 1000L) (株)アクアス	
1	128	研究本館	CT-1 No. 1	1 件		○	○	—	—	
2	128	研究本館	CT-1 No. 2	1 件						
3	134	2 号館	補給水	1 件		—	○	○	○	
4	134	2 号館	一時冷水	1 件						
5	134	2 号館	CT-1-1冷却水	1 件						
6	134	2 号館	CT-1-2冷却水	1 件						
7	140	3 号館	補給水	1 件		—	○	○	—	
8	140	3 号館	CT-1	1 件						
9	140	3 号館	CT-2	1 件						
10	140	3 号館	CT-3	1 件						
11	140	3 号館	CT-4	1 件						
合計				11 件						

【3. 機械】—7 法令に基づくばい煙発生施設

No.	記号等	設置場所			行政への届出状況									数量	本業務におけるⅡ 定期点検(ばい煙 測定)対象	備考
		棟 番号	建物 名	設置場 所	施設 型式	用途	規模	バーナー 種類	最大定 格燃焼 能力	届出最大 排出ガス 量(湿り) (m ³ N/h)	設置 年月日	煙突 高 (m)	燃料			
1	1号機 (小平市 設置)	74	旧変 電所	屋外北 側	ディーゼル 機関(常 用)	発電用 (ピーク カット発 電機)	147.9 L/h	ディーゼ ル(シリ ンダー内 径400mm未 満)	147.9 L/h	3143.0	H23.2.1	5.8	A重油	1基	○	東京都環境確保条例 (※)第2条第8号に 基づく指定作業場と してのばい煙発生施 設(別表2第27項 ディーゼル機関)
2	RB-1	134	2号 館	1F 熱源機 械室2	冷温水 発生器	冷暖房用	11.0 m ²	低NOx型 バーナー	27.2 m ³ N/h	421.0	H15.9.2	19.3	都市 ガス (13A)	1基	— (当機構が別途発 注する冷温水発 生器保守契約の 中で測定を実施)	大気汚染防止法第2 条第2項に基づくば い煙発生施設
3	RB-2	134	2号 館	1F 熱源機 械室2	冷温水 発生器	冷暖房用	11.0 m ²	低NOx型 バーナー	27.2 m ³ N/h	421.0	H15.9.2	19.3	都市 ガス (13A)	1基	— (当機構が別途発 注する冷温水発 生器保守契約の 中で測定を実施)	大気汚染防止法第2 条第2項に基づくば い煙発生施設
4	RB-1 Σ TEG- 150XN5C	140	3号 館	B2F 熱源機 械室	冷温水 発生器	冷暖房用	12.9 m ²	低NOx型 バーナー	28.0 m ³ N/h	390.0	H22.8.20	32.9	都市 ガス (13A)	1基	— (当機構が別途発 注する冷温水発 生器保守契約の 中で測定を実施)	大気汚染防止法第2 条第2項に基づくば い煙発生施設
計														4基		

※正式名称：都民の健康と安全を確保する環境に関する条例

【3. 機械】ー11 浄水器カートリッジ

No.	設置場所			機種	数量	本体型式	フィルター型式 (カートリッジ)	種類	販売会社	備考
	棟 番号	建物名	設置場所							
1	128	研究本館	1F東リフレッシュルーム	浄水器	1	KS-42U	J F ー 4 3 N	配管	INAX	
2	128	研究本館	2F東リフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
3	128	研究本館	2F西リフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
4	128	研究本館	3F東リフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
5	128	研究本館	3F西リフレッシュルーム	〃	1	JF-45N	JF-45N	〃	〃	
6	128	研究本館	4F東リフレッシュルーム	〃	1	KS-42U	JF-43N	〃	〃	
7	134	2号館	1Fリフレッシュルーム	〃	1	TK-AS47-H	TK-HS92C1	蛇口	パナソニック	
8	134	2号館	2Fリフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
9	134	2号館	3Fリフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
10	134	2号館	4Fリフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
11	140	3号館	1Fリフレッシュルーム	〃	1	U-A501ZCB	BUC12001	〃	パナソニック	
12	140	3号館	2Fリフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
13	140	3号館	3Fリフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
14	140	3号館	4Fリフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
15	140	3号館	5Fリフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
16	140	3号館	6Fリフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
17	97	4号館	1F湯沸室	〃	1	PJ-A75	TK-HS92C1	〃	パナソニック	
18	123	5号館	1F湯沸室	〃	1	TK-HS92	TK-HS92C1	〃	パナソニック	
19	123	5号館	2F談話室	〃	1	PZ934	PS C 5550	〃	三菱ケミカル	
20	123	5号館	3F談話室	〃	1	TK-AS30	TK-AS30C1	〃	パナソニック	
21	123	5号館	4F談話室	〃	1	TK-AS30	TK-AS30C1	〃	パナソニック	
22	127	6号館	1Fリフレッシュルーム	〃	1	SSX880-NV	SSC8800	〃	三菱ケミカル	
23	127	6号館	2Fリフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
24	127	6号館	3Fリフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
25	127	6号館	4Fリフレッシュルーム	〃	1	〃	〃	〃	〃	
26	111	ミリ波研究棟	1Fスタッフルーム	〃	1	STX810	SSC8800	〃	〃	
27	111	ミリ波研究棟	1F分析室	〃	1	〃	〃	〃	〃	
28	111	ミリ波研究棟	2F202b実験室	〃	1	〃	〃	〃	〃	
29	111	ミリ波研究棟	2F203実験室	〃	1	TK-CJ11-W	TK-CJ21C1	〃	〃	
30	111	ミリ波研究棟	2F給湯室	〃	1	STX810	SSC8800	〃	〃	
31	107	宇宙光通信地上センター	1F給湯室	〃	1	SSX880-NV	SSC8800	〃	〃	
32	130	光デバイス技術センター	1F給湯室	〃	1	STX810	SSC8800	〃	〃	
33	147	量子セキュリティ・協創棟	1F	〃	3	JF-AJ46/SYX	JF-K11	〃	LIXIL	
計					35					

【3. 機械】—12 喫煙システム保守点検

No.	設置場所			メーカー	機種	フィルタ型番	数量	備考
	棟 番号	建物名	設置場所					
1	97	4号館	2F喫煙室	ダイキン	ACEC30E	プレフィルタ	1台	
2	128	研究本館	1F 1E-110喫煙室	リコー	EJ-2011	セットタイプJ	2台	
3	128	研究本館	1F 1E-110喫煙室	リコー	EC-1121	タイプC	4台	
4	140	3号館	1F喫煙室	ウチダ	SS-10	冷暖房用	1台	
計							8台	

【参考】機械設備（熱源、冷熱源、空調及び給排水衛生設備）数量総括表

棟番号	棟名称	3－1 温熱源機器	3－2 冷熱源機器						3－3 空調和等関連機器								3－4 給排水衛生機器					
		無圧式温水発生機及び真空式温水発生機	(1) チリングユニット	(2) 空冷熱源ヒートポンプユニット	(3) 直だき吸収冷温水機	(4) 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調和器（個別空調）	(5) 氷蓄熱ユニット	(6) 冷却塔	(1) 熱交換器等			(2) 還水タンク・開放形膨張タンク	(3) エット形空調和機・コイルユニット	(4) ファンコイルユニット	(5) ポンプ（空調用）	(6) 送風機	(7) 全熱交換機	(1) 受水タンク・高置タンク（飲料用水等用）	(2) 汚水槽・雑排水槽	(3) ポンプ（給排水衛生用）		(4) ガス湯沸器（貯湯式ガス湯沸器含む）
									熱交換器	ヘッダー	密閉式膨張タンク									陸上ポンプ	排水ポンプ	
		(台)	(台)	(台)	(台)	(台)	(台)	(台)	(基)	(ケ)	(基)	(基)	(台)	(台)	(台)	(台)	(台)	(基)	(基)	(台)	(台)	(箇所)
128	研究本館	0	2	3	0	29	0	2	4	2	0	3	10	293	13	46	2	2	1	5	12	9
134	2号館	2	1	2	2	0	4	2	0	4	0	1	47	49	15	62	3	2	0	7	8	0
140	3号館	2	2	2	1	12	0	4	3	8	4	3	61	44	18	114	7	2	1	9	26	0
97	4号館	0	0	1	0	45	0	0	0	0	1	0	3	0	2	18	2	2	1	3	2	7
123	5号館	0	0	1	0	148	0	0	0	0	0	1	1	0	1	10	69	1	0	1	0	5
59	旧食堂棟	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
61	ウルシグラム送信庁舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
63	食堂物置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
91	管理倉庫	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
95	車庫	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
98	厨房作業員控室	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
108	旧移動追尾高額実験小屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
111	ミリ波研究棟	0	0	0	0	39	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	15	1	0	2	0	1
114	研究交流センター	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
124	4～5号館渡り廊下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
129	自転車置場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
130	光デバイス技術センター	0	0	0	0	13	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	0	1
131	セキュリティ集中管理棟	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
132	オープンサイト用測定室	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ー	自転車置場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
135	産学官研究交流棟	0	0	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	23	0	0	2	0	4
141	自転車置場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
145	防災倉庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
146	防災倉庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
148	B5G電波暗室棟	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	1	0	1	0	0
127	6号館	0	0	0	0	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	32	2	0	3	0	4
147	量子セキュリティ・協創棟	0	0	8	0	0	0	0	0	0	2	0	16	34	8	66	2	2	0	3	6	0
74	旧変電所	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
93	便所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
96	倉庫	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
105	機械室	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
107	宇宙光通信地上センター	0	0	0	0	30	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
109	テストフィールド`用測定室	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
110	光伝送技術開発棟	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
112	VLBI観測棟	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0
113	ゲストハウス	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
116	送信器室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
117	自転車置場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
119	KSP・SLR観測棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120	ACE観測局舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
122	物品格納庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
125	物品格納庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
126	高圧配電所	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
133	自転車置場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
136	倉庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
137	特別高圧受電所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	2	0
138	電離層観測・試作開発棟	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	6	0	0	1	0	2
139	自転車置場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
142	西側搬入口屋根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
143	光空間通信実験棟小金井局	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
144	防災倉庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		4	5	18	3	621	4	11	7	14	7	9	138	420	57	424	174	15	3	38	60	47

※保守点検対象外の設備含む

【４．監視制御】監視制御装置

No.	設置場所			メーカー	数量	本業務における Ⅱ-4 定期点検対象	備考
	棟 番号	監視対象	監視装置(監視盤又はパソコン等) 設置場所				
①電力中央監視装置							
		各系統受電設備 (別添Ⅴ【2. 電気】 (1) 受電設備参照)	研究本館B1F監視室 (監視盤、監視用パソコン及びプリンタ)	三菱電機	1 基	— (定期点検は当機構が別途発注し実施)	・ 異常警報及び使用電力量計量等の実施 ・ 重大なアラートは、セキュリティ集中監視棟監視室でも発報
②空調自動制御装置							
1	128	研究本館	研究本館B1F監視室 (監視用パソコン及びプリンタ)	ジョンソンコントロールズ	1 基	— (定期点検は当機構が別途発注し実施)	
2	134	2号館					2号館における重大なアラートは、セキュリティ集中監視棟監視室でも発報
3	140	3号館	研究本館B1F監視室 (監視用パソコン及びプリンタ)	アズビル	1 基	— (定期点検は当機構が別途発注し実施)	
4	123	5号館	5号館1F保守員控室 (監視盤)	アズビル	1 基	○	
5	127	6号館	6号館1F管理倉庫 (監視盤)	アズビル	1 基	○	
6	147	量子セキュリティ・協創棟	研究本館B1F監視室 (監視用パソコン及びプリンタ)	アズビル	1 基	— (定期点検は当機構が別途発注し実施)	
計					6 基		

【 5 . 防災】 消防設備

対象設備				受信機	ガス漏れ火災警報	感 知 器					発信器	非常電源放送設備	地区音響装置	誘導灯・標識	防火扉	防火シャッター	防煙垂れ壁	防火ダンパー	排煙口	救助袋・避難ハシゴ	消火器			排煙用ファン	送水ポンプ	屋内消火栓設備	連結散水設備	ガス系消火設備
No.	棟番号	建物名	フロア等			差動式スポット型	定温式スポット型	光電式スポット型煙感知器	熱アナログ式スポット型	炎感知器											粉末	強化液	二酸化炭素					
1	131	セキュリティ集中管理棟		4																	4							
2	128	研究本館	B1階					28	8		2	1 (一斉・区分)		5	1			2	2		18	3			1	2		
3	128	研究本館	1F西側		1			16	11		2			5	5			12	2		7	3				2	1	
4	128	研究本館	1F東側		1			24	12		2			4	5	1		12	2		4	2				2		
5	128	研究本館	2F西側		1			16	13		2			8	2	3		9	1		3	2	8			2		
6	128	研究本館	2F東側		1			15	6		2				2	3		4	1		6	3				2		
7	128	研究本館	3F西側		1			16	4		3				2	3		12	2	1	2	3				2		
8	128	研究本館	3F東側		1			18	10		2				2	3		6	1	1	3	3				2		
9	128	研究本館	4F西側		2			15	9		2			2	2	3		10	2	1	3	2				2		
10	128	研究本館	4F東側		1			16	11		2				2	3		20	1	1	3	3				2		
11	128	研究本館	中央ロビー											3					1		1							
12	128	研究本館	RF機械室						7		2										2			2				
13	128	研究本館	階段					8						35														
14	128	研究本館	エレベータ					3																				
15	134	2号館	ピット階				64		64																			
16	134	2号館	1F		2	1	16	45	17		3			31		2					6	4			1	3		
17	134	2号館	2F	1		6		42	6		3	1		8	1	2					6	3				3		5 (IG541)
18	134	2号館	3F					53			2			3	3	2					4	3				2		
19	134	2号館	4F					44			2			6		3					2	2				2		
20	134	2号館	RF					3						1							1							
21	59	旧食堂棟				19	2	2			1		1	4							6							
22	91	管理倉庫						6			1		1	2							2							
23	97	4号館	B1F			5	4	12			1		1	8							5				1	1		5 (ハロン消火器)
24	97	4号館	1F	1		14	3	16			4		4	7	2			3			6	1				3		
25	97	4号館	2F			14	2	24			2		2	10	2			6	2		6	1				2		
26	97	4号館	3F			5	1	17			2		2	4	2			6			4			1		2		
27	97	4号館	4F			4	1	12			1		1	4	2			5			3					1		
28	97	4号館	RF			4		2													2							
29	97	4号館	階段					4																				
30	97	4号館	1～4F配線室					7																				
31	97	4号館	エレベータ					1																				
32	123	5号館	1F		1			49	6		2		2	13	2	1		8			6	1				2		
33	123	5号館	2F		1			48	5		2		3	14	6	3					4	1				2		
34	123	5号館	3F		1			43	8		2		2	14	2						4	1				2		
35	123	5号館	4F		1			44	4		2		2	13	2						4	1				2		
36	123	5号館	RF					40			2		2	1							1	1				2		
37	123	5号館	階段					4																				
38	123	5号館	1～4F配線室																									
39	123	5号館	エレベータ																									
40	127	6号館	1F		1			3	48		2			4	3						6				1	2		
41	127	6号館	2F		1			8	38		2			2	3	4				1	3					2		

【 5 . 防災】 消防設備

対象設備				受信機	ガス漏れ火災警報	感 知 器					発信器	非常電源放送設備	地区音響装置	誘導灯・標識	防火扉	防火シャッター	防煙垂れ壁	防火ダンパー	排煙口	救助袋・避難ハシゴ	消火器			排煙用ファン	送水ポンプ	屋内消火栓設備	連結散水設備	ガス系消火設備	
No.	棟番号	建物名	フロア等			差動式スポット型	定温式スポット型	光電式スポット型煙感知器	熱アナログ式スポット型	炎感知器											粉末	強化液	二酸化炭素						
42	127	6号館	3F		1			3	46		2			2	3						1	3					2		
43	127	6号館	4F		1			3	48		2			2	3						1	3					2		
44	127	6号館	RF						3		1			2								2					1		
45	127	6号館	階段					6						16															
46	127	6号館	エレベータ					1																					
47	130	光デバイス技術センター	BF				9	26			3		3	11		1						6				1	2		
48	130	光デバイス技術センター	1F	1		13	4	6			2		2	7		1						7					2		
49	130	光デバイス技術センター	RF											1								3							
50	131	セキュリティ集中管理棟	階段					1																					
51	130	光デバイス技術センター	エレベータ					1																					
52	111	ミリ波研究棟	1F	1		11	9	23			2		3	19	1							12	4	4					
53	111	ミリ波研究棟	2F			24	1	2			2		3	3	1						1	7	3						
54	111	ミリ波研究棟	RF																			1							
55	111	ミリ波研究棟	階段					1																					
56	111	ミリ波研究棟	エレベータ					1																					
57	111	ミリ波研究棟	屋外キュービクル																			2							
58	111	ミリ波研究棟	屋外強化室素置場																			3							
59	114	研究交流センター	1F	1		11	1	3			1		2	3	1							2	2						
60	114	研究交流センター	2F			5	7	4			1		1	2		1						1	1						
61	114	研究交流センター	階段					1																					
62	110	光伝送技術開発棟					1	10			1		1	4								2							
63	113	ゲストハウス				13	11	2						2								1	1						
64	105	機械室				4	4	7			1		1									10							
65	107	宇宙光通信地上センター	1F	1			3	31			2		3									11							
66	107	宇宙光通信地上センター	2F											1								1							

【 5 . 防災】 消防設備

対象設備				受信機	ガス漏れ火災警報	感 知 器					発信器	非常電源放送設備	地区音響装置	誘導灯・標識	防火扉	防火シャッター	防煙垂れ壁	防火ダンパー	排煙口	救助袋・避難ハシゴ	消火器			排煙用ファン	送水ポンプ	屋内消火栓設備	連結散水設備	ガス系消火設備
No.	棟番号	建物名	フロア等			差動式スポット型	定温式スポット型	光電式スポット型煙感知器	熱アナログ式スポット型	炎感知器											粉末	強化液	二酸化炭素					
67	107	宇宙光通信地上センター	エレベータ機械室					1													1							
68	107	宇宙光通信地上センター	屋外キュービクル																		2							
69	112	VLBI観測棟	1F									1		1							5	1						
70	112	VLBI観測棟	2F									1		1							1	1						
71	112	VLBI観測棟	屋外キュービクル																		2							
72	119	KSP・SLR観測棟	1F																		1							
73	119	KSP・SLR観測棟	2F																		1							
74	119	KSP・SLR観測棟	トレーラー																		1							
75	138	電離層観測・試作開発棟	1F	1	1	21	3	3			1		7		5			7	2		11							
76	138	電離層観測・試作開発棟	2F			6	1	6			1		3		1			2	17		5							
77	138	電離層観測・試作開発棟	エレベータ					1																				
78	138	電離層観測・試作開発棟	屋外キュービクル																0		1							
79		南部変電所	屋外キュービクル																		1							
80	96	倉庫																			2							
81	98	厨房作業員控室																			1							
82	126	高圧配電所																			2							
83	61	ウルングラム送信庁舎																			1							
84	74	旧変電所	建物																		2							
85	74	旧変電所	屋外オイルタンク																		3							
86	95	車庫	事務室																		2							
87	95	車庫	車庫																		6							
88	108	旧移動追尾高額実験小屋																			1							
89	132	オープンサイト用測定室																			1							
90	135	産学官研究交流棟	1F	1	2			1	15		1		1	13					6		3	2						
91	135	産学官研究交流棟	2F					4	16		1		1	10							1	1						
92	135	産学官研究交流棟	3F					5	34		1		1	7							2	1						

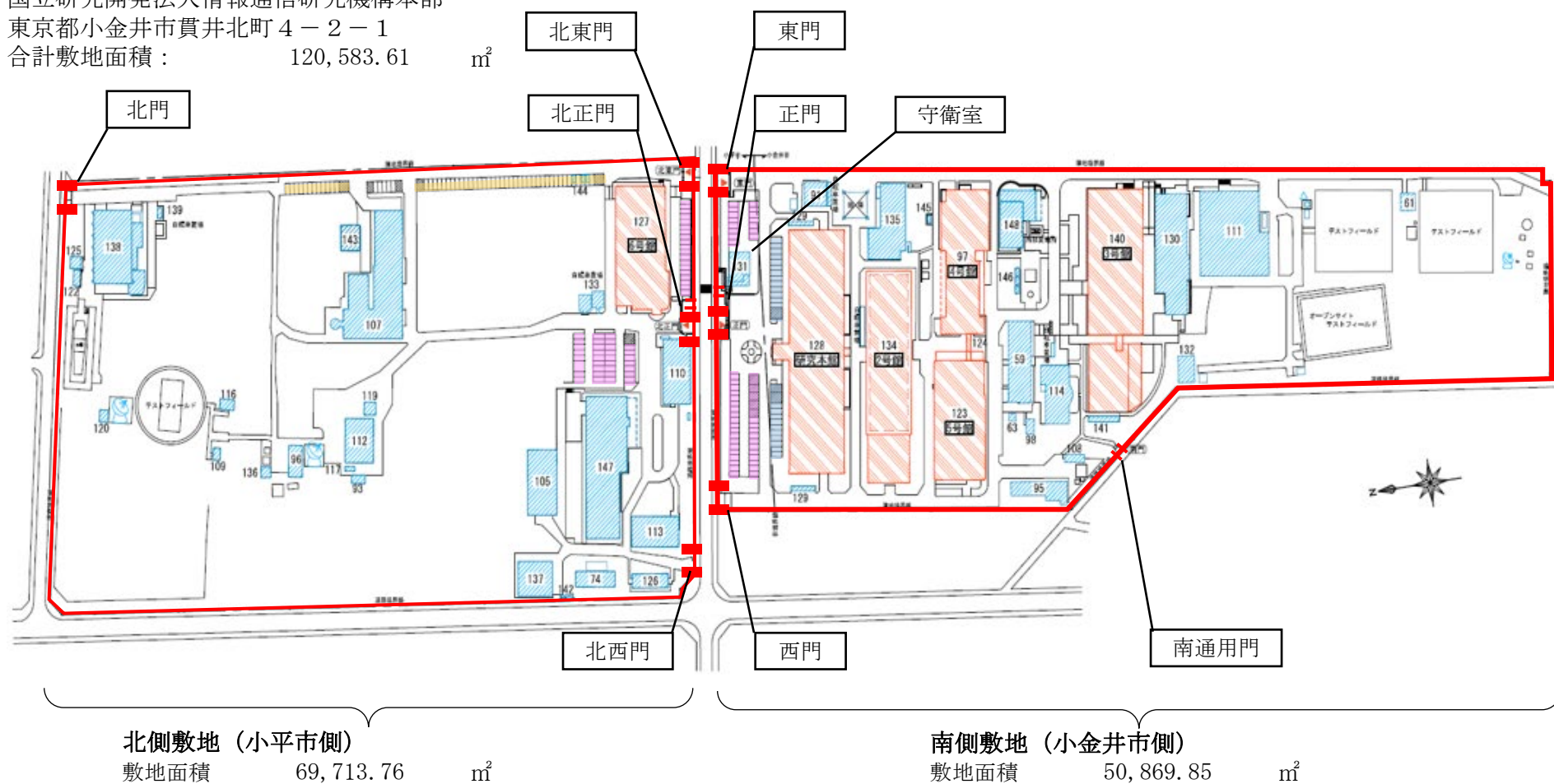
【 5 . 防災】 消防設備

対象設備				受信機	ガス漏れ火災警報	感 知 器					発信器	非常電源放送設備	地区音響装置	誘導灯・標識	防火扉	防火シャッター	防煙垂れ壁	防火ダンパー	排煙口	救助袋・避難ハシゴ	消火器			排煙用ファン	送水ポンプ	屋内消火栓設備	連結散水設備	ガス系消火設備	
No.	棟番号	建物名	フロア等			差動式スポット型	定温式スポット型	光電式スポット型煙感知器	熱アナログ式スポット型	炎感知器											粉末	強化液	二酸化炭素						
93	137	特別高圧受電所				8		6			1			3					5	5		3			3				36 (窒素消火設備容器)
94	140	3号館	B2F		1			23	16		3			7	1					1		8				1	2		
95	140	3号館	B1F					66			4			11	2				1	3		7					3		
96	140	3号館	1F	1		1		59		2	2	1		12	11	2			3	5		6					2		
97	140	3号館	2F					26			2			5	3	12			1	3		3					2		
98	140	3号館	3F					53			2			13	4	13			7	7		5					2		
99	140	3号館	4F			2		56			2			10	4	12			5	5		5			1		2		
100	140	3号館	5F					46			2			8	4	12			5	4		5					2		
101	140	3号館	6F					49			2			9	4	12			5	4	1 (緩降機)	5					2		
102	140	3号館	RF					4	2		1			1	1						4			2		1			
103		共同溝				26																							
104	143	光空間通信実験棟小金井局	1F			2					1		1	2							1								
105	143	光空間通信実験棟小金井局	2F			2		1			1		1	1							1								
106	143	光空間通信実験棟小金井局	階段											1															
107	147	量子セキュリティ・協創棟	1F	1		5		41	1		4	1		17	1	1	1	8	5		10	5	5		1	4			
108	147	量子セキュリティ・協創棟	2F			2		29			5			18		2		2			2	3				5			
109	147	量子セキュリティ・協創棟	3F			1		54			4			13		1	5	5		2 (緩降機)	3	2	1	1		4			
110	148	B5G電波暗室棟						16	1		1		1	2							3								
合計				14	23	229	147	1386	469	2	119	6	58	451	103	106	6	171	84	11	344	70	18	10	7	91	1	46	

【6. 警備】—1 敷地

国立研究開発法人情報通信研究機構本部

東京都小金井市貫井北町4-2-1

合計敷地面積： 120,583.61 m²

【凡例】



： 敷地



： 門（※）



： 通用門（※）



： 職員用駐車場（長期利用）



： 職員用駐車場（当日利用）



： 来訪者用駐車場

※門及び通用門の開門時間に関しては、警備業務の出入管理に関する仕様を参照

104/105

【6. 警備】—2 エレベータ（運行管理）

No.	設置場所		仕様					設置年月	保守契約 種別 POG／FM (※1)	運行管理 ○:運行、休:休止				備考
	棟 番号	建物名	種別	用途	積載 量 [kg]	停止箇所	製造者			平日(年末 年始除く)		土日祝及び 年末年始		
										昼	夜間 (※2)	昼	夜間 (※2)	
1	97	4号館	ロープ	人荷用	750	1-4F(4ヶ所)	日立	平成19年7月	FM契約	○	○	○	○	
2	107	宇宙光通信地上 センター	油圧	荷物用	950	1-2F(2ヶ所)	イーケーエレベータ	昭和63年1月	FM契約	○	○	○	○	
3	111	ミリ波研究棟	ロープ	人荷用	1,000	1-2F(2ヶ所)	東芝	平成6年1月	FM契約	○	○	○	○	
4	112	VLBI観測棟	ロープ	ダムウェータ	200	1-2F(2ヶ所)	菱電エレベータ	平成6年3月	POG契約	○	○	○	○	
5	123	5号館	ロープ	乗用(車椅子兼用)	950	1-4F(4ヶ所)	横浜エレベータ	平成8年11月	FM契約	○	○	○	○	
6	127	6号館	ロープ	人荷用(車椅子兼用)	1,150	1-4F(4ヶ所)	横浜エレベータ	平成11年9月	FM契約	○	○	○	○	
7	128	研究本館	油圧	乗用(車椅子兼用)	900	1-4F(4ヶ所)	三精輸送機	平成12年12月	FM契約	○	休	休	休	省エネのため休日・夜間休止
8	128	研究本館	油圧	乗用(車椅子兼用)	900	1-4F(4ヶ所)	三精輸送機	平成12年12月	FM契約	○	○	○	○	
9	128	研究本館	油圧	人荷用	1,150	B1-4F(5ヶ所)	三精輸送機	平成12年12月	FM契約	○	休	休	休	省エネのため休日・夜間休止
10	130	光デバイス技術 センター	ロープ	乗用	450	1-2F(2ヶ所)	三精輸送機	平成13年3月	FM契約	○	○	○	○	
11	134	2号館	ロープ	乗用	1,000	1-4F, RF(5ヶ所)	OTIS-EM	平成15年8月	FM契約	○	○	○	○	
12	135	産学官研究交 流棟	油圧	乗用	800	1-3F(3ヶ所)	東芝	平成16年10月	FM契約	○	○	○	○	
13	138	電離層観測・試 作開発棟	機械室 なし	乗用	900	1-2F(2ヶ所)	富士エレベータ	平成20年7月	FM契約	○	○	○	○	
14	140	3号館	機械室 なし	乗用(車椅子兼用)	1,800	B2-6F, RF(9ヶ所)	三菱電機ビルテック サービス	平成23年1月	FM契約	○	○	○	○	
15	140	3号館	機械室 なし	乗用	1,800	1F-6F(6ヶ所)	三菱電機ビルテック サービス	平成23年1月	FM契約	○	○	○	○	
16	147	量子セキュリティ・ 協創棟	ロープ 式	人荷共用兼車 いす用	1,200	1F-3F(3ヶ所)	三菱電機ビルテック サービス	令和4年4月	FM契約	○	○	○	○	

※1 当機構が別途契約。POG: パーツ・オイル・グリス、FM: フルメンテナンス

※2 夜間の目安は20:00～翌5:30とする。

1. 共用室リスト

No.	設置場所			提供する用途	居室備え付け設備(システム類)	備考
	棟番号	建物名	居室名等			
1	128	研究本館	B1F監視室	・統括責任者、電気設備責任者、機械設備責任者、電気設備作業員、入退室管理システム運用責任者事務所【事務机・パソコンあり】 ・機械設備作業員事務所【パソコンでの作業時のみ使用を想定】 ・電気設備・空調設備の中央監視	・電力中央監視システム端末 ・研究本館・2号館空調監視システム端末 ・3号館空調監視システム端末 ・量子セキュリティ・協創棟空調監視システム端末 ・入退室管理システム端末	5号館空調監視システム端末は5号館保守員控室、6号館空調監視システム端末は、6号館管理倉庫に設置
2	128	研究本館	B1F備品庫	・機械設備作業員事務所【長机あり】	—	
3	114	研究交流センター	2F総合委託業者控室(設備員)	・男性用控室・更衣室	—	
4	131	セキュリティ集中管理棟	集中管理室	・警備責任者、警備作業員事務所【事務机・パソコンあり】 ・防犯・防災監視	・防犯カメラシステム端末 ・入退室管理システム端末 ・自動火災報知器 ・エレベータ監視盤 ・非常放送マイク(量子セキュリティ・協創棟のみ対象)	
5	131	セキュリティ集中管理棟	守衛室	・警備責任者、警備作業員、受付作業員事務所【受付事務用机(建物と一体化)・パソコンあり】	・非常放送マイク(量子セキュリティ・協創棟以外対象)	
6	131	セキュリティ集中管理棟	倉庫	・警備業務用倉庫	—	
7	131	セキュリティ集中管理棟	休憩室	・警備責任者、警備作業員、受付作業員休憩室(和室・仮眠可)	—	
8	131	セキュリティ集中管理棟	ロッカー	・男性用更衣室	—	
9	131	セキュリティ集中管理棟	給湯室	・給湯室	—	
10	131	セキュリティ集中管理棟	トイレ	・トイレ	—	
11	127	6号館	1F西側階段下更衣室	・女性用更衣室	—	

2. 共用品リスト

(1) 什器類

No.	品名	数量	設置又は保管場所	想定する用途	備考
1	事務机及び事務椅子	相当数	研究本館B1F監視室	事務用	
		相当数	セキュリティ集中管理棟監視室・守衛室		
2	長机及び事務椅子	相当数	研究本館B1F備品室	事務用	
3	キャビネット	相当数	研究本館B1F監視室	事務用	
		相当数	セキュリティ集中管理棟監視室・守衛室		
4	ロッカー	相当数	研究交流センター2F総合委託業者控室	更衣室用	
		相当数	セキュリティ集中管理棟ロッカー室		
		相当数	6号館1F西側階段下更衣室		

2. 共用品リスト

(2)OA機器

No.	品名	数量	設置又は保管場所	特記事項	備考
1	事務用デスクトップ型パソコン及び周辺機器【ネットワーク接続有】 ※業務上必要最低限の範囲内で機構内ネットワークへのアクセス権を付与し、Microsoft Officeソフト(Word、Excel及びOutlook等)については、業務上の必要に応じインストールを行う。	4	研究本館B1F監視室	事務用(統括責任者、電気設備責任者、機械設備責任者、入退室管理システム運用作業員)	
		2	セキュリティ集中管理棟監視室	事務用(統括責任者、警備責任者)	
		2	セキュリティ集中管理棟守衛室	事務用(受付作業員)	
2	事務用デスクトップ型パソコン及び周辺機器【ネットワーク接続無】	1	研究本館B1F監視室	事務用(電気設備作業員、機械設備作業員)	
3	複合機 ※事務用パソコン【ネットワーク接続有】と接続	1	研究本館B1F監視室	事務用	
		1	セキュリティ集中管理棟監視室		
4	プリンタ ※事務用パソコン【ネットワーク接続有】と接続	1	研究本館B1F監視室	事務用	
5	内線用携帯電話(スマートフォン)	相当数	各責任者・作業員への貸与	業務連絡用	交代制の担当者は共用とする
6	内線用固定電話	1	研究本館B1F監視室	業務連絡用	
		2	セキュリティ集中管理棟守衛室(受付)	業務連絡用	
7	電力中央監視システム用パソコン及び周辺機器並びに専用プリンタ	1	研究本館B1F監視室	電力監視用	
8	研究本館・2号館空調監視制御装置用パソコン及び周辺機器並びに専用プリンタ	1	研究本館B1F監視室	研究本館・2号館空調監視制御用	
9	3号館空調監視制御装置用パソコン及び周辺機器並びに専用プリンタ	1	研究本館B1F監視室	3号館空調監視制御用	
10	量子セキュリティ・協創棟空調監視制御装置用パソコン及び周辺機器並びに専用プリンタ	1	研究本館B1F監視室	量子セキュリティ・協創棟空調監視制御用	
11	防犯カメラシステム用パソコン及び周辺機器	1	セキュリティ集中管理棟監視室	防犯カメラシステム用	
12	入退室管理システム用パソコン及び周辺機器並びに専用プリンタ	2	研究本館B1F監視室	入退室管理システム用	プリンタは1台
		1	セキュリティ集中管理棟監視室		

2. 共用品リスト

(3) 保守点検用機器類(工具等)

No.	品名	型式	メーカー	数量	設置又は保管場所	特記事項	備考
1	アクティブメーター	AM-2000UK	SOUKOU	1	研究本館B1F監視室		
2	クランプメーター・リカー	MCL-800D		1	研究本館B1F監視室		
3	クランプメーター・リカー	MCD-104		1	研究本館B1F監視室		
4	クランプメーター	AD-5582		1	研究本館B1F監視室		
5	クランプメーター	M220	マルチ計測器販売	1	研究本館B1F監視室		
6	クランプテスター	CL220	横河メータ&インスツルメンツ(株)	1	研究本館B1F監視室		
7	デジタルハイテスタ	3256-50	HIOKI	1	研究本館B1F監視室		
8	ハイテスタ	3030-10	HIOKI	1	研究本館B1F監視室		
9	デジタルメグオームハイテスタ	3454-10	HIOKI	1	研究本館B1F監視室		
10	光音検知器	PC-3	音羽電機	1	研究本館B1F監視室		
11	アースメガ	1602 IE-32	MUSASHI	1	研究本館B1F監視室		
12	音響発光式検電器	HSS-6B型		1	研究本館B1F監視室		
13	音響発光式検電器	HAS-7型		1	研究本館B1F監視室		
14	アドレス設定器	WAT9500	ナショナル(パナソニック電工)	1	研究本館B1F監視室		
15	アドレス設定器	WAT9600	ナショナル(パナソニック電工)	1	研究本館B1F監視室		
16	照明制御センサーリモコン	FSK90940	ナショナル(パナソニック電工)	1	研究本館B1F監視室		
17	圧着工具	DC-22	ジェフコム	1	研究本館B1F監視室		
18	トライスキャナー	78690	シンワ測定	1	研究本館B1F監視室		
19	クレディコンA特定小電力無線操縦装置	CRS-12B	日本ホイスト	1	研究本館B1F監視室		
20	クレディコンAバッテリーチャージャー	CRS-CC	日本ホイスト	1	研究本館B1F監視室		
21	デジタルクランプメーター	2002PA	共立電気計器	1	研究本館B1F監視室		
22	メグオームハイテスタ	3451-14	HIOKI	1	研究本館B1F監視室		

No.	品名	型式	メーカー	数量	設置又は保管場所	特記事項	備考
23	メグオームハイテスタ	3451-15	HIOKI	1	研究本館B1F監視室		
24	サーキットレーサー	TK-6C	住友スリーエム	1	研究本館B1F監視室		
25	キューリークロガー	MODEL5001	共立電気計器	1	研究本館B1F監視室	No.1セット	
26	クランプセンサ(φ68)	MODEL8143	共立電気計器	2	研究本館B1F監視室	No.1セット	
27	クランプセンサ(φ40)	MODEL8142	共立電気計器	2	研究本館B1F監視室	No.1セット	
28	延長コード	MODEL7147	共立電気計器	1	研究本館B1F監視室	No.1セット	
29	ハードケース	MODEL9119	共立電気計器	1	研究本館B1F監視室	No.1セット	
30	キューリークロガー	MODEL5001	住友スリーエム	1	研究本館B1F監視室	No.2セット	
31	クランプセンサ(φ68)	MODEL8143	共立電気計器	1	研究本館B1F監視室	No.2セット	
32	クランプセンサ(φ40)	MODEL8142	共立電気計器	1	研究本館B1F監視室	No.2セット	
33	延長コード	MODEL7147	共立電気計器	1	研究本館B1F監視室	No.2セット	
34	ハードケース	MODEL9119	共立電気計器	1	研究本館B1F監視室	No.2セット	
35	照度計	LX-100	佐藤商事	1	研究本館B1F監視室		
36	データ収集装置	TR-57S	テイアンドデイ(TANDD)	1	研究本館B1F監視室	Thermo Recorder Date Collector	
37	温湿度データロガー	TR-72S	テイアンドデイ(TANDD)	2	研究本館B1F監視室	Thermo Recorder おんどりRH	
38	クランプメーター	MODEL111	マルチ計測器販売(MULTI)	1	研究本館B1F監視室	高周波カットフィル タースイッチ付き	
39	漏れ電流測定用デジタルクランプメーター	2413R	共立電気計器(KYORITSU)	1	研究本館B1F監視室	周波数切換機能付	
40	脚立90cm			1	研究本館B1F機械室		
41	脚立120cm			1	研究本館B1F機械室		
42	脚立150cm			2	研究本館B1F機械室		
43	脚立180cm			1	研究本館B1F機械室		
44	脚立210cm			1	研究本館B1F機械室		

No.	品名	型式	メーカー	数量	設置又は保管場所	特記事項	備考
45	脚立300cm			1	研究本館B1F監視室		
46	安全帯			相当数	研究本館B2F監視室		
47	防塵服			必要数	130棟光デバイス技術センター		クリーンルーム等、当機構が指定する居室への入室が必要となる場合に貸与

2. 共用品リスト

(4) 警備・受付用品

No.	品名	型式	メーカー	数量	設置又は保管場所	特記事項	備考
1	各建物のドア・フェンス等の鍵			相当数	セキュリティ集中管理棟守衛室	受注者が適切な管理及び貸与を実施	
2	来訪者用バッジ			相当数	セキュリティ集中管理棟守衛室(受付)		
3	来訪者用IDカード(通常)			相当数	セキュリティ集中管理棟守衛室(受付)	入退室管理システム関係、来訪者貸与用	共用スペースのみアクセス可
4	来訪者用IDカード(工事業者用)			相当数	セキュリティ集中管理棟守衛室(受付)	入退室管理システム関係、来訪者貸与用	バックヤード等へアクセス可
5	来訪者用IDカード(特定IDカード)			相当数	セキュリティ集中管理棟守衛室(受付)	入退室管理システム関係	申請者の要望で特定の居室のみ入室可の設定を行ったもの
6	駐車許可証(来訪者用)			相当数	セキュリティ集中管理棟守衛室(受付)	駐車許可関係	
7	駐車許可証(職員当日利用)			相当数	セキュリティ集中管理棟守衛室(受付)	駐車許可関係	
8	さすまた			1	セキュリティ集中管理棟守衛室(受付)		